



TITLE:

京都大学蔵 大惣本目録: 第一分冊

AUTHOR(S):

京都大学附属図書館

---

CITATION:

京都大学附属図書館. 京都大学蔵 大惣本目録: 第一分冊. 1988: 1-131

ISSUE DATE:

1988-02-29

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/204362>

RIGHT:

京都大学蔵  
大惣本目錄

第一分冊

京都大学附属図書館

1988

京都大学蔵  
大惣本目録

第一分冊



京都大学附属図書館

1988

## ま え が き

本附属図書館は、明治32年12月に開設され、明年末には90周年を迎えんとしている。所蔵する書籍もおおよそ65万冊に及ぶ。質においてもすぐれ、重要文化財の指定を受けた貴重書をはじめ、古今東西の善本珍籍も少なくなく、国内外の研究者に利用していただいている。いかに善本を蔵するとは言え、研究者に活用されなければ、その真の価値は薄れてしまう。

その意味においても所蔵目録を完全なものとし、しかも簡潔に利用していただける体裁に整える仕事は、図書館業務の上で欠かすことができない。

中でも各分野にわたって集収された名家の蔵本を一括して購入し、某々家本として扱っている場合、そこに収められた各本の利用には、細かく分類整理した目録の準備が是非とも要求される。

近年図書館業務は電算化され、端末機から簡便に目録検索ができる方向に進んでいる。しかし、入力される蔵本の図書情報が適切でなければ、おおよそ利用の役には立たないであろう。詳しい目録編纂は、現段階において遡及入力のための基礎的な仕事とも言えるのである。

ここに公刊する分類目録は、俗に大惣本と呼ぶ江戸中期明和年間から明治の中頃まで、百数十年間名古屋市内で貸本業を営んだ大野屋惣八店の旧蔵本の一部を対象としたもので、本京都大学が創設まもなく図書館開館以前に一括購入していた初期の蔵本に属する。全体は3,667部、13,081冊を数える大部の和本の集成である。内容は、仏書、神道書、医学本草、天文など多岐の分野にわたるが、とくに浮世草子、歌舞伎、浄瑠璃の脚本をはじめとする江戸文学書が質量共にすぐれていると言われる。

本館にはカードのほか手書きの館内用の内容目録が早期に作成されていたが、昭和60年以降、文学部国文学研究室にその整理と書誌学的事項の付与をお願いしていたが、ここに日野龍夫教授はじめ研究室の方々のご尽力によって、専門の立場から可能な限り詳しくそして簡潔な情報をつけた目録の一部が完成した。全三冊の中、まずその第一分冊を刊行して、一般識者の利用に供したい。第二分冊以降スムーズな刊行を企画している。

この面倒な仕事の中心になっていただき、本目録に解説文を寄せて下さった日野教授と研究室の方々に厚くお礼申し上げたい。

貸本屋大惣店の廃業以後、その蔵本がどのように流传したかは、書誌の研究家の興味の対象となった。元本館和漢目録掛長（現法学部整理掛長）広庭基介氏も、夙にその問題に関心をもち、大惣本の一部が京大に購入された経緯やその評価について有用な一文「京大『大惣本』購入事情の考察」を草して、『大学図書館研究』XXIV（1984. 5）に発表している。是非一読をおすすめしたい。

1988年 3月

附属図書館長 西 田 龍 雄



# 解 説

日 野 龍 夫

京都大学附属図書館に所蔵される大惣旧蔵本約3700点の目録が、この度刊行されることになった。大惣とは、江戸中期から明治32年頃まで名古屋で営業していた全国一の貸本屋、大野屋惣八の略称である。貸本屋がわが近世文化の発展の上で果たした重要な役割については、ここで述べるまでもない。京大附属図書館は、大惣旧蔵本の今日における最大の所蔵者である。本目録が、目録としてだけでなく、往時の貸本屋文化の一斑をうかがう資料としても、活用されることを念ずる。

本目録作製のため京大蔵大惣本の書誌調査に当たったのは、大惣本研究会に属する国文専攻の大学院・学部学生諸君である。本目録が研究者や図書館人に寄与するところがあるとすれば、その功は、過去五年間にわたって孜々として書誌カード取りに従事してきた、深沢眞二君を始めとする大惣本研究会の院生・学生諸君の努力に帰せられるべきものである。

さて大惣本であるが、大惣本全体については柴田光彦氏の『大惣蔵書目録と研究』（青裳堂書店刊）等々、京大蔵大惣本については広庭基介氏の「京大『大惣本』購入事情の考察」（『大学図書館研究』第24号所載）という研究がある。それら諸先学の業績に依拠しながら、簡単に解説する。

大惣では、明治31年頃に、膨大な蔵書を売却して廃業するという方針が立てられた。その際作られた資産台帳『大野屋惣兵衛蔵書目録』全15冊（早稲田大学図書館蔵。惣八を惣兵衛と誤る）には、16734部の書名が記載されている（長友千代治氏『近世貸本屋の研究』に16734種類というのによる）。

明治32年春頃、大惣蔵書の大半は東京の書肆吉川弘文館に約2500円で引き取られ、さらに吉川弘文館に入った大惣本のほとんどは、帝国図書館（現在の国会図書館）・東京帝大・京都帝大・高等師範学校（現在の筑波大学）に買い上げられた。ただし納入業者は吉川弘文館ではなく、間に青山堂・大島屋といった別の書肆が入っている。

帝国図書館へは約3500部、京都帝大へは約3700部、高等師範学校へは約500部が入ったが、東京帝大に入った分は、歌舞伎台帳・浄瑠璃本約1100部を残して、納入当時の帳簿類を含めて関東大震災で焼失してしまったため、総部数も個々の書名も判明しない。

京都帝大に入った大惣本に関しては、納入業者の作った書名リストが、現在も附属図書館に保管されている。それは版心に「青山堂用野」とある野紙を用いた毛筆書きの冊子で、現在は一冊に綴じられているが、もとは五冊に分かれていたものである。版心の文字から、納入業者が東京の書肆青山堂であったことが推測される。奇妙なことに、納入業者名は公式書類の上には一切記

されておらず、この版心の文字が手がかりとなるのみである。

もと五冊のリストは、それぞれ表紙の中央に「大惣図書目録」、右上に「五冊之内第巻(-伍)号」、左下に「図書館」と記し、右下に明治32年4月3日、同8日、同12日、同17日、同21日の日付を入れる。五冊に分かれているのは、やはり附属図書館に保管されている「物品受払命令」によれば、大惣本の納入と代金の請求が、明治32年4月に五回に分けて行われたからである。上の日付は、「物品受払命令」に記された「現品領収」の日付と一致する。ちなみに、「物品受払命令」に記されている大惣本の代金を合計すると、きっちり2000円になる。

この『大惣図書目録』の記載様式は、まず版本随筆・物語・雑書・珍書等々、60数項の分類を立て、各分類の内部は、順不同に書名を挙げて、下に京大納入に際しての価格と冊数を記す。図書館の受入番号も記されているが、これは当然図書館が後から記入したものである。

60数項の分類は、大惣においてすでになされていたものなのか、それとも間に入った吉川弘文館なり青山堂なりが新たに立てたものなのか。吉川弘文館が大惣本を引き取ってから、青山堂が京大へ納入するまでの期間がきわめて短いことからすれば、大惣の分類を右から左へ書き写しただけと考えるのが妥当のようである。

しかし、江戸時代以来の大惣の分類法を反映していると見てよい前掲『大野屋惣兵衛蔵書目録』と対照すると、よく似た分類ながら完全には一致しない。たとえば『大惣図書目録』で「唐軍」と称する分類は、『大野屋惣兵衛蔵書目録』では「通俗類」となっている。また京大の『大惣図書目録』中の書を『大野屋惣兵衛蔵書目録』で検すると、分類を異にする場合が間々ある。たとえば『武辺咄聞書』は、『大惣図書目録』では「版本随筆」の部に入っているのに、『大野屋惣兵衛蔵書目録』では「武談」の部に入っている。

疑問を残しつつ、『大惣図書目録』の分類は大惣でなされていたものと考えたい。仮にそうでなかったとしても、近代書誌学以前の、江戸時代以来の意識に基づく分類であることは間違いなく、分類そのものに、貸本屋文化の資料としての意味がある。

本目録における分類と書名の配列は、『大惣図書目録』に従っている。ただし、書名は現物によって『大惣図書目録』の不備や誤りを正し、書誌的事項を加えた。書名各項の末尾、現在の京大附属図書館の請求番号の次に記した大惣の排架番号は、書物に貼付された番号札のものである。その次の価格は『大惣図書目録』による。なお、京大蔵の大惣本は、ほとんどすべて附属図書館に蔵されているが、ごく少数、文学部と薬学部に移管されたものがある。それらも本目録に収めてある。

## 凡 例

本目録は、京都大学が所蔵する大野屋惣八（大惣）旧蔵書約3700点を収める。京大蔵大惣本は明治32年4月に一括購入されたもので、その際納入業者が添付した書名リスト『大惣図書目録』が京大附属図書館に保管されている（解説参照）。『大惣図書目録』は、67項の分類を立て、各分類の内部は、順不同に書名を挙げ、納入時の価格と冊数を記す。個々の図書の受入番号は、『大惣図書目録』に記載されている順に、30000 から 33666 に至っている。

本目録は、分類・書名の排列ともに『大惣図書目録』に従う。67項の分類は、順序に脈絡がなく、今日の眼から見れば不適切に分類された本も少なくないが、索引編に書名索引のほかに現在の請求番号索引を附することによって補いたい。

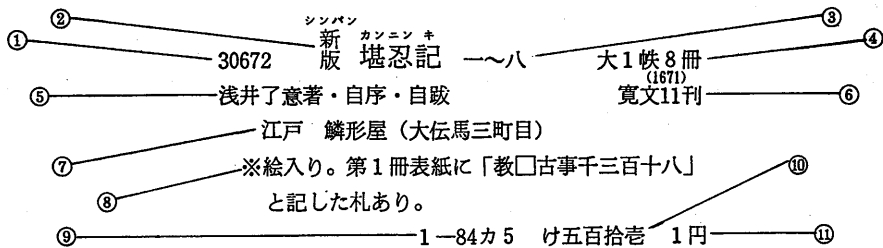
各項目の記載事項は以下の通りである。

- ①受入番号。同一番号でも複数項目に分けるのが適当と思われる場合は、(1)(2)……を以て分けた。
- ②書名。複数の書名が見出される場合、標題に採用する優先順は原則として、1. 見返し内題・2. 刷題籤・3. 巻頭内題・4. 後補墨書題籤または表紙うちつけ書・5. その他柱書など。この原則に従わない時は備考にその旨を記した。振り仮名は濁点を施した旧仮名遣い（小学館『国語大辞典』に示された旧仮名遣いに従う）を記した。
- ③複数冊の場合の各冊の呼称。
- ④体裁および帙数・冊数。体裁は、まず縦長本の場合は特大・大・半・中・小・特小の6段階を設けた。美濃紙半折の大きさ（27.0×19.5cm）を大本の標準とし、これより大きいものは特大とした。半紙半折の大きさ（24.2×16.7cm）を半紙本の標準とし、これより大きいものは大本とした。大本の2分の1の大きさ（19.5×13.5cm）を中本の標準とし、これより大きいものは半紙本とした。半紙本の2分の1の大きさ（16.7×12.1cm）より大きいものは中本とし、以内のものは小本とした。小本の中でも大本の4分の1の大きさ（13.5×9.8cm）以内のものは特小とした。特大本・特小本、そして栞型本・横本・卷子本については（ ）内に数字で大きさを示した。合帙・合綴の場合「他○冊と合○帙」「○冊を合綴○冊」のように示し、帙に入らない場合は帙数を省略した。
- ⑤著者・作者・編者・画者・校者・序者・跋者など。
- ⑥成立年（刊年・序跋年・書写年など）。
- ⑦版本の場合は蔵版者あるいは書肆名（都市名・書肆名・所在地）を示し、写本の場合は必ず「写本」と記して、書写者がわかる場合はそれを添えた。
- ⑧※として備考を記した。
- ⑨京都大学附属図書館の請求番号（旧分類＝京大独自の10門分類）。ほかにも文学部の文学科関

覧室・史学科閲覧室，および薬学部に所蔵される場合があるが，それぞれ「文閲」「史閲」「薬学」のように示した。

⑩大野屋惣八の分類排架番号（大惣番号）。主に「いろは」の内の一文字と数字とから成り，時々冊数や複本のうちでの番号（㊦㊧……）も示されている。多くは第1冊の表紙の小札に墨書されている。

⑪明治32年当時の購入価格。



文学部の国語学国文学専攻の大学院生の有志が集り大惣本研究会を始めたのは1983年であった。試行錯誤を繰り返し，遅々たる作業を進めてきたが，漸く5年目にして第一分冊の刊行に至った。多人数の手によって稿が成ったために，細部の記事の不統一や精粗のばらつきをまぬかれ得なかった。寛恕を乞う次第である。

# 目 次

## (第 一 分 冊)

随 筆 (版本) .....	1
物 語 .....	15
雜 書 (甲) .....	19
雜 書 (乙) .....	36
珍 書 .....	50
唐 軍 .....	51
繪 本・読 本 .....	54
合 卷 .....	69
古 版 珍 書 .....	75
珍 書 草 紙 .....	77
地 誌・名 所 .....	81
日 記・紀 行 .....	87
道 中 記 .....	91
香・茶・生 花 .....	93
相 撲 .....	96
諸 礼・書 翰 .....	96
古 錢 書 .....	97
随 筆 写 本 .....	98
蝦 夷 漂 流 記 .....	111
故 事 .....	112
書 法 .....	113
字 書 .....	114
音 韻 .....	114
人物志万宝器物 .....	115
農 書 .....	123
囲 碁・将 棋 .....	127
随 筆 写 本 追 加 .....	128



(以下第二分冊)

繪 本 図 繪  
和 漢 医 書  
西 鶴・八文字屋  
丸 本 写 本 台 帳  
丸 本 版 本 台 帳  
浄 瑠 璃 丸 本  
黄 表 紙  
幕 府 写 本  
和 軍 書 類  
和 軍 写 本  
兵 書  
料 理 書  
往 来 書  
大 工 書  
伝 授 書  
算 術 書  
書 目  
書 画  
神 道  
易・方位・天文

歌 書  
徒 然 草  
百 人 一首  
国 書・和 書  
有 職 書  
仏 書  
狂 詩  
狂 歌  
武 器 刀 劍  
經 典 及 詩 文  
經 書・詩 文  
繪 本  
咄  
奇 談 怪 談 故 事  
芝 居 物  
吉 原 物  
俳 書  
連 歌

『大惣本四月二十一日  
連歌ノ末ニ追加之分』

## 随 筆 (版 本)

30000 ケンエンズイヒツ 護園隨筆 上・中・下 大3冊  
物茂卿(荻生徂徠)著, 勝煥圖東壁序

(1714)  
正徳4序・刊

江戸 出雲寺和泉(日本橋南一丁目), 「京師書  
林 植村文華堂 澤田麗澤堂 開板」, 文華軒  
藏板

※附, 文戒(徂來先生口語 吉有鄰録)。

1—69ケ7 式百貳拾壹全三 40銭

30001 クボノスサレ 久保之取蛇尾 初篇上・中・下 大1帙3冊  
入江昌喜著 (1784)  
天明4刊

大坂 柳原喜兵衛(北久太郎町心斎橋筋)

※同じ本の旧朝田家蔵書(10—05ク2)には自序あ  
り。上冊表紙右上スミに「□式百□」とある札  
が貼られている。

4—69ク1 式百拾九全三 30銭

30002 ヘイスイロク 秉穗録 初篇一〜四 大1帙4冊  
岡田挺之(新川)著, 雲霞堂老人序, 恩田仲任序  
(1795)  
寛政7刊

名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目), 京  
風月庄左衛門(二条通衣棚之角), 大坂 河内  
屋喜兵衛(心斎橋筋北久太郎町), 江戸 永楽  
屋出店(今川橋南白銀町二丁目)

※同じ配架番号に「二篇」もおさめられているが,  
大惣本ではない。巻末に「尾陽東壁堂製本略目  
録」あり。刊年は『国書総目録』による。

10—05へ1 式百九拾九番全四冊 35銭

30003 シチャウザンロク 視聴雑録 一〜十 大1帙10冊  
臨深亭主人覺非斎著・自序 宝曆13自序, 安永7刊  
(1763) (1778)

前川六左衛門

※一名「無疵不取銭」(序による)。10冊共原題簽  
であるが, 一〜十の番号のみ墨書。

10—05シ15 大惣番号札剥落 65銭

30004 ナリツウダン 衰笠雨談 一〜三 半1帙3冊  
曲亭馬琴著・自序 (1803) (1804)  
享和3自序, 同4刊

江戸 蔦屋重三郎(通油町), 名古屋 永楽屋

東四郎(本町七丁目), 大坂 河内屋太助(心  
斎橋筋唐物町)

※別名「曲亭漫筆」「著作堂一夕話」。第1冊20丁  
〜23丁は透き写しによる補修である。

5—18サ1 式六百五拾貳全三 30銭

30005 リサイズイヒツ 理齋隨筆 一〜六 大6冊  
志賀忍(理齋)著, 樗園主人序, 馬島安節序, 徳斎  
原義正道校, 柳川谷城画

(1824) (1837) (1838)  
文政7序, 天保8校, 同9刊

名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目)

※刊年は『国書総目録』によるが, 巻末の「墓碣  
銘」に著者が天保11年に卒したことを記す。一  
名「筆隨意」。見返しに「前編 六卷」と書く  
が後編の刊行は知られていない。

10—05リ1 式百四拾壹全六 60銭

30006 ナンレイシ 南嶺子 一〜四 大4冊  
多田義俊(秋齋桂先生)著, 南海陶晃序, 良芸之伯  
耕序, 山中遊竜跋 (1749) (1750)  
寛延2序・跋, 同3刊

大坂 芳野屋十郎兵衛(高麗橋一丁目), 京  
芳野屋八郎兵衛(寺町通三条上ル町)

※第1冊表紙右下スミに「全部四冊」の小札。右  
上スミに小札剥落跡あり。「清徳堂圖書記」印  
あり。

10—05ナ8 大惣番号札剥落 30銭

30007 ゴサウマンビツ 梧窓湧筆 (前編)上・下・後篇上・下  
・三篇上・下 大6冊  
大田錦城(元貞)著, 前・後篇荒井堯民校, 三篇唐  
公愷校

前篇: 唐公愷序, 荒井堯民序, 元凱悌三序, 加  
藤善菴跋 (1813) (1823)  
文化10成, 文政6序  
後篇: 元愷悌三序, 片倉直薫沐序, 戸谷惟孝序,  
荒井堯民(晴湖)跋, 原沢諶文仲跋, 遊佐高幹  
跋, 本多茂徳跋 (1824) (1824)  
文政7序  
三篇: 唐公愷序 天保11刊

江戸 和泉屋金右衛門(横山町三丁目)

※大惣番号は三篇上冊に付されている。前篇上冊  
内題に「畏天録 知命録 畏聖録合刻」と副書。  
後篇上冊内題に「三録并啓廸録合梓」と副書。  
和泉屋は「製本所」とある。他の発兌書肆は煩  
雑にわたるので略す。

10—05コ35 式百三拾八共貳 75銭

30008 <sup>ブヘンバナシキキガキ</sup> 武邊咄聞書 一〜三 大1帙3冊  
國枝清軒著、藤森大雅序 <sup>(1850)</sup> 嘉永3刊  
江戸 和泉屋善兵衛 (本町三丁目)、京 出雲  
寺文次郎 (三条通舩屋町)、大坂 河内屋茂兵  
衛 (心齋橋通博勞町)、秋田屋太右衛門 (同安  
堂寺町)  
5—63フ8 て六百五拾九全三 30銭

30009 <sup>シウサイカンゴ</sup> 秋齋閑語 一〜四 大1帙4冊  
多田義俊 (桂秋齋) 著、華汀北貞卿序、門人多羅尾  
守脩校 <sup>(1753)</sup> 宝暦3刊  
大坂 柳原喜兵衛 (心齋橋鹽町河内屋)、江戸  
須原茂兵衛 (日本橋南一丁目)  
5—17シ3 こ百七拾七全四 30銭

30010(1) <sup>バイエンソウシヨ</sup> 梅園叢書 一〜三 大1帙3冊  
三浦安貞著・自跋 <sup>(1750)</sup> 寛延3自跋、安政2刊 <sup>(1855)</sup>  
大坂 文海堂・宋栄堂合梓・敦賀屋九兵衛 (心  
齋橋南一丁目)、京 錢屋惣四郎 (寺町本能寺  
前)、江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋一丁目)・須  
原屋伊八 (浅艸茅町)・岡田屋嘉七 (芝神明前)  
・山城屋佐兵衛 (日本橋二丁目)・和泉屋吉兵  
衛 (芝神明前)・出雲寺万次郎 (横山町一丁目)  
※後篇は(2)参照。  
1—84ハ1A こ百四拾式前篇三冊 (2)共30銭

30010(2) <sup>バイエンソウシヨ</sup> <sup>ダイニシフ</sup> 梅園叢書 第二集 上・中・下 大1帙3冊  
三浦安貞著・自序、加藤修子睦輯、「小のゝ波流参」  
跋 <sup>(1781)</sup> 天明元自序、同6跋、安政2刊か <sup>(1786)</sup> <sup>(1855)</sup>  
大坂 文海堂・宋栄堂合梓  
※前篇は(1)参照。三都発行書房、前篇に同じ。内  
題に「一名拾葉」と副書し、自序を「梅園拾葉  
題言」と題す。  
1—84ハ1B こ百四拾三後篇三冊

30011 <sup>セキヤマンビツ</sup> 斥邪漫筆 大他2冊と合1帙1冊  
深慨隠士著・自序、憂國野叟校・序、先憂子序  
衛道書屋蔵 <sup>(1864)</sup> 元治元自序  
※30229『斥邪二筆』と同帙。  
1—06セ1 ふ六拾番全式 10銭

30012 <sup>リケイニノキ</sup> 理慶尼の記 大1帙1冊  
理慶尼著、善庵老人跋 (同序か) <sup>(1837)</sup> 天保8跋  
三可書屋蔵  
※柱書「梅畦發書」。「蒼葉庵」印あり。題簽は  
「理慶尼の記一名武田勝頼滅亡記」完。  
5—10リ1 て六百七拾貳番全巻 15銭

30013 <sup>ナンボシウゲン</sup> 南畝莠言 上・下 大1帙2冊  
杏花園主人 (大田南畝) 著・自序、文宝亭筆録・跋  
江戸 角丸屋徳三郎・甚助 (麴町平川町二丁  
目)  
※巻末に「衆星閣蔵板目録」あり。  
10—05ナ5 こ貳百□ 35銭

30014 <sup>セキスイカンワ</sup> 積翠閑話 一〜四 大4冊  
積翠道人 (松亭 中村経年) 著、鷺溪樵夫序、梅の  
本鶯齋画 <sup>(1849)</sup> 嘉永2序、安政5刊 <sup>(1858)</sup>  
文溪堂・羣鳳堂、(以下は奥書の「三都書肆」)  
京 伎屋清兵衛 (駄屋町通姉小路上ル)・吉野  
屋仁兵衛 (三条通御幸町角)、大坂 河内屋茂  
兵衛 (心齋橋筋博勞町)・河内屋藤兵衛 (心齋橋  
筋本町角)、江戸 丁字屋平兵衛 (大伝馬町二  
丁目)  
※第3冊末に「此本何方に参り候共、楽書一切御  
断前以願置候 大惣知事 正月」と書込みあり、  
上から紙が貼られている。  
10—05セ4 こ百九拾三全四冊 40銭

30015 <sup>キタノベズイヒツ</sup> 北邊隨筆 初篇一〜四 大1帙4冊  
富士谷御杖著・自序 <sup>(1816)</sup> 文化13序、文政2刊 <sup>(1819)</sup>  
京 錢屋惣四郎・菱屋孫兵衛・木村吉右衛門・  
天王寺屋市郎兵衛  
4—69ホ1 こ百八拾四全四 60銭

30016 <sup>シセイマンロク</sup> 思齊漫録 上・下 大1帙2冊  
新齋中邨 (中村弘毅) 著・自序、不肖孫健跋  
文政3序、天保元跋、同3刊 <sup>(1820)</sup> <sup>(1830)</sup> <sup>(1832)</sup>  
京 田中屋専助 (二条通高倉西)  
※上巻末に、大惣による書込みが残る。  
1—84シ11 こ貳百五拾□全貳 30銭

30017 良齋問話 上・下・続上・下 大4冊  
 安積良齋(信・祐助)著, (正篇) 近藤忠謹序, (続篇) 森田楨序  
 (1840) (1841) (1849) (1851)  
 (正) 天保11序, 同12刊, (続) 嘉永2序, 同4刊  
 江戸 須原屋源助(筋違御門内通新石町), 京  
 勝村治右衛門(寺町通松原下ル), 大坂 田中  
 太右衛門(心齋橋通安堂寺町)・岡田茂兵衛(同)  
 1—69コ17 (正) 二式百七拾三前編式冊  
 ・(続) 二式百七拾四続編式冊 30銭

30018 撈海一得 上・下 大2冊  
 木煥卿(鈴木嘉蔵)著・自序, 関脩齡序  
 (1771)  
 明和8序・刊  
 江戸 雁金屋伊兵衛(小石川伝通院前)・須原  
 屋伊八(下谷池之端仲町)・花房屋平三郎(駒  
 込吉祥寺前), 大坂 柏原屋清右衛門(心齋橋  
 筋順慶町)  
 ※見返しに「湧書隨筆トモ云」とあり。  
 10—05ロ2 二式百八拾四全式 25銭

30019 舊蹟紀聞 甲・乙 大1帙2冊を合綴1冊  
 大寂菴立綱著・自序, 喜多武清画, 本間游清跋  
 (1817) (1825)  
 文化14序, 文政8刊  
 江戸 和泉屋金右衛門(横山町三丁目)  
 ※見返しに「一名浮草の跡」とあり, 他に文化14  
 (1824)  
 初版と文政7版が知られている。  
 4—69キ1 二式百六拾七 40銭

30020 世事百談 一〜四 大4冊  
 山崎美成(久作)著 (1843)  
 天保14刊  
 江戸 英屋文蔵(下谷御成道)  
 ※第3冊末・第4冊見返しに大惣の書込みあり。  
 発行書肆多数, 省略。  
 10—05セ2 全四 50銭

30021 武林名譽録 一〜五 大1帙5冊  
 栗原信充著・自序 (1846)  
 弘化3刊  
 江戸 知新堂紙屋徳八(下谷御成道旅籠町一町  
 目), 京 御書物所出雲寺和泉掾(三条通竹屋  
 町), 大坂 河内屋喜兵衛(心齋橋通南久太郎  
 町)・堺屋新兵衛(心齋橋通南久宝寺町)  
 5—63フ11 二式百三拾九全五 40銭

30022 破れ家のつくり話 天・地・人 大1帙※参照3冊  
 鬼國山人(新宮涼庭)著・自序, 九方生肇校・序  
 (1847)  
 弘化4序

書肆不明

※経済篇・政事篇・史術篇より成る。2—42ヤ2  
 の異本3冊と同帙。柱書「諸家改革話」。同帙  
 なる異本の柱書には「破レ家ノツ・クリ話」。  
 異本はひとまわり大きく, 第1冊第1丁欠。

2—42ヤ1 二式百三拾式全三 25銭

30023 出定笑話 壹〜七 半1帙7冊  
 平田篤胤著, 従五位上近江守都下朝臣資政序, 大野  
 屋惣八写 (1849) (1851)  
 嘉永2序, 同4写

写本

※序によれば, 延享のころ富長仲基が著した『出定  
 後語』という仏道を論じた書に共鳴して, 篤胤  
 が「それに翁の論ひをもおほくそへてものしつ  
 るなり」という。翁とは本居宣長。『国書総目  
 録』によれば, 別名「仏道大意」「大迷辨講本」。  
 第7冊末尾に「活板出定笑話四巻今年平仮名に  
 改め写して(ママ)巻とす此本を以てよみなば文字に  
 うとき人もたやすく其意を解へしといふべし  
 嘉永四年辛亥孟春 大野屋のあるじいふ」とあ  
 り。大惣の半紙を使用。30241(版本)参照。

1—20シ5 全六七 40銭

30024 想山著聞奇集 壹〜五 大1帙5冊  
 三好想山著, 方外子無党社主僧允序, 佐々木庸綱序,  
 青山直定序, 青山直意跋  
 (1849) (1850)  
 嘉永2序(僧允・佐々木), 同3序(青山)・跋  
 書肆不明

4—47シ6 二式百六拾七全部五冊 75銭

30025 閑田文草 壹〜伍 大1帙5冊  
 伴蒿蹊著, 男資規・門人等編, 浦世繼序, 資規序  
 (1802) (1803)  
 享和2序, 同3刊

大坂 今津屋辰三郎・和泉屋源七, 京 錢屋惣  
 四郎・梅村伊兵衛・菱屋孫兵衛・著屋宗八・西  
 村吉兵衛・文臺屋太兵衛

※第5冊は「附録 門人文集」。

4—30カ4 二式百〇七全五冊 75銭

30026 スンキンザツテツ 寸錦雜綴  
特大(28.6×20.0cm) 1帙1冊  
風来亭主人序, 獨吟子緑青人跋  
書肆不明  
(1795)  
※寛政7以後の刊行。  
5—18ス3 乙三百貳拾壹 2円

30027 ダイゴズイヒツ 醍醐隨筆 上・下 大2冊を合綴1冊  
中山三柳(忠義)著・自序 寛文10自序・刊  
京 中村七兵衛  
※墨書後補題簽の上半分剥落。「筆全」のみ残る。  
朱で書込みあり。刊記の前に朱書「法橋三柳中山氏か筆記と云 橋秀皓」。10—05タ2に, 刊記のみ異なる後刷本あり。  
10—05タ3 大惣番号札剥落 60銭

30028 キュウケンシヤマンピツ 宮川舎漫筆 壹〜五 大1帙5冊  
宮川舎政運著・自序, 叩端山人序, 徳齋原義補訂,  
柳川重信画 安政5序, 文久2刊  
(1858) (1862)  
江戸 三笠堂・須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)・山城屋佐兵衛・小林新兵衛(同二丁目)・岡田屋嘉七(芝神明前)・英大助(本石町十軒店)・丁字屋平兵衛(大伝馬町二丁目)・和泉屋金右衛門(横山町三丁目)・須原屋伊八(浅草茅町二丁目)・紙屋徳八(筋違御門外旅籠町一丁目), 京 出雲寺文次郎(三条通升屋町), 大坂 河内屋喜兵衛(心齋橋通北久太郎町)・河内屋茂兵衛(同博労町)・河内屋藤兵衛(同筋本町角)  
※『国書総目録』には「ミヤガワノヤマンピツ」とするが, 上記書名は第1冊の振仮名による。  
10—05ミ1 乙百六拾五全五冊 50銭

30029 ジンコクキ 人國記 卷之上壹・二・卷之下三・四  
半1帙4冊  
(1700) (1701)  
木齋平祖跋 元禄13跋, 同14刊  
江戸 近江屋仁兵衛(日本橋南中通左内町)  
※第1冊の表紙には題簽・大惣番号の他に「地」「□□□六十六番」「全部四冊」なる三枚の札が貼られている。題簽は「新刊人國記」。  
5—82シ8 つ拾壹番 30銭

30030 ヨブコドリ 世風古渡里 上・下 半1帙2冊  
蘇生堂(津村天長)著・自序 宝永7序・刊  
(1710)

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目), 大坂 塩原喜助(心齋橋筋)  
※上巻の題簽「世風古渡里 上」, 下巻の題簽「よふことり 下」, 内題・柱書「喚子鳥」。鳥の飼育手引書。

9—27ヨ1 そ九百五拾九全式 35銭

30031 シンベン 新編 漢事始 卷之一二・三四・五六  
半1帙3冊

貝原好古(恥軒)著・自序・自跋  
(1682) (1696) (1697)  
天和2序, 元禄9跋, 同10刊  
※内題「中華事始」。上記書名は原題簽による。刊記は「元禄十年夏五月/平安城書林」とあって  
書肆名は削られている。ただし, 「享保六辛丑歲 平安六角御幸町茨城多左衛門」の蔵書目録がついている。再板本。

4—85カ4 そ五百貳拾八 30銭

30032 トウケンキ 東見記 乾・坤 半1帙2冊を合綴1冊  
ト幽軒著・自序, 山野節序, 下懋齋野傳跋  
(1688)  
貞享3序・刊

京 柳枝軒

※題簽は「東見記 乾(坤)」(坤字書込み)。表紙には「□貳番」と書いた札が貼られている。裏表紙上部に「東見記」と書いた札が付されている。

4—85ト6 大惣番号札剥落 20銭

30033 ラクダカウ 駱駝考 大1冊  
它山唐公愷著・自跋, 武臣席吉校・序, 山崎美成序,  
加藤善菴良白甫序, 平武官序 文政7序  
(1824)

江戸 和泉屋金右衛門(両国横山町三丁目)

※表紙に「禽」(朱)と書かれた紙が貼られている。上記書名は原題簽による。内題・柱書は「駱駝考」。見返しに, ラクダを画いた「倣銅版昌/東陽寫」の挿絵あり。

6—24ラ2 乙八百四拾四 15銭

30034 キョカウシ 居行子 一〜五 大1帙5冊  
西村遠里著, 岡本隠龍川序 明和9序, 安永4刊  
(1772) (1775)  
京 万屋重兵衛・銭屋善兵衛(ともに堀川四条上ル町)

※表紙に「千貳百七十八」の札あり。

10—05キ4 乙百五拾壹初編全五 30銭



30035 <sup>キンセイキセキカウ</sup> 近世奇跡考 一〜五 半1帙5冊  
醒醒老人(醒々齋・山東軒主人)著, 可菴源武清画,  
鵬齋序, 聴雨楼主人序, 一杖序, 武清跋, 秋颺跋  
(1804)  
文化元序・跋・刊

瑞玉堂蔵版, 大坂 河内屋太助(心齋橋唐物町),  
江戸 大和田安兵衛(大伝馬町二丁目)

※5-18キ2の『近世奇跡考』は刊年不明, 江戸,  
青山清吉版, 大本2冊である。

5-18キ1 そ六百拾三全五冊 50銭

30036 <sup>カナセセツ</sup> 假名世説 上・下 半1帙2冊  
杏花園蜀山著, 文宝堂散木補・跋, 山崎美成序  
(1824) (1825)  
文政7序, 同8刊

江戸 角丸屋甚助(麴町四丁目南側)・角丸屋  
徳三郎(同五丁目大横町)

※蜀山人の自筆題詩, 文宝堂による蜀山人肖像画  
あり。

4-20カ4 そ六百七十番全式冊 30銭

30037 <sup>ヤクワイノキ</sup> 夜會記 一〜四 大4冊  
(熊沢蕃山)著・自序 (1715) 正徳5刊  
大坂 柏原屋清右衛門・河内屋宇兵衛・吉文字  
屋市兵衛

※見返しに「熊澤遊會實録五冊 集義和書 集義  
外書」と書込みあり。読点書込みあり。蕃山著  
ということは明記されていない。『蕃山全集五』  
参照。

1-81ヤ1 や式百四拾番 60銭

30038 <sup>シヨコクハウゲン</sup> 諸國 <sup>ブツルイシヨウコ</sup> 物類稱呼 一〜五 半1帙5冊  
方言 物類稱呼 (1775) 安永4刊  
越谷吾山秀真著・自序

江戸 須原屋市兵衛・同善五郎

※題簽のみ「諸國方言」の角書がある。序は「物類  
稱呼諸國方言序」, 各巻の内題及び柱書は単に  
「物類稱呼」。各巻の内容は(一)天地人倫(二)  
禽獸魚虫(三)艸木(四)衣食器財(五)言語。

4-66フ1 そ五百三十六全五冊 60銭

30039 <sup>シヤサウシギ</sup> 社倉私議 大1冊  
中井善太・竹山居士著 中井善太「社倉私  
議」(1774) 安永3成, 竹山居士「社倉私議附録」寛政  
(1794) 6成 書肆・刊年不明

※大惣番号の隣に朱字で「経」と記した札が貼ら  
れている。竹山居士は中井善太の子, 中井積善  
である。

3-26シ3 や千三番 5銭

30040 <sup>カウセイサウバウキゲン</sup> 校正草茅危言 一〜十 大1帙10冊  
竹山居士中井積善著・自序 (1789) 寛政元序  
書肆不明

※上記書名は原題簽による。内題・柱書は「草茅  
危言」。

2-42ソ1 や九百貳拾五共拾 30銭

30041 <sup>ナルベシ</sup> 南留別志(奈流遍之) 一〜五 大5冊  
荻生徂徠著, 宇恵校, 平好古跋 宝暦11序, 同12刊  
(1761) (1762)  
江戸 村田小兵衛・須原屋茂兵衛

※30069『徂徠先生可成談』・31027(写本)参照。  
原題簽, 第1・3・5冊が「南留別志」, 第2・  
4冊が「奈流遍之」。各冊内題は「徂徠先生南  
留別志」。第5冊に「附和歌世話」。

10-05ナ4 こ百五拾五全五 40銭

30042 <sup>ヨウシヤバコ</sup> 用捨箱 上・中・下 大1帙3冊  
柳亭種彦著・自序 (1841) 天保12刊  
江戸 菊屋幸三郎(馬喰町四丁目)・加賀屋源助  
(下谷長者町一丁目)・英屋文蔵(下谷御成道)

※中・下冊の見返しに落首書込みあり。

5-18ヨ1 こ式百貳拾九全三 40銭

30043 <sup>グワレキザツカウ</sup> 瓦礫雜考 乾・坤 大1帙2冊  
筠居喜多村節信著・自序, 如實道人序 (1817) (1818)  
文化14序, 同15刊

江戸 須原屋善五郎(日本橋瀬戸物町)・松屋  
要助(京橋銀座二丁目)

※坤冊の見返しに落首。

5-18カ1 こ式百七拾貳 50銭

30044 <sup>シヨウテイマンビツ</sup> 松亭漫筆 上・下 大2冊  
松亭金水著・自序, 溪齋泉英画 (1850) 嘉永3序

大坂 河内屋茂兵衛(心齋橋筋博労町角)・河  
内屋藤兵衛(心齋橋筋本町角), 京 河内屋藤四  
郎(寺町通仏光寺), 江戸 須原屋茂兵衛(日本  
橋通一丁目)・山城屋佐兵衛(同二丁目)・須原  
屋新兵衛(同二丁目)・山城屋政吉(南伝馬町  
一丁目)・英文蔵(下谷御成道)・丁字屋平兵衛

(大伝馬町二丁目)・岡田屋嘉七(芝神明前)・

和泉屋吉兵衛(同)

10—05シ8 こ式百八十八全式冊 30銭

ヨコハマカイウケンブン シ  
30045 横濱開港見聞誌 (前篇)上・中・下・  
後篇上・中・下 半1帙6冊

橋本玉蘭齋著, 五雲亭貞秀画  
(1862) (1865)  
(前篇)文久2序, (後篇)慶応元序

書肆不明

※後篇3冊の題籤は「横濱見聞誌」(墨)である。

各冊の第1丁に梗概をのせる。

5—83ヨ1 (前)さ式百八十九全三

・(後)さ式百九十全三 40銭

ミヅノヲノラカシ  
30046 水雄岡志 一上・中・下・二上・下

大1帙5冊

栗原孫之丞信充著 弘化4刊

江戸 青雲堂英文蔵(下谷御成道)

※清和天皇の本紀(一)及び清和源氏の系図(二)  
より成る。

5—62ミ2 こ百六拾八全五 40銭

ヒヤウクワマンビツ  
30047 萍花謗筆 上・下 大1帙2冊

桃花園著・自序

書肆・刊年不明

※桃花園は江戸の人。彩色の絵入り。

5—18へ1 こ式百七拾五 2円

リウアンザツビツ  
30048 柳菴雑筆 一〜四 大1帙4冊

栗原信充著・自序 弘化2序, 嘉永元刊

江戸 紙屋徳八(神田旅籠町一丁目), 京 出  
雲寺文次郎(三条通升屋町), 大坂 河内屋喜兵  
衛(心斎橋通北久太郎町), 江戸 須原屋茂兵衛  
(日本橋通一丁目)・山城屋佐兵衛(日本橋通二  
丁目)・小林新兵衛(日本橋通二丁目)・岡田屋  
嘉七(芝神明前)・英大助(本石町十軒店)・和  
泉屋金右衛門(横山町三丁目)・須原屋伊八(浅  
草茅町二丁目)・岡村庄助(下谷池之端仲町)・  
英文蔵(下谷御成道)

※大惣番号・大惣印なし。「木平蔵書」大 耕閑堂  
「誠」の印, および「美濃第五大區十五ノ小區宛  
八郡中野村小川清五郎蔵書」の記入あり。

5—18リ1 大惣番号札原欠か 60銭

ヨウシヨマンビツ  
30049 擁書漫筆 一〜三・四上・四下

大1帙5冊

高田與清著, 大田覃序, 梅園樵叟北慎言跋

(1816) (1817)  
文化13序・跋, 同14刊

江戸 角丸屋甚助(麴町平川町一丁目)・松屋

要助(京橋銀座二丁目)・伊勢屋忠右衛門(新  
橋南大坂町)

5—18ヨ2 こ百六拾番 60銭

サンセイロク  
30050(1) 三省録 一〜五 大5冊

志賀理齋著, 徳齋原義補・序, 千賀輯序, 翹齋海老  
名綱跋, 山崎美成跋 天保元成, 同14刊

江戸 和泉屋金右衛門(横山町三丁目)・英文  
蔵(下谷御成道), 原三右衛門蔵板

※「萩原文庫」「緑毛園」の印あり。後篇につい  
ては(2)参照。

10—05サ3 こ百拾三前五冊 後篇共60銭

サンセイロク  
30050(2) 三省録 後篇一〜五 大5冊

徳齋原義著・自序 安政3序, 文久3序・刊

江戸 須原屋茂兵衛・山城屋佐兵衛・和泉屋金  
右衛門・本屋勝蔵・英屋文蔵, 原三右衛門蔵板

※前篇については(1)参照。

10—05サ3 こ百拾四後編五

ギウ バモン  
30051 牛馬問 一〜四 大4冊

新井白蛾祐登著・自序 宝暦5序, 同6刊

京 菱屋新兵衛(寺町通三条上ル丁), 大坂 吹  
田屋多四郎(高麗橋一丁目)

※大惣印のほか「名古屋書林八本市」印, ひょ  
うたんの印がある。

10—05キ2 大惣番号札原欠か 30銭

カツ マモンダフ  
30052 勝間問答 一〜三 大1帙3冊

平田篤胤著

写本

(1822)  
※三巻末の記事に「文政五年二月朔日」, 「また追  
つぎてしるす」が「二月十五日」となっている。  
上記書名は題籤による。内題は「嘉津問答問  
仙童真 言物語」。『国書総目録』には「仙境異聞」とし  
て載る。

8—86カ1 ふ三拾九全三 50銭

マンイウキダン  
30053 漫遊記談 前篇乾・坤 半1帙2冊  
洗心山人黒崎貞孝至純著・自序, 谷文晁ら画  
(1826)  
文政9自序

書肆不明

※常陸・下野の地誌。『国書総目録』には「常陸紀行」として載る。本文の巻頭・巻末に, この2冊が「前編」の旨を記す。

5—83マ2 そ九百七拾三全式 35銭

コジヤウセキワ ウンコンシ  
30054(1) 湖上 雲根志 前篇一・二上・二下  
石話 雲根志 前篇一・二上・二下  
・三—五 半後篇・三篇と合1帙6冊

木内小繁著・自序, 葦葎堂主人序  
(1772) (1773)  
明和9自序, 安永2序・刊

大坂 高橋平助(心斎橋通南久宝寺町), 京 斎藤庄兵衛, 江戸 前川六左衛門

※後・三篇については(2)(3)参照。

8—52ウ1 そ八百四十三  
後篇・三篇共1円50銭

ウンコンシ  
30054(2) 雲根志 後篇一上・一下・二・三上・  
三下・四 半前篇・三篇と合1帙6冊  
木内小繁著, 拙巢山人序 (1779)  
安永8序

※刊記は前篇と同一の板で「安永二年発行」になっている。

8—52ウ1 そ八百四十四共六

シヨコクセキワ ウンコンシ  
30054(3) 諸國 雲根志 三篇一—六  
石話 雲根志 三篇一—六  
半前篇後篇と合1帙6冊

木内小繁著, 宇治五十規序, 藤井元肅跋  
(1801)  
享和元序・跋・刊

大坂 高橋平助(心斎橋筋南久宝寺町)

8—52ウ1 そ八百四十五共六

アカボンセンセイ オトギバナシ  
30055 赤表 御伽話 天・地・人  
先生 御伽話 天・地・人  
半1帙3冊

魯鈍齋(吉田正恭)著・自序・自跋  
(1790)  
寛政2自序・刊  
江戸 遠州屋弥七(元飯田町中坂)・和泉屋吉左衛門(麹町平川町二丁目)

※現在の配架番号は下の通りだが, 3冊に貼られたラベルには「Ⅴ—21—オー1」。柱には「御伽話初篇」。いわゆる「赤本」ではなく, 博物的随筆。

薬学01 そ六百五十番全三 50銭

ケツモウロク(ケツジロク)  
30056 結耗録 上・中・下 半3冊  
松岡玄達著, 高峻序, 岡元鳳跋 (1759)  
宝暦9序・刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目), 大坂和泉屋文助(御池通六丁目)

※早大の目録には「ケツモウロク」, 『国書総目録』によると「ケツジロク」。表紙に「 三十六」および「全部三冊」の札あり。上冊題簽にのみ「結耗ノ録」と「ノ」が入る。

10—05ケ4 そ六百四十九全三冊 25銭

タウドウキヒツ  
30057 桃洞遺筆 第筆輯上・中・下・式篇上・  
中・下 大1帙6冊

小原桃洞(八三郎源良直)著, 小原蘭峽編, 近藤好道序, 本居大平序, 鹽路鶴堂画

(初篇) (1833) 天保4序・刊, (式篇) 嘉永3刊

(初)和歌山 帶屋伊兵衛(新通二丁目)・総田屋平右衛門(同三丁目)・阪本屋喜一郎(同中ノ島), (式)和歌山 阪本屋喜一郎(駿河町)・阪本屋大二郎(湊昌平河岸), ほかに三都に2軒ずつの発行書肆あるが省略

※ラベルは「Ⅴ—21—ト—2」。式篇は表紙改裝。

薬学T12 式百拾卷全三 70銭

ネンザンキブツ  
30058 年山紀聞 第一—第六 大1帙6冊

安藤為章(年山)著, 小宮山昌秀序, 閑田盧高蹊序, 橋経亮跋 (1799) (1803) (1804)  
寛政11序, 享和3跋, 文化元刊

京 小川多左衛門・菱ヒ岐惣四郎・北村莊助・林伊兵衛・小川五兵衛・能勢儀兵衛, 江戸 北沢伊八・北沢孫七

※第六末尾の「圓珠庵契冲阿闍梨行實」なる文章に, 「元禄壬午正月十一日」と記す。『年山打聞』を板行したもの。

4—22ネ1 こ百三拾四 60銭

ハチジフヲウムカシバナシ  
30059 八十翁嚙昔話 大1帙1冊

新見傳左衛門(正朝 政友入道)著・自序, 東岳司直序 (1837)  
天保8刊

江戸 尚友堂(岡村屋庄助)

※奥書「原本初葉另題書名下記数言如左/新見老人むかしむかし物語老人は享保の初八十余歳此物語は寛延年間に記したる也」とあり。絵入り。

5—18ハ1 こ三百〇七   30銭

30060 <sup>バウサウマンロク</sup> 茅窗漫録 上・下・餘集上・下 大1帙4冊  
(1829) (1833)  
茅原定著・自序 文政12序, 天保4刊  
江戸 岡田屋嘉七, 大坂 秋田屋太右衛門, 京  
菱屋孫兵衛・著屋宗八・升屋利助・山城屋佐  
兵衛・金屋吉兵衛・橋屋嘉助  
※彩色絵入り。各冊の構成について, 題簽は上記  
のように記すが, 内容は上・中各1冊, 下2冊。  
5—18ホ1 こ百八拾式・こ百八拾三 1円

30061 <sup>セウカンザツキ</sup> 消閑雑記 乾・坤 大2冊  
一時軒(岡西)惟中著・自序, 八日菴萬和閣, 晋臥  
鵬跋 (1825)  
文政8刊  
大坂 岡田種玉堂蔵板・河内屋儀助(心斎橋北  
久太郎町), 名古屋 永楽屋藤四郎(本町), 江  
戸 大坂屋茂吉(日本橋砥石町), 京 吉野屋  
仁兵衛(三條通鉄屋町東江入町)  
(1830)  
※延宝8刊の『統無名抄』の改題本。  
10—05シ28 こ式百五拾九全式 30銭

30062 <sup>イウエンズイヒツ</sup> 幽遠隨筆 乾・坤 大1帙2冊  
入江昌喜著・自序, 丹叟序 (1774)  
安永3序・刊  
大坂 田原平兵衛(心斎橋塩町)  
※後人の書入れ多し。乾冊表紙から第2丁にかけ  
て焼けこげあり。「10—05ユ1」に同版の別本  
あり。  
10—05ユ1B こ式百七拾六 30銭

30063 <sup>シュンタイザツワ</sup> 駿臺雑話 仁・義・礼・智・信 大5冊  
室鳩巢著・自序, 藤原明遠序 (1732) (1750)  
享保17自序, 寛延3序・刊  
江戸 崇文堂前川六左衛門(日本橋南二町目)  
※書名は, 仁集5丁オモテの「駿臺問答」との振  
仮名による。柱書は「巻之一〜巻之五」。  
1—69ス3 こ百拾壹合五 60銭

30064 <sup>テウセンモノガタリ</sup> 朝鮮物語 上・中・下 大1帙3冊  
大河内茂左衛門尉源朝臣秀元著, 弘菴陳大雅序,  
大河内造酒久秀連跋 (1672) (1849)  
寛文12跋, 嘉永2序・刊  
糸魚川藩 佐治信蔵版, 大坂 近江屋茂兵衛  
(松屋町), 江戸 和泉屋善兵衛(本町三丁目)  
※内題は「大河内 秀元 陳中日記 / 朝鮮物語<sup>全部</sup>」。  
刊記の「近江屋茂兵衛」は書込み。各冊表紙見

返しに落書多し。

5—13チ3 て六百六拾全三 30銭

30065 <sup>ヒヤツカキ カウデン</sup> 百家崎行伝 5冊  
所在不明。廃棄か。

40銭

30066 <sup>タウサイセンセイズイヒツ</sup> 陶齋先生隨筆 大1帙1冊  
趙陶齋(趙養)著, 村上恒菴編・跋 (1810) (1826)  
文化7跋, 文政9刊  
京 吉野屋仁兵衛, 江戸 前川六左衛門, 大坂  
河内屋長兵衛・河内屋佐助  
8—43ト3 こ三百〇四 20銭

30067(1) <sup>シヨコクキダン トウイウキ</sup> 諸國 奇談 東遊記 一〜五・後篇一〜五  
半1帙10冊  
橋南谿子著, 愚山松本慎序(正・後篇共同文の序),  
閑田子蒿蹊序(後篇) (1795) (1797)  
(正篇) 寛政7序・刊,  
(後篇) 寛政7序(正篇の松本慎序と同板), 同9刊  
京 西村平八(正篇のみ)・著屋儀兵衛・田中  
屋惣助・万屋九兵衛・秋田屋藤兵衛(以上正・  
後篇共)・金屋宗助(後篇のみ), 大坂 塩屋平  
助(正・後篇共)  
※後篇第1・2・3・5冊巻頭に「小倉山房」な  
る陰刻朱印あり。『西遊記』と同じ配架。帙に  
は「東西遊記, 東遊記1—10」とあり。(2)参照。  
5—85ト7 つ式百拾壹全五冊(正篇)  
・つ式百拾式③(後篇)  
(西遊記と合わせて) 1円50銭

30067(2) <sup>シヨコクキダン セイイウキ</sup> 諸國 奇談 西遊記 一〜五・統篇一〜五  
半1帙10冊  
橋南谿子著, 閑田子蒿蹊序(初篇・統篇共同文の序)  
(1795) (1798)  
(初篇) 寛政7刊, (統篇) 同10刊  
(初篇) 京 西村平八・万屋九兵衛・田中屋惣  
助  
(統篇) 京 秋田屋藤兵衛・万屋九兵衛・田中  
屋惣助・著屋儀兵衛, 大坂 吉文字屋市左衛門  
・藤屋弥兵衛・鹽屋平助  
※初篇第1・5冊に「胡月堂印」なる陰刻朱印,  
および『近世貸本屋の研究』(長友千代治氏)  
に紹介された「大惣貸本関係印譜」に見あたら  
ない「大野屋」の印がある。また初篇第1冊表

紙には「地」「全五」と書かれた札が、続篇第1冊表紙には「地」「寄」と書かれた札が貼られている。『東遊記』と同じ配架。帙には「東遊記、西遊記11—20」とあり。(1)参照。

5—85ト7 つ式百拾三初篇全五  
・(統篇)つ式百拾四番全五冊

30068 <sup>ナガサキ ヤ ワ サウ</sup> 長崎夜話舐 一〜五

半1帙5冊を合綴1冊

西川正休著、釣渚子序、西川正昌跋  
(1719) (1720)  
享保4序、同5跋

京 茨城多左衛門(六角通御幸町西入町)

※第1冊、見返しに「式番」と書込み、表紙下部「長崎夜話五巻」の札が貼られている。第1冊のみ後補墨書題簽、第2〜5冊は原題簽。原5冊を表紙とともに1冊に合綴している。

5—83ナ3 つ四十七番全五冊 30銭

30069 <sup>ソライセンセイナルベシダン</sup> 徂徠先生可成談 上・中・下

半1帙3冊を合綴1冊

荻生徂徠著、大江漁人序  
(1736)  
元文元序・刊  
書肆不明

※奥付には「元文改元丙辰年冬十一月 皇都書舖」とのみあって名を記さない。30041に宝暦12版『南留別志』がある。この元文元版のほうに内容が少量である。「此書徂徠先生ノ著述トハ偽ナランカ」等の落書夥し。原題簽と本文巻頭は上記書名の如くだが、序・柱書・中・下冊巻頭は「可成談」。「本正」の印、及び記名がある。また、31027参照。

10—05カ4 そ六百四十九全三冊 20銭

30070 <sup>ヲ コタリクサ</sup> 嗚呼矣草 一〜五 半1帙5冊

田仲宣(田宮仲宣・東陽子)著、田宮禎画、東山投稿人序、左京錦里忍容齋序 文化2序、同3刊  
(1805) (1806)  
京 著屋儀兵衛(三条通御幸町)、江戸 蠶屋喜右衛門(通油町)、大坂 河内屋太助蔵板(心斎橋通唐物町)

※末尾に「大坂書林森本文金堂蔵板目録」を付す。  
(1803)  
享和3刊『東陽子』の統篇。

10—05オ5 そ六百拾巻全五 25銭

30071 <sup>ロスイカンドン</sup> 鷺水閑談 一〜四 半4冊

三省軒鷺水(青木鷺水)著、福竹序、竹洞山人跋、  
(1756) (1757)  
「筆者 洛陽中川湖竜子」 宝暦6序、同7刊

京 広文館白木屋半右衛門(三条通寺町北行當)  
・博愛堂長濱屋九郎右衛門(三条河原町東江入)

※各巻頭に「九皐堂」の印あり。

10—05ロ1 そ六百貳拾六 25銭

30072 <sup>カウシフ ヨ ヒツ</sup> 講習餘筆 一〜四 大4冊

藤原明遠深蔵著・自序、伊奈忠賢序 延享4序・刊  
(1747)  
江戸 前川六左衛門(日本橋南二町目)

※第1冊の表紙に、題簽・大惣番号札以外に朱書の「経」、および墨書の「 五十六」の札がある。第4冊見返しに「朝鮮伝来桃源丹」の広告が付されている。

1—69コ11 や貳百三拾五全四 35銭

30073 <sup>ケンサラヘスマヒツ エ</sup> 拳會角力圖會 上・下 大2冊

義浪・吾雀著、童蒙叟序、吾雀序、義浪跋、松好齋画、桃溪校補、高蔵筆、鐵格子画讃狂歌  
(1808) (1809)  
文化5序、同6刊

江戸 村田屋治郎兵衛(通油町)、大坂 河内屋太助(心斎橋通唐物町南)

8—64ケ1 こ九百三拾貳全式 45銭

30074 <sup>ト ハズ ガ タ リ</sup> とはすかたり 大1帙1冊

中井楚菴(貽範先生中井誠之)著・自序、中井積善跋  
(1728) (1791)  
享保13序、寛政3跋・刊

大坂 敦賀屋六兵衛(心斎橋通順慶町)・鹽屋忠兵衛(心斎橋通北久太郎町)

※表紙に「隨筆」と朱書の小札あり。「貽範先生略傳」を附す。

1—84ト4 こ三百〇三全 15銭

30075 <sup>シヨコクメイギカウ</sup> 諸國名義考 上・下 大他2冊と合1帙2冊

齋藤彦麻呂著、本居意富比良序、龍田常道序  
(1810) (1811)  
文化7序、同8刊

江戸 柏屋忠七(下谷御成道)・英平吉(本石町十軒店)  
(1843)

※天保14版2冊(5—82シ4)と同帙。下巻末に「萬笈堂英遵蔵板目録」を附す。表紙に「居」と書かれた八角形の札あり。

5—82シ5 ふ五拾七全式冊 40銭



30076 <sup>キツサウチャワ</sup> 橘惣茶話 上・中・下

大他3冊と合1帙3冊  
芳洲雨森東伯陽甫著、篠應道安道校・序

(1786)  
天明6序・刊

京 斎藤庄兵衛(堀河綾小路下ル町)、江戸 前川六左衛門(日本橋通三丁目)、大坂 高橋平助(心斎橋筋南久宝寺町)・同喜助(心斎橋筋南久太郎町)蔵板

※同板の48441番の3冊と同帙。上冊の表紙に、「千式百十七」の札あり。

10—05キ1B こ式百貳拾貳 35銭

30077 <sup>カウ コ セウロク</sup> 好古小録 乾(金石／書畫)・坤(雜考)

大2冊  
藤原貞幹(無佛齋)著、橘經亮序

(1794) (1795)  
寛政6序・同7刊

京 林伊兵衛・小川多左衛門・西田莊兵衛・北村莊助・鶴鶴惣四郎(文錦堂・柳枝軒・盈進堂・瑤芳堂・竹苞樓)

8—49コ2 こ式百五拾貳全二 25銭

30078 <sup>カウ コ ニテロク</sup> 好古日録 乾・坤 大2冊

藤原貞幹著、藤原資同序

(1796) (1797)  
寛政8序、同9刊

書肆は30077『好古小録』に同じ

※原題簽の上に墨書題簽を後補(乾坤共)。

8—49コ3 大惣番号札剥落 50銭

30079 <sup>カンサン ヨ ロク</sup> 閑散餘録 乾・坤 大2冊

南川維遷士長著、宓水龍公美序、北海江邨綾序、高文角跋

(1770) (1772) (1773)  
明和7緒言、安永元序、同2序

書肆不明

※「乾・坤」は墨書後補題簽による。内題では「卷之上・下」。乾冊見返しに、本書を宣伝する刷り物を貼る。大惣札の上に朱書「傳」札あり。

1—69カ13 こ四拾六全貳冊 30銭

30080 <sup>ホクエツセフ</sup> 北越雪譜 初篇上・中・下・二篇春・

夏・秋・冬 大1帙7冊

鈴木牧之著、京山人百樹刪定序、京水百鶴画

(1835) (1836)  
(初篇)天保6序、同7刊

(1840) (1842)  
(二篇)天保11序、同13刊

江戸 丁子屋平兵衛(小伝馬町三丁目東側)、

大坂 河内屋茂兵衛(心斎橋博労町)・河内屋喜兵衛(心斎橋通北久太郎町)＝二篇のみ

※落書き甚し。

5—83ホ2 さ百六拾九初篇三冊

・二篇の札判読不能 50銭

30081 <sup>ノ ノ ヤズイヒツ</sup> 野乃舎随筆 大1帙1冊

大石千引著、知非斎のあるじ序、大石千世跋

(1820)  
文政3序・跋

江戸 耕文堂

※大惣札のわきに「随筆」(朱)札。

4—69ノ1 こ三百〇五 15銭

30082 <sup>ム サンノバナシ</sup> 武蔵野話 一～四 大1帙4冊

鶴磯樵夫著・自序、本多栴序、南嶺紀順画

(1814) (1815)  
文化11序、同12自序・刊

江戸 琢玉斎蔵板・須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)・須原屋伊八(下谷池之端仲町)

※第1冊表紙に「地」なる八角形の札あり。

5—83ム1 さ三拾七全四 65銭

30083 <sup>ハクセキセンセイ キ シンロン</sup> 白石先生鬼神論 上・下 大2冊

新井白石著、芙蓉高校、天山眞逸序

(1770) (1800)  
明和7免、寛政12序・刊

大坂 藤屋弥兵衛(高麗橋通)・河内屋太助(心斎橋通)

※表紙に「五十九」の札あり。上記書名は見返しの内題による。原題簽は「鬼神論」。

1—29キ4 や貳百八十八 25銭

30084 <sup>ナガサキブンケンロク</sup> 長崎聞見録 長・崎・聞・見・録

(一～五) 大1帙5冊

廣川瀨著・自序

(1797) (1800)  
寛政9序、同12刊

京 林伊兵衛・林喜兵衛・藤井孫兵衛、大坂 浅野弥兵衛・森本太助・岡田新治郎

5—83ナ2 さ七拾貳全五冊 30銭

30085 <sup>マツノヤセンセイソウワ</sup> 松屋先生談話 初篇・二篇

大1帙2冊

高田源清文著、大田元貞才佐序、むら田の当勢子序、藍庭林信序

(1814)  
文化11序

江戸 須原屋茂兵衛・英屋平七・柏屋忠七、京 勝村治右衛門、大坂 大野木市兵衛

※上記書名は見返しの内題による。他の箇所では

一 随 筆 (版 本)一

「松屋叢話」。初篇表紙「居(墨)」 「随筆(朱)」  
札あり。瓢箪形朱印および「夢羅」朱印あり。

4—47マ1 (初)と式百五拾三  
・(二)と式百五拾四 35銭

30086 善庵随筆 (上)・下 大2冊  
朝川鼎著, 不肖農跋 (1849) (1850)  
嘉永2跋, 同3刊

京 出雲寺文次郎 (三条通升屋町), 大坂 河  
内屋喜兵衛 (心斎橋通北久太郎町), 江戸 須  
原屋茂兵衛 (日本橋通一丁目)・山城屋佐兵衛  
(日本橋通二丁目)・須原屋新兵衛 (同)・岡  
田屋嘉七 (芝神明前)・須原屋伊八 (浅草茅町  
二丁目)・英屋大助 (本石町十軒店)・和泉屋  
金右衛門 (横山町三丁目)

※「玉巖堂製本書目」を附す。

10—05セ5 大惣番号札剥落 30銭

30087 睡餘小録 上・下 大1帙2冊  
山白散入選, 西村正邦序, 立入経徳跋 (1806) (1807)  
文化3序・跋, 同4刊

京 西田庄三郎 (六角鉄屋町西エ入)・中川藤  
四郎 (堀川六角下ル)・中川新七 (同)

※図入り。

5—18ス1 乙式百七拾九 1円50銭

30088 徴古圖録  
特大 (28.5×21.8 cm) 1帙1冊  
長野美波留著, 源恒悦序 (1811)  
文化8序  
書肆不明

8—49チ1 大惣番号札剥落 1円50銭

30089 尚古造紙揅 上・下 大1帙2冊  
シヤウコザウシバサミ (1830)  
文政13刊

雞鳴舎蔵

※古図を集録。

5—18シ1 乙式百六拾式 80銭

30090 骨董集 前編壹・貳・式篇乾・坤  
コフトウシフ  
大1帙4冊

醒々老人 (京傳) 著・自序 (式篇), 杏園主人序 (前  
篇) (前篇) 文化10序, 同11刊, (後篇) 同12序・刊  
(1813) (1814) (1815)

大坂 鹽屋長兵衛 (心斎橋筋伝馬町), 江戸 鶴  
屋喜右衛門 (通油町, 仙鶴堂)

※第1冊裏見返しに「蓑笠雨談」広告 (墨書) 貼

付。

5—18コ1 乙百拾 1円50銭

30091 歌囊井蛙談 上・中・下 半1帙3冊  
ウタブクロセイアゲン  
濱類蟹子百菴言滿著 (1761)  
宝暦11刊

江戸 須原茂兵衛 (日本橋南一丁目)・近江屋  
源七 (橋本町二丁目)

※各冊に「京寺町通り 菊屋長兵衛 佛光寺上  
町」の印あるが, 墨で塗抹。上册表紙に「☐  
百三十七」の札あり。

4—22ウ4 乙四十九番全三冊 20銭

30092 南嶺遺稿 一〜四 大4冊  
ナナンレイキカウ  
秋齋桂先生 (多田義俊南嶺子) 著, 良芸之序, 細谷  
文卿校・跋 (1757)  
宝暦7序・跋・刊

大坂 芳野屋十郎兵衛 (高麗橋一丁目), 京  
芳野屋八郎兵衛 (寺町通三條上ル二丁目)

※第1冊表紙に「全部四冊」の小札あり。序の題  
は「南嶺子遺稿序」。

10—05ナ7 乙百七拾六全四 20銭

30093 梧坡教諭 上・下 大2冊  
ゴハケウユ  
晴湖荒井堯民著, 海保尚賢順脚序, 出井元愷梯三序,  
大田元貞 (錦城先生) 附言, 它山公愷序 (1824) (1825)  
文政7附言, 同8序

江戸 晴湖氏蔵版・山城屋佐兵衛 (通二町目)  
・山田屋佐助 (両国廣小路吉川町)・若林清兵  
衛 (馬喰町三町目)・和泉屋金右衛門 (横山町  
三町目) = 製本所

1—84コ2 乙式百五拾六全式 20銭

30094(1) 雨中問答 一〜五 半5冊  
ウチユウモンダフ  
西村遠里居行著・自序 (1776) (1778)  
安永5序, 同7刊

大坂 吉文字屋市兵衛 (心斎橋南四町目), 京  
美濃屋治右衛門 (堀川三条下ル町)・銭屋善  
兵衛 (堀川四条上ル町)

※第1冊表紙に「全部五冊」の小札あり。同受入  
番号, 同配架番号に『雨中問答後篇』あり。

(2)参照。

1—84ウ1 乙六百〇九 後篇共25銭

30094(2) 雨中問答 後篇一〜五 大5冊  
ウチユウモンダフ  
西村遠里著 (1781)  
安永10刊

京 美濃屋治右衛門 (堀川三条下ル町)・銭屋

善兵衛 (堀川四条上ル町)

※正篇については(1)参照。

1—84ウ1 大惣番号札剥落

30095 <sup>テイセイキダン</sup> 提醒紀談 卷一〜五 大5冊

山崎美成著・自序, 佐竹永海画, 関弘道序・校  
(1850) 嘉永3自序・刊

大阪 河内屋喜兵衛 (心斎橋筋北久太郎町)・  
秋田屋太右衛門 (心斎橋筋安堂寺町), 江戸  
岡田屋嘉七 (芝神明前)・山城屋佐兵衛 (日本  
橋通二丁目)・和泉屋金右衛門 (横山町三丁目)  
・英屋大助 (本石町十軒店)・須原屋茂兵衛 (日  
本橋通一丁目)・須原屋新兵衛 (日本橋通二丁  
目)・須原屋佐助 (日本橋通四丁目)・須原屋  
源助 (神田通新石町)・須原屋伊八 (浅草茅町  
二丁目)

※「文章堂蔵」印あり。第1冊裏表紙見返しに「武  
江年表」の広告を貼付。

10—05テ1 大惣番号札原欠 30銭

30096 <sup>トウニウシ</sup> 東臚子 一〜五 半5冊を合綴1冊

田仲宣著・自序, 馬田昌調序, 桐江序  
(1801) (1802) (1803)  
享和元序 (桐江)・自序, 同2序 (馬田), 同3刊  
大坂 山脇清五郎 (山本町)・大野木市兵衛 (心  
斎橋通)

10—05ト14 そ六百十全五 30銭

30097 <sup>チャサウカンワ</sup> 茶窓閑話 一〜四

半1帙4冊を合綴1冊  
(1803) (1804)  
近松茂矩著, 木村俊篤序 享和3序, 同4刊  
京 吉田新兵衛 (三条通鉄屋町東へ入)・鉛屋  
安兵衛 (寺町通二條下ル町)

※茶事に関する随筆。第1冊表紙に「茶を嗜人必  
見るへき書也」と記した小札あり。

8—63チ9 そ拾七番全四冊 20銭

30098 <sup>ニハノオチバ</sup> 庭の落葉 一〜五 半5冊

(1779) 西村遠里著・自序 安永8序  
京 美濃屋治郎右衛門 (堀川三条下ル町)・大  
和屋嘉右衛門 (堀川四条上ル町), 大坂 吉文  
字屋市兵衛 (心斎橋南四丁目), 江戸 同次郎  
兵衛 (日本橋通三丁目)

※第1冊表紙に「全五冊」の小札を貼る。各冊に  
本の広告多し。

1—84ニ6 そ六百〇八 30銭

30099 <sup>カミデノ</sup> 神路 <sup>テヒキダサ</sup> 手引草 天・地・人

半1帙3冊を合綴1冊  
(1719)

十寸薄耶馬臺 (増穂残口叡仲) 著・自序 享保4刊

大坂 山本九右衛門 (高麗橋二丁目)

※表紙に「天」の小札あり。「伊勢津山形屋忠七」  
「尾府黄卷堂」など, 他の本屋の印がある。

1—05テ1 大惣番号札剥落 20銭

30100 <sup>イリワリ</sup> 異理 <sup>アハセカガミ</sup> あはせ鏡 天・地・人

半1帙3冊

似切齋 (増穂) 残口著 享保4刊

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南一丁目)

※「大坂長堀 / 白髪町 / 書林和泉屋佐市」の印が  
ある。柱書「合鏡」。第1冊の表紙に「吉」と  
小札あり。末尾に, 作者の歌三首がある。絵入  
(1716) り。正徳6初版。

1—05ア2 よ式百三十五 20銭

30101 <sup>ワガヤドグサ</sup> 我宿草 上・中・下 半3冊

太田道灌著, 橋潜夫序, 学与齋跋・校, 関二翁画  
(1802) (1803)  
享和2序, 同3跋

大坂 和泉屋卯兵衛・江嶋屋庄六・藤屋孫兵衛  
※上冊の表紙に「心得に成へき昔物語也太田道灌  
之撰」と書いた大惣の札あり。

1—84フ2 そ九百貳拾八全三 50銭

30102 <sup>ダウサイズイブツ</sup> 道齋随筆 上・中・下 大1帙3冊

中文平 (田中道齋和) 著・自序, 金田宏撰, 海西宮  
(1755) 奇序, 桃尚徳跋 宝暦5序・跋, 同7刊

長濱屋九郎右衛門

※目録の題は「道齋先生随筆目録」。下冊末に「道  
齋先生著作書目」を掲げ, 「京富小路四条下町  
書林秋田屋重兵衛発行」と記す。

4—04ト1 こ式百貳拾三 20銭

30103 <sup>ホンテウゾクガンシ</sup> 本朝俗諺志 一〜五 半1帙5冊

米山翁沾原著・自序, 東武書林池田二酉堂跋  
(1746) 延享3跋

書肆不明

※柱書「俗諺志」。第3冊に乱丁 (目録が末尾に  
ある)。内容は諸国の奇譚。

5—83ホ5 つ拾三番全五冊貳番 30銭

30104 <sup>クラウチウガクシヤメウメウキダシ</sup> 皇朝学者 <sup>シリウゴト</sup> しりうごと  
 上・中・下 半1帙3冊  
<sup>コボトノヤ</sup> 小説家大人著・自跋, <sup>ミクニノマナビ</sup> 三國真並・<sup>アナグリタツネ</sup> 穴栗田恒校, 観雷  
 老漁序, 源朝臣序  
 (1831) (1832)  
 天保2序(観雷), 同3序(源)  
 書肆不明  
 ※『国書総目録』によれば, 刊行は天保3。原題  
 策「しりうこと」。序の題「後言」。「聖徳太子  
 平田篤胤を置く」などの6話から成る。  
 4—20シ1 そ九百貳拾五全三 30銭

30105 <sup>カウセイ</sup> 校 <sup>ヘクサウサダン</sup> 北窓瑣談 前篇一—四・  
 後篇一—四 大1帙8冊  
 梅華仙史橘春暉(橘南谿・宮川春暉)著, 橘春徳序,  
 菅原長韶序, 橘春菴跋, 橘芳谿校, 一柳嘉言画  
 (1825) (1828)  
 文政8序, 同12刊  
 京 菊屋源兵衛(烏丸魚棚下ル)・三木太郎右  
 衛門(寺町御池通下ル), 大阪 小刀屋六兵衛  
 (御堂筋瓦町)・河内屋長兵衛(心斎橋通博勢  
 町)・河内屋平七(心斎橋通久太良町)  
 10—05ホ1 大惣番号札剥落 65銭

30106 <sup>クワンゼンチョウウク</sup> 勸善 <sup>トンヂヤクモノガタリ</sup> 貪着物語 一—五  
 大5冊  
 三條茂佐彦(八十三翁長山孔寅)著, 藤澤南序, 白  
 羽堂序, 松川半山画, 孔寅孫孔順校  
 (1847) (1852)  
 弘化4序, 嘉永5刊  
 大坂 藤屋善七(高麗橋一丁目)・秋田屋市兵  
 衛(心斎橋通南久太郎町)・秋田屋太右衛門(心  
 斎橋通安堂寺町), 江戸 須原屋茂兵衛(日本  
 橋通一丁目)・山崎屋清七(浅草福井町一丁目)  
 (1848)  
 ※初版は嘉永元。  
 1—84ト7 こ百七拾全五 45銭

30107(1) <sup>キンセイキ ジンダン</sup> 近世畸人傳 一—五 大1帙5冊  
 閑田子蒿蹊著, 観鷺道人永忠原序, 花顔三熊思孝跋  
 (1788) (1790)  
 ・画 天明8題言・跋, 寛政2序・刊  
 京 菱屋孫兵衛・林伊兵衛・長村太助・栗本喜  
 兵衛・野田儀兵衛・鶴鶴惣四郎  
 ※同受入・配架番号に別帙で続篇あり。(2)参照。  
 再版本。

5—61キ3 大惣番号札原欠  
 (続篇共) 1円50銭

30107(2) <sup>ゾクキンセイキ ジンダン</sup> 續近世畸人傳 一—五 大1帙5冊  
 閑田子蒿蹊著, 花顔居士三熊思孝序・画, 浦世繼序,  
 (1793) (1797) (1798)  
 六如散納序 寛政5序, 同9序, 同10刊  
 京 林伊兵衛・鶴鶴惣四郎・藤井孫兵衛・野田  
 儀兵衛・西田莊兵衛・梅村宗五郎  
 ※正編も同番号で別帙に入る。(1)参照。

5—61キ3 大惣番号札原欠

30108 <sup>ス キカヘシ</sup> 還覓紙料 上・下 大1帙2冊  
 (1826)  
 柳亭種彦著, 足薪翁序 文政9刊  
 京 植村藤右衛門(堀川通佛光寺下ル町), 大  
 坂 河内屋太助(心斎橋筋唐物町), 江戸 鶴  
 屋喜右衛門(通油町)・西村屋與八(馬喰町貳  
 丁目)  
 ※柱書「すきかへし 上巻(下巻)」。  
 5—18ス2 こ貳百七拾九 1円

30109 <sup>カウキヤウロウマンビツ</sup> 孝経樓漫筆 一—四 大1帙4冊  
 (1850)  
 北山山本信有著, 山本信錫序 嘉永3序・刊  
 江戸 須原屋伊八(浅草茅町二丁目)  
 ※末尾に三都の「発行書林」12軒を記すが, 略す。  
 見返し内題の右に「北山先生遺稿」と副書き。  
 5—18コ3 こ百九拾六全四〇 55銭

30110 <sup>ゲンドウハウゲン</sup> 玄同放言 一—三・貳篇一—三  
 大1帙6冊  
 養笠瀧澤翁(馬琴)著, 鵬齋老人序  
 (1818) (1820)  
 (正篇) 文政元序・刊, (貳篇) 同3刊  
 京 植村藤右衛門(堀川通高辻上ル町), 江戸  
 鶴屋喜右衛門(常盤橋御門外本町筋通油町)  
 ※貳篇の内容に対する評言の書込み甚し。  
 5—18ケ2 こ百三拾九番共三・こ百四拾番共三  
 1円

30111 <sup>ムギコガシ</sup> 牟藝古雅志 上・下 大1帙2冊  
 (1826)  
 狂言堂如皐著・自跋, 竹樹園序 文政9跋  
 書肆不明  
 ※凡例によれば, 「上の巻は雅俗にかゝはらず年  
 代の古きと作者の珍らしきをあつめ序跋のみを  
 拔出しぬ」, 「下の巻の大概本書を透写して往古  
 質素の趣をあらはす」。  
 5—18ム1 こ貳百六拾三 75銭

シンチョモンジフ  
30112 新著聞集 壹〜六 大1帙6冊  
著者未詳 (1749) 寛延2刊

書肆不明

※忠孝篇以下18巻より成る。

4—47シ13 乙百三十三全六冊 50銭

ウサウカンワ  
30113 雨窓聞話 上・中・下 大1帙3冊  
松平定信著か、河田與序、小林玉静跋 (1850) (1851)  
嘉永3跋、同4序・刊

京 勝村治右衛門 (五條寺町)、大坂 河内屋  
喜兵衛 (心斎橋北久太郎町)・河内屋茂兵衛 (同  
博勢町)、江戸 丁子屋平兵衛 (大傳馬町)・和  
泉屋吉兵衛 (芝神明前)

※見返し内題右に「近古事蹟論評」、左に「東都  
書肆名山閣」。跋によれば「茲書舊題曰国川夜  
話。傳以為樂翁源公所作。」

5—63ウ1 乙式百三拾六全三 30銭

マンクワツズイヒツ  
30114 湯畫随筆 一〜四 大1帙4冊  
木煥卿著・自序 (1849) 嘉永2刊

京 出雲寺文次郎 (三條通升屋町)、大坂 秋  
田屋太右衛門 (心斎橋通安堂寺町)・敦賀屋九  
兵衛 (心斎橋南一丁目)、江戸 須原屋茂兵衛  
(日本橋通一丁目)・須原屋伊八 (浅草茅町二  
丁目)

10—05マ2 乙式百八拾五全四 50銭

ニマゼノキ  
30115 烹雜乃記 前集乾・坤 大1帙2冊  
飯台簀笠翁 (曲亭馬琴) 著・自序、辰齋政之・琴嶺  
興繼・琴梧規矩・勝川春亭画、鷗齋龜田興序 (1809) (1811)  
文化6序、同8刊

大坂 河内屋太助 (心斎橋筋唐物町)、江戸  
前川六左衛門 (日本橋新衛門町)・柏屋忠七 (下  
谷御成小路)・柏屋半蔵 (神田通鍋町)

※乾・坤各冊表紙に、目録を記した脇題簽を附す。

見返し内題のみ「二萬是乃記前集」と題す。

5—18ニ1 乙式百五拾五全式 40銭

ケイリンマンロク  
30116 桂林湯録 上冊・下冊 大1帙2冊  
桂川中良著、源忠道序、法眼甫周序、因是道人跋、  
柳河湯然永齋跋 (1800) 寛政12序・刊

江戸 前川六左衛門・須原屋市兵衛・万屋太治  
右衛門・堀野屋仁兵衛・山田屋長兵衛

※上冊表紙右上スミに「□六十」札あり。

5—18ケ3 乙式百八拾壹 50銭

オキナグサ  
30117 翁草 一〜五 大1帙5冊  
神澤其甥大人著・自序、池田東籬主人校・跋、魯堂  
序 (1851) 嘉永4刊

京 田中屋次助、大坂 藤屋善七・秋田屋太右  
衛門・藤屋禹三郎、江戸 須原屋茂兵衛

※原題簽には「其甥翁草」。30953に写本あり。落  
書多く、第5冊見返しには「らくがきむよう/  
だいそふかし本」とあり。『国書総目録』によ  
れば「安永五序」。版本としては天明4年版が  
先行する。

10—05オ1 乙百六拾三 30銭

ココンチョモンジフ  
30118 古今著聞集 半2帙20冊  
橘成季著・自序 (1254) (1690) (1770)  
建長6自序、元禄3開板、明和7刊

大坂 柏原屋清右衛門 (心斎橋筋順慶町)・河  
内屋茂八 (同)

※画入り。再版本。

4—30コ1 大惣番号札剥落 1円20銭

ミヤコドリカウ  
30119 都鳥考 大1帙1冊  
角田川梅隠鞠塙居士著、葛阪卜鄰跋 (1814) (1815)  
文化11跋、同12刊

江戸 西村源六 (本石町十軒店)・山城屋佐兵  
衛 (日本橋通二丁目)

※上記書名は巻頭内題による。墨書後補題簽・柱  
書は「みやこ鳥考」。巻頭に「都鳥大考」なる  
文あり。刊記に「梅屋鞠塙」著作物の広告を付  
す。「歌学」(朱)なる小札あり。

6—24ミ1 乙三百五拾式〇全 35銭

エンカキダン  
30120 煙霞綺談 一〜四 大1帙4冊  
西村白鳥著・自序、新井白蛾序、林自見正森序  
(1770) (1773)  
明和7序 (林・自序)、安永2序 (新井)・刊

大坂 藤屋弥兵衛 (高麗橋壹丁目)・吉文字屋  
市兵衛 (心斎橋筋木挽町)、江戸 吉文字屋治  
郎兵衛 (日本橋南三丁目)

※西村・林は三河吉田の人。

10—05エ1 乙四拾六番 30銭



- 30121 <sup>キンダイセ シダン</sup> 近代世事談 一〜五 半5冊  
菊岡沾原著・自跋 (后序), 松永據徳序

(1733) (1734)  
享保18序, 同19刊

江戸 西村源六 (本町三丁目)・万屋清兵衛 (日本橋南一丁目)

※上記書名は原題簽による。各巻々頭内題は「本朝世事談綺」, 柱書は「世事談」。跋に曰く「近き世の事を談て綺を其まゝに題號とす而已」。

10—05キ8 大惣番号札原欠 30銭

- 30122 <sup>メイリヤウコウハン</sup> 明良洪範 一〜二十五・統一〜十五 大5帙40冊

真田増譽著, 山崎直行校 刊年不明  
郁文堂藏版

※大惣番号は第1冊に「こ百壹番初篇五冊」, 第6冊に「こ百貳番貳篇五冊」, 以下5冊毎の表紙に附され, 續篇第11冊の「こ百八番八篇五冊」まで八つある。内容は人物伝記。

5—63メ5 ※参照 5円70銭

- 30123 <sup>カンサイヒツキ</sup> 閑際筆記 一〜七 大1帙7冊  
伊高子藤先生著, 門人稲葉氏校, 黙々軒序

(1715)  
正徳5序・刊

大坂 柏屋清右衛門 (心齋橋筋)・敦賀屋九兵衛 (同)・毛利田庄太郎 (北御堂前), 京 伏見屋藤右衛門

10—05カ14 こ百貳拾六全七 30銭

- 30124 <sup>シフギワシヨ</sup> 集義和書 壹〜十六 大16冊  
熊沢蕃山著

書肆・刊年不明

※第3冊のみ写本, 他は版本。第1・2冊見返しに, 蕃山の他の著述を書込む。

1—81シ2 や貳百〇壹 50銭

- 30125 <sup>シフギダワイシヨ</sup> 集義外書 一〜五  
(削簡一・二・脱論一・二・三) 大5冊

熊沢蕃山著, 書肆小山知常序

(1709) (1791)  
宝永6初刊, 寛政3再刊

京 森島吉兵衛 (三條通烏丸東へ入ル町)・河南喜兵衛 (堀川通佛光寺下ル町), 江戸 須原屋

茂兵衛 (日本橋通壹町目)・大野木市兵衛 (心齋橋安堂寺町)

※内容は一 (削簡一〜三), 二 (脱論一〜四), 三 (脱論五〜七), 四 (中庸九經考・窮理上・中・下), 五 (雅楽解・水上解) で, 題簽とずれがある。丁附から見て, 原体裁16冊を5冊に合綴したか。第1冊表紙に「□百七十九」小札。

1—81シ1 や貳百〇貳合五 20銭

## 物 語

- 30126 <sup>カモノチヤウメイシ キモノガタリ</sup> 鴨長明四季物語 春・夏・秋・冬 半1帙4冊  
(1688)  
貞享3刊

鴨長明著・自序

江戸 藤本兵左衛門 (日本橋青物町)

※末尾に「桑門連胤」の識語あり。春冊表紙に「言」なる札あり。

4—30シ1 大惣番号札原欠 60銭

- 30127 <sup>ヒヤクモノガタリ</sup> 百物語 上・下 大1帙2冊  
(1659)  
万治2刊

著者未詳, 工武藤氏写

京 松長伊右衛門

※上冊表紙に「<sup>寶暦</sup>世説雜話四冊ト同板序斗改」の小札あり。原題簽に「全貳冊 / ○いろいろをかききはなしをあつむ」と墨で書込み。

10—05ヒ2 こ貳百八拾三 50銭

- 30128 <sup>ナニモノガタリ</sup> 何物語 上・下 大2冊を合綴1冊  
(1667)  
寛文7刊

熊沢了海著, 防州児玉氏信榮書

田中文内

※見返しに「天地萬物之古事来歴其外見聞之事実を問答ニ而書し筆記也」と墨書。墨書後補題簽は「<sup>高橋</sup>なにもののかたり」。「熊沢了海の作」「千式十八」と記した小札あり。

10—05ナ2 や貳百六拾壹 40銭

- 30129 <sup>タハケモノガタリ</sup> 白癡物語 上・下 半1帙2冊  
(1828)  
文政11刊

石川雅望 (六々園) 著, 恭齋河三千序

江戸 西村屋與八 (馬喰町貳丁目)

※画入り。

4—25シ8 大惣番号札剥落 30銭

30130 しみのすみか物語 上・下 半1帙2冊  
石川雅望(五老山人)著・自序, 大塚詔序, 朝田保清跋  
(1802) (1805)  
享和2序, 文化2刊

名古屋 永楽屋東四郎(玉屋町), 大坂 河内屋太助(唐物町), 江戸 萬屋太次右衛門(山下町)

※下冊に永楽屋の目録あり。

4—25シ4 れ式百弍十九 50銭

30131 くせものかたり 上・下 半1帙2冊  
上田秋成著・自序, 森川竹窓序(秋成宛書簡)  
(1822)  
文政5刊

京 近江屋治助, 江戸 前川六左衛門, 大坂 河内屋茂兵衛・同平七・今津辰三郎

※内題・柱書は「癩癧談」。

4—30ク2 れ式百三拾弍全二 30銭

30132 清水物語 大1帙1冊  
著者未詳 (1638)  
寛永15刊  
書肆不明

※表紙に「教」「千弍十三」と書いた小札を附す。  
後補墨書題簽は「教清水物語 全」とある。内容は上下2段にわかれ, 原体裁は上下2分冊だったらしい。

4—40キ3 け六百拾六 50銭

30133 原忠和語抄 大1帙1冊  
吉田守永著・自序 (1710) (1713)  
宝永7序, 正徳3刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目)

※「教」(朱), 「四百四十二」(墨)の小札あり。  
忠孝を説いた書。

1—84ケ3 け六百拾七 15銭

30134 長命養生記 大1帙1冊  
長谷川柳安著・自序 (1743)  
寛保3序・刊

京 富春堂金屋治助(二条通富小路西江入町)

7—02チ13 け三百四拾四全 20銭

30135 續つれつれ草 上・下 大2冊  
清水春流著, 中村氏道寿跋 (1871)  
寛文11刊

京 中村氏道寿

※上記書名は上冊原題簽による。下冊原題簽「續

徒然草」。上冊題簽の書込みおよび各巻頭内題は「睡餘操筆」。上150段, 下149段より成る。

10—05ソ1 大惣番号札剥落 55銭

30136 大和西銘 大1帙1冊  
熊沢蕃山著 (1650)  
慶安3刊  
書肆不明

※「教(朱)」「教(墨)」「 六十四番」の札を表紙に附す。教訓書。

1—84ヤ2 け六百拾三 10銭

30137 源平拾遺 上・下 大1帙2冊  
藤井松齋大人(藤井高尚)著, 篠崎弼跋, 片岡徳四郎源徳序  
(1836)  
天保7跋・刊

大坂 浅井吉兵衛(心齋橋通南本町)・驚頭辰三郎(江戸堀大斎橋北詰)・岡田儀助(心齋橋通安土町), 京 城戸市右衛門(寺町蛸薬師下ル)・前川市兵衛(寺町通五條上ル), 江戸 北澤伊八(浅草茅町二丁目)

5—06ケ1 て五百拾弍式 25銭

30138 源氏物語提要 卷之一〜卷之六 半1帙6冊  
(1432)  
(今川)上総介範政著  
永享4成  
写本

4—30ケ10 れ百三十七 50銭

30139 諏訪縁起物語 大1帙1冊  
著者未詳 (1625)  
寛永2写  
写本

※本文に朱で振仮名を施す。巻末に和歌数首。受入目録では「古物語 書本」。やまと綴。

4—40ス2 大惣番号札剥落 30銭

30140 伊勢物語 昔男時世妝 半1帙5冊  
一之巻〜五之巻 (1731)  
也来著・自序 享保16刊

江戸 小川彦九郎, 大坂 瀬戸物屋傳兵衛, 京 著屋傳兵衛

※絵入り。「書林含靈軒蔵板目録」あり。

4—30ム1 大惣番号札剥落 50銭

- 30141 <sup>ゲンジモクログ</sup> 源氏もくろく 乾・坤  
特大 (26.6×20.2cm) 1 帙 2 冊  
花山院長親著か  
写本  
※上記書名は内題による。墨書題簽は「源氏目録  
一名源氏小鏡」と記す。  
4—30ケ2 な五百四拾八全部式冊 50銭

- 30142 <sup>ジフネゲンソソデカガミ</sup> 十二源氏袖鏡 一〜十二 大1 帙12冊  
(1856)  
著者未詳 明暦2刊  
京 中野道也  
※上記書名は原題簽による。内題は全冊とも「源  
氏大略」。  
4—30シ5 ふ五百拾貳全拾式 1円

- 30143 <sup>セイゴオクダシ</sup> 勢語臆断 一〜五 大1 帙5冊  
(1803)  
契冲著, 閑田廬蒿蹊序, 田山敬儀序 享和3刊  
京 吉田四郎右衛門・吉田屋新兵衛  
4—30セ1 ふ五百拾九番 75銭

- 30144 <sup>ナルトチュウジャウモノガタリ</sup> 鳴門中将物語 大1 帙1冊  
(1817)  
岸本由豆流注 文化14成  
萬笈堂  
※巻頭に「鳴門中将物語考證 (提要)」あり。本  
文には頭注を附す。巻末に「和書部 萬笈堂英  
遵藏板目録」あり。  
4—30ナ2 大惣番号札剥落 10銭

- 30145 <sup>カラモノガタリ</sup> 唐ものかたり 本・末 大1 帙2冊  
(1806) (1808) (1809)  
橘千蔭序, 賀茂季鷹校・序, 雀山畑維龍跋  
文化3序 (橘), 同5序 (賀茂)・跋, 同6刊  
京 恵比須屋市右衛門 (錦小路通室町西江入北  
側中程)  
※見返しに貸本屋による書込みあり。「この書は  
もろこしの故事とをも, 左國史漢説苑新序世説  
などの中よりとり出して, 我國の故事のこことく  
におもしろくかきたるものかたり也, 作者西行  
上人といへり, 清水大人和漢の書を引用して標  
注をくはへたり」。「本」冊末に, 文化8の「香  
樹」なる人の書込みあり。表紙に「居」<sup>(1811)</sup>「 」  
百八十六」の小札あり。  
4—30カ3 ふ五百六拾七 30銭

- 30146 <sup>オチクボモノガタリ</sup> 落くほ物がたり 一ノ上・一ノ下・  
二ノ上・二ノ下・三・四 大1 帙6冊  
(1799)  
著者未詳, 難波人みなもとの秋成序 寛政11刊  
京 額田正三郎, 大坂 葛城長兵衛, 江戸 須  
原茂兵衛・西村源七・西村宗七  
※上記書名は第1冊題簽による。他に「落窪物  
語」「窪説話」などと, 様々な表記をとる。  
4—30オ2 ふ五百拾六全六 80銭

- 30147 <sup>ゲンジカウモク</sup> 源氏綱目 一〜九 半1 帙9冊  
(1858)  
一華堂切臨 (和田以税) 著・自序 万治2序  
書肆・刊年不明  
※序文に曰く「今まきまきをわかちてその中の事  
ども残らずしるし又連歌に用へき詞と哥とを書  
くはへ侍り」。絵入り。  
4—30ケ3 れ百六十四全九 1円

- 30148 <sup>ウヂシフモノガタリ</sup> 宇治拾遺物語 惣目録・一〜十五  
(1859)  
半2 帙16冊  
源隆國著 万治2刊

- 京 林和泉掾 (今出川)  
4—30ウ1 大惣番号札剥落 1円50銭

- 30149 <sup>ナスシフモノガタリ</sup> 那須拾遺物語 一〜五 大1 帙5冊  
(1733)  
野州那須郡湯津上邑木曾武元著・自序 享保18序  
写本  
※那須の地誌。旧蔵者「本伊」「文華堂」の印あ  
り。

5—15ナ1 き百七拾番 60銭

- 30150 <sup>ヤマトモノガタリセウ</sup> 大和物語抄 風・賦・比・貞・雅・頌  
大1 帙6冊  
拾穂 (北村季吟) 著・自跋, 源杏僊序  
(1852) (1853)  
承応元跋, 同2刊

- 京 中野小左衛門  
※別名「大和物語拾穂抄」。原題簽に墨で「一〜  
六」と書込み。  
4—30ヤ4 ふ五百貳拾番 70銭

- 30151 <sup>イセモノガタリシンシヤク</sup> 伊勢物語新釈 一〜六  
大1 帙6冊  
藤井高尚著, 渡辺重豊序, 源春野跋  
(1812) (1815) (1818)  
文化9凡例, 同12序, 文政元刊  
奴旦能舍藏板, 京 吉田四郎右衛門・植村藤右

衛門・小川武右衛門・城戸市右衛門、江戸 和  
泉屋庄次郎、大坂 河内屋儀助

4—30イ 8 ふ五百拾八全六 1円50銭

センダウモノガタリ

30152 遷宮物語 一〜三 大1帙3冊

荒木田経雅著・自序、本居宣長序 寛政2自序

名古屋 永楽屋東四郎(本町七丁目)

※内題・柱書は「寛政遷宮物語」。

1—04カ10 や七百六拾壹 40銭

ゲンジモノガタリ

30153 源氏物語 ※参照 大7帙59冊

紫式部著、山氏(山本)春正跋 慶安3跋

整版本、書肆不明

※「きりつば」から「夢のうきはし」まで54帖と  
「山路の露」・「源氏引哥」・「源氏目案上・中・  
下」。題簽および天に一〜五十九と番号をふる。  
絵入り。殆どの巻の絵に極彩色を施してある。  
下記大惣番号は「きりつば」の表紙のもので、  
「源氏引哥」表紙には「ふ五百九番全一冊」と  
ある。「夢のうきはし」巻末に「写本云、抑此  
本者以後崇光院宸翰桃花入道殿下被再治候者也  
尤以為證本者也惣而八種異本在候 永正元稔  
七月日 台嶺末学権僧正在判」とあり、つづい  
て刊行者山氏春正の跋文がある。「きりつば」  
の見返しに大惣による書込みあり、源氏関連書  
を挙げている。

貴 4—30ケ 4 ふ五百壹全五拾九冊 20円

ゲンジモノガタリコ ゲツセウ

30154 源氏物語湖月抄 一(きりつば)〜

五十五(夢のうきはし)・系圖・発端・

表白・年立上下 大5帙60冊

北村季吟著・自跋 延宝元跋

京 林和泉・村上勘兵衛・八尾甚四郎・村上勘  
左衛門

※下記大惣番号は「発端」のもの。「表白」には  
「ふ五百拾番全壹冊」。「系圖」の大惣番号札は  
剥落。「年立」には「う」の小札あり。

4—30ケ 7 ふ五百全五拾六冊 6円50銭

アマヨモノガタリタミコトバ

30155 雨夜物語たみことは 上・下

大1帙2冊

藤原宇万伎著・自序(明和6) 上田秋成序(安永4)

安永6刊

京 出雲寺文治郎・風月庄左衛門・吉田四郎右

衛門・梅村三郎兵衛

※源氏物語の「雨夜の品定め」の部分の注釈書。

表紙に「居」の札あり。

4—30ア 1 ふ五百六拾三 35銭

タモノ ラグシ

30156(1) 玉の小櫛 一〜九 大(2)と合1帙9冊

本居宣長著、藤井高尚序 寛政11刊

須受能耶蔵板

※上記書名は原題簽による。内題「源氏物語玉の  
小櫛」。補遺は(2)参照。

4—30ケ 9 ぶ式拾壹全九 (2)共1円

タモノ ラグシ ホ キ

30156(2) 玉の小櫛補遺 上・下

大(1)と合1帙2冊

鈴木浪著・自跋、酔月園森嘉基序

(1820) (1821)  
文政3刊、同4序

尾張 波奈例屋蔵板

※(1)の「玉の小櫛」参照。内題は「源氏物語玉の  
小櫛補遺」。

4—30ケ 9 大惣番号札原欠

セイゴ ミセウ

30157 勢語御抄 乾・坤 大1帙2冊

著者未詳 明暦元成

写本

※「明暦元年八月廿九日 一部御講談畢」と本文  
末にあり。

4—30セ 3 ふ五百九拾壹全式 35銭

シンチュウエイリ

30158 新註 伊勢物語 改成 上・中・下

大1帙3冊を合綴1冊

著者未詳 元禄11刊

江戸 井筒屋忠左衛門(芝神明前)、京 大文

字屋七郎兵衛(押小路橋町)

※上册は後補題簽で角書なし。柱書「源氏哥仙繪  
抄 伊勢物語改成」。合綴の際に、中巻と下巻  
の順序を間違えている。

4—30イ 5 大惣番号札剥落 10銭

タマゴト

30159 玉琴 一・二 大1帙2冊

細井貞雄著・自序 文化12刊

詞花堂蔵板、江戸 西宮彌兵衛(中橋広小路)

※巻頭の内題「空物語玉琴」。「居」小札あり。

4—30タ 6 ふ五百六拾六全式 20銭

一 物語、雑書(甲) —

30160 フタシツネモノガタリ  
竺志船物語 上・下 大1帙2冊  
織錦平春海著、松屋源與清旁註、星池泰其纂序  
(1814)  
文化11序・刊

江戸 須原屋茂兵衛、京 勝村治右衛門、大坂  
大野木市兵衛

※原題簽「竺志船物語旁註」。上記書名は見返し  
の内題による。

4—30ツ2 ふ五百六拾五全式 30銭

30161 ヤマトモノガタリ  
やまと物語 上・下 大1帙2冊  
(1648)  
慶安元刊

京 村上平楽寺(二條通玉屋町)

※見返しに「油売人彦彦」と書込みあり。

4—30ヤ2 大惣番号札剥落 30銭

30162 エイリ  
繪イセモノガタリ  
入伊勢物語 上・下  
大1帙2冊を合綴1冊  
(1662)  
寛文2刊

書肆不明

※柱書「伊勢」または「いせ」。

4—30イ4 ふ五百八拾式 10銭

30163 エイグワモノガタリエセウ  
榮花物語画鈔 大1帙1冊  
著者・成立年不明  
写本

8—44エ40 さ千百五拾巻 10銭

雑書(甲)

30164 ザクノミツギ  
象のみつき 半1冊  
(1729)  
中村平五(三近子)著・画 享保14刊

京 並川甚三郎(仏光寺下ル町)・木村市郎兵衛、江戸 植村藤三郎(本石町三町目十軒店)、  
大坂 安井嘉兵衛(心斎橋筋淡路町角)

※初丁、第6・13丁に挿絵あり。象に関する随筆。  
大惣番号札の下に旧い番号札あり。

6—24ソ2 そ千三拾全巻 30銭

30165 ニクワイツトク  
二火一得 半1帙1冊  
湛齋先生(鳥海広通)著・自序、星野龍序、山崎探  
玄・菅野道賢・男學之廣李輯校 寛保元序、同3刊  
(1741) (1743)

江戸 文蘭堂浅倉屋久兵衛(浅艸東仲町)

※易学にもとづく医書。表紙に「醫」(朱)の小  
札あり。

8—82ニ1 た七拾九番 10銭

30166 シンセンシハイフ  
新鐫詩牌譜 上・中・下 半1帙3冊  
王良枢慎卿編・序・跋、岡寫掇之序、広沢細井知慎  
解・序、雲峯石樸序、秩山重田定恭校・跋  
(1720)  
享保5序・跋、同15刊

江戸 柳枝軒小川彦九郎(日本橋南二町目)

※雕工は関口甚四郎(英玉斎)。本書中冊は巻下、  
下冊は跋・附録から成る。作詩参考書。

8—64シ7 よ七十七全三 30銭

30167 フンブケイキベン・ガソクケイキベン  
文武涇渭辨(乾)・雅俗涇渭辨(坤)  
半1帙2冊  
源清風(広瀬基山)著、松崎懌堂序(文武)、近藤  
迂跋(両涇渭辨)  
(1797)  
寛政9跋・刊  
書肆不明

※文武に関する教育書。乾冊表紙に「中百十九」  
なる小札あり。

1—84ケ2 よ九十九共式 20銭

30168 ザシンカウ  
地震考 半1冊  
濤山先生著、東隴菴主人補、卓堂岸岱序、三絨主人  
跋  
(1830)  
文政13序・跋

京 齋政館都講小嶋氏藏板

※画入り。

6—28チ1 よ千八拾式 15銭

30169 イモンスチ  
醫門オランダゴハフカイ  
須知和蘭語法解 一〜三  
(上・中・下) 半1帙3冊  
普山藤林訳、堤礪桂樹(上・中)・仲環環中(下)・  
宮武文明卿(上・中・下)参定、長友義雅兼(上・下)  
・仲環環中(中)校正、小森啓玄良序、廣川獅子彥序、  
堤礪桂樹序、馬場佐十郎序  
(1812) (1815)

文化9(堤・馬場)序、同12(小森・広川)序・刊  
京 天王寺屋市郎兵衛(寺町通五条西橋詰)、江  
戸 須原屋伊八(下谷池端仲町)、大坂 河内屋  
喜兵衛(北久太郎町心斎橋北)

※3冊とも表紙に「廣蔵書」と墨書、題簽に「高  
木蔵書」の朱印。

4—81オ1 よ八拾八全三 30銭

30170 <sup>タウザンセンク</sup> 湯山千句 上・下  
横 (14.1×19.1 cm) 1 帙 2 冊  
景徐周麟・寿春妙永作, 周麟跋  
(1500) (1630)  
明応 9 跋, 寛永 7 刊

書肆不明

※上記書名は内題による。墨書題簽と序題は「湯山聯句 乾 (坤)」。「湯山聯句」の抄物である。乾冊表紙に「蔵」の字あり。旧蔵者印あれど判読不能。

4—07ト10 大惣番号札剥落 20 銭

30171 <sup>タウオン</sup> 唐 <sup>ガソクゴルイ</sup> 雅俗語類 卷一〜五  
半 1 帙 5 冊を合綴 1 冊  
冠岡岡嶺援之編, 西湊釋皓大潮序, 東海篠崎維章・  
観山松宮俊仍校 (1725) (1726)  
享保 10 序, 同 11 刊  
出雲寺和泉掾 (京 三条通升屋町, 江戸 日本橋南一丁目)  
※旧蔵者印多数。

4—83ト1 大惣番号札剥落 25 銭

30172 <sup>シンペン</sup> 新 <sup>ゲンベイケイツ</sup> 板 源平系圖 大 1 帙 1 冊  
書肆・刊年不明  
※表紙に「□百六十七」の小札あり。「澤」朱印あり。

5—64ケ1 や千十二番 30 銭

30173(1) <sup>シンペン</sup> 新 <sup>ゾウホフカンメイスウ</sup> 編 増補和漢名數 上・下  
半(2)(3)と合 1 帙 2 冊  
(1689) (1692) (1765)  
貝原篤信編・自序 元禄 2 序, 同 5 刊, 明和 2 再板  
書肆不明  
※序題・目録題・本文巻頭・巻末は「和漢名數」。  
刊記「平安書肆 版行」とあって書肆名を削る。  
4—85ワ2 そ五百六十式全式冊 (2)(3)共45 銭

30173(2) <sup>ゾクフカンメイスウ</sup> 續和漢名數 上・中・下  
半(1)(3)と合 1 帙 3 冊  
貝原篤信編, 竹洞野節序  
(1692) (1695) (1721)  
元禄 5 序, 同 8 刊, 享保 6 再板  
京 柳枝軒茨城多左衛門蔵版 (六角御幸町)  
※上記書肆は再板のもの。元禄 8 の刊記には「平安書林 水谷小兵衛 長尾藤兵衛 全梓」。  
4—85ワ2 そ五百六十三全三冊

30173(3) <sup>シンカウ</sup> 新 <sup>シフキフカンメイスウ</sup> 校 拾遺和漢名數 上・下  
半(1)(2)と合 1 帙 2 冊  
(1719) (1787)  
竹田春菴編, 膝元軌仲式甫序 享保 4 刊, 天明 7 序  
京 石田治兵衛 (一条大宮西へ入町)  
※柱書「文類名數」。刊年は刊記のまま。  
4—85ワ2 そ五百六十五全式

30174 <sup>ワカン</sup> 和 <sup>フケメイスウ</sup> 漢 武家名數 一〜五 半 1 帙 5 冊  
(1716)  
神田白龍子編・自序 正徳 6 序・刊  
京 川勝五郎右衛門 (五条橋通高倉西エ入町),  
江戸 舛屋五郎右衛門 (日本橋通壹町目)  
※書名は第 1 冊見返しによる。題簽は「和漢武家名數」, 第 1 冊内題は「倭漢武家名數」。第 5 冊末, 白龍編著作目録あり。及び「菊屋七郎兵衛 (京都寺町栲原上ル町西側) 板」とある刷り物を付し, 裏表紙が欠落。  
4—85ワ1 そ五百五拾九〇 50 銭

30175 <sup>センテイシフ</sup> 筌蹄集 上・下 半 1 帙 2 冊  
(1695)  
中根元圭序 元禄 8 序・刊  
京 梅郷彌白  
※上冊表紙に「□百三番」の小札あり。読書の法, 虚字の解, 字音による訓の別, 反切などをする。  
4—04セ6 よ百〇三番全式 15 銭

30176 <sup>シヨカンゲンカイ</sup> 書翰諺解 上・中・下 (柱書による)  
半 1 帙 3 冊を合綴 1 冊  
(1680)  
編者未詳 延宝 8 刊  
杵生五郎左衛門・文台屋次郎兵衛蔵版  
※表紙には「□三十六」の札あり。原題簽には「卷之一」と刷られている。上記書名は原題簽による。上巻内題および柱書は「尺牘諺解」。  
4—04セ9 大惣番号札剥落 15 銭

30177 <sup>ニホンシヤクミヤウ</sup> 日本釋名 上・中・下 半 1 帙 3 冊  
貝原篤信著・自序, 松下見林序  
(1699) (1700)  
元禄 12 序・自序, 同 13 刊  
京 梅福軒蔵版・上嶋瀬平・長尾平兵衛  
※表紙右下に小札「全三冊」あり。上冊裏表紙改裝。貸本屋による書名の列挙が下冊の表裏の両見返しにある。和語を 23 門に分けて語義をとく。  
4—85ニ8 そ五百六十八全三冊 35 銭

30178 <sup>サウカン</sup> 桑 <sup>セイサタフキヤウ</sup> 星槎答響 半1帙1冊  
 月心・洪致中等著 <sup>(1719)</sup> 享保4刊  
 京 茨城多左衛門(六角通御幸町西江入町)  
 ※巻上・巻下からなる。丁附からみて合綴か。享  
 保4朝鮮使節来聘の折、月心なる人物と使節た  
 ちとが唱和した詩を集めたもの。表紙に「来」  
 (墨)の小札あり。見返し内題の右に「享保己  
 亥韓使來聘唱和」とある。  
 4—02セ12 そ千六拾八全 10銭

30179 <sup>シンゾクセイメイ</sup> 親族正名 半1帙1冊  
 太宰純(春台)著・自序、山縣少助序 <sup>(1725)</sup> 享保10自序・序  
 江戸 春輝堂  
 2—03シ11 そ五百八十三 10銭

30180 <sup>トウバフツルイサウカンシ</sup> 東坡物類相感志 半1帙1冊  
 末蘇軾著 <sup>(1690)</sup> 元禄3「原板」、文化2「再板」 <sup>(1805)</sup>  
 江戸 須原屋平助、京 須原屋平左衛門  
 ※内題「物類相感志」。もと附属図書館にあった  
 時の配架番号は「6—21フ5」。  
 葉B10 そ千四拾式全 10銭

30181 <sup>テウセンクワンシヨクカウ</sup> 朝鮮官職考 半1帙1冊  
 伊藤東涯考訂、林文進記、林景范序 <sup>(1711)</sup> <sup>(1763)</sup> 正徳元序、宝暦13刊  
 京 文泉堂林権兵衛(相之町通御池上ル町)  
 5—46チ1 そ千七拾壹全 10銭

30182(1) <sup>リウキウジンギヤウレツタイゼン</sup> 琉球人行列大全 半1帙(2)(3)と合綴1冊  
 辨装堂編・序 <sup>(1748)</sup> 寛延元序・刊  
 京 阿南四郎右衛門(堀川通佛光寺下ル町)・  
 日野屋半兵衛(同町)  
 ※(2)同書の再版本・(3)琉球人行列記と合綴。上記  
 書名は柱書による。合綴の表紙には「琉球人大  
 行列記/来朝新板絵入」の原題箋と内容を記し  
 た脇題箋があるが、これが(1)~(3)のいずれのも  
 のか不明。  
 5—13リ3 そ千三拾四全 (2)(3)共10銭

30182(2) <sup>リウキウジンギヤウレツタイゼン</sup> 琉球人行列大全 半1帙(1)(3)と合綴1冊

<sup>(1796)</sup> 寛政8序・刊、文化3再板 <sup>(1806)</sup>  
 江戸 須原屋茂兵衛(日本橋)、大坂 塩屋喜  
 助(心斎橋筋)、名古屋 湖月堂茂三郎(本町)、  
 京 叶屋喜太郎(縄手古門前)、伏見 升屋勘  
 兵衛(伯耆町)、京 松坂屋儀兵衛(松原寺町)  
 ※(1)と同じ板であるが、序を「于時寛政八年辰歳  
 /洛陽 華誘斎」と改刻し、刊記(終丁)をと  
 りかえている。終丁に記した来朝の事歴には文  
 化3まで見え、本書は同年の再版本と思われる。  
 5—13リ3

30182(3) <sup>リウキウジンギヤウレツキ</sup> 琉球人行列記 半1帙(1)(2)と合綴1冊  
 無名子序 <sup>(1832)</sup> 天保3「刊刻」、<sup>(1850)</sup> 嘉永3序・「刊」  
 「板元 津嶋堂」、名古屋 菱屋藤兵衛(本町)、  
 伏見 小倉屋源三郎(豊後橋町)・亀屋半兵衛  
 (大坂町)、京 菱屋弥兵衛(寺町通錦小路上  
 ル)  
 ※書名は朱刷りの扉による。表紙に「嘉永三戌十  
 月来朝」と墨書した小札あり。  
 5—13リ3

30183 <sup>テウセンジンダイギヤウレツキ</sup> 朝鮮人大行列記 半他1冊と合1帙1冊 延享5刊 <sup>(1748)</sup>  
 京 菊屋七郎兵衛(寺町松原上ル町)  
 ※原題箋「(旗印の中に) 清道/朝鮮人大行列記  
 大全/延享五辰年新板絵入」、巻頭には「朝鮮人來朝  
 物語」とある。33405「朝鮮人大行列記」(宝  
 暦13版)と合帙。33405参照。書肆の編か。扉  
 に目録を切り貼りする。後半、絵の部分は補修  
 あとあり、別本の合綴か。  
 5—13チ1 そ千三拾三全 10銭

30184 <sup>チュウクワレキダイキリヤク</sup> 中華歴代紀略 上・中・下 大1帙3冊  
 向陽林子著 <sup>(1650)</sup> 慶安3跋、<sup>(1661)</sup> 寛文元刊  
 京 衣店富春堂  
 ※第1冊表紙に「全三冊」、「三百六十二」と  
 記した小札あり。第1冊裏表紙上部に「中華歴  
 代」と記した小札あり。  
 5—41チ1 や五百六十七 15銭

30185 <sup>ヤマトシチジヤク</sup> 山迹七字城 本・末 半1帙2冊  
 林叟編・自序、禮尚窩主人恭齋跋 <sup>(1665)</sup> <sup>(1684)</sup> 寛文5序、貞享元跋

京 松本屋大角清兵衛 (五條醒井通)

※七言聯句七巻をおさめる。見返しに聯句作者について墨書する。柱書と本冊末は「七字城」。

本冊表紙に「百三十三」の札あり。

4—07サ7 そ九百五拾巻全二 10銭

オランダサンブツツカウ

30186 和蘭産物圖考 一〜三 半3冊

藤元良著・自跋, 熊尚之序 (寛政10), 秋里籬島序  
(1797) (1798) (1798)  
(同9) 寛政10刊

京 林権兵衛 (寺町通二條下ル町)

※画入り。5巻より成る。刊記右に「法橋西村中和」と記す。『国書総目録』によれば、「西村中和画」。

6—29オ1 つ百式拾三全三 35銭

タイセイヨチツゼツ

30187 泰西輿地圖説

天・地・日・月・星・辰 半1帙6冊

朽木昌綱 (竜橋) 著, 鳩谷孔平信敏序  
(1789) (1789)  
天明9序, 寛政元刊

江戸 松本善兵衛 (日本橋通二丁目)

※「泰西輿地圖説」は見返しの内題と原題簃による。巻頭の内題と柱書は「泰西圖説」。刊記に、書肆の名と並べて「大傳馬町三丁目 彫工朝倉甚助」とある。「辰」冊は地図。

5—88タ2 つ百拾巻全六冊 50銭

ボタミンチユウコクカイ

30188 牧民忠告解 上・下 半2冊

樋口好古撰・自序, 杉浦邦古校・跋, 大家長幹序,  
(1785) (1786)  
彭炳序 天明5自序, 同6序・跋

書肆不明

※上冊表紙右上スミに「九十」の札が貼られている。題簃右横に「経」(朱)の小札が貼られている。本文巻頭にいわく、「此書ハ。元ノ西臺中丞張養浩。字ハ希孟トイヘル人。郡縣ヲ治ル官人ノタメニ作レリ。」

2—42ホ2 よ九拾五全式 10銭

リウキウネンダイキ

30189 琉球年代記 半1帙1冊

大田南畝著, 東條琴臺序, 楚山人跋  
(1832)  
天保3序・跋・刊

杏花園蔵版

※題簃下部「附雑話 全」と刷られている。序には書名「琉球年譜」とある。琉球年代記と琉球年譜と二部に分かれる。絵入り。

5—83リ3 そ千四拾五全 10銭

セウシヤウハツケイ

30190 瀟湘八景 乾・坤 半1帙2冊

宮川一翠子道達編・自序 貞享3序, 同5刊  
(1686) (1688)

京 風葉軒

※上記書名は見返し内題による。巻頭の内題は「瀟湘八景詩歌鈔」, 原題簃は「瀟湘八景大全」, 柱書は「八景詩」となっている。絵入り。見返し内題の右に「詩歌鈔」, 左に「龍頭図」と小書き。

5—86シ2 そ九百六拾六全式 20銭

ヲウナハヤガクモン

30191 女早学問 上・下 半2冊

大江資衡禪圭著・自序 安永6序・刊  
(1777)

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南一丁目), 大坂大野木市兵衛 (心斎橋筋), 京 河南四郎右衛門 (堀河通仏光寺下ル丁)・武村嘉兵衛 (二条通新町東へ入丁)

※上冊表紙右スミに「百二十七」の小札あり。刊記 (下冊21丁ウラ) に「京都久川靱負著」(著者の通称)。「大江玄圃先生著述目録」を付す。

1—85オ3 よ百〇二全二 25銭

マニアハセハヤガクモン

30192 間合早学問 上・下 半1帙2冊

大江資衡禪圭 (玄圃) 著, 雨新庵老杜多序, 鶴橋の叟序  
(1766)  
明和3序・刊

京 河南四郎右衛門 (堀川通仏光寺下ル丁)・武村嘉兵衛 (釜座通御池上ル丁)

※初学のための学問書。刊記に「久川靱負著」とあるのは著者の通称。

4—01ト1 よ百番〇全式冊 25銭

マンザイラク アンセイケンモンシ

30193 萬歳樂 安政見聞誌 上・中・下

大1帙3冊

一勇齋國芳・一登齋芳綱・一筆菴英壽・一鶯齋国周画

書肆・刊年不明

※挿絵は多色刷。地震・火事などの厄災をしるす。

6—28ア1 さ式百拾四全三 30銭

ランガクカイテイ

30194 蘭學楷梯 乾・坤 半1帙2冊

玄澤大槻茂質著, 龍橋源昌綱序, 孔平信敏序, 桂川甫周跋, 宇晋跋 天明3序・例言・跋, 同8刊  
(1783) (1788)

江戸 羣玉堂松本善兵衛 (日本橋南三町目)・



松本平助(江戸橋四日市)

※乾冊表紙に「異」の小札あり。同見返しに羣玉堂による内容紹介、同第1丁に旧蔵者「大観堂」の印あり。

4—81ラ1 よ百拾六全貳冊 15銭

オランダヤクセン

30195 和蘭譯筭

大1帙1冊

前埜良澤源惠著・自序

(1785)  
天明5序

写本

4—81オ3 大惣番号札剥落 10銭

ダフタンシヨウハイキ

30196 韃靼勝敗記

一〜五

大1帙5冊

著者未詳、墨堤舍序

墨堤舍梓

※見返しに「海外路巷説」と記す。絵入り。「太清道光三十年十月廿八日穆彰阿耆英二臣論」を引く。逸名序あり。

4—41サ40 て八百五拾九全五〇 25銭

カイダワイシンワ

30197 海外新話

壹〜五

半1帙5冊

著者未詳、楓江釣人序

(1849)  
嘉永2序

書肆不明

※絵入り。落書はなはだし。

4—41サ11 て八百五拾壹全五 25銭

カイダワイシンワシフキ

30198 海外新話拾遺

一〜五 大1帙5冊

種菜翁著、烏有生序

(1849)  
嘉永2成・刊

書肆不明

※成立年は第1冊巻頭の例言による。第1冊序の第1丁と第2丁とが錯簡。第2冊裏見返しに落書、第3冊見返し・第4冊裏見返し・第5冊見返しに朱で書入れがある。

4—41サ12 て八百五拾貳全五冊 20銭

カイダワイジツロク

30199 海外實録

卷之一〜五 大1帙5冊

實柑居士序

(1854)  
安政元序

行餘堂蔵梓

※見返しの内題横に「安政二發兌、禁賣買」と記す。内容は清英戦争の記事。各巻絵入り。卷之二・五の巻末のみ書名が「海外餘話」となっている。

4—41サ10 て八百五拾四全五 20銭

シンコクゾ シツウカイ

30200 新國圖志通解

一〜四 大1帙4冊

「歐羅巴人」原撰、大清林則徐訳、魏源重輯、皇國隠士和訳・序

書肆不明

※凡例によれば『海國圖志』につづく刊行。『国書総目録』によれば安政元刊。挿絵あり。

(1854)  
5—88シ2 て八百七拾七全四 20銭

ザウシ

30201 象志

大1冊

(1729)  
享保14刊

京 並川甚三郎・木村市郎兵衛(堀川通佛光寺下ル町)、江戸 植村藤三郎(本石町三町目十軒店)、大阪 安井嘉兵衛(心斎橋筋淡路町角)※象の博物誌。

6—24ノ3 千五十五〇 30銭

ナンバウサウモクジヤウ

30202 南方草木状

乾・坤 大1帙2冊

賈嵇含著・自序、宋范成大著(桂海草木志)、伊予吉田平住専安訓点、高井見立(大坂北久宝寺町三丁目)

(1725) (1726)  
校・跋、古林正禎序 享保10序、同11跋・刊

大坂 秋田屋大野木市兵衛(安堂寺町心斎橋)

※乾冊は「南方草木状」の巻之上・中、坤冊は同下および「桂海草木志」から成る。序の題は「合刻南方草木状桂海草木志」、坤冊原題籤には「附・草木志」と刷られている。附属図書館にもとあった時の配架番号は「6—21ナ1(30と書込みあり)」。○千四百十の小札あり。

葉N2 こ九百三拾壹全貳 20銭

レキダイセンサイロク

30203 歴代荃宰録

一〜七・八之九・十

大1帙9冊

法眼春齋著・自跋

(1656) (1667)  
明暦2跋、寛文7刊

京 荒川宗長

※第1冊表紙に「歴史」(朱)、「三百六十一」(墨)と記した小札2枚あり。中国の帝王とその臣下を年代順に挙げた書。若狭の酒井忠勝君の求に応じて、と跋にいう。第1〜3冊には墨書注記あり。

5—41レ3 や五百拾六 50銭

レキダイテイワウケウウン

30204 歴代帝王紹運図

1冊

廃棄

30銭

30205 <sup>スイドカイベン</sup> 水土解辨 上・下 大1帙2冊を合綴1冊

西川如見著

京 柳枝軒

※2冊を表紙のまま合綴。上冊は原題箋及び巻頭内題に「水土解辨 氣運盛衰辨」、下冊は原題箋「水土解辨 葬法辨」、巻頭内題「水土解辨 葬法之辨」とある。上冊表紙、右上スミに「□千四百四十三」、題箋右横(大惣番号札の上)に「こ(墨) / 天文(朱)」の小札あり。柱書は、上冊が「水土解 併辨」、下冊が「水土解辨」・「水土解」。

8—82ス1 け五拾四全式 15銭

30206 <sup>シ ジイウシヤウ</sup> 四時幽賞 半1帙1冊  
高濂著, 狩野探幽等画, 埜子苞跋(寛永20および寛文7), 忍岡林叟跋(寛文7), 菊廬野節跋(1667) 寛文8刊

京 林和泉掾(小川)

※題箋欠。上・下(巻)に分ける。埜子苞は『国書総目録』によれば野間三竹。見開き右に文、左に画を配す。墨書にて頭註を付す所あり。逸名序あり。

4—48シ21 そ千五拾八全巻 10銭

30207 <sup>ニツボンタウド</sup> 日本 二千年袖鑑 初編〜三編  
唐土 拾遺 天・地・人 大1帙6冊  
絵入 濱松歌國ほか編, 松川半山画

(1844) (1852)  
天保15〜嘉永5刊

大坂 奈良屋松兵衛(天満九丁目筋天神鳥井南ノ辻南) = 初〜三・天冊版元, 大坂 伊豫屋善兵衛(堺筋清水町北エ入西側) = 地・人冊の版元, 京 伊勢屋正三郎(綾之小路麩屋町下ル), 江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目), 大坂 敦賀屋彦七(心斎橋北久宝寺町南入)・奈良屋吉兵衛(唐物町御堂筋通り)(以上売弘所)

※折本・旋風葉に仕立てられている。日本におこった事柄の当年までの年数を記したもの。三編見返しに1冊に付き価三匁二分の旨を記した貼紙あり。内題「日本二千年袖鑑」。

5—49ニ1 こ九百貳拾六番㊥  
・こ九百貳拾九全三 75銭

30208 <sup>ゾウホ</sup> 増補 歴代帝王圖 上・下 大1帙2冊  
柳川安東守約著・自序 貞享4序, 元禄13刊  
松葉軒開版, 京 上村次郎右衛門(二条通玉屋町)

※全5巻で上冊が1・2巻, 下冊が3・4・5巻という構成。内題「新增歴代帝王圖」。原体裁5冊を2冊に合綴。上冊表紙「年(朱)の小札あり。

5—41レ4 や九百九十三 15銭

30209 <sup>ナニハミヤゲ</sup> 浪花土産 初篇〜五篇・七篇〜九篇  
半1帙2冊および横(16.7×23.2cm) 1帙6冊  
※「書林兼草紙屋大坂心すばし 塩屋喜兵衛板」の戯作一枚刷りを集めたもの。天保〜嘉永の記事が見える。今井黍丸作「しん一口ばなし」など, 幾つかの連作も含む。三篇以下が横本で「大惣」と刷り込んだ題箋用紙を用いている。「浪花みやげ」の塩屋広告あり。

4—85ナ1 大惣番号不明 1円

30210(1) <sup>センテツソウダン</sup> 先哲叢談 一〜四 大4冊  
原善公道(念斎)(三右衛門)著, 佐藤坦大道甫序(文化14), 陳人四明井潜序(文化13), 善庵處士朝川昇序(文化13)

江戸 和泉屋庄二郎(浅草新寺町)・和泉屋金右衛門, 京 植村藤右衛門(堀川仏光寺下ル), 大坂 秋田屋太右衛門(心斎橋安堂寺町)

※慶元堂蔵板目録を付す。(2)後編・(3)年表をも参照せよ。

1—69セ19 こ貳拾番初四 (2)(3)共1円20銭

30210(2) <sup>センテツソウダンコウヘン</sup> 先哲叢談後編 一〜四 大4冊  
琴臺東條著, 龜田粹序, 徳齋原義序(文政13序(原義)・刊, 同14序(亀田)書肆は(1)に大坂 京屋浅次郎(心斎橋本町北)が加わり, 「和泉屋金右衛門」の所在が「横山町三丁目」となっている。

1—69セ19 こ貳拾番全四

30210(3) <sup>センテツソウダンネンベウ</sup> 先哲叢談年表 大1冊  
琴臺東條耕著・自序, 山崎美成序 文政10序  
京 河内屋藤四郎(寺町通佛光寺), 江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通堂丁目)・山城屋佐兵衛

(同貳丁目)・須原屋新兵衛(同貳丁目)・西宮屋彌兵衛(中橋廣小路)・岡田屋嘉七(芝神明前)・丁字屋平兵衛(大傳馬町貳丁目), 大阪 河内屋茂兵衛(心齋橋筋博勢町角)  
※巻末に2丁分の河内屋茂兵衛の書籍広告あり。原題簽剥落するが, 冊子に挟み込んである。それによれば「先哲叢談 序目・年表」。上記書名は見返し内題による。

1—69セ19 こ貳拾番全巻

30211 <sup>ホンテウカウ シ デン</sup> 本朝孝子傳 上・中・下 大3冊  
伊蒿子(藤井懶斎)著・自序, 洛訥仲跋 <sup>(1684)</sup> (1685)  
天和4序・跋, 貞享2刊  
京 西村孫右衛門  
※漢文。絵入り。

1—84ホ3 大惣番号札剥落 60銭

30212 <sup>サウバウ キ ゲンテキ ギ</sup> 草茅危言摘義 一〜五 大1帙5冊  
竹山中井積善著, 晉齋神惟孝校  
「柳條閣活版」 <sup>(1789)</sup>  
※木活字版。中井積善の『草茅危言』は寛政元の序を有する。

2—42ソ3 や九百廿五全五冊 20銭

30213 <sup>ワ カンレキダイ ヒ カウタイセイ</sup> 倭漢歴代備考大成 目録・一〜十一  
大2帙12冊  
三宅尚綱著, 小山前定序 <sup>(1713)</sup> 正徳3序・刊  
江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南壹町目)・玉屋次郎兵衛(増上寺前), 京 錢屋儀兵衛(堀河通高辻上町)・柏屋四郎兵衛(二條通御幸町西江入町)  
※神代より正徳3に到るまでの年表。上段は本朝, 下段は中国。第1冊は序, 凡例及び目録。各巻の内題は「新編和漢歴代帝王備考大成」。各冊脇題簽に内容を記す。

5—03ワ1 や九百廿式 50銭

30214 <sup>ホンテウメイシンゲンカウロク</sup> 本朝名臣言行録 上・下  
大1帙2冊  
梅澤肅(西郊先生)著, 田直道・富田幹校, 化龍源頼融題言, 金義井純卿序, 龍輿田桃樹跋 <sup>(1778)</sup>  
安永5刊・序・跋

驩貞堂藏板

※往書は「言行録」。

5—63ホ3 こ四拾五全式② 30銭

30215 <sup>ホンテウメイシヤウデン</sup> 本朝名將傳 上・下 大1帙2冊  
中村興著・自跋 <sup>(1677)</sup> 延宝5跋・刊  
江戸 本屋七郎兵衛(本石町一丁目河岸)  
※上記書名は原題簽による。目録題は「扶桑名將傳」。上冊表紙に「□十三番」と記した小札あり。大惣番号札, もと「や五百□」とあるを貼紙し訂正。

8—21フ11 こ四拾三全式冊 50銭

30216 <sup>センミンデン</sup> 先民傳 上・下 大1帙2冊  
盧千里驥著, 原念齋校・序, 竹田定直序, 古吳慎齋周南序, 浙水友生沈燮菴序, 臨川謙光跋, 虞山蔣溥跋 <sup>(1819)</sup> 文政2(念齋)序・刊  
江戸 慶元堂和泉屋次郎(浅草新寺町)・植村藤右衛門・秋田屋太右衛門  
※序の中では本書を「長崎先民傳」と呼ぶ。慶元堂藏板目録を付す。

5—61セ5 こ四拾四全式冊 30銭

30217 <sup>サンチュウデン</sup> 三忠傳 上・下 大2冊  
安東守約省菴著・自序, 片岡宗純默菴序, 安東元簡侗菴跋 <sup>(1683)</sup> (1684)  
天和3自序, 貞享元刊  
京 柳枝軒  
※題簽下部に第1冊は「平重盛公藤藤房公」, 第2冊は「楠正成公附正行公」とある。旧藏者朱印あり。巻末には「日本橋二丁目/書林柳枝軒/小川彦九郎」の印あり。

1—84サ5 こ五拾巻 25銭

30218 <sup>コクジモウギウ</sup> 國字蒙求 一二三・四五六・七八九・  
十一十二 大1帙4冊  
伊東節編, 河内尚爽序 <sup>(1775)</sup> 安永4序・刊  
梶川七郎兵衛・浅井庄右衛門, 吉村吉左衛門・林伊兵衛  
※編者は序による。書名は原題簽による。目録題・内題は「新撰國字蒙求」。虫損あり。

4—85コ5 や五百五十式 50銭

30219 <sup>ゲンコウキリヤク</sup> 元寇紀略 乾・坤 大1帙2冊  
大橋順周道甫(訥菴居士)著・自序, 春田鬻跋 <sup>(1853)</sup>  
嘉永6序

思誠塾藏板

※參據書目及び年表あり。朱筆の注あり。

5—13ケ2 や九百九拾六全式 30銭

30220 テンコウカイブツ 天工開物 一〜九 大1帙9冊  
明宋應星著・自序, 都賀庭鐘序, 江田益英(南塘)  
(1771) 明和8序・刊  
校 大坂 柏原屋佐兵衛(心斎橋筋北久宝寺町通)  
・菅生堂河内屋茂八(同), 江戸 山崎金兵衛  
(通本石町十軒店)  
※巻上・中・下より成る。中国の工芸類の撰訳。  
諸産業技術を図版つきで解説した技術書。  
8—01テ1 や五百拾八 50銭

30221 ナメリカハダン 滑川談 大1冊  
(1791) 寛政3跋  
塚田虎(多門)著・自跋  
江戸 雄風館蔵  
※表紙の右上スミに「 六十三」, 題籤右ヨコ  
上方に「経」(朱)の札が貼られている。内容  
は, 世が正しく治められるための知恵を九ヶ条  
にまとめて記す。巻末に「彫工宮田六左衛門」  
とあり。柱書下部は「環堵室」。  
1—84カ2 や三百拾番〇 10銭

30222 シクワンメイワ 史館名話 大1冊  
梅洞林慤著, 林春斎補・跋, 端亭辻達序  
(1667) (1668) 寛文7序・跋, 同8刊  
京 林和泉掾(小川)  
※表紙右上スミに「千四百十」「柳」の小札あり。  
本朝中古の詩人の逸話を漢文でしるす。  
10—05シ13 こ七拾六〇全 15銭

30223 タウクワンセウ 唐官鈔 上・中・下 大3冊  
伊藤長胤著・自序, 藤原榮親序, 主殿助伴重威跋  
(1736) (1753) 享保21自序, 宝暦3序・跋・刊  
京 文泉堂  
※柱書下部に「古義堂蔵」。旧蔵者朱印あり。上  
冊表紙に「 三百八十九」の小札。唐の官名  
を著したもの。  
2—04ト3 や九百七十番全三 40銭

30224 ダイシンサンテウジリヤク 大清三朝事略 大1帙1冊  
邨山芝塙・北條永齋略次, 程赤城序, 芝塙自序(清  
三朝實録採要の序として), 邨山喜跋  
(1799) 寛政11跋・刊  
江戸 須原屋茂兵衛  
※清の太祖・太宗・世祖の三代の実録である「三

朝實録」216巻を16巻に採要し, さらに上巻・  
下巻と略したもの。巻末6丁にわたって和泉屋  
庄次郎の蔵板目録あり。その内容が文化年間の  
ものなので, 本冊は後刷りと思われる。  
5—45シ2 や五百八十壹 15銭

30225 ガウトウ カカウシ ゲンカイ 鰲頭歌行詩諺解 長恨歌傳・長恨歌  
琵琶行  
・野馬臺 大1帙3冊  
(1884) 貞享元刊  
著者未詳  
京 小佐治半右衛門・同氏半左衛門  
※3冊の原題籤それぞれに「上(中・下)」と墨  
書。中冊表紙に「全部三冊」の札がある。  
4—08カ1 や七拾六番全三 20銭

30226 フ サウシヨウメイシフ 扶桑鐘銘集 卷之上・中・下 大3冊  
廬門岡崎信好編・自序, 伏水龍公美序  
(1778) 安永7序・刊  
京 柳枝軒茨城多左衛門(六角通鉄屋町東江入  
町)  
※岡崎廬門先生の著述目録および柳枝軒の蔵板目  
録を巻末に附す。下冊裏見返しに柳枝軒の口上  
を印刷した紙片を貼付。柱書「鐘銘集」。  
8—50フ1 こ八百式拾五全三 1円

30227 タウワ サンエウ 唐和纂要 壹〜三 半1帙3冊  
岡嶮援之輯, 藤原安治序, 高希樸仲敦序, 白樺仲凱  
(1716) (1718) 享保元序・跋, 同3刊  
希八跋, 原武卿跋  
出雲寺和泉掾(京 三條通升屋町, 江戸 日本  
橋南一丁目)  
※中国語入門書。単語や文章に中国語の発音を傍  
記する。「和漢奇談」と「奇談通俗」を附す。  
4—83ト3 よ八拾六番全三冊 50銭

30228 ワ ドクエウリヤウ 和讀要領 上・中・下 半3冊  
太宰純徳夫(春臺・弥右衛門)著・自序  
(1728) 享保13序・刊  
江戸 「嵩山房(須原屋新兵衛)蔵版」  
※内題には「倭」字を使用。  
国史せ1—7 よ六十七番全三冊〇 30銭

30229 セキヤ ニヒツ 斥邪二筆 大他1冊と合1帙1冊  
(1866) 慶応2跋  
深慨隠士著・自跋, 憂國野叟校

衛道書屋蔵

※30011『斥邪漫筆』と同帙。

1—06セ1 大惣番号札原欠 10銭

30230 セキララ 赤俣保 大1冊

服部蘇門著

京 菱屋亦兵衛 (五條通柳馬場西へ入ル町)

※巻頭に無名子の序あり。巻末に付録「佛法源流論」あり。著者は、明和6没。<sup>(1789)</sup>

1—26セ1 ふ六拾二番㊦ 10銭

30231 トウゼンヤワ 燈前夜話 乾・坤 大1帙2冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※中国の人物誌の抄物。乾・坤とも最初の丁に目録があり、乾冊には続いて「十八史略序」がある。乾冊の題籤右横に「史」の小札あり。巻頭に朱で「此三卷骨万里和尚之所作」と書かれている。裏見返しに「榊原我泉之」と書込み。

5—42ト1 や五百七十八 25銭

30232 ワウダウコンフクボク 汪道昆副墨 大1帙1冊

汪道昆著・自序

写本

※内題は「副墨」。表紙に「文」(朱)の小札あり。明の汪道昆の文集。

4—05フ1 や百貳拾五番 75銭

30233 ニホンジンブツシ 日本人物史 一〜七 大1帙7冊  
宇都宮由的著, 山科長安序 寛文8序, 同9刊  
書肆不明

※刊記, 「書林」の字の下に書肆名が削られている。上記書名は原題籤による。序題は「日本古今人物史」, 巻頭内題は「日本古今人物史略傳」。

5—61ニ4 こ六番全七 1円82銭

30234 シュウヂヤウコウゴ 出定後語 上・下 大2冊

富永仲基著・自序

延享元自序, 同2「旧刻」, 文化2「補刻」<sup>(1744)</sup> <sup>(1745)</sup> <sup>(1805)</sup>

江戸 前川六左衛門 (日本橋通三丁目), 名古屋 片野東四郎 (本町七丁目), 大阪 松村九兵衛 (心斎橋通南一丁目)

1—20シ3 ふ五拾四全貳冊 30銭

30235 シヤクシニジフシカウ 釋氏廿四孝 大1帙1冊  
日峯著・自序 承応4序, 寛文10刊<sup>(1655)</sup> <sup>(1670)</sup>

京 銅駝坊書林平樂寺村上勘兵衛

※上記書名は題籤による。内題は「釋氏二十四孝」。

表紙右上に「柳」の小札あり。

1—21シ10 こ七拾七全 20銭

30236 クワンシヤウグンデン 關將軍傳 大1帙1冊

嶋夷秋以正著, 伯機跋

※上記書名は内題。題籤は墨書で「関羽將軍傳」。

裏見返しに「京 茨城多左衛門 / 書坊柳枝軒壽梓 / 江戸 小川彦九郎」の紙を貼付。刊年は不明。白文。

5—67カ2 や五百八十貳 15銭

30237 セイゴコイ 勢語古意 上・下二 半1帙3冊

賀茂真淵著

写本

4—30セ2 れ百三拾五 30銭

30238 タウリウ 流 楊弓指南抄 半1帙1冊  
館重興著, 東武好山序

書肆・刊年不明

※刊記なし。巻頭の内題は「楊弓射法指南鈔」。

図入り。

8—64ヨ1 そ千三拾壹全 10銭

30239 シシエンコクジシヨ 紫芝園國字書 半1冊

太宰彌右衛門 (春台) 著, 太宰定保編輯・序

宝暦3序, 同4刊<sup>(1753)</sup> <sup>(1754)</sup>

江戸 文蔭堂蔵板・太田庄右衛門 (日本橋元大工町中通)

※表紙右上スミに「 九番」の小札あり。

1—69シ6 そ六百七十六全 8銭

30240 タマノミハシラ たまのみはしら 上・下 大1帙2冊

平田篤胤著, 藤原貞直序, 堤三郎源朝風序, 大野廣則跋<sup>(1812)</sup> <sup>(1813)</sup>

菅能屋蔵版, 江戸 鴨伊兵衛 (日本橋通四丁目)

・英平吉 (本石町十軒店) ・竹川藤兵衛 (江戸橋四日市) ・西宮彌兵衛 (中橋広小路) ・柏屋

忠七(下谷御成道)・石渡利兵衛(江戸橋四日市)

※序題(貞直)「霊能真柱」。上巻見返しに本書の内容を述べた墨書あり。下巻末に平田篤胤の著述目録を付す。

1—05タ2 大惣番号札剥落 35銭

シユツヂヤウセウゴ

30241 出定笑語 一〜四 大1帙4冊  
平田篤胤著, 従五位上近江守都下朝臣資政序  
(1849) 嘉永2序

坐摩官祝部 董園

※成立は、『国書総目録』に「文化8?」とある。

30023(写本)参照。

1—20シ4 ふ式拾三番前編四冊 50銭

サイチ  
再 フ ジタイクワンセウ  
治 和字大観鈔

30242 上・下 大1帙2冊  
無相桑門文雄著, 菅原為範序, 龍の公美序, 原助跋  
(1753) (1754) (1763)  
宝暦3序(菅原), 同4序(龍), 同13刊  
京 柳田三郎兵衛(寺町通御池上ル町)

※上册右上に「千百五十七」の小札あり。上册裏見返しに「いろは問弁 一冊」と墨書。菅原氏序題「大観鈔序」。

4—63ワ4 や四百拾八 25銭

ミネノ マツカゼ

30243 峯のまつ風 大1帙1冊  
竹内直道著・自序 文化14奥書  
竹内蔵板, 伊勢 文海堂柏屋平助(松阪日野町)

※歌集。郭公・雪・旅・山家に分かれている。表紙に「歌集居」(朱)の貼紙あり。

4—23ミ4 ふ式百六拾式 12銭

ミクニノ コトダマ

30244 皇國之言霊 大1帙1冊  
源罔雄著・自序, 岩間文進序  
(1825) (1827) (1828)  
文政8奥書, 同10自序, 同11序

路岐居蔵版

※表紙の原題簽わきに読み方を示す「みくにのとたま」の札を貼付。

4—63ミ1 ふ六拾三全 10銭

イセモノガタリ

30245 伊勢物語 大1帙1冊  
(1862) 寛文2刊  
名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目), 江戸

同出店(日本橋通本銀町二丁目), 大垣 同出店(本町)

※絵入り本。上巻・下巻より成る。巻末に「尾陽東壁堂製本畧目録」あり。大惣印が見当たらない。巻末に目録あり。本書は後刷り本らしい。

4—30イ3 大惣番号札剥落か 15銭

ワ ジシャウランエウリヤク

30246 和字正濫要略 大1帙1冊  
契冲著 (1698) 元禄11成  
写本

4—63ワ3 ふ三百七拾七 25銭

ガンゲイロク

30247 吟嚙録 大1帙1冊  
平岩元珍著・自序, 菅原長親序, 服部菅旌序  
(1814) (1815)

文化11自序, 同12序(菅原・服部)

江戸 雁金屋清七(小石川傳通院前)

※儒学書。巻末に同人館蔵版目録あり。表紙に「本朝六藝」(墨)の貼紙あり。吟嚙とは「ねごと」の意。

1—69カ11 こ九百五拾壹 10銭

キンダイネンデユウギヤウジサイキ

30248 近代年中行事細記 大1帙1冊  
柳原資廉編, 河合重淳写・奥書 (1709) 宝永6写  
写本

※表紙左上に「禁中」の札が貼られている。図入り。

5—17キ1 や千六十四 50銭

エンジュアンザツキ

30249 圓珠菴雜記 大1帙1冊  
契冲著, 賀茂真淵校註, 平(岸本)由豆流増註・序, (1812)  
褒かもとのあるじ躬弦序 文化9序(平・刊)  
大坂 秋田屋太右衛門(心齋橋安堂寺町), 江戸 英平吉(本石町十軒店)

※表紙右上スミに「□百八十九」の貼札あり。

見返しに「此書は契冲阿闍梨の思ひ出るまにまに, 歌によまん詞にまれ文にかゝんことばにまれ, 一ふしありとおぼしきことばどもを書いでつゝ, みづから註せられたるに賀茂翁の首書くはへられしを得て平由豆流大人増註せられし也, まことに此書は歌よみ文かゝん人の楷梯ともなしつべき書になん」と墨書した貼紙あり。

4—69エ1 ふ三百五拾六 25銭

30250 <sup>サンテツセウデン</sup> 三哲小傳 大1帙1冊  
立綱撰・自序, 江沢講修増補・跋, 鋏形紹真画<sup>(1818)</sup>  
文政元序

上総 陸堂蔵板, 江戸 伊勢屋忠右衛門(京橋銀座二丁目)

※契沖・真淵・宣長に関する小伝。色刷り図像3つあり。巻末に「耕文堂蔵板目録」として広告多数と、睡眠薬「粒甲丹」の広告あり。

4—20サ1 こ七拾三〇全 15銭

30251 <sup>マガノヒレ</sup> 萬我能比礼 半他2冊と合1帙1冊  
市川匡著

名古屋 風月堂

※著者は『国書総目録』による。内題「末賀能比連」。表紙に「 四巻/居/れ二百」の札あり。永楽屋東四郎の蔵板目録あり。

1—05マ1 大惣番号札剥落 10銭

30252 <sup>コトバノヤチグサ</sup> 詞のやちくさ 上・中・下  
半1帙3冊

梅の屋翁著, 珠阿弥序(自序か)

江戸 萬笈堂英平吉(本石町)

※下冊末に「江戸本石町十軒店萬笈堂英平吉和書目録」(13丁75点)あり, 著者名はこの書目による。書名は上冊題簽・内題による。中・下冊題簽は「言葉のやちくさ」。『国書総目録』によると, 『言葉のもとすえ』を改題した書。

4—62コ3 れ六拾式全三冊 30銭

30253 <sup>シナトノカゼ</sup> 級長戸風 勇・仁・真(上・中・下)  
(一・二・三) 大1帙3冊

沼田順義著, 大澤直道筆受, 長澤徳彦校, 芳田春壽書, 焙斎主人序(文政13)<sup>(1830)</sup>, 山本宗瑛序(同13), 幻菴道人黙旨序(同12)<sup>(1829)</sup>, 田澤仲舒序(同12), 及時居士序(同13), 陟屋堂序(同12), 荊山魚澄璣序(同13), 金子祐倫序(同12), 協庵庵主人跋(同13)<sup>(1828)</sup>

文政11端書, 天保2刊

名古屋 永楽屋東四郎(本町七丁目), 京 須原屋平左衛門(三条通富小路)・勝村治右衛門(寺町通松原上ル), 大坂 敦賀屋九兵衛(心齋橋南一丁目)・柏原屋源兵衛(心齋橋北詰), 江戸 山田佐助(兩國吉川町)・小林新兵衛(日本橋通貳丁目)

※勇冊と仁冊の末に「尾張人本屋ノ音久伊」による書込みあり。神道書。

1—05シ4 ふ三拾壹全三冊 40銭

30254 <sup>オカゲマカリキキガキザウシ</sup> 御蔭参聞書草紙 上・中・下  
半1帙3冊

寸松堂主人著, 金玉亭のあるじ序, 板元書舖のあるじ跋<sup>(1830)</sup>  
文政13刊

福本蔵板, 京 河南宗助(二条通高倉東入)・鉦屋萬助(蛸薬師寺町西入), 大坂 河内屋太助(心齋橋物丁南入)

※上記書名は原題簽によるが, 内題には角書「徒然教訓」あり。

1—04オ2 む百三拾壹 15銭

30255 <sup>タフノミネニジフクシヨウシ</sup> 多武峯二十六勝志 半1帙1冊  
竺式蘇(息養)撰, 姪如海校・跋, 藤澤甫序, 阿野通浅序, 旭莊謙題字, 竹亭武敬画

書肆不明<sup>(1775)</sup> 安永4序・跋・刊

※絵に短文と詩を添える。

1—04タ15 さ百七拾壹全 15銭

30256 <sup>シンバンコウヘン</sup> 新版 嫁入談合柱 上・下  
後篇<sup>(1790)</sup>

華鳳山人著・自序 半2冊  
寛政2刊

京 伊勢屋庄助(四条富小路), 大坂 塩屋喜助(心齋橋筋), 江戸 前川六左衛門(日本橋)  
※備中鳥羽了怡の書の後篇を意図する婚礼式法書。巻尾に「婚礼状案文」, 熨斗の折り方の図あり。表紙に「百廿七/礼/共式」「 五十八」「全二冊」の札あり。

1—86ヨ1 そ式百拾九番後篇全式 15銭

30257 <sup>クワイイベンダン</sup> 怪異辨斷 一〜八 半1帙8冊  
西川如見著・自跋, 臥雲叟<sup>(1714)</sup>金忠佑序<sup>(1715)</sup>  
正徳4序, 同5・4跋

京 柳枝軒壽

※表紙に「怪」「全八冊」の札あり。自跋は正徳5・同4の順で二つある。漢文。博物志。

6—00カ1  五百拾壹番 50銭

30258 <sup>キヤウカ</sup> 狂歌 <sup>カハゴロモノキ</sup> かはころもの記 元・享  
大1帙2冊

鉄格子波丸著, 刈谷季恭序, 西浦祐賢跋  
(1807) (1808)  
文化4序・跋, 同5刊  
名古屋 永楽屋藤四郎(本町玉屋町), 江戸 薦  
屋重三郎(本町通油町), 大阪 河内屋太助(心  
斎橋通唐物町)  
※「狂哥」(朱)と書いた札を元冊表紙に附す。  
巻頭題「かはごろもの記行」。  
4—25キ5 ふ七百四拾四全式 25銭

チャウセイヤウ  
30259 長生草 前・後篇 半2冊  
山崎不言著, 高倉沙門桂岩序 (1794) 寛政6序・刊  
肥後 橘屋清蔵(隈本新三丁目), 江戸 橘屋  
七兵衛(日本橋通二丁目), 京 橘屋儀兵衛(御  
幸町御池上ル町)  
※著者名が前篇には「普山」, 後篇には「不山」  
としるされている。「全二冊」小札あり。絵  
入り。  
1—26チ2 □□六十七番 10銭

ワカ コゴシンヒョウ  
30260 和歌古語深秘抄 一〜十 半1帙10冊  
恵藤一雄編・序 (1702) 元禄15刊  
京 出雲寺和泉掾, 江戸 同店(日本橋通一町  
目)  
※第1冊 秘蔵抄上, 第2冊 秘蔵抄中・下(写  
本), 第3冊 新撰髓脳・莫傳抄・和歌肝要,  
第4冊 後鳥羽院御口伝・定家和歌式(写本),  
第5冊 正風跡抄・和歌庭訓, 第6冊 家隆口  
傳・近來風跡抄, 第7冊 瑩玉集・鏡河上, 第  
8冊 八雲口傳・よるのつる, 第9冊 耕雲口  
傳・桂明抄, 第10冊 八雲一言記・和歌二言集  
・和歌用意。出雲寺による跋文あり。墨書題簽  
は「和歌」を角書にする。  
4—22ワ42 大惣番号札剥落 50銭

エイリ  
30261 繪 民家育草 上・中・下 半1帙3冊  
大蔵永常著・自序, 蕉園左入序, 六樹園主人序  
(1825) (1827)  
文政8序(蕉園), 同10刊  
江戸 須原屋茂兵衛・鶴屋喜右衛門, 京 河南  
儀兵衛, 大阪 林新兵衛・秋田屋太右衛門  
※秋田屋の蔵板目録あり。  
1—84ミ2 た三百式十七全三冊 15銭

シヨセツベンダン  
30262 諸説 俗僻反正録 一〜五 半1帙5冊  
辨断

平景尚著・自序, 東陽邑元序 (1785) (1786)  
天明5自序, 同6序・刊  
江戸 石崎孫七(神田下白壁町)・中邑善二  
(神田富山町)  
※第1冊題簽に「古事物語」と書込みあり。第1  
冊から第4冊までの巻末に次の冊の目録あり。  
第5冊巻末には書肆の刊行書目録あり。第1冊  
表紙見返しに世並屋伊兵衛の印あり。  
5—19ソ1 そ五百三十八全五冊 25銭

アツチモンダフゲンチュウ  
30263 安土問答診註 一〜五 半5冊  
浪華隠士誓誓重碩著・自序 (1747) (1789) (1814)  
延享4序, 寛政元御免, 文化11刊  
京 浅井庄右衛門  
※第5冊末尾の内題のみ「安土問答繪抄」。日蓮  
宗についての本。  
1—26ア4 む七百拾全五〇 25銭

シンセン  
30264 新撰 東鑑集要 上・下 半1帙2冊を合綴1冊  
(1894) (1895)  
大坪無射著, 河南氏跋 元禄7序・跋・成, 同8刊  
村上与兵衛・加藤市兵衛(日本橋南壹町目)  
※逸名序あり。  
5—07ア4 た七百拾六全式冊 40銭

ホンテウネンダイキ  
30265 本朝年代紀 帝王輯略・武將略紀・  
卷之一〜卷之七 半1帙9冊  
田登仙著, 桑村孚休子序, 桑名松雲跋 (1684)  
貞享元序・跋・刊  
京 大森太右衛門(京極通二條上町)・植村藤  
右衛門(堀川通高辻上町)・梅村彌右衛門(京  
極通松原上町)  
※各冊に脇題簽があって, 目録を記している。ま  
た各冊に「九」までの通し番号を記した小札が  
貼られているが, 第1冊と第3冊は剥落。また  
第1冊の表紙右上に「□イロハ引」の小札,  
その下に「九冊」の小札あり。  
5—03ホ3 そ八百十六 40銭

クワンエイギヤウカウキ  
30266 寛永行幸記 大1帙1冊  
(1626)  
以心崇伝著・自序 寛永3成



写本

※「板本三冊西國之大名附」1枚,「主上御膳黄金白銀製調晴之御膳」1枚が挟み込まれている。

5-17カ5 大惣番号札剥落 10銭

カマクラオホザウシ

30267 鎌倉大双紙 上・下 大1帙2冊

著者未詳

写本

※逸名序及び目録あり。末尾に朱で「以鎌倉海蔵寺蔵本校合了重而上州新田岩松兵部本抜合了」とある。内題下に朱で別名「太平後記」「関東合戦記」がある旨を記す。

5-09カ1 こ三百七拾五全二 30銭

ゾクジンワウシヤウトウキ

30268 續神皇正統記 大1帙1冊

小槻宿称(晴富)著・自跋

写本

※文明年間成立。通史。表紙右上スミに「□六  
十□」の小札あり。本文には朱字で注記が入れ  
られている。

5-09ソ1 や千拾九全 15銭

チャリカタギ

30269 可笑堅気 一〜四(元・亨・利・貞)

半1帙4冊

著者未詳

写本

※逸名序あり。七巻。巻之七は前編・後編より成  
る。第1冊表紙に「ちやりかた氣」と墨書。  
「一簣堂」「芥涼舎」印あり。滑稽本。

4-42チ1 あ四百四拾七 15銭

ナンテウキデン

30270 南朝紀傳 一〜五 大1帙5冊

著者未詳

写本

※第1冊の内題「南方紀傳」,第3・5冊の内題  
「南朝記傳」。第1冊表紙に「□百五十一」の  
小札あり。

5-08ナ4 て五百五拾九全五 1円

シヤウトウロク

30271 正統録 大1帙1冊

藤原秀辰著,俵三辰磨奥書,勝碑龍奥書  
(1724) (1727)  
享保9成・同12写

写本

※巻末の俵三辰磨の奥書には,本書は別号を「異  
神問答」というとある。

1-05シ8 や八百七十五 15銭

アユヒセウ

30272 あゆひ抄 一〜六 半1帙6冊

北邊(富士谷成章)口授,吉川彦富・井上義胤筆授  
(1773) (1778)  
安永2成,同7刊

北邊塾蔵板,京 勝村治右衛門(寺町松原下ル  
町)・武村嘉兵衛(新町二條下ル町)・秋田屋  
平左衛門(寺町蛸薬師下ル町)・西村平八(新  
町二條上ル町)・天王寺屋市郎兵衛(寺町五条  
上ル町)・山田屋卯兵衛(寺町三條下ル町)

4-62ア1 れ武拾番全六冊 45銭

ジョジホンギイチラン

30273 助辭本義一覧 上・下 半1帙2冊

池庵橋守部述,同嗣業冬照撰・序  
(1835) (1838)  
天保6成・序,同9刊

京 勝村治右衛門(寺町通り松原下ル),大坂  
秋田屋太右衛門(心斎橋通り),江戸 岡田屋  
嘉七(芝神明町)・英大助(石町十軒店)・西  
宮彌兵衛(中橋廣小路)・山城屋佐兵衛(日本  
橋通二丁目)・小林新兵衛(同町)・須原屋茂  
兵衛(同通一丁目)・須原屋伊八(浅草茅町二  
丁目)・須原屋佐助(同通四丁目)

※見返しに「千鍾房發行」とあり。

4-62シ1 大惣番号札剥落 40銭

エウケンホサノココロエ イシツツウケイ

30274 幼君補佐之心得・一志通惠

半1帙1冊

稻葉正義著(幼君),頼彌太郎著・自跋(一志),箕  
浦右源次跋(一志),板倉勝明編・序

(1736) (1855)  
元文元成(幼君),安政2刊

甘雨亭蔵板,江戸 山城屋佐兵衛(日本橋通二  
丁目)

※題簽には「□(幼) 君補佐之心得附一志通惠完」  
とある。頼彌太郎の自跋は山田圖書宛て書簡,  
箕浦右源次の跋は山口信八郎宛て書簡の形をと  
っている。

1-84ヨ1 そ千八拾三全巻 5銭

フウゾクヘウカイロク

30275 通俗漂海録 一〜四 大1帙4冊

朝鮮崔溥原著,江邸綏序,柚木太玄序,伊藤聖訓跋,  
堀米吉跋 (1769) (1795)  
明和6序・跋(いずれも),寛政7刊

江戸 須原伊八(下谷池之端),大坂 大野木  
市兵衛(心斎橋安堂寺町),京 山本平左衛門  
(寺町蛸薬師下ル)・林伊兵衛(二条通柳馬場  
東)

※巻頭の書込みによれば「唐土行程記」の改題本。

5—87ツ1 大惣番号札剥落 30銭

30276 <sup>ワ カン キ ブン</sup>和漢寄文 壹〜八 大1帙8冊  
菅俊仍繩甫著, 盧草拙序 (1726)  
享保11序  
写本

※外交・貿易に関する書。4巻を8冊に収める。

巻末に「是書多係公署之秘不許示人」とある。

5—13ワ1 大惣番号札剥落 2円

30277 <sup>ハフデフ コ キンワ カ シフジヨ</sup>法帖 古今和歌集序 附論語序 <sup>ロンゴジヨ</sup>  
縦長(32.7×11.4cm) 折本1帙1冊  
尊圓親王書, 石津亮澄跋 (1833)  
天保4跋・刊  
尚徳堂蔵版, 大坂 河内屋太助(心齋橋通唐物町)  
※大惣印なし。原題籤「□(古)今和歌集序附論語序」の右に墨書題籤「法帖 全」が附されている。

8—43ホ2 大惣番号札原欠か 10銭

30278 <sup>シフジチフ ソンエンヒ ハイソ</sup>習字帖 尊圓琵琶引  
特大(31.3×21.9cm) 1帙1冊  
尊圓親王書

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目), 大阪 河内屋喜兵衛(北久太良町心齋橋)

※大惣印なし。原題籤「尊圓琵琶引」の右に「習字帖」の墨書題籤。

8—43シ4 大惣番号札原欠か 40銭

30279 <sup>タイヘイネンベウ</sup>泰平年表 半1帙1冊  
写本(透き写し) (1542) (1780)  
※天文11年から安永9年までの年表。

5—11タ3 大惣番号札剥落 10銭

30280 <sup>ナミアヒキ カウツキキ シナノ ノミヤノデン</sup>浪合記・上月記・信濃の宮の傳 半1帙1冊

写本

(1783) 天明3写(白井景應), (1833) 天保4再写

※表紙上中央に「拾莠集」と墨書した題籤が「浪合記」以下の3書名を記した題籤と並べて貼られている。内容は家伝。大惣の半紙を使用。附録として、「尾州津嶋四家」と「同所の七黨」「同国一の宮四家」「信濃宮の後系」「大橋氏畧系」「内裏屋敷私考」あり。

5—08ナ1 め三百五拾貳全 5銭

30281 <sup>シユウトクキヤウセウ</sup>宗徳経抄 半1帙1冊  
尾府小林隨景著 (1751)  
寛延4成

写本

※神道書。表紙に「□七十四」の札あり。

1—03シ1 よ三百〇六全巻 15銭

30282 <sup>クワンエイゴジヤウラク</sup>寛永御上洛 <sup>ギヤウカウダブギヤウレツレツキ</sup>行幸供奉行列烈記  
上・中・下 半1帙3冊  
著者未詳 (1693)  
元禄6成

写本

※原本は大坂 浅野弥兵衛(高麗橋一丁目)正徳2刊。逸名序及び跋あり。巻頭書名は「御行幸之記」。序よりこの書は寛永3の行幸記録であることがわかるが, 下巻末にそれが元禄6改正された旨記されている。上下巻は行列図。

5—17カ6 大惣番号札原欠 30銭

30283 <sup>ケイアンネンチユウオフレガキ</sup>慶安年中御触書 半1冊  
写本

※表紙右上スミに「㊥□七」の札あり。「慶安五年辰正月」より始まる。

2—03ケ1 ゆ八百七拾九番全 5銭

30284 <sup>ナノリハイケヒジ</sup>名乗配卦秘事 1冊  
廃棄

5銭

30285 <sup>オミヤウガ フシンノキナラヒニツ アツタセングウ</sup>御冥加普請の記并圖・熱田遷宮  
<sup>ギヤウサウノフ</sup>行装圖 大1帙2冊を合綴1冊

(御冥加——)一東利助實雄著・自序 寛政4序

版本, 書肆不明

(熱田——)青元宣「模」, 藤益根「校」 (1795)  
寛政7奥書

写本, 一部筆彩

※異なる2冊を1冊に合綴。

1—04コ21 さ千百五拾三 20銭

30286 <sup>ヨロヅメノゾヒデン</sup>萬目之圖秘傳 半1帙1冊  
著者未詳 (1688)  
寛文8成

写本

※成立年は, 内題横に「寛文八曆, 申ノ霜月上澣」とあるによる。目葉の作り方, 眼病につい

て解説したもの。表紙改装。大惣印を欠く。

7—02ヨ1 大惣番号不明 5銭

30287 ミヤコイマヤウツドリクド キ  
都今様踊くどき (※参照)

半2帙2冊

書肆不明

※種々のくどき節を集成したもの。うち1冊は表紙を欠き、1冊は改装。よって第1・2冊を区別する呼称は不明。大惣蔵書印なし。

4—29ミ2 大惣番号不明 20銭

30288 ネコロヒクサ 半1帙1冊

内藤丈艸著、曇華坊魯九跋 (1694) (1716) 元祿7成、享保元刊

京 たちはな屋治兵衛 (寺町通押小路下ル丁)

※内題および帙に施された題名は「ねころのくさ」に誤る。見返しに「世の中のはかなき事又は物祝ひなど心得違の事」と墨書。丈艸の十二回忌追善出版。

4—24ネ1 そ千七拾八全 5銭

30289 チヨノヂカタメ 初編 半1冊

華鳳著・自序・自跋 (1789) 寛政元序・刊

京 伊勢屋庄助 (烏丸通三條下ル町)

※見返しに「禁裏御地築」と書込み。表紙右上スミに「□七□」の小札あり。巻末に後編の予告あり。

8—02チ14 そ千五拾五全 5銭

30290 テクエンホウデフ  
竹園寶帖

縦長 (31.0×11.2 cm) 折本1帙1冊

尊圓親王書、井伊友直跋 (1827) 文政10跋

江戸 和泉屋吉兵衛

※大惣印なし。

8—43チ2 大惣番号札原欠か 10銭

30291 ヘナシノカホミセ  
嘶の顔見世 半1帙1冊

在雅著・茶たら作

写本

※咄本。

8—67ハ1 ち千六百五十四 3銭

30292 ダジャウカンオウヘン・ニンゲンリツシンシユフセノハウ  
太上感應篇・人間立身出世方

半1帙2冊を合綴1冊

(太上——) (1708) 宝永5刊

上村伊兵衛

※巻末の内題は「通俗太上感應篇」。道教書。

(人間——) (1782) 天明2刊

書肆不明

※教訓書。裏表紙に「中野與三郎」の名を記す。

8—86ツ1 よ三百七拾毫 3銭

30293 ツレツレ草拾遺 半1冊

徹雲洞序、賀茂真淵跋、鈴木倫庸校

(1740) (1744) 元文5序、寛保4跋・刊

京 小川彦九郎

※『国書総目録』に、著者「朗如？」とある。表紙右上スミに「□五番」の小札あり。

10—05ツ4 大惣番号不明 15銭

30294 シバキバンツクシフ  
芝居番附集 半1帙1冊

書肆不明

※書名は附属図書館の与えたもの。「聖代武徳弓

勢鑑」「寶小槌てつま占」「黒船出入湊」「龍宮

城弓勢祝言」「冬籠紅梅轡」の5点の芝居絵本

を併せたもの。原体裁5冊を合綴か。表紙に、

各作外題および「三な」「三樹大五郎」と記し

た貼紙あり。『国書総目録』によると、『聖花弓

勢鑑』(別名「聖代武徳弓勢鑑」)は並木良輔・

沢井注蔵等作で宝暦10初演、『黒船出入湊』は

中田嘉右衛門作で享保3初演、『龍宮城弓勢祝

言』は明和元初演、『冬籠紅梅轡』は宝暦13初

演。

8—66シ10 大惣番号不明 15銭

30295 カナヅカヒシヤウカイ  
假字遣詳解 上・(下) 半1帙2冊

著者未詳

写本

4—63カ3 れ百三十番 20銭

30296 クワンシヨクツウカイ  
官職通解 半1帙1冊

千葉玄之著・自序、金峨井純序 (安永3), 松窓關

脩序、飯室昌符跋 (1774)

安永4自序・序 (松窓)・跋, 同5刊

芸香園蔵

※見返しに芸閣先生輯とするす。官職名を挙げて説明した書。

2—03カ5 そ千四拾番 5銭

30297 アツタソンメイキ 熱田尊命記 上・中・下 半1帙3冊  
尾城下ノ運覽斎(天野信景)著・自序・自跋, 加藤  
運為写 (1693) 元禄6序・跋, 宝暦3写 (1753)

写本

※序題「熱田太神宮本社末社神體尊命記集説」,  
本文内題「熱田本社末社神軀尊命記集説」。各  
冊裏見返しに加藤運為の署名と印がある。

1—04ア1 ヲ六百四拾三全三 25銭

30298 カイコクヘイダン 海国兵談 一〜八 半1帙8冊  
林子平著・自序, 工藤球卿平助父序 (1786)  
天明6自序・奥書

写本

※外交・軍事。

8—21カ2 大惣番号札剥落 20銭

30299 ホンテウブ ケコンゲン 本朝武家根元 上・下  
半1帙2冊を合綴1冊

写本

※標題は各冊内題による。題簽は墨書で「本朝武  
家根源」。自序あり。『国書総目録』によると明  
暦3刊本あり。 (1657)

8—21ホ1 大惣番号札剥落 10銭

30300 ヤマトカンスケヒデンノシヨ 山本勘助秘傳之書 半1帙1冊  
著者未詳 (1545) 天文14成

写本

※表紙の右上スミに「千五」の小札あり。

8—21ヤ3 大惣番号札剥落 5銭

30301 シロウケトリギヤウレツシフ 城請取行列集 半1帙1冊  
写本

※協題簽に「城取行列集/越後高田/美作津山/  
遠江濱松」とある。高田は延宝9, 津山は元禄  
(1697) (1724) 10, 浜松は享保9の事。

5—17シ11 百八拾五全 5銭

30302 リウキウジンライテウキ 琉球人來朝記 横(14.1×23.6cm) 1帙1冊  
写本 (1750) 寛延3写

※内題は「琉球王使参府記」。「琉球來聘雜録」を  
附す(紙型やや狭)。その中に「楽器圖」あり。  
(1653) (1748)

本書の内容は承応2から寛延元にかけての琉球

国王使の参府日程。

5—13リ2 め八百三拾五 5銭

30303 ギフ シリヤク 岐阜志略 壹〜三 半1帙3冊  
写本

※大惣の半紙を使用。『国書総目録』は著者を松  
永秀雲とする。

5—83キ5 ヲ九百五拾四全三 1円

30304 マツノヤソウカウ 松屋叢考 一〜三 大1帙3冊  
源與清著, 田吹重明・中野義接ほか校 文政9校 (1826)  
書肆不明

※一は「三樹考」, 二「三絃考」, 三「歌詞考」。  
各冊第1丁に「本文」等の印あり。

4—69マ1 乙式百拾式全三 50銭

30305 マツノヤトウリヤウシフ 松屋棟梁集 初編 大1帙1冊  
高田與清著, 岸本由豆流序, 村田當勢序, 片岡寛  
光跋 (1830) 文政13刊

萬笈堂・曬書堂

※随筆。

5—18ト1 ぶ四百四拾五 15銭

30306 ウキクサノアト 萍の跡 大1帙1冊  
大寂菴立綱著・自序, 本間游清序, さゝなみのやの  
あるし跋 (1817) 文化14自序・刊

江戸 伊勢屋忠右衛門(新橋南大坂町)

※上記書名は題簽その他による。本文末の内題及  
び巻末の「大寂菴上人著書梓行目録」には「う  
きくさのあと初編」とあり, また同目録に「二  
編」「三編」の予告がある。裏見返しに「無事  
當帰散」等の大野屋の広告。表裏の両見返しに  
落書き多数。『国書総目録』によると「旧蹟異  
聞」「淡海随筆」「萍跡奇聞淡海随筆」の別題あ  
り。本書原題簽には「一名 旧蹟紀聞」との書  
込みあり。

4—69ウ1 乙式百六拾七全 20銭

30307 ドクゴ 獨語 大1冊  
太宰純(春臺)著

写本

※随筆。題簽に「太宰先生」と書込みあり。見返  
しに「三番」と記す。

10—05ト5 乙三百八拾壹 5銭

30308 シュンジュウシヤシデン 春秋洒子傳 小1帙1冊  
木芽田楽著、唐来山人序 (1793)  
寛政5序・成  
写本

※題簽には「春秋左氏傳」とある。洒落本。

4—43カ17 へ六百貳拾七 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30309 バカサンニン 馬鹿 アツタ キカウ・ 三人 熱田紀行・  
ハツハルコツケイ 初春 フクビ キ・エンダウヒクワン 滑稽 福美記・艶道秘卷  
小1帙1冊

写本

(熱田紀行) 奥井平治良・六浦聾太郎・登六才治良  
著・自序

※本文内題「滑稽熱田紀行」。

(福美記) 紀少将有兼著、杉原半平序 (1807) 文化4序

※序題「滑稽福美記」。

(艶道秘卷) 途呂九斎主人著

4—43ア2 へ六百貳拾八 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30310 フウリウジンモク ジサンケイノキ 風流甚目寺参詣之記 中1帙1冊  
無陀亭(猿猴庵)著 (1822)  
文政5奥書

写本

※滑稽本。『国書総目録』によれば、一名「能知  
亭折助断」。

4—43ア24 へ六百四拾九 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30311 イセサングウキカウ 伊勢参官記行 上・下 中1帙2冊  
栽花園翠竹著・自序・自跋 (1817)  
文化14成

写本

※巻頭書名は「伊勢記行」。滑稽本。絵入り。

4—43ア4 へ六百五拾 15銭  
千(ミセケチ・朱)

30312 ケイセイカイシジフハツテ 軽世界四十八手 中1帙1冊  
椒芽田楽著・自序、大文字屋獨り息子序 (1800)  
寛政12序・成

写本(草稿本か)

※目録あり。絵入り。裏見返しに「書肆 薦 舍  
梓」とある。

4—43カ3 へ六百三拾八 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30313 アミノイハト 天岩戸 中1帙1冊  
旭亭主人著、埜見祐序、山西主人序、椒芽田楽序・  
画 (1796)  
寛政8序(埜見祐)、享和元序(田楽)

写本

※巻頭内題に「滑稽」と角書あり。巻末に山東京  
傳作と記す。

4—43カ1 へ六百三拾四 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30314 アラオリ マヒイセウ 新 舞意鈔 小1帙1冊  
椒芽田楽著・自序・自跋、満寿井豹恵序 (1801)  
寛政13序・跋

写本

※洒落本。原本振仮名は「まいゐせう」。題簽に  
「大のや惣八」と「客」の会話を記している。

扉の絵に彩色を施す。

4—43カ38 へ六百貳拾九 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30315 ナンエキヤワラノタマ 南驛夜光珠 中1帙1冊  
兼斎主人(石橋庵真醉)著・自序・自跋(井山人) (1807)  
文化4序

写本

※洒落本。

4—43カ32 へ六百貳拾九 5銭  
千(ミセケチ・朱)

30316 タウリウメウシユ 當流 スゴロクキンナウセウ 妙手 雙陸錦囊抄 中1帙1冊  
大原芳蔵菊雄著・自序 (1811)  
文化8刊

京 吉田新兵衛、江戸 須原茂兵衛、大坂 魚  
寄本三郎・大野木市兵衛(心斎橋通安堂寺町南  
エ入西側)

※墨書題簽「雙六錦囊抄」、上記書名は内題によ  
る。巻末10丁と裏見返しに大野木市兵衛の書籍  
目録がある。

8—64ス1 ち七百六十巻 10銭

30317 シヤウギゴ シギン 將基五四銀 中1帙1冊  
鈴木玄將著 (1748)  
寛延元刊

書肆不明

※原題簽「象[ ]四銀」。「ミミチカ」の朱印あり。

8—64シ2 ち七百五拾八 5銭

— 雑書(甲), 雑書(乙) —

30318 <sup>チン テ キ モンダフ</sup> ちんてき問答 中1冊  
著者未詳

書肆不明

※見返しに落首。裏見返しに「河野彦」と書込みあり。仏教に関する問答書。

1—26チ4 大惣番号札剥落 15銭

30319 <sup>シヨサツリヤウザイ</sup> 書札良材 (上・下) 横(8.6×19.2cm) 2冊を合綴1冊  
(1703) 元禄16刊

山口氏書堂

※題簽剥落。2冊を表紙ごと合綴しているが、下を先にし上をあとにしている。

4—09小別 大惣番号札剥落 5銭

30320 <sup>ケイザイロク</sup> 経済録 一〜五 大5冊  
(1728) 享保14序  
太宰純(春臺)著・自序  
写本

※10巻より成る。

2—42ケ3 大惣番号札剥落 30銭

30321 <sup>ソ ライセンセイゲンバフ フ シンシヨ</sup> 徂徠先生軍法不審書 半1帙1冊  
物茂卿(荻生徂徠)著

写本

※題簽は「軍法不審問答鈴録外書」。内容は、問として「軍法不審條々」(6丁)、次にその答「十箇條書添」(26丁)、続いて稻葉通邦著の「軍学不審問答之後評書」(30丁)。大惣の半紙を使用。

8—21ク8 た八百三十拾巻全 8銭

30322 <sup>ヲハリノクニノウタヒ</sup> 尾張國之謡 半1帙1冊  
写本

※「八剱・あはて森・園田・草薙」の4曲をおさめる。

4—27オ1 ゆ六百七拾八 12銭

30323 <sup>バフスイ ブ ダウシヨシンシフ</sup> 拔萃武道初心集 大1帙1冊  
(1727) 享保12奥書  
大田寺祐山著、久雄拔粹  
写本

※本文途中に「右是まで上巻下巻(中巻の誤か)の拔書也、是より下巻也、不残写申候」とある。

8—21フ12 て百四拾式 15銭

30324 <sup>ヘイハフモンダフ</sup> 兵法問答 大1帙1冊  
著者未詳

写本

※題簽に「板行とハ違ひ申候」と書込みあり。表紙右上スミに「□百式十四」の札が貼られている。

8—21へ4 て百三拾八 15銭

30325 <sup>ニ ホンシユヅ</sup> 日本主圖 卷之一〜七 大1帙7冊  
山県大武著

写本

※図は附属図書館蔵の『主圖合結記』と一致するが、解説については抄記する。図に筆彩。城郭絵図面集。題簽は書名を「日本主圖卷」と誤る。著者名は『国書総目録』による。

8—22ニ1 き式拾壹全七 75銭

30326 <sup>クワンカイイブン</sup> 環海異聞 一〜十五 大2帙15冊  
大槻茂質(磐水)問、津太夫等答、志村弘強(石溪)  
(1807) 文化4成  
記

写本

※作者等および成立年は『国書総目録』による。絵入り、多色筆彩。31040に『環海異聞略』あり。

5—89カ3 大惣番号札剥落 60銭

雑 書(乙)

30327 <sup>ヤマガキ・オホハラキ</sup> 山家記・大原記 大1帙2冊を合綴1冊  
(1647) 正保4刊  
木下長嘯子著(山家記)

京 村上平樂寺(二條通玉や町)

※題簽改裝。

4—23ヤ3 千五十一 10銭

30328 <sup>ジン コ ベンワクダン</sup> 人狐辨惑談 大1帙1冊  
陶山尚迪大禄甫著、頼山陽序、後藤敬序  
(1818) 文政元序・刊

京 林權兵衛(寺町通二條下ル町)

※「凡例附言」あり。表紙に「奇談」(朱)の貼

紙あり。題簽に「伯州 雲州」と角書あり。見返し内題下に内容を紹介。

4—47シ9 あ七拾五全 15銭

30329 トウセンキダン 登仙奇談 一〜五 半1帙5冊  
(1785)  
平角齋著・自序 天明5序・刊

江戸 前川六左衛門(日本橋南江三丁目), 大坂  
川内屋喜兵衛(心斎橋馬喰町北江入), 京 川  
瀬屋忠助(堀川通下立売角)・永原屋利左衛門  
(堀川通下立売上ル町)

※画入り。朝比奈義秀の奇譚。「名古屋 大津町  
六丁目 三河屋甚良」の印, 第3冊にあり。

4—42ト5 大惣番号札剥落 35銭

30330 シンカン 新刊 ミノフカガミ みのぶかゝみ 上・下  
(1685) (1704)

洛陽沙門著・自序 享享2序, 元禄17刊

并河治郎兵衛・駒井五郎兵衛

※序文に「身延山根元記」, 巻頭の内題「身延鑑」,  
柱書「ミノフ」。上冊に巻之上, 下冊に巻之中  
・下を収める。巻首に目録あり。画入り。

1—22ミ2 よ七百五拾五合式冊 20銭

30331 ホウライヒノデノエビ 蓬萊曦海老 半1帙1冊  
(1729)  
也来人著・自序 享保14刊

江戸 伏見屋藤三郎(通本石町貳丁目), 大坂  
伏見屋藤三郎(高麗橋壹丁目), 京 藤屋小  
左衛門

※巻末に嗣出の書目を記す。戯文。扉に画あり。  
原題簽一部分のみ残る。

4—25ホ4 大惣番号不明 10銭

30332 ノモリノカガミ 野守鏡 壹〜四 半4冊  
(1690)  
伝源有房著 元禄3刊

江戸 松葉清兵衛

※文明11の藤原親長の識語を有す。画入り。中世  
の仏教的歌論書。

1—26ノ1 れ百九十八 40銭

30333 サクヤコノイマイルスガタ 盛梅今入姿・

カ ナ デ ホンチユウシングラナナヤクアタリゲイヒヤウ  
假名手本忠臣蔵七役當藝評

半1帙2冊を合綴1冊

著者未詳

(盛梅今入姿) 大坂 本屋清七(心斎橋塩町角),  
(七役當藝評) 大坂 河内屋太助(心斎橋唐物  
町)・阿波屋文蔵(三ツ寺筋北江入)

※彩色絵入り。中村歌右衛門の評判記。

8—66サ1 う八百三十七全壹冊 10銭

30334 エホンブシヤウキロク 繪本武将記録 上・中・下  
(1790)

半他3冊と合1帙3冊

宿屋主人序

寛政2序・刊

江戸 蔦屋重三郎(常盤橋御門本町筋北エ八町  
目通油町)

※末尾に耕雲堂蔦屋重三郎の絵本目録を付す。画  
工, 北尾紅翠齋恭雅。30336『繪本武将一覽』  
と合帙。

8—44エ28 う三百貳拾六 30銭

30335 エホンタマノイケミツ 繪本玉池水 上・中・下  
(1793)

半他1冊と合1帙3冊を合綴1冊

一陽井素外著・自序

寛政5自序

江戸 蔦屋重三郎(常盤橋御門本町筋北エ八町  
目通油町)

※末尾に「耕雲堂蔵絵本目録」を付す。33360『絵  
本黄昏草』と合帙。

8—44エ7 う五百六拾貳 3円

30336 エホンブシヤウイチラン 繪本武将一覽 一〜三  
(1789)

半他3冊と合1帙3冊

北尾紅翠齋画, 第1冊伯楽宿屋主人序(天明9),  
第2冊伯楽橋南宿屋主人序(寛政2, 刊年も), 第  
3冊四方山人序(天明6, 刊年も)

江戸 蔦屋重三郎(本町筋北エ下ル八町目通油  
町)

※原題簽は3冊とも上記見出しの通り。内題は,  
第1冊「歴代武将通鑑」, 第2冊なし, 第3冊  
「繪本八十字治川叙」。第1冊末に耕書堂主人  
が「前後の篇いまた成らず先中編を出して」と  
記す。第2冊の内容は30334『繪本武将記録』  
と同じ。同書と合帙。

8—44エ27 う三百貳拾貳 50銭

30337 クワダンカウモク 花壇綱目 上・中・下 半3冊  
(1691)

水野元勝著(自序か)

元禄4刊

浅野久兵衛・村井九良兵衛・山本八兵衛

※序文・目録に3丁の欠丁あり。冒頭の内題「花

段綱目」。花の栽培法を記す。

9—25カ3 大惣番号不明 35銭

ホタルズイヒツ

30338 螢隨筆 上・下 大1帙2冊を合綴1冊  
洛下隠士序 貞享5序・刊

京 中村孫兵衛(高辻通雁金町)

※両冊見返しに「実蔵」と墨書。末尾に「安永七  
戌九月求之」と墨書。画入り。跋あり。仮名草  
子。「□千五百」の小札あり。

1—84ホ1 乙式百拾番 35銭

ケイツデンキ

30339 系圖 哥仙金玉抄 上・下

半1帙2冊  
(1683)

洛陽散人山雲子著・自序 天和3序・刊

金屋半右衛門

※下冊原題簽, 抄字を「鈔」に作る。画入り。大  
惣番号とは別の番号の小札あり。

4—22カ5 乙式百四拾三全式 40銭

シンバンエイリ

30340 新版 赤染衛門綾輦 一—五

大1帙5冊  
(1754)

一瓢軒著・自序 宝暦4序・刊

書肆不明

※画入り。浮世草子。旧蔵者「油塩平」「□河屋」  
「京三」「瀧」の印あり。

4—42ア3 あ三百式拾九 80銭

テンデクシンツ

30341 天竺 眞圖 佛國考證 大1帙1冊

(1814) (1817)  
文化11序, 同14刊

朝夷厚生著・自序

静觀堂, 尾張 煙霞樓藏板

※図入り。

5—81フ1 大惣番号札剥落か 15銭

テンセキガイケン

30342 典籍概見 大1帙1冊

東都隨緣道人口説, 門人天心筆記, 三縁山沙門大梁  
序・校, 縁山實松沙門海雲跋 宝暦4序・跋・刊

大坂 澀川清右衛門(心斎橋順慶町), 京 西  
村市郎右衛門(堀川錦上ル町), 江戸 西村源  
六(本町三丁目)

※表紙に「目」(朱)の小札あり。

4—49テ3 や四百六十三 15銭

30343 エゾキジ 蝦夷紀事

大1帙1冊

著者未詳

写本

(1737) (1738)  
※元文2~3にかけての蝦夷での見聞を記した由,  
奥書にみえる。

5—83エ1 大惣番号札剥落 15銭

30344 エゾシ 蝦夷志

大1帙1冊

源君美(新井白石)著・自序

(1720)  
享保5序

写本

※表紙「漂」の小札あり。画入り。題簽剥落。

5—83エ2 大惣番号札剥落 8銭

オランダツウハク

30345 和蘭通舶 一・二

大1帙2冊

司馬江漢著, 北正山本信有序

(1805)  
文化2序・刊

江戸 春波樓藏板

※画入り。

5—88オ1 大惣番号札剥落 50銭

サンゴクツウラン

30346 三國通覽 2帙, 大1冊および図5葉

林子平著・自跋, 桂川甫周序 天明5成, 同6序

写本

(1786)  
※江戸 須原屋市兵衛(室町三丁目)天明6刊本  
を筆写したもの。画入り。内題「三國通覽圖説」。  
「三國接壤形勢考圖」「朝鮮八道圖」「三國ヲロシ  
ヤ境圖」「琉球三省三十六島圖」「三國無人島大  
小八十餘山圖」以上5葉の図を付す。題簽下部  
に「圖五枚□□」と記す。

5—81サ1 て八百四拾三番全□□ 25銭

シンゴクシンジベンロン

30347 神國神字辨論

大1帙1冊

金龍敬雄・空華老大和上著, 尾張八事山門人等南  
序, 參州貞照院寶國寺穩岡明跋

(1778) (1779) (1780)  
安永7識語, 同8序, 同9刊

江戸 山崎金兵衛, 大坂 大野木市兵衛, 京

出雲寺文治郎・沢田吉左衛門・梶川七郎兵衛,

尾州 沢吉兵衛・津田久兵衛

※金龍の「駁以呂波問辨」(安永7)と空華老大  
和上の「金杵摧駁」(安永7)とを合わせ1冊  
に編集したもの。表紙に「字」(朱), 「千四百  
二十六」(墨)の札あり。

4—65シ1 や四百五十壹 10銭



30348 <sup>コン ヨゼン ゼツ</sup> 坤輿全圖説 大他1冊と合1帙1冊  
稲垣子戢著, 橘春暉(南谿)序, 一岡山人跋  
(1801) (1802)  
享和元序, 同2跋

書肆不明

※序跋には「坤輿圖説」と記す。世界地誌。絵入り。同版別本と同帙。

5—80コ1 さ千五百八全 10銭

30349 <sup>サンバフ</sup> 算 法 <sup>カイロ アンシンロク</sup> 海路安心録 大1冊  
坂部廣胖著・自序 (1816) 文化13序・刊  
名古屋 永樂屋東四郎(本町), 江戸 大坂屋  
茂吉(日本橋一丁目砥河岸)

※巻末に「方向表」を付す。画入り。

6—07カ1 大惣番号札剥落 10銭

30350 <sup>カダウタイオンキ</sup> 歌道戴恩記 上・下 大1帙2冊  
松永貞徳著, 松永昌易序・跋

写本

(1882)  
※下冊末に「天和二年戊正月吉旦」と墨書。同年刊の版本の写本か。上冊巻頭に松永昌易の序跋を載せる。巻頭の内題「載恩記」。上冊見返しに「此書一名哥林雜和集と云」(墨)の貼紙あり。上冊表紙に「□三十三」「松永貞徳」の小札あり。

4—22タ1 ふ三百七十三全式 30銭

30351 <sup>チカマツハンジ</sup> 近松 <sup>ヒトリサバキ</sup> 獨判断 半1帙1冊  
近松半二著, 疎懶堂仙人序, 紀上太郎跋, 栗齋跋,  
梅育跋, 逸名氏跋 (1787) 天明7序・跋・刊

京 山田屋卯兵衛

※疎懶堂仙人の序は傍訓を付した白話文による戯文。紀上太郎の跋は「近松半二遺草跋」, 栗齋の跋は「半二遺草跋」。見返しに画像あり。

4—25ヒ2 そ千六拾貳全 12銭

30352(1) <sup>ホクダツモノガタリ</sup> 北轆物語 大1帙(2)と合綴1冊  
写本

(1844)  
※寛永21年, 轆轤へ漂着した越前の船の, 同地・大明・朝鮮・対馬における見聞録。(2)参照。

5—89ホ2 め九百三拾六番全 (2)共15銭

30352(2) <sup>イコクヘウリウキ</sup> 異國漂流記 大1帙(1)と合綴1冊  
写本 (1780) 安永9成

(1774)  
※安永3年, 尾州の基助なる者が出奔して仙台で船に乗り, 中国へ漂着して帰国するまでの見聞録。大惣の用紙を使用。

5—89ホ2

30353 <sup>エソバナシキキガキ・エソチサウドウイツケン・</sup> 蝦夷断聞書・蝦夷地騒動一件・

<sup>ヲロシヤイツケン</sup> ヲロシヤ一件 大1帙3冊を合綴1冊

(聞書) 写本

(1794) 寛政6写

※太黒屋幸太夫等の聞書。表紙に「漂」の小札あり。

(騒動一件) 写本

(1807) 文化4成

(ヲロシヤ) 写本

5—83エ6 め九百四拾九全 10銭

30354 <sup>ヒシンジベンロン</sup> 非神字辨論 大1帙1冊  
蓬萊逸民著, 竺法瀾序 (1781) 天明元序

写本

※巻頭の内題は「非神國神字辨論」。「神字辨論風説集」(出放沙門大天著)を付す。大惣の用紙を使用。

4—65ヒ1 大惣番号札原欠か 10銭

30355 <sup>ミチノシナリ</sup> 道枝折 半1帙1冊  
法橋昌坪著, 法橋昌敦序 (1745) 延享2写

写本 元長写

※初心者用の連歌作法書。筆写の事情は奥書に詳しい。後補題簽に「連歌初歩」と添え書きしている。

4—24ミ2 表紙改装のため大惣番号不明 5銭

30356 <sup>ガイリユウベンダン</sup> 骸竜辨談 半1帙1冊  
花秦愚庵著, 美野重游富泥序 (1780) 安永9成・序

写本

※もと附属図書館にあったときの配架番号「6—21カ5」。本文の内題に「尾州晚鐘山両龍之實説」の角書あり。図1葉を付す。尾州の山にて発見された竜のしかばねにつき, 甚内なる者が信州でそれを射た経緯を述べたもの。名古屋の書林伊勢屋忠兵衛の印あり。

葉G6 □九番 10銭

30357 <sup>サンカ テウチユウカ</sup> 山家鳥虫歌 上・下 半1帙2冊を合綴1冊

天中原長常南山輯・自序 (1771) 明和8序

上冊は版本(書肆不明), 下冊は写本

※後水尾院が寛文年間に諸国の盆踊の唱歌を集めさせて成ったという説を奥書で柳亭種彦が述べている。絵入り。原題簽に「上」とあるのを「全」と墨で訂正。

4—29サ4 そ千八拾全壹 20銭

30358 <sup>エイリ</sup> 繪 本朝相撲鑑 一〜五 半5冊  
洛陽散人著・自序 (1787) 天明7刊

京 菊屋安兵衛(寺町通三条上ル町)

※上記書名は原題簽による。目録と本文の内題は「本朝勇士鑑」。第5冊末に「板行目録」4丁を付す。画入り。

8—76ホ1 □百六十五全部五冊 50銭

30359 <sup>エホンブ ワウグンダン</sup> 畫本武王軍談 卷之一〜五 半1帙5冊  
曲亭馬琴作・自序, 北尾紅翠齋画 (1801) 寛政13序

仙鶴堂

※第5冊末に仙鶴堂の書籍目録あり。画入り。

8—44エ26 大惣番号札剥落○ 50銭

30360 <sup>エホンヒメツバキ</sup> 繪本女貞木 上・(中・下) 半他1冊と合1帙3冊  
文華堂西川自得叟祐信著・画・自序 延享2序・刊 (1745)

京 菊屋兵衛(寺町通松原下ル町)

※第3冊末に菊秀軒の「繪本類書目」を付す。見開き1面に1話, 絵を主にして話を添えている。

8—44エ25 う五百六拾九○ 1円

30361 <sup>チャウゴンカシンセウ</sup> 長恨歌新抄 上・下 半2冊を合綴1冊  
著者未詳 (1689) 元禄2刊

江戸 平野屋清三郎(日本橋南一丁目), 大坂 荻野八郎兵衛(思案橋東一丁目)

※巻頭に「長恨歌傳」を置く。その末尾(7丁ウ)に「長恨歌の意ハ人の淫乱女色に溺るゝを歎く余り女乱白楽天の作れるなるへしと爾云 浮礼主人恥述」と墨書。絵入り。

4—08チ15 大惣番号札剥落○ 15銭

30362 <sup>ゾウホシヨシユウ</sup> 増補 諸宗 佛像圖彙 壹〜五 半5冊  
土佐将曹紀秀信画・自序, 義山跋 (1690) (1783) (1796)

元禄3序・跋, 天明3自序, 寛政8刊

京 大文字屋與三兵衛(高倉三条上ル二町目)

※元禄3の逸名序あり。序題「神佛靈像圖彙」。

目録題「増補佛像圖彙」。第1冊目録, 第2〜5冊画図。第1冊見返しに「大六百四号四冊」(朱)の印あり。第1冊は他の4冊よりひとまわり大きい。

1—26フ3 大惣番号不明 50銭

30363 <sup>シヨクニョンツクシウタハセ</sup> 職人盡歌合 上・中・下 半1帙3冊  
篁處秀翁序 (1744) 延享元序・刊

京 丸屋市兵衛・新屋平治郎・唐本屋宇兵衛

※「七十一番職人歌合」と同じ物。画入り。

4—23シ6 □四十七全三 75銭

30364 <sup>エホンジツゴケウ</sup> 繪本實語教 上・中・下 半他1冊と合1帙3冊  
北尾雪仇斎辰宣著・画

抱玉軒

※各絵に読者による色塗りあり。下冊末に抱玉軒の繪本類書目録を附す。

8—44エ5 う貳百拾貳全三 30銭

30365 <sup>エホンムシヤラサガザクラ</sup> 繪本武者大佛櫻 上・中・下 半他6冊と合1帙3冊を合綴1冊  
臥山人江文坡著・自序, 下河邊拾水画

(1776) 安永5序・刊

江戸 須原屋茂兵衛(日本橋南壹町目), 大坂

柏原屋嘉助(心斎橋南久宝寺町), 京 菱屋治兵衛(寺町通松原上ル町)

※序題「<sup>繪本</sup>武者をさらき桜」。巻末に菱屋治兵衛版の繪本目録を付す。3冊を表紙ごと合綴。

8—44エ32 う三百三拾四 30銭

30366 <sup>エホンムシヤヒヤウバン</sup> 繪本武者評判 壹〜五 半他2冊と合1帙5冊  
ひら著・自序 (1716) (1794) 正徳6序, 寛政6刊

京 □

※刊記, 書肆名を削ってある。「なすの与市扇の的」など26話をおさめる。柱書「武者揃」。

8—44エ33 う三百貳拾壹全部五冊 50銭

30367 <sup>ヒ ジヒヤクセン</sup> 秘事百撰 小1帙1冊  
智徳齋著・自序 刊年不明  
大坂 船越敬祐(北久寶寺町四丁目)  
※遊戯指南書。上巻・下巻より成る。「○棒よせ  
の法○板のうへに雞卵を立る法」など。画入り。  
8—85ヒ2 大惣番号札剥落 5銭

30368 <sup>ハツメフ ジ ミ ソ ガ</sup> 初夢富士見曾我 上・下 半1帙2冊  
立川焉馬著・自序, 松高齋春亭画 (1812) (1813)  
文化9序, 同10刊  
大坂 塩屋長兵衛, 江戸 鶴屋喜右衛門  
※絵入り根本。  
4—31ハ2 ム百式拾七番全式冊○ 40銭

30369 <sup>カルクチ ハ ナ シ</sup> 軽口はなし 半他1冊と合1帙1冊  
十返舎一九著・自序 (1803) 享和3序  
江戸 駿河屋半兵衛(通塩町)  
※朱字にて刷られている。絵本。巻末に「<sup>徳庵</sup>養  
生傳記」の広告あり。「大惣」と刷り込んだ題  
簽を使用。  
8—67カ3 う七百式拾九 10銭

30370 <sup>ハデスガタキチヤムスビ</sup> 艶姿吉彌結 上・下 半1帙2冊  
葛葉山人正二著・自序, 勝川春亭画 (1816) 文化13序  
書肆不明  
※合巻。延文の頃の女歌舞伎役者富の川吉弥を描  
く。6巻より成る。巻頭内題には「<sup>出雲のお国</sup>  
の角書あり。  
4—41カ34 の三百拾九う 20銭

30371 <sup>ゼンタイヘイキ</sup> 前太平記 目録(+)・一〜二十 半3帙21冊  
藤元元著  
書肆・刊年不明  
※40巻より成る。第1冊は目録。画入り。32264  
参照。  
4—41サ35 た七百六拾番 1円

30372 <sup>ニチレンシヤウニンミノリノウミ</sup> 日蓮上人御法海 半1冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※黄表紙。刊記なし。「黄表紙冊子」第10函に他  
の黄表紙本多数と共に入る。  
4—43サ10 う六百四拾式 10銭

30373 <sup>ヨウガンビ エンカウ</sup> 容顔美艶考 乾・坤 小1帙2冊  
「故並木正三遺傳, 浅野高造補著」, 雅山太夫序,  
かなふ珉子跋 (1814) 文化11跋  
大坂 前田嘉右衛門(衞町)・塩屋卯兵衛(南  
久太郎町心斎橋西入)  
※題簽・巻頭の内題に「當世化粧」の角書あり。  
画入り。色刷口絵5葉あり。  
3—47ヨ1 ほ八百三十番全式 50銭

30374 <sup>グンバイハナ ズ マフ</sup> 軍配花相撲 小1帙1冊  
選者・編者未詳  
書肆・刊年不明  
※笠附・前句附句集。  
4—25ク3 大惣番号不明 10銭

30375 <sup>ハイクワ サ ク ラ ダ ヒ ニ ヘン</sup> 誹風 さくらたひ二編 小1帙1冊  
水魚洞選, 烏亭序, 信濃国松代蘭薫亨跋 (1824) 文政7序  
書肆不明  
※川柳集。本文中に「甲申正月十五日開巻」とあ  
る(文政7が甲申)。  
4—25サ2 ほ七百八十七全 5銭

30376 <sup>ハイクイ ヒ ノ キ カ サ ・ ハイクイ コガネノカマ</sup> かい比野木可佐・かい黄金釜 小1帙1冊  
ほか※参照 (1751) 寛延4刊  
芳竹斎止雀点 (比野木可佐)  
伊豆 秀玉堂(三嶋六反田町)  
※上記書ほか撰者・出版書肆のそれぞれに異なる  
奉納前句附集多数を合綴。墨書題簽は「ひの木  
可さ」。大惣番号「ほ」の右に「う」と墨書。  
4—25ヒ1 ほ式拾壹 5銭

30377 <sup>エ ド ノ シ ヲ リ</sup> 燕都枝折 小1帙1冊  
慶紀逸編・自序・画, 臺簾跋 (1760) 宝暦10序  
江戸 □村藤三郎(通本石町三丁目角)  
※三編。後補題簽に「初編」とあるのは誤り。大  
惣番号「ほ」の右に「う」と墨書。雜俳書。  
4—25エ2 ほ式拾番 3銭

30378 <sup>エ ホン ラ ト ナ アソビ</sup> 繪本をとな遊び 上・中・下 半1帙3冊  
兵三之著, 烟水山人画, 山東京傳序, 南無阿弥瑠物  
跋 (1792) 寛政4序・跋  
たわらや太郎吉

※遊戯。上・中冊は画。下冊はその解説だが、画に出るもの42条、出ないもの8条。

8—64エ3 う六百五拾五〇 30銭

30379 <sup>デヨチユウミチシルベ</sup> 女中道知邊 一〜五

横 (12.8×18.4 cm) 5冊

著者未詳,「無名氏」跋 <sup>(1712)</sup> 正徳2序・跋

京 小河多左衛門 (六角通御幸町西へ入町)

※逸名序あり。第1冊原題簽に「女名目抄」とある。序には「女みちしるべ」と記す。画入り。

1—85シ1 ち千百三十八 40銭

30380 <sup>ランナシシヨグイモンヅ エ</sup> 女四書藝文圖會 花・鳥・風・月

大4冊

清原宣明編・自序, 村田嘉言画 <sup>(1835)</sup> 天保6刊

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋通壹丁目)・小林新兵衛 (同二丁目)・岡田屋嘉七 (芝神明前), 京 勝村治右衛門 (寺町松原), 大坂 秋田屋太右衛門 (心斎橋通安堂寺町)

※第1冊「曾大家女誠圖會」(柱題「女誠圖會」), 第2冊「曾大家女論語圖會」(柱題「女論語圖會」), 第3冊「鄭氏女孝經圖會」(柱題「女孝經圖會」), 第4冊「明孝慈列女傳圖會」(柱題「列女傳圖會」)。各冊巻頭に序あり。

1—85オ5 さ二百廿五番全部四冊 60銭

30381 <sup>シヨクゲンセウキネガキ</sup> 職原鈔聞書一〜八・<sup>・シヨクゲンセウセツカイ</sup> 職原鈔拙解

九〜十一・附録

大12冊

林鷲峰講, 与志多幸庵 (分宜) 撰・自序 (寛文13, 以上聞書), 三宅帯刀編集・自跋, 高橋清康序 (延宝9, 以上拙解) <sup>(1681)</sup> <sup>(1681)</sup> 天和元刊

京 錢屋儀兵衛 (堀川通西吉水町)

※「職原鈔拙解」の巻頭の内題は「職原鈔追加拙解」。「職原鈔聞書」第1冊見返しに「親房系統圖」を記し,「紫川亭藏書/前公文度會神主惟親家藏書」と墨書。本文中書込み多し。

2—03シ4 大惣番号札剥落か 1円

30382 <sup>ケイチヤウニツキ</sup> 慶長日記

大1帙1冊

著者未詳

写本

※慶長3から元和元までの記録。見返しに「慶長日記/関ヶ原陣ヨリ大坂陣ノ終迄書記候實録

也」と墨書。第1丁破損。

5—11ケ4 大惣番号不明 25銭

30383 <sup>テウヤ キ ジ</sup> 朝栳紀事 春・夏・秋・冬 大1帙4冊

畑維龍著, 栳亭源之熙序 (文化5) <sup>(1808)</sup>, 藤原憲序 (同4) <sup>(1807)</sup>, 大原翼雲跋 (同4) <sup>(1809)</sup> 文化6刊

京 佐々木惣四郎・林伊兵衛・葛西市郎兵衛・林安五郎, 江戸 澤北伊八郎, 大坂 松村九兵衛

5—16チ4 や九百五十五 50銭

30384 <sup>ハナノシガラミ</sup> 花のしからみ 大1帙1冊

菅原定理著・自序・自跋 <sup>(1838)</sup> 天保9序

名古屋 永楽屋東四郎 (本町通七丁目), 江戸 同出店 (日本橋通本銀町二丁目), 濃州 同出店 (大垣本町)

※国学書。別名「妙ふり出し」。「製本略目録」(約300部)を附す。

1—05ハ2 ふ八拾七全巻 15銭

30385 <sup>ヤマゴコユライキ</sup> 山鉾由来記上・下・<sup>・ギランエサイキ</sup> 祇園會細記

半1帙3冊  
宝暦7刊 <sup>(1757)</sup>

京 めと木屋勘兵衛 (四条通寺町西へ入町)・萬屋仁右衛門 (祇園石だんの下)・山本長兵衛 (二條通御幸町西へ入町)

※柱書はそれぞれ「祇園會記」「祇園會圖」。新装の題簽, 後者書名を「祇園會祭記」と誤る。祇園會の解説と絵図。購入価格は,「細記」が15銭,「由来記」が30銭で計45銭。

京キ72 そ九百拾六番・そ九百六拾七共三 45銭

30386 <sup>クワンノウコホンロク</sup> 勸農固本録 上・下 大2冊

万尾時春著・自序, 謙亭序, 平維章序 <sup>(1725)</sup> 享保10序 (3つとも)

江戸 小川彦九郎 (日本橋二丁目)

※小川彦九郎刊の目録を載せる。

9—21カ1 □百七 15銭

30387 <sup>チュウギスイコデン</sup> 忠義水滸傳 一・二 大1帙2冊

施耐庵集撰, 羅貫中纂脩, 李卓吾序 <sup>(1728)</sup> 享保13刊

京 林九兵衛

※第十回まで。巻頭の内題「李卓吾先生批點忠義

水滸傳」。

4—45チ1 や五百七拾四 25銭

30388 <sup>イウセンクフ</sup> 遊仙窟 大1帙1冊  
張文成著, 文章生英房跋 <sup>(1319)</sup> 文保3跋  
書肆不明  
※跋文の「文保三年」上に朱で「貞享元年迄三百  
六十年余」と書込みあり。  
4—45ユ1 や五百六拾九 20銭

30389 <sup>エホンフクジュカイ</sup> 畫本福壽海 大1帙1冊  
横(16.2×27.8cm) 1帙1冊  
保井忽庵著・自序, 大森搜雲子画  
京 山口茂兵衛(銅駝坊)  
8—44エ30 大惣番号不明 40銭

30390 <sup>シンチャウキ</sup> 信長記 壹〜四 大1帙4冊  
大田和泉守牛一「輯録」, 小瀬甫庵道喜居士「重撰」  
・自序 <sup>(1624)</sup> 寛永元刊  
書肆不明  
※15巻。巻末に「自汗集」を付す。

5—10ノ1 て四百三拾式全四冊 60銭

30391 <sup>シロウトキヤウゲン</sup> 素人 紋切形初稿 上・中・下 半1帙3冊  
式亭三馬著・自序, 歌川國直画 <sup>(1812)</sup> 文化9序, 同11刊  
江戸 蔦屋重三郎(通油町)・越前屋吉兵衛(室  
町二丁目)・山崎平八(筋違御門通平永町角)  
※巻之上・巻之下より成る。巻頭の内題「素人狂  
言紋切形初編」。巻末に「古今百馬鹿」「美濃舊  
衣八丈綺談」の予告あり。上冊題簽に「貳番」  
(墨)の小札あり。

4—43シ3 む百五十五全部三冊 25銭

30392 <sup>シモフササクラ</sup> 下総 堀田騷動實録 乾・坤 半1帙2冊  
佐倉 堀田騷動實録 乾・坤  
写本

※上記書名は題簽による。目録の題に角書なし。  
「巻之一」巻頭内題は「下総國佐倉騷動実録」。  
事件は寛永〜正保。

4—41シ21 貳百(朱) 寛永(朱) 貳百四拾六全式 20銭

30393 <sup>サウメイセキトクコクジカイ</sup> 滄溟尺牘國字解 上之上・上之下・  
中之上・中之下・下・下之下・附記 半2帙7冊  
大澤春弘著 <sup>(1766)</sup> 明和3成  
写本  
※内題には「滄溟尺牘」「滄溟先生尺牘」とも  
ある。

4—04ソ4 よ百九拾式全七 20銭

30394 <sup>キ ショウホン</sup> 騎士用本 上・中・下・圖説(完)  
(東・西・南・北) 大1帙4冊  
關重秀(士秀とも)著・自序 <sup>(1805)</sup> (文化2), 宇野保定序  
(同3), 寺尾良顕序(同3), 舟木種徳跋(同3) <sup>(1813)</sup>  
文化10刊  
京 植村藤右衛門(堀川通高辻上), 大坂 河  
内屋太助(心齋橋筋唐物町), 金沢 塩屋興三  
兵衛(観音町)・八尾屋利右衛門(南町), 江  
戸 須原屋茂兵衛(日本橋南一丁目)・須原屋  
伊八(下谷池之端仲町)  
※凡例(文化3)は門人賀古清成による。

8—21キ2 て四拾七全四冊 40銭

30395 <sup>ホンテウ</sup> 本 朝 甲劍録 天・地・人 大1帙3冊  
加治盈亮(景長)伝, 杉本保長編, 新藤信興訂・序,  
藤淳時跋 <sup>(1758)</sup> 宝暦8序・刊  
江戸 浅倉久兵衛  
※第3冊裏見返しに「于時寶暦八年<sup>寅</sup>正月吉旦/  
三浦氏藏書」と墨書。旧蔵者朱印もある。絵入  
り。

8—22コ2 て五拾四全三 35銭

30396 <sup>ヤクシヤサンジフロククワセン</sup> 俳優三十六花撰 大1帙1冊  
歌川國貞画, 柳亭種彦序, 司馬園老人跋 <sup>(1835)</sup>  
天保6序・刊  
江戸 西村屋與八(馬喰町二丁目角)・中村勝  
五郎(四谷傳馬町三丁目)  
※裏見返しに続編予告と「京橋南傳馬町坂本氏  
製」香の宣伝。青・薄墨の色刷。

8—66ハ4 大惣番号札原欠か 50銭

30397 <sup>キカウツキ</sup> 機巧圖彙 上巻・下巻・首巻 半1帙3冊  
細川半蔵頼直著・自序(萬象主人) <sup>(1796)</sup> 寛政8刊, 同9序 <sup>(1797)</sup>

江戸 須原屋市兵衛(室町二丁目)

※からくり人形や時計のつくり方を図解したもの。  
画入り。著者は土佐の人。序・大惣番号札は上  
巻に附す。

8—03キ4 に四百七十巻 30銭

30398 オ フナウタ 御船歌 横(13.4×19.2cm) 1帙1冊  
編者未詳

写本

※歌謡。「正月くとき」「まつそろへ」以下49曲。

4—29オ1 ち七百四拾番 5銭

30399 ハクブツセン 博物筌 横(8.4×19.5cm) 1帙1冊  
蘭斎山崎右門著・自序

(1768) (1770) (1773)  
明和5序, 同7初刊, 安永2再刊

京 村上勘兵衛(二条通), 大坂 藤屋彌兵衛  
(高麗橋壹丁目)・吉文字屋市兵衛(心齋橋南  
四丁目)

4—85小別 大惣番号札剥落 15銭

30400 フウリウゾクセツベン 風流俗説辨 乾・坤 半1帙1冊  
秋吟散人著・自序・自跋

宝暦5序  
写本 「張府書林 指峰堂蔵」と奥書

※戯文。

4—25フ5 め五百八拾式全式㊦ 15銭

30401 ゲンバウ ヒ カンシヨ 軍砲秘函書 上・下 半1帙2冊  
著者未詳

写本

※逸名序の記述によれば「家第次郎左衛門勝秀」  
の著, 成立は延宝以前。

8—22ク1 大惣番号札原欠か 10銭

30402 タウダイシヨカヒヤクニンイツシュ 當代諸家百人一首 天・地・人 半1帙3冊  
編者未詳

写本

※吉宗公・證明院・水戸光圀らの歌を一首づつ挙  
げ解説を加えている。第六十四まで。

4—23ト4 れ百三十四 20銭

30403 シ ツ ガダケキ 志津个獄記 一〜四 大4冊  
雄山著, 梅菴伊吹玄瑞編・自序, 山本正信序

(1697)  
元禄10序

京 柳枝軒蔵版

※内題「賤箇獄記」, 序題「賤獄戦記」および「賤  
箇獄合戦記」。

8—28シ1 大惣番号札剥落 35銭

30404 シ ザ サルガク カケイ 四座申楽家系 半1帙1冊  
写本

※題簽剥落。上記書名は内題による。奥書に「于  
時寛政十一年巳未八月九日, 水野克忠㊦」とあ  
るのは書写者か。

8—65シ1 大惣番号札剥落 20銭

30405 ワゴジュツセツ 和語述説 初篇上・下 半2冊

白田榮著, 小林秀秋序, 森田廣平序, 宇仁清堅序  
(1756) (1757) (1761)

宝暦6序(宇仁), 同7序(森田), 同11序(小林)

書肆不明

※儒教の故事と記紀などの日本の故事を説いた書。

1—69ワ1 や九拾全二冊 20銭

30406 ホ ケンタイ キ ウチギネ 保建大記打聞 一〜三 大1帙3冊  
酒鋒栗山愿伯立甫著・自序(元禄2), 三宅綱明序  
(1712) (1714) (1720)  
(正徳2), 安積寛跋(正徳4), 土佐國谷重遠「講  
説」 享保5刊

京 柳枝軒茨城多左衛門

※表紙に「保元ヨリ建久マテ三十餘年之記也」と  
記した札あり。

5—06ホ1 や九百七十一 35銭

30407 シウ リ ズイヒツ 秋里隨筆 上・中・下 大3冊  
秋里籬寫著・自序 文化7序

京 近江屋治助, 大阪 河内屋茂兵衛, 名古屋  
菱屋金兵衛, 津 長野屋勘吉

※画入り。

10—05シ4 こ式百三拾 30銭

30408 ヨロツテガタカガミ 萬手形鑑 大1冊  
舩田子著・自序

書肆・刊年不明

※上記書名は原題簽による。序題「手形鑑」, 目  
録題「万案紙手形鑑」。序にいわく「品々の證  
文をあつめ日用に備て永代の鑑とする者也」。

2—03テ5 や□ 15銭

- キヤウソンシユウエキコロエノオボエ・  
30409 郷村出役心得之覺・  
ヘイゼイジュウ キ・クスノキマサンゲコウイツ シカ クン  
平生 受用記・楠正成公一紙家訓  
半1冊  
写本  
※いずれも教訓書。表紙には三書名並記の題策  
(三つめは「楠正成公家訓」とする)のほかに  
「拾芳集」の題策および「叢」(朱)、「□訓」  
の札あり。「郷村——」は大惣の半紙を使用。  
1—84ク3 め三百五拾巻全 15銭

- シツギヘン  
30410 質疑篇 大1冊  
五井蘭洲(純禎)著, 中井積善序, 中井積徳「序」  
(1765) (1767)  
明和3序(積善), 同4序(積徳)  
大坂 文海堂・金魚館  
※見返しには「質疑篇合刻」とあり, 積徳の「刻質  
疑瑣語序」が巻末にあるが, 「瑣語」の本文は  
ない。表紙に「瑣語」(墨)「雜」(朱)の貼紙あ  
り。  
1—69シ12 や五百六十四〇 10銭

- ヒヤクセンキハフ  
30411 百戦奇法 壹〜七 大2帙7冊  
(1658)  
明暦4刊  
京 小嶋市郎右衛門(室町鯉山町)  
※「南昌章本清書」の漢文序, 訳者(無記名)の  
序あり。絵入り。  
8—21ヒ1 大惣番号札剥落 75銭

- ヒナガタシフ  
30412 雛形集 一〜四 特大(28.9×20.6cm) 1帙4冊  
写本  
※「ひな形若艸山」「ことふき草」「千草山」「雛  
形常盤山」より成る。着物の柄を集成したもの。  
「雛形常盤山」は着色。図は精巧。裏見返しに  
「尾州名古屋乗名町五丁目澤屋茂左衛門」「此  
本何方にまいり候共早速御戻し可被下候頓首」  
など墨書。第3冊見返しに「大日本ナゴヤ東京  
赤坂通 沢茂」と墨書。第4冊裏表紙に「古版  
四ツ珍本の内」(墨)の貼紙あり。本の縦横の  
大きさは第1冊のもので, 第2冊のみ他よりひ  
とまわり大きい。  
8—08ヒ2 大惣番号不明 60銭

- シバキ バンヅケンフ  
30413 芝居番附集 一〜十五 半1帙15冊  
(1760) (1778)  
宝暦10〜安永8刊  
京 露屋喜右衛門・八文字屋八左衛門・正本屋  
九兵衛(第4冊のみ)  
※第1冊表紙に「戯場繪本」とうちつけ書。第1  
・2・3・11・12・14冊は刊記がない。各冊第  
1丁又は第2丁に「本利」の印, 第1冊第1丁  
に「深野屋利介」の印あり。  
8—66シ4 大惣番号不明 2円65銭

- キヤウハイタマク ラベ  
30414 狂俳玉くらへ 壹〜八 半1帙8冊  
千里亭閑人選(第1冊末の記事による)  
写本  
※内題「狂俳附合書」。前句附・冠句附勝句集。  
一部紙背に句および点印が残されている。  
4—25キ15 れ千五拾巻全八冊 60銭

- キヤウカスイチクシフ  
30415 狂歌醉竹集 半1帙1冊  
書肆・刊年不明  
※江戸・三河・伊勢・長崎などの歌人が, 四季の  
景物・恋・雑を題に狂歌を詠んでいる。絵入り。  
4—25キ7 れ四百〇巻全巻 20銭

- イツキウセン ジイチダイキ ヅ エ  
30416 一休禅師一代記圖會 壹〜五 半1帙5冊  
(1853)  
嘉永6序  
樓花亭江島著・自序  
書肆不明  
※墨書題策の書名は「一休禅師一代記」, 巻頭の  
内題は「一休一代記圖會」。絵入り(第1冊目  
見返し及び巻頭3丁の絵は色刷)。『国書総目  
録』には, 吉重・芳晴画とあり, 本書は『一休  
諸国物語図絵』の模刻再版という。  
4—41サ3 大惣番号札剥落 30銭

- クワダン  
花 30417 地錦抄 一〜三・四五・六 小1帙5冊  
デケンセウ  
武陽染井野人ノ三之丞著, 松賀浦の蔵六堂序  
(1694) (1695)  
元禄7序, 同8刊  
京 林久次郎(車屋町夷川角), 江戸 志村孫  
七(大傳馬三町目)  
※31167参照。第2冊は原表紙をとどめ, 第1・  
3冊も脇題策を残している。墨書題策の巻数表  
示に混乱あり, 上記表示は柱書によった。  
9—25チ1 表紙改装につき大惣番号不明 30銭

30418 <sup>チヤケスイコシフ</sup> 茶家酔古襖 横1冊  
所在不明 竹田紹靖著  
(1841)  
天保12刊  
8—63小別 10銭

30419 <sup>ヒヤウバンフデクワホウ</sup> 評判筆果報  
横(11.1×15.7cm) 1帙1冊  
大樹園宿屋飯盛判, 春盛画, 平秩東作序 文化5刊  
(1808)  
江戸 蔦屋重三郎(通油町南側)  
※狂歌作者評判記。表紙に「宿屋飯盛判」の札あり。『国書総目録』には「狂歌評判記」の名で載る。  
4—25ヒ3 へ百七十六番 30銭

30420 <sup>ナンニヨ</sup> 男 <sup>チヤクイサウハフ</sup> 着衣相法 乾・伸(ママ) 小1帙2冊  
撰陽有山本署著, 中西剛序 享和元序・刊  
(1801)  
京 鈴屋安兵衛(二条寺町通)・林権兵衛(同)  
※衣服の吉凶判断。  
8—84チ1 へ九百式十巻全式 15銭

30421 <sup>ウキヨアナミロン</sup> 浮世穴見論 横(11.4×16.0cm) 1帙1冊  
彙齋承知之助著・自序・自跋 文化9成  
(1812)  
写本  
※「穴」の評判記。柱書「穴見論」。茶之湯侘作, 煎茶寂太郎, 俳諧巻五郎, 書畫會次郎ら「役者」を評判する。巻末に作者の「戯編書目」を附す。表紙に「彙齋作」の札あり。  
4—25ウ2 へ百八十三番 15銭

30422 <sup>ヤクシャホツクウラナヒ</sup> 役者発句占(上)・下 小2冊  
無名翁編・自序, 西川氏画 明和9刊  
(1772)  
江戸 鱗形屋孫兵衛(大傳馬三町目), 京 八文字屋八左衛門(駄屋町誓願寺下ル町)  
※絵と発句と役者名列挙より成る書。  
8—66ヤ9 大惣番号札剥落 30銭

30423 <sup>アンセイサンヘイシンネン</sup> 安政三 <sup>ブゲンチヤウ</sup> 分限帳  
横(14.1×19.9cm) 1帙1冊  
(1856)  
安政3成  
写本

※朱筆をまじえている。

5—65ア2 ち千九百四拾三上斗リ 10銭

30424 <sup>カタコト</sup> かたこと 一〜五 横(13.3×19.9cm) 1帙5冊  
(1650)  
安原貞室著・自序 慶安3刊  
京 中野道伴  
※原題簽は第3〜5冊に残り, それぞれ「假染言」, 「閑他故東」, 「古と」とある。口語資料。

4—66カ1 大惣番号札剥落 1円50銭

30425 <sup>ヒナカタキキドグサ</sup> 雛形の井と草 上・下 横(11.0×16.1cm) 1帙2冊  
洛陽始業師井上茶 (全子) 著・自序  
書肆不明  
※内題は「為井童草」「井ど草」などとある。蒔絵の器物を図入りで解説。『国書総目録』によれば, 宝永2刊。  
(1705)  
8—08ヒ1 へ百五十八番全式 75銭

30426 <sup>ナツケオヤ</sup> 名付親 3冊  
廃棄(昭和32年1月7日)  
50銭

30427 <sup>シキホツクチャウ</sup> 四季發句帳 中1帙1冊  
反故齋果然撰・自序, 徐水序  
書肆・刊年不明  
※内題「四季發句牒上」とあり, 端本か。原表紙を残して上から表紙改装。宝暦ごろ成。  
4—24シ3 大惣番号札剥落 5銭

30428 <sup>ユフギリチダイキ</sup> 夕霧一代記 初・中・後 中1帙3冊  
振鷺亭著・自序・自跋  
書肆・刊年不明  
※内題「風流夕霧一代記」。読本。  
4—41タ11 わ第四番 25銭

30429 <sup>イホザキムシノヒヤウバン</sup> 五百崎虫の評判 上・中・下 横(10.8×15.6cm) 1帙3冊  
市川白猿・談洲楼焉馬作 享和4刊  
(1804)  
書肆不明  
※虫の評判記。上册表紙に「つくし」の小札



あり。

4-25イ4 へ百七十五番 2円

30430 エンセンオク ギセウ 艶占奥儀抄 小1帙1冊  
洒落斎山人著・自序・自跋 (1771) 明和8刊

松榮堂・紅仙堂蔵刻

※役者の紋所にちなんだ占い。彩色刷の絵入り。

見返しに「庵堂樓穹軒」と書込みあり。

8-66エ2 へ八百四十五 15銭

30431 ブユウサキガケツ エ 武勇魁圖會 半1冊

溪齋英泉画, 江川仙太郎刻, 桃立菴木我序

名古屋 片野東四郎(本町通八丁目)ほか発行  
書肆として「東京」6軒, 「京都」3軒, 「大坂」  
5軒が挙がる。

※絵本。見返しに「東壁堂製本畫譜書目録」。柱  
刻「魁圖會初篇」。刊年不明。

8-44フ2 大惣番号札原欠か 15銭

30432 キヤウハイナカウドグチ・ 狂俳仲人口・  
ハイカイヲ フ ノウラナシ・ ココンクワンクシフ  
俳諧学生の浦なし・古今冠句集

半1帙3冊を合綴1冊 (1708)

(狂俳仲人口) 山雪堂府川梅伽撰・自序 宝永5序  
書肆不明

※絵入り。前句附勝句集。

(俳諧学生の浦なし) 安月堂泰角撰・自序 (1728)  
享保13序

書肆不明

※絵入り。表六句を集めた書。内題「俳諧学生之  
浦梨乾巻」。坤冊を欠く。

(古今冠句集) 永日菴壺洲撰 (1813) 文化10刊

名古屋 菱屋久八(本町三丁目)

※冠句勝句集。

4-25キ16 う百九拾四 50銭

30433 カタキウチ ネモノガタリ 敵討寐物語 中1冊  
月池関亭傳笑作・自序, 歌川國長画 (1807) 文化4自序  
書肆不明

※丹青刷絵題簽をもつ黄表紙。この配架番号の函  
に他書多数とともに入れられている。

4-43サ4 〇三番㊟ 10銭

30434 ヤウキユウイチメンオホアタリ 楊弓一面大當利 上・中・下  
中他2冊と合1帙3冊

丹前堂岡山鳥著・自序, 溪齋英泉画

(1822) (1824) 文政5成, 同7序・刊

江戸 鶴屋金助(人形町通新乗物町)・伊勢屋  
忠右衛門(京橋銀座二丁目)

※「繪入読本」と見返しにうたっている。33545  
『霄之程』2冊と合帙。

4-43カ44 わ千式百七㊟ 25銭

30435 カトウハウゲン 河東 方言 箱まくら 上・中・下  
中1帙3冊

大極堂有長著・自序・自跋, 無着舎主人序, 兎鹿齋  
題言(中冊), 春川五七画 (1822) 文政5自序・序・刊

江戸 山寄屋平八, 大坂 河内屋茂兵衛, 京  
近江屋治助(三条通柳馬場西へ入町)・山城屋  
佐兵衛(蛸薬師通高倉西へ入町)

※洒落本。美艶香の広告札あり。

4-43カ34 か式百五拾五 15銭

30436 フクジウキゴ 復讐 奇語 アモノハンダテ 天橋立 前篇上・下・後篇上  
・下・三篇全 中1帙5冊

十返舎一九著・自序, 陽齋豊國画

江戸 露屋金助(新吉原揚屋町) (1806)

※前篇は文化3序・刊, 大惣番号「わ拾五番㊟」。

後編は文化4序・刊, 「わ拾六番㊟」。三篇は文  
化5刊, 「〇番㊟」。上記書名は各編原題簽に  
よる。前篇見返し内題は「復讐天橋立」。角書「風  
聲夜話」とも。

4-41タ1 ※参照 35銭

30437 ジヤウクワキゴ 情花 奇語 ヤソコノコマン 奴の小まん 前篇上・下・  
後篇上・下 中1帙4冊

柳亭種彦著・前篇自序, 優々斎桃川画, 柏菴玉豕前  
篇序 (1806)

文化3前編序, 同4前編自序・後編例言, 同5後編刻  
(1807) (1808)

江戸 山寄平八(外神田御成道平永町)・鶴屋  
喜右エ門(通油町, 後篇のみ)

※上記書名は前編上冊見返し内題などによる。後  
編上冊見返し内題は「後傳奴の小まん」, 同第1丁  
に「一名/新登利佳衣走耶物語」, 上下冊内題  
は「後編奴の小まん」。画工名は前編下冊裏見  
返しの刊記による。後編下冊末丁の刊記では

「優遊斎桃川」。前編下冊末に後編の予告及び「近世霜夜星」などの広告。後編下冊末にも「近世怪談霜夜星」などの広告。前編上下冊題簽剥落。

4—41タ7 わ式十番㊦・わ式十壺番㊦ 30銭

30438 懷寶長曆便覽

横 (8.3×18.0 cm) 1冊

中西如環 (敬房) 撰・序 安永7序, 寛政6刊  
京 中西華文軒加賀屋卯兵衛 (寺町通四条上ル町)

※上記書名は内題による。墨書題簽・柱書「長曆便覽」。この本は改版で, 寛政15年まで新たに曆を付したものの裏見返しに「寛政戊午(10年)十一月 芳鄰主」の署名と蔵書印あり。

6—04小別 大惣番号札剥落 5銭

30439 古今蘆分靄大全

横 (8.5×19.5 cm) 1冊

川合正俊編・自序

書肆・刊年不明

※『国書総目録』は延宝頃の成立とする。表紙に「大坂ち千五百卅四 御大名屋敷井町人鑑」及び「元禄年中」の貼札。大坂の地誌。

5—83小別 ち千五百三拾四 20銭

30440 南畝叢書 前集一〜四

半4冊

大田南畝「輯校」 寛政元刊

江戸 小西堂遠州屋清右衛門(小伝馬町三町目)

※第1冊に「榊巷談苑」(榊原玄輔著), 第2冊に「藤樹年譜」, 第3・4冊に「東海談」上・下(平維章著)を収める。

10—05ナ6 そ六百三十式全四冊 50銭

30441 鳩觀雜話 一〜四

半1帙4冊

虫所の聾人序, 坂東岩止跋 寛政7序・刊

京 菱屋孫兵衛 (御幸町御池下ル町), 大坂 勝尾屋六兵衛 (心斎橋筋南久宝寺町)・塩屋長兵衛 (同)

※絵入り。『国書総目録』は咄本とする。序は自序か。第1冊巻頭に目次あり。巻頭内題は「觀」を「灌」とする。

4—25キ2 そ六百三十三全四冊 40銭

30442 伊勢鸚鵡石記

半1冊

南溪散人著・自跋

(1736) 享保21跋

関東屋万次郎

※伊勢度会郡にある, 音を反響させる石について記す。地誌・名産についても記述。上記書肆は本文末に後から捺した印で, あるいは貸本屋か。

5—83イ1 大惣番号札剥落か 10銭

30443 繪本勇武鑑 上・中・下

半他2冊と合1帙3冊

西川祐信画

(1748) 寛延2刊

書肆不明

※題簽中に「勇者鑑後篇」と小書あり。33369と同帙。画者及び刊年は『国書総目録』によって補う。逸名序あり。

8—44エ36 う三百三拾壺 30銭

30444 世諺辨略 巻〜四 半4冊を合綴1冊

林自見正森著・自序, 木村坦之序

(1778) (1779) (1780)

安永7自序, 同8刊, 同9序

京 野田弥兵衛 (寺町通二条下ル町)・野田藤八 (二条通富小路西江入町), 江戸 野田七兵衛 (日本橋南二町目)

※末尾に橘枝堂野田藤八の蔵書目録あり。4冊を表紙ごと合綴。第1冊表紙に「☐四五番」の札あり。

10—05セ1 そ六百式十七 35銭

30445 香風記

大1帙1冊

著者未詳

写本

※武士からの問書を集めたもの。

5—63コ6 ☐拾式番 15銭

30446 舊翁聞書

半1帙1冊

写本

※歌・説話・仏教に関する随筆。内題「舊先生聞書」とも。

4—22キ1 め式百六番全 15銭

30447 雲鼓前句集

小1帙1冊

雲鼓編・自序

書肆不明

※笠附集。絵入り。内容は、宝永6刊の『軽口頓作』である。

4—25ウ1 大惣番号札剥落 15銭

30448 白石遺文 元・亨・利・貞 半1帙4冊  
新井筑後守源君美著、門人平元成跋(亨冊)  
写本  
※元冊・亨冊各巻頭に目録あり。朱による訂正あり。大惣の半紙を使用。考証雑記。

5—19ハ1 ゆ八百三拾四全四 75銭

30449 國性爺御前軍談 一〜五 大1帙5冊  
近松門左衛門作、西安斎「素読」・序 享保元刊  
京 菊屋長兵衛(寺町四条下ル町)

※浮世草子。画入り。大惣番号札剥落跡は第4冊にある。

4—42コ3 大惣番号札剥落 1円

30450 編年大略 (後編) 一〜十  
半他1冊と合2帙10冊  
写本  
※尾張藩史。一〜四が「瑞龍公」、五が「泰心公」、六が「圓覺公」、七が「晃禪公」、八が「前中公、章善公也」、九・十「當君源戴公也」と題簽にあり、それぞれの年代も記されている。32169参照。

5—15ヘ3 ゆ六百四番後篇瑞龍公ヨリ拾冊  
2円50銭

30451 服職次第抄 半1帙1冊  
著者未詳 天保6成  
写本

※成立年は「天保六年七月校正八月新雋」とあるのによる。画入り。

5—17フ1 ゆ九百七拾壹番 35銭

30452 近葉菅根集 一〜六 半1帙6冊  
清水濱臣編、日向守巨勢利和序 文化12刊  
京 植村藤右衛門(堀川)、江戸 英平吉(通石町十軒店)・須原屋伊八(下谷池端仲町)

※歌集。作者は僧契冲以下近世歌人48名。

4—23キ7 れ廿壹 60銭

30453 餘毛の硯 壹〜参 大3冊  
畑維龍(鶴山先生)著・自序、濱浪居士序、閑田子蒿蹊序、法橋(田中)訥言画、齋部孝義跋  
寛政4序(濱浪)、享和3成、同4刊

藍玉園蔵、京 林喜兵衛

※本文内題および後補墨書題簽は「四方の硯」、自序題「四方研」と表記。上記書名は見返し内題による。

10—05ヨ1 乙式百拾六全三冊 60銭

30454 和歌未來記聞書 大1帙1冊  
中院前源大納言通茂卿「講釈」、菅真静・鳥居湘泉・打它雲泉某甲幸隆聞書 元禄15成、正徳3写  
写本

※奥書は幸隆による。本書は更に転写を経た本か。別名「未来記雨中吟聞書」。

4—22ワ8 ふ三百七拾九 20銭

30455 護園遺編 一〜四(一之五・六之十・十一之十五・十六之廿) 大他1冊と合1函4冊  
荻生徂徠著 宝暦7写

写本 渡辺幹貞仲甫写

※『護園隨筆』大1冊とともに1函に入る。

10—05ケ5 乙三百五拾八共四冊 1円50銭

30456 續羣書類従 百七・四百七十・  
九百五十四上・九百五十四下・目録上・  
目録下 大他1冊と合1函6冊  
総檢校保己一集

書肆不明

※端本で、大惣本以外の『羣書類従卷四百六十八』(1冊)と同函。本書の内容は、卷百七系圖二「皇帝系圖」「後嵯峨院皇統系圖」、卷四百七十和歌部百五「和歌現在書目録」「和歌合畧目録」、卷九百五十四雜部百四「徒然草」及び目録。

10—01ク1 大惣番号札原欠か 2円

30457 哥仙家集 一〜十五 大2帙15冊  
藤原公任編 正保4刊

京 中野道也

※三十六歌仙の家集の集成。各冊題簽に所載の歌人の名が記されている。

4—23カ3 ふ百六拾八全拾五 1円30銭

# 珍 書

貴4—42ア2 壹番 4円

- 30458 シヨコクコノゴロカウシヨクオボエチャウ  
諸国此比好色覚帳 一〜四  
半1帙4冊を合綴1冊  
(1684~1688)  
貞享年間刊

京 和泉屋八左衛門(下立賣通大宮西入)  
※作者は山の八(本書書肆和泉屋八左衛門)か。  
山の八作『好色床談義』の序の中に『好色覚帳』を自著として挙げている。

貴4—42シ1

題簽改装のため大惣番号不明 7円50銭

- 30459 エイリ  
繪 入 好色二代男 諸艶大鑑 一〜八  
大1帙8冊  
(1684)  
貞享元年刊  
井原西鶴作

大坂 池田屋三良右衛門(呉服町真斎橋筋角)  
※第1冊見返しに落書あり。

貴4—42シ2 あ百五拾四 20円

- 30460 ナンシヨクサイジヤウキ  
男色催情記 大1帙1冊  
(1657)  
明暦3刊  
作者未詳  
書肆不明

※書名は後補墨書題簽に「催情記男色」とする。  
内題なし。柱書「催情記」。早稲田大学蔵の大惣本目録には「男色催情記」とする。

貴4—40サ1 あ百四拾五 2円50銭

- 30461 ゴゼンヒトリキヤウゲン  
御前獨狂言 大1帙1冊  
(1705)  
宝永2刊  
西鶴著・自序  
江戸 須藤権兵衛(日本橋川瀬石町), 京 西村市良右衛門(烏丸通六角下ル町)  
※6巻より成る。画入り。原体裁は4冊か。合綴。  
柱書「獨狂言」。

貴4—42コ2 艶あ百五十三番 5円

- 32462 ラクヂユウジン  
洛住 飛鳥川当流男 一〜五  
大1帙5冊  
(1702)  
元禄15自序

秋花堂久澄著・自序

書肆不明

※角書は見返し内題と原題簽に存する。画入り。

- ウキヨエイダウイチダイヲトコ  
30463 浮世榮花一代男 壹〜四 半1帙4冊  
(1693)  
元禄6自序・刊  
西鶴著・自序

江戸 萬屋清兵衛(日本橋青物丁), 大坂 鷹金屋庄兵衛(心斎橋上人町)・油屋宇右衛門, 京 松葉屋平左衛門

※「京口屋」の蔵書印あり。また見返しに「つ九百廿三番, 栄花物語 同板」と墨書。画入り。  
第2冊最終丁1丁分補写。第4冊挿絵に落丁あり。西鶴作につき存疑。

貴4—42ウ2 □百拾三番 10円

- エンダウツガン  
30464 艶道通鑑 一〜六 半1帙6冊  
似切斎(増穂残口)著・自序, 樗散人序  
(1715) (1719)  
正徳5序, 享保4刊

大坂 瀬戸物屋傳兵衛(北久太郎町)・武川善右衛門(尼崎町)

※題簽には各冊の内容の神祇之恋・釈教之恋・恋之上・恋之下・無常之恋・雑之恋が示されている。「一〜六」は墨書。

4—42エ2 そ五百式十九全六冊㊦ 65銭

- コンタンイウセンクツ  
30465 魂胆遊嬋窟 一〜五 半1帙5冊  
不知足散人著, 春信画

書肆・刊年不明

※第1冊第1丁オ等に大惣以前の蔵書印あり。第5冊終丁ウに「魂胆列嬋伝」の広告あり。第2・4冊末および挿絵中に落書。第1冊表紙に「全部五冊」の貼紙。

貴4—42コ2 大惣番号札剥落 1円50銭

- イハツツジ  
30466 岩つゝし 上・下 半1帙2冊  
北村季吟編・自序, 洛辺散人萱草生行跋  
(1713)  
正徳3跋・刊

京 澤田吉左衛門

※僧の恋歌を集めた書。上記書名は内題による。後補墨書題簽は上・下冊とも「男いわつゝし」。

貴4—40イ2 れ式百三拾式 2円

- ムサウコクシゴロク  
30467 夢窓国師語録 玄・黄・  
ムサウコクシネンブ  
夢窓国師年譜 大1帙3冊

夢窓疎石著, 妙葩等編, 東陵永瑱序, 楚石道人跋  
(1354)  
文和3成

書肆不明

- ※『国書総目録』は慶安3版とする。大惣印見当たらず。朱の書込みあり。跋は元の至正26。<sup>(1650)</sup>  
貴1—25ム3 大惣番号札原欠か 11円50銭

## 唐 軍

- 30468 <sup>レフコクシ</sup> 列 國 志 <sup>フウゾクシフニテウガンダン</sup> 通俗十二朝軍談 壹~十四  
大2帙14冊  
李下散人著・自跋, 門人中西兵序, 井上為定序, 松井宗序 <sup>(1712)</sup> 正徳2序・刊  
大坂 心斎橋書林 敦賀屋九兵衛・吉文字屋市兵衛・柏原屋清右衛門・河内屋喜兵衛  
※内題は「通俗列國十二朝軍談」「通俗列國志前編」などとなっている。第1冊表紙に「壹番」と記した札あり。  
4—41サ49 全部拾四冊 45銭

- 30469 <sup>フウゾクセンゴクサク</sup> 通俗戦國策 一~十 大1帙10冊  
毛利氏虚白貞斎著・自序 <sup>(1704)</sup> 元禄17序, 宝永元刊 <sup>(1704)</sup>  
京 上村平左衛門・上村四郎兵衛  
4—41サ51 て七百四番全拾冊 70銭

- 30470 <sup>フウゾクゴエツガンダン</sup> 通俗呉越軍談 壹~十八 大2帙18冊  
清地以立著 <sup>(1703)</sup> 元禄16刊  
大坂 心斎橋筋書林 吉文字屋市兵衛・敦賀屋九兵衛・柏原屋清右衛門・敦賀屋清助  
※内題「列國志呉越軍談」, 「通俗列國志 吳越軍談」。第1冊第1丁は凡例で「通俗列國志」を解説している。  
4—41サ45 て七百三番全拾八 60銭

- 30471 <sup>フウゾク</sup> 通 俗 <sup>カンソグンダン</sup> 漢楚軍談 壹~七・八~十二  
各上下・十三~十五 大2帙20冊  
夢梅軒章峯・称好軒微庵著, 章峯自序, 微庵自跋 <sup>(1690)</sup> <sup>(1694)</sup> <sup>(1695)</sup>  
元禄3序, 同7跋, 同8刊  
京 吉田四良右衛門・額田勝兵衛・同姓正三郎  
4—41サ43 て七百五番㊦ 70銭

- 30472 <sup>フウゾク</sup> 通 俗 <sup>リヤウカンキジ</sup> 兩漢紀事 (西漢)一~十  
・(東漢)一~十 大3帙20冊  
稱好軒微庵著・自序 <sup>(1698)</sup> 元禄12序  
書肆不明

※内題は「通俗西漢紀事」「通俗東漢紀事」と区別されている。

4—41サ59 て七百六番全貳拾冊 50銭

- 30473 <sup>フウゾクサンゴクシ</sup> 通俗三国志 首巻・一~五十  
大5帙51冊  
湖南文山著・自序 <sup>(1689)</sup> <sup>(1692)</sup> 元禄2序, 同5刊  
京 吉田三郎兵衛 (二条通高倉東江町)  
※首巻の内容は総目録・姓氏・或問。  
4—41サ48 大惣番号札剥落㊦ 1円

- 30474 <sup>フウゾクサンゴクシ</sup> 續通俗三國志 一~十二・十三十四  
・十五~卅七 大3帙36冊  
中村昂然著, 尾田玄古校 <sup>(1704)</sup> <sup>(1716)</sup> 宝永元初刊, 正徳6刊  
京 吉田三郎兵衛・同善兵衛 (二条通観音町)  
※内題「通俗續三國志」。第10冊のみ写本。第1~3冊は, 紙型が他よりひとまわり大きい。著者・校者は『国書総目録』による。本来は全38冊のはず。  
4—41サ52 大惣番号札剥落 1円30銭

- 30475 <sup>フウゾクタウタイソウガンカン</sup> 通俗唐太宗軍鑑 一~二十  
大2帙20冊  
夢梅軒章峯著・自序 <sup>(1691)</sup> <sup>(1696)</sup> 元禄4序, 同9刊  
京 栗山伊右衛門 (堀川通三条下ル二町目)  
4—41サ56 て七百拾四番全貳拾 1円25銭

- 30476 <sup>フウゾク</sup> 通 俗 <sup>タウゲンソウガンダン</sup> 唐玄宗軍談 壹~二十  
大2帙20冊  
中村昂然 (無外子) 著, 林九成校・跋, 村田通信序 <sup>(1704)</sup> <sup>(1705)</sup>  
宝永元序, 同2刊  
吉田勘右衛門・林九兵衛・田辺作右衛門  
4—41サ55 大惣番号札剥落 1円

- 30477 <sup>フウゾクズイヤウダイグワイシ</sup> 通俗隋煬帝外史 壹~四  
大1帙4冊  
近江贅世子 (煙水山人)「譚」・自序 <sup>(1760)</sup>  
宝暦10序・刊

京 風月庄左衛門（二條通衣棚）・丸屋市兵衛  
（二条通堺町）

※上記書名は内題による。墨書題簽は「通俗」を  
角書とし、序題・柱書は「通俗」を欠く。

4—41サ50 て七百六拾五共四 50銭

30478 ツウゾク  
通俗 南北朝軍談 壹～十五

大2帙15冊  
(1704) (1705)

長崎一鶴著、無名子（皐禽）序 宝永元序，同2刊

京 出雲寺和泉（三条通升屋町），江戸 同店  
（日本橋南一丁目）

※内題「通俗南北朝梁武帝軍談」。柱書「通俗梁  
武帝軍談」。著者は『国書総目録』による。

4—41サ57 て七百拾壹全拾五 1円25銭

30479 ツウゾク  
通俗 北魏南梁軍談 一～二十三

（但し十と十一，十五と十六，二十一と  
二十二が各1冊） 大2帙20冊

肥前州長崎居士一鶴著，文坡山人菊丘江匡弼序  
(1705) (1770) (1774)

宝永2初刊，明和7序，安永3再刊  
京 出雲寺和泉掾（三条通升屋町），江戸 同  
店（日本橋南一丁目）（以上初刊），出雲寺文治  
郎（「再刻」）

4—41サ58 て七百拾貳全貳拾冊 1円50銭

30480 ツウゾク ゴダイゲン  
通俗 五代軍談 首巻・壹～廿四

大3帙25冊  
(1705)

毛利貞齋（瑚珀）著，大鹽遜翁序 宝永2序・刊  
京 上村平左衛門（二条通）

※内題は「通俗通鑑五代軍談」。

4—41サ46 大惣番号札剥落 1円50銭

30481 ツウゾク ソウシ ゲン  
通俗 宋史軍談 壹～二十 大2帙20冊  
(1719) (1760)

松下瑞亨著・自序 享保4序，宝暦10刊

大坂 柏原屋清右衛門（心斎橋筋願慶町）

※内題「通俗宋史太祖軍談」。

4—41サ54 大惣番号札剥落 1円

30482 ツウゾク リヤウコクシ  
通俗 兩國志 巻～二十五 大3帙25冊  
(1721)

入江兼通著，海陽李春芳序 享保6刊

京 耆屋勘兵衛（四条通御幸町角）

※柱書「和語兩國史」。兩國とは宋と金。第10冊  
と第13冊の紙型が他よりひとまわり小さく，

「信州松本中町松翠堂」ほかの印がある。著者  
は『国書総目録』による。

4—41サ60 て七百拾八番 70銭

30483 ツウゾク ソウゲン ゲン  
通俗 宋元軍談 壹～十二 大1帙12冊  
(1798) (1816)

源忠孚著・自序 寛政10序，文化13刊

京 今井喜兵衛・三木安兵衛，大坂 松村九兵  
衛・森本太助，江戸 前川六左衛門，尾張 片  
野東四郎

※第1冊表紙に「☐番」の札あり。

4—41サ53 て七百拾九番全貳式 55銭

30484 ツウゾク ゲン ミン ゲン  
通俗 元明軍談 巻壹～二十

大2帙20冊  
(1705)

岡島冠山（玉成）「譯」，林義端九成序 宝永2序・刊

京 林九成

※内題「通俗皇明英烈伝」。第1冊表紙に「☐  
番」の札あり。刊記部分破損，墨により「宝永  
貳年三月吉日ナリケリ」と補われている。

4—41サ44 て七百貳拾番 60銭

30485 ミン シン トウ キ  
明清闘記 一～十 大1帙10冊

肥州長崎住人前園仁左衛門増武「輯稿」

京 前河権兵衛尉（寺町四条上ル町）

※『国書総目録』には鶴飼信之（石斎）著，寛文  
(1661)  
元刊とある。

4—41サ72 大惣番号札剥落 40銭

30486 テウ セン タイ ヘイ キ  
朝鮮太平記 巻～十五 大2帙15冊  
(1705)

馬場信意著・自序 宝永2序・刊

江戸 須原氏茂兵衛（日本橋南一丁目）・玉置  
次郎兵衛（増上寺表門前），京 山岡四郎兵衛  
（二条通御幸町西江入町）

※30巻を2巻ずつ1冊とする。秀吉の朝鮮出兵の  
軍記。

4—41サ41 大惣番号札剥落 1円

30487 コク セン ヤチ ユウ ギ デン  
國姓爺忠義傳 総目録・壹～拾九

大2帙20冊  
(1717)

享保2刊

京 田中庄兵衛（五条橋詰），江戸 中村氏進  
七（十軒店）

※上記書名は見返し内題による。各巻内題は「明  
清軍談國姓爺忠義傳」，原題簽には「明清／通

俗／軍談」の角書あり。『国書総目録』によれば、鵜飼信之著、寛文元序。<sup>(1661)</sup>

4—41サ47 大惣番号札剥落 75銭

30488 <sup>フウゾク</sup> 通俗忠義水滸傳 (初編) 一～十五・  
中編壹～十五・下編壹～二十・拾遺一～二十  
大 8 帙70冊

岡島冠山「譯」、勾曲外史序 <sup>(1757)</sup> 宝曆7刊 (初編)  
京 植村藤右衛門 (堀川通高辻上ル町)・吉田  
四郎右衛門 (二条通鉄屋町西江入町)・林九兵  
衛 (東洞院夷川上ル町)・林権兵衛 (間之町押  
小路下ル町)

※中編は安永元刊、大惣番号「て七百五拾式全拾  
□ (五)」<sup>(1772)</sup>、初編中編は上記書肆。下編は天明4  
刊、大惣番号札剥落、書肆は、京 林権兵衛  
(間之町押小路下ル町)・横江岩之助 (新町竹  
屋町上ル町)・山田屋卯兵衛 (二条東洞院西江  
入町)・武村嘉兵衛 (新町二条下ル町)。拾遺  
は、原題簽「通俗水滸傳拾遺」、天明8「書肆  
某等」序、寛政2刊、大惣番号札剥落、書肆は  
下編のそれから山田屋が欠け、大坂 武村甚兵  
衛 (心斎橋筋南久太郎町) が加わっている。<sup>(1788)</sup>  
<sup>(1790)</sup>

4—45ツ8

(初編) て七百五拾卷全拾五〇※参照 3円

30489 <sup>フウゾクヘイエイウデン</sup> 通俗平妖傳 初編 一・二・三ノ四

・五～九・十ノ上・十ノ下 大1帙10冊

末東原羅貫中編、明臨西張無咎校、平安本維芳「譯」、  
筑齋皆川愿序 <sup>(1797)</sup> 寛政9序、享和2刊 <sup>(1802)</sup>

京 香雪堂蔵版・田中庄兵衛 (寺町通五条上ル)

※第1冊表紙に「壹番」の札あり。

4—45ツ9 て七百六拾式全拾 50銭

30490 <sup>デヨセングワイシ</sup> 女仙外史 一～十二 大1帙12冊

清逸田叟呂熊文兆著・自序、滄浪居主人序 <sup>(1780)</sup>  
安永9序、寛政元刊 <sup>(1789)</sup>

京 林伊兵衛 (二条通柳馬場東江入)

※上記書名は見返し内題による。原題簽には「通  
俗／大明」の角書あり。内題は「通俗女仙傳」  
「大明女仙傳」。

4—45ツ6 て七百六拾壹番全部拾式冊 75銭

30491 <sup>フウゾクギバデン</sup> 通俗耆婆傳 一～五 大1帙5冊

鹿鳴野人 (都賀庭鐘)「譯」・自序 (巢居主人)、水

香精舍主人跋

<sup>(1762)</sup> 宝曆12跋、<sup>(1763)</sup> 同13刊

大坂 渋川清右衛門 (心斎橋順慶町)・大賀惣  
兵衛 (南新町壹丁目)

※上記書名は見返し内題による。目録題・巻頭内  
題ともに「國字演義醫王耆婆傳」、題簽は「<sup>通俗</sup>  
王耆婆傳」。

4—45ツ1 て七百六十六番全部五冊 35銭

30492 <sup>フウゾクスイゴダイ</sup> 通俗醉菩提 一之上・一之下・二・三  
・四之上・四之下・五之上・五之下

大1帙8冊

天華蔵主人述、碧玉江散人 (三宅嘯山)「譯」・跋、桃  
花庵主人序 <sup>(1759)</sup> 宝曆9跋

京 青雲館

※第1冊表紙に「□番」の札あり。

4—45ツ7 大惣番号札剥落 50銭

30493 <sup>フウゾクキンゲウデン</sup> 通俗金翹傳 一～七 大1帙7冊  
<sup>(1763)</sup> 宝曆13刊

大坂 星文堂藤屋弥兵衛 (高麗橋一丁目浅野弥  
兵衛)・吉文字屋市兵衛、江戸 同次郎兵衛

※「金雲翹傳」の国訳。5巻。各巻目録題は「繡  
像通俗金翹伝」。星文堂蔵版目録を附す。

4—45ツ2 大惣番号札剥落 50銭

30494(1) <sup>クワンクワ</sup> 勸 通俗西遊記 (首巻)・二～六  
大1帙6冊

翰林學士臨川邵虞「原序」、近江口木山人「譯」、平安  
吉田武然校 <sup>(1758)</sup> 宝曆8刊

京 新屋平次郎 (寺町通草堂前)・丸屋市兵衛  
(二条通柳馬場)

※本文第1冊 (第一回～第五回) を欠く。首巻は  
序・像贊・総評・総目録。(1)～(5)合わせて5帙  
34冊、各項参照。

4—45ツ5

大惣番号札剥落 (1)～(5)あわせて1円50銭

30494(2) <sup>フウゾクサイイウキ</sup> 通俗西遊記 後篇 一上・一下・二・  
三・四上・四下・五・六 大1帙8冊  
<sup>(1784)</sup>

石磨呂山人「譯」、秋蘭主人序 天明4序・刊  
京 丸屋市兵衛 (二条通柳馬場)、江戸 前川  
六左衛門 (日本橋通三丁目)・遠州屋清右衛門  
(小伝馬町三丁目)

※第1冊表紙に「貳番ウ夏」の札あり。

4—45ツ5 て七百五拾六番

ツウソクサイイウキ  
30494(3) 通俗西遊記 三編 一〜七 大1帙7冊  
石磨呂山人「譯」 天明6刊

京 山田屋宇兵衛 (二条通新町東エ入), 江戸  
前川六左衛門 (日本橋南三丁目)・佐藤清右  
衛門 (小伝馬町三丁目)

※第1冊表紙に「三編全部七冊」の札あり。

4—45ツ5 大惣番号札剥落

ツウソクサイイウキ  
30494(4) 通俗西遊記 四編 一〜五・六上・六下  
大1帙7冊

尾形貞齋「譯」・自序 寛政9序, 同11刊  
(1797) (1799)

大坂 丹波屋治兵衛・塩屋惣助・小刀屋六兵衛  
・塩屋平助

※内題では「四編」でなく「續後編」。

4—45ツ5 大惣番号札剥落

ツウソクサイイウキ  
30494(5) 通俗西遊記 五編 一〜六

大1帙6冊  
岳亭丘山「譯」・自序 天保2序・刊  
(1831)

江戸 丁子屋平兵衛, 名古屋 永楽屋東四郎,  
京 吉野屋仁兵衛・伏見屋半三郎, 堺 住吉屋  
弥三郎, 大坂 塩屋平助・河内屋太助・河内屋  
儀助・河内屋長兵衛

4—45ツ5 て七百五拾九全六冊

## 絵 本・読 本

スミダガハバイリウシンショ  
30495 墨田川梅柳新書 一〜六

半1帙6冊  
曲亭主人著・自序, 葛飾北齋画 文化3序, 同4刊  
(1806) (1807)

江戸 鶴屋喜右衛門 (本町筋通油町)

4—41ア61 ら四百拾三全六冊○ 60銭

フクジウコジツ ドクエウシンゴ  
30496 復讐 古實 獨揺新語 一〜四・五上

・五下 半1帙6冊

熟睡亭主人著・自序, 榮松齋長喜画

文化4序, 同5刊  
(1807) (1808)

江戸 若林清兵衛 (馬喰町三丁目)・丁字屋平  
兵衛 (小傳馬町三丁目), 大坂 河内屋太助 (心  
斎橋通)

※上記書名は見返し内題による。原題策「<sup>新書</sup>播若  
葉栄」。五巻下の見返しに「御けせう下御あら  
ひと美艶香長嶋町五丁目大野屋惣八」の広告あ  
り。

4—41ア74 ら八百拾五番全六冊○ 60銭

セタノハシリユウニヨノホンダ  
30497 勢田橋竜女本地 上・中・下

半1帙3冊

柳亭種彦著, 葛飾北齋画, 柏菴主人序

文化7序, 同8刊  
(1810) (1811)

大坂 河内屋太助 (心斎橋筋唐物町), 江戸  
西村與八 (馬喰町二丁目)

※上記書名は原題策による。見返しの鐘の絵の中  
「田原藤太老狐傳」とある。各冊表紙中央に脇  
題策があったが, 剥落ないし汚損。浄瑠璃丸本  
の体裁をまねた字体・奥書。

4—41ア63 ら六百五十七全三冊○ 75銭

チユウカウイタ コ ブ シ  
30498 忠孝潮来府志 一〜五 半1帙5冊

談洲樓焉馬著・自序, 葛飾北齋画

文化4序, 同6刊  
(1807) (1809)

江戸 角丸屋基助 (麴町平川町二丁目)・石渡  
利助 (江戸橋四日市)

※内題・柱には「——武志」とも。

4—41ア67 ら五百四十二番 75銭

ナンカグワイデン ヤヨヒザクラ  
30499 楠家 弥生佐久羅 半1帙6冊  
外傳

一溪翁野人著・自序, 東西南北雲画

文化14序, 文政2刊  
(1817) (1819)

大坂 河内屋嘉七郎 (心斎橋通北久宝寺町),  
江戸 鶴屋金助 (人形町), 京 伏見屋半三郎  
(寺町蛸薬師下ル)

4—41イ6 ら八百四十七全六冊○ 60銭

アマギノニシキ  
30500 尼城錦 上・中・下 半1帙3冊

葛飾隠士吉満著・自序, 感和亭鬼武校・跋, 蹄齋北  
馬画 文化6序・跋・刊  
(1809)

江戸 西宮彌兵衛 (江戸橋四日市)・上総屋忠  
助 (日本橋新右エ門町)

4—41ア7 ら六百五拾四全三冊○ 60銭

ヒダノタクミモノガタリ  
30501 斐陀匠物語 一〜六 半1帙6冊

六樹園飯盛著・自序, 葛飾北齋画 文化6刊  
(1809)



江戸 角丸屋基助(麹町平川町貳丁目)

※第2〜6冊後補墨書題簽および柱書には「飛騨匠物語」とも。

4—41ア82 大惣番号札剥落 1円

バンドウキブン  
坂東 スレギヌザウシ  
奇聞 濡衣雙紙

30502 壹〜五

半1帙5冊

芍薬亭長根著・自序, 蹄齋北馬画 (1806) 文化3刊

江戸 松本平助(江戸橋四日市廣広路)・上総屋忠助(日本橋通四町目)

4—41ア78 大惣番号札剥落 40銭

コザクラヒメフウゲツコウキ

30503 小櫻姫風月後記 壹〜四・五上・

五下・六

半1帙7冊

機亭琴魚著, 北明樓戴儀・合川館珉和画

(1819) (1820) 文政2序, 同3刊

江戸 岩戸屋喜三郎(横山町二丁目)・山寄平八(筋違御門外神田), 大坂 河内屋嘉助(心齋橋博勞町)・塩屋卯兵衛(南久太郎町心齋橋), 京 吉田屋新兵衛(三條通富小路)・近江屋治助(三條通柳馬場)

※京山作『小櫻姫風月奇観』の後篇。

4—41ア37 ら貳百五拾四全七冊い印 70銭

フハバンザエモンナゴヤサンザ  
不破伴左衛門  
名護屋山三

30504 昔語 稻妻表紙

一〜四・五上・五下

半1帙6冊

山東京傳著, 歌川豊國画

江戸 平林庄五郎(本所松坂町)

※続篇は『本朝醉菩提』。本書の初版は文化3刊。(1806)

巻末に「尾陽東壁堂製本目録」あり。30524参照。

4—41ア95 ら貳百貳拾八 60銭

ホクエツキダン

30505 北越奇談 一〜六

半1帙6冊

橘崑崙茂世著, 柳亭種彦校・序, 葛飾北齋画, 明浦漁人林成序

(1809) (1811) (1812) 文化6序(林成), 同8序(種彦), 同9刊

大坂 河内屋太助(心齋橋筋唐物町), 江戸

西村與八(馬喰町二丁目)

5—83ホ1 ら百九十巻全六冊い印 1円

チユウベエウメカハセキジヨウキエンデン コ ノ ハナサウシ  
忠兵衛梅川 古乃花双紙  
赤繩奇縁傳

30506

一・二・三の上・三の下 半1帙4冊

歌麿陳人(小枝繁)著・自序・自跋, 盈齋北岱画

(1809) 文化6序・刊

江戸 竹川藤兵衛(日本橋四日市)・住吉屋政

五郎(四ツ谷傳馬町)・伊勢屋治右衛門(桃町

十二丁目)

※旧蔵者「文華堂」と「三浦屋林蔵」の印がある。

4—41ア41 ら六百五十五全四冊㊦ 60銭

アヲト フヂツナモリヨウアン

30507 青砥藤綱摸稜案 初篇(前集)壹〜五・

第二篇(後集)一〜五

半2帙10冊

曲亭主人(馬琴)著・自序・自跋, 葛飾北齋画

(1811) (1812) 文化8序(初篇)・跋, 同9序(二篇)・刊

江戸 鶴屋金助(田所町)・平林庄五郎(本所松坂町二丁目)

※初篇は正月, 二篇は12月の刊。二篇各冊には目録を記した脇題簽を附す。

4—41ア5 ら式百五十九初篇五冊

・ら式百六十番後篇五冊 1円20銭

カヘリザキカウツノウメ

30508 再開高臺梅 壹〜六 半1帙6冊

栗杖亭鬼卵著, 東南西北雲画

(1817) 文化14刊

京 吉野屋仁兵衛・伏見屋半三郎, 尾州 永楽

屋東四郎, 大阪 正本屋利兵衛・河内屋嘉助

※彩色刷挿絵1葉入り。柱書「高臺梅」, 後補墨書題簽では「再開」を角書とする。

4—41ア29 ら八百四十式㊦ 50銭

フクジウキダン

30509 復讐 奇談 幸物語 壹〜六

半1帙6冊

栗杖亭鬼卵著, 葛飾北明画, 通仙亭主人序

(1815) (1818) 文化12序, 同15刊

京 丸屋善兵衛(京極通四條上ル町), 大坂 秋

田屋太右衛門(心齋橋安堂寺町)

4—41ア47 ら八百四十五式番全六 60銭

アキナナクサ

30510 秋七草 壹〜六

半1帙6冊

曲亭主人(馬琴)著・自序, 歌川豊廣画

(1808) (1809) 文化5序, 同6刊

江戸 西村源六(日本橋室町十軒店), 大坂 森

本太助（心齋橋筋唐物町）

※後補墨書題籤に「<sup>於松久</sup>秋七草」とある。巻頭内題「松染情史秋七草」，柱書「松染情史」とある。題名の振仮名「アキノナナクサ」とも。また「秋七種」とも書く。

4—41ア94 ら四百十八番全六 40銭

30511 トカエリハナ 十嘉栄利花 壹〜五 半1帙5冊

良々軒器水著，盈齋北岱画，楓亭醉山序  
(1808) (1809)  
文化5序，同6刊

江戸 竹川藤兵衛（日本橋四日市）・伊勢屋治右衛門（杣町十二丁目）

※各冊巻頭内題には「報怨珍話」の角書あり。第2冊末・第5冊始に，大惣が落書おことわりの旨を記す。

4—41ア73 ら五百四拾八全五冊㊦ 50銭

30512 ノズエノタカ 野居鷹 第一〜第五 半1帙5冊

萬亭叟馬（醉月庵主人）著・自序，葛飾北齋画  
(1807) (1808)  
文化4序，同5刊

江戸 須原屋市兵衛（本町二丁目）・榎本惣右衛門（深川森下町）・榎本平吉（同）

※巻頭内題「由利稚野居鷹」。

4—41イ7 ら五百三十八全五冊㊦ 75銭

30513 モンガクシヤウエンホツシンノキ 文覺上人 發心之記 ハシキヤウ 橋供養 壹〜五  
(1815)

半1帙5冊

絳山翁著・自序，葛飾北齋・雷洲画 文化12序・刊  
江戸 角丸屋基助（麴町平川町二丁目）・伊勢屋忠右衛門（同所）・伊勢屋忠右衛門（新橋南大坂町）

4—41ア81 ら五百〇〇〇㊦ 60銭

30514 ライガウ アジャリ クワイソデン 頼豪阿闍梨恠鼠傳 前篇一〜五・

後篇六・七・八上・八下 半1帙9冊

曲亭主人（馬琴）著・自序，葛飾北齋画，門人魁菴  
(1807) (1808)  
癡叟批評 前・後篇とも文化4序，同5刊

江戸 鶴屋喜右衛門（通油町翠橋）

4—41イ9 ら式百三拾三

・ら式百三十四式篇四冊 1円20銭

30515(1) サンシチゼンナンカノユメ 三七全傳南柯夢 壹〜六

半1帙6冊

曲亭馬琴著・自序，東園魁菴子跋，葛飾北齋画  
(1807) (1808)  
文化4序・跋，同5刊

江戸 須原屋市兵衛・榎本摠右衛門（深川森下町）・榎本平七（同）

※同番号の『三七全傳第二編 占夢南柯後記』8冊別帙にあり。(2)参照。

4—41ア48 □(ら)式百四拾前六 (2)共2円45銭

30515(2) サンシチゼンナンカノユメ 三七全傳 第二篇 占夢南柯後記  
ユメアハセナン カコウキ

一〜八 半1帙8冊

曲亭主人（馬琴）著・自序，葛飾北齋画  
(1811) (1812)  
文化8序，同9刊

江戸 松本平介（江戸橋四日市）・榎本摠右衛門（深川森下町）・榎本平吉

※『三七全傳南柯夢』の後編（「前帙」4冊，「後帙」4冊）。

4—41ア48 ら式百四十老㊦式篇四冊

・ら式百〇〇三篇四冊

30516 フクジウキダン 復讐 奇譚 ワカエノハト 稚枝鳩 壹〜五 半1帙5冊

曲亭主人（馬琴）著・自序，歌川豊國画，仙鶴堂小  
(1804) (1805)  
林近房跋 文化元序，同2刊

江戸 仙鶴堂鶴屋喜右衛門（通油町）

※第3冊末にらくがきお断りの書込みあり。

4—41イ13 ら五百式十三全五冊㊦ 50銭

30517 シュンセウキダン 春宵 奇譚 タマノオチボ 壁落穂 前編一〜五・

後編壹〜五 半1帙10冊

小枝繁著・自序，葛飾北齋画

(1806) (1807) (1808)  
（前篇）文化3序・刊，（後篇）同4序，同5刊

（前篇）京 植村藤右衛門（堀川通高辻上ル町），大坂 小林六兵衛（心齋橋筋轉吉町）・大野木市兵衛（同所安堂寺町），江戸 森基助（麴町平川二丁目），（後篇）江戸 角丸屋基助（麴町平川町式丁目）

※本屋久八の印あり。上記書名は前篇第1冊の見返し内題よりとった。前篇各冊原題簽および前後篇の巻頭内題は「春宵繪本壁落穂」。後編各冊の墨書題簽は「繪本 たまの落穂 後編」。

4—41ア19 ら式百拾九前編五冊㊦

・ら式百式十番後篇五冊六番 1円50銭

フタジツキワ  
復讐 絵 本 東 嫩 錦 一〜五  
奇話 (1805)  
半1帙5冊  
文化2序・刊  
小枝繁著・自序, 葛飾北斎画  
京 植村藤右衛門(堀川通高辻上ル町), 大坂  
大野木市兵衛(心斎橋通安堂寺町)・勝尾屋六  
兵衛(心斎橋轉苦町), 江戸 濱松屋幸助(通  
油町)・角丸屋甚助(麴町平川町二丁目蛤店)  
4—41ア11 ら五百式拾四全五冊○ 75銭

フタジツキセツ  
復讐 タムラモノガタリ  
奇説 田村物語 壹〜四・五上・下  
ナマツ  
半1帙6冊  
川上(天風坊)鰐著・自序, 蹄齋北馬画  
(1809)  
文化6序・刊  
江戸 西宮弥兵衛(四日市)・大和屋文六(浅  
草北馬道町)・大和屋伊助(同)  
※「研寿堂」の印あり。  
4—41ア65 ら四百 60銭

サウタウエイユウダン  
30520 雙刀英勇談 卷之壹〜三 半1帙3冊  
玉晴堂芝誘著・皎月堂楓溪画, 一閑舍主人序, 凹頭  
(1828)  
跋 文政11成・序・跋  
写本  
※匡郭は刷られているが, 本文・画・題簽みな筆  
写。ただし, 印はすべて実物の印。画には彩色  
を施す。第3冊末に本の広告や刊記「呉尾國柳  
城釵都問夜光街住 響旭亭蔵板」が書かれてお  
り, あるいは版本の原稿か。  
4—41ア64 大惣番号札原欠か 1円

テンマンダウゴテンキリヤク  
30521 天満宮御傳記略 上・下  
半1帙2冊  
平田篤胤著, 根岸延貞編・序, 高橋治右衛門正雄跋  
(1820)  
文政3序・跋・刊  
京 出雲寺文治郎(三條通舛屋町), 大坂 敦  
賀屋九兵衛(心斎橋南二丁目), 江戸 須原屋  
茂兵衛(日本橋通壹丁目)・英大助(本石町十  
軒店)・西宮弥兵衛(中橋広小路)・岡田屋嘉  
七(芝神明前)  
5—62テ1 む七百三拾式全式 30銭

テンマンダウジツテンゾエ  
30522 天満宮實傳圖會 半1帙1冊  
(1842)  
貝原翁元稿, 梅園主人輯録, 溪斎英泉画 天保13刊

江戸 須原屋茂兵衛, 京 吉野屋仁兵衛, 大坂  
河内屋太助・河内屋平七・播磨屋五郎兵衛  
※多色刷画入り。  
5—62テ3 む七百三拾三全 10銭

エ ホントクカウダン  
30523 繪本徳行譚 一〜六 半1帙6冊  
田宮東陽著, 田宮太一郎画, 世古雪序  
(1805)  
文化2序・刊  
大坂 吉文字屋市左衛門, 京 鉾屋安兵衛・播  
磨屋儀兵衛・萬屋宗兵衛・丹波屋新兵衛  
※「繪本徳行談」とも記す。  
1—84エ1 む七百拾壹○ 50銭

ホンテウスイ ボダイゼンデン  
30524(1) 本朝醉菩提全傳 初編壹〜六  
半(2)と合1帙6冊  
山東京傳著, 歌川豊國画, 竺實蓮序  
(1808) (1809)  
文化5序, 同6刊  
江戸 西村宗七(本石町十軒店)・伊賀屋勘右  
衛門(小船町二丁目)  
※墨書題簽は「稻妻表紙本朝醉菩提」。各巻頭題は「稻  
妻表紙後編本朝醉菩提」。『昔話稻妻表紙』の後  
編。(2)参照。  
4—41ア93 ら式百式拾九初編六冊 (2)共75銭

イナヅマヘウシコウヘンシンコク  
30524(2) 稻妻表紙 後編新刻 本朝醉菩提  
後帙一〜四 半(1)と合1帙4冊  
(1809)  
山東京傳著, 歌川豊國画 文化6刊  
書肆は(1)に同じ  
※題簽は「本朝醉菩提」, 第1冊に「稻妻表紙三編」  
の札あり。  
4—41ア93 大惣番号札剥落

オシユンダン ベ エジツジツキ  
30525 阿旬殿兵衛實實記 初篇一〜五・  
後篇一〜五 半1帙10冊  
曲亭馬琴著・自序, 歌川豊廣画, 杏林百寮序  
(1808)  
文化5序・刊  
江戸 松本平介(江戸橋四日市)・榎本總右衛  
門(深川森下町)・榎本平吉  
※上記書名は各巻頭内題による。柱・後篇見返し  
内題・初篇後補墨書題簽には「旬殿実々記」,  
初篇見返し内題「曲亭新編實實記」, 後篇原題簽  
「曲亭旬殿實實記」。

4—41ア54 ら式百四十七初編全五冊  
・ら式百四十八後全五冊○ 70銭

30526 ニツタコウシン  
新田 功臣 デュウセキデン  
柱石傳 卷一〜五 半1帙5冊

為永春水(自序)・松亭金水合著、歌川国直・歌川  
国芳画 (1833) (1834)  
天保4序, 同5刊

尾州 永楽屋東四郎, 江戸 須原屋佐助・平林  
庄五郎・榎本平吉・廣屋太七郎

※原題籤には「新田柱石傳 第初輯」とある。

4—41ア77 ら五百六十七 40銭

30527 モダテズリムカシニンギヤウ  
綏手摺昔木偶 巻〜五 半1帙5冊  
柳亭種彦著, 柳川重信画, 松亭陳人序

(1813)  
文化10序・刊

大坂 塩屋長兵衛(心斎橋通), 江戸 若林清  
兵衛(馬喰町二丁目)・山崎屋平八(同筋違御  
門通平永町)

※各冊表紙に多色刷絵入り脇題籤あり。

4—41イ2 ら五百六拾毫 50銭

30528 ランナモジヌエモノガタリ  
國字鶴物語 壹〜五 半1帙5冊  
芍葉亭長根著・自序, 葛飾北齋画

(1807) (1808)  
文化4序, 同5刊

江戸 西村宗七(十軒店)・柏屋忠七(下谷御  
成小路)

4—41ア39 ら五百三拾九全部五冊◎ 1円

30529 モノダサタラウ  
物草太郎 一〜十 半1帙10冊  
西洲散人著・自序, 合川眠和画 文化4序, 同5刊

京 小川多左衛門・小川五兵衛・小川彦兵衛,  
大坂 河内屋吉兵衛, 江戸 松本平助

4—41イ3 む六百貳拾三全拾冊○ 30銭

30530 トリベヤマシラベノイトミテ  
鳥邊山調綫 壹〜五 半1帙5冊  
鶴鳴堂主人著, 一楊齋正信画, 金龍道人序

(1824) (1825)  
文政7序, 同8刊

京 三木太郎左衛門(寺町通御池下ル)・吉野  
屋仁兵衛(三条通鉄屋町), 江戸 大坂屋茂吉  
(日本橋砥石店), 大坂 河内屋儀助(心斎橋  
通北久太良町)

4—41ア76 ら九百五拾三 40銭

クワクチュウキダン ナニハノユメ  
30531 廓中 浪花夢 一〜五

半1帙5冊

平亭銀雞著, 歌川貞廣・歌川貞芳画, 壺中屋主人序  
(1835)  
天保6刊

京 大文字屋得五郎・吉野屋仁兵衛, 江戸 丁  
字屋平兵衛, 左海 住吉屋弥三郎, 大坂 河内  
屋長兵衛

※人情本。多色刷挿絵1面あり。末尾に菓の広告  
3丁あり。

4—43カ31 む百三十番 40銭

30532 ダテモヤウ  
伊達 模様 フカンノソメワケ  
和漢乃染分 一〜五

半1帙5冊

五島清道著, 一峯齋馬圓画, 蘆州山人序・校  
(1813) (1848)  
文化10序, 弘化3刊

大坂 河内屋太助(心斎橋通唐物町)

※初版は文化10刊。各冊巻頭の内題「伊達倭韓乃  
模様 染分」とあり。

4—41イ14 ら九百三十 20銭

30533 フクジウキワ  
復讐 奇話 クワンギブイツタン  
完義武逸談 上・中・下

半1帙3冊  
(1807)

盛田小塩著・自序

文化4序・刊

京 但馬屋太兵衛・蠶屋喜右衛門, 伏水 亀屋  
伊兵衛

※各巻頭には「復讐奇話完義武逸談」とあり, 3冊を  
「智・仁・勇」とする。

4—41ア30 ら千五十四全三冊○ 20銭

30534 ヒクワンセウセン  
稗官 小説 コザクラヒメ  
小桜ひめ 一〜六

半1帙6冊

山東京山著・自序, 天山老人跋, 歌川国貞画, 橋本  
徳瓶備写 (1808) (1809)  
文化5序, 同6刊

江戸 前川彌兵衛・田辺屋太兵衛・平川館忠右  
衛門

※上記書名は原題籤による。第1・2冊内題「国  
字小説小櫻姫風月奇観」, 第3冊以下内題「小  
桜姫風月奇観」。末尾に書肆の広告あり。第3  
・6冊等に書込み多数, 「富塚村 本屋嘉兵衛」  
等とある。

4—41ア36 ら式百五拾三前六○ 30銭

- キノニゼンデン  
キノニ スルガマヒ  
30535 全傳 駿河舞 壹・貳・三・肆・  
伍・陸 半1帙6冊  
濱松歌国著、一峰斎馬圓画、加藤清碧序 文化11刊  
京 吉野屋仁兵衛・丸屋善七、江戸 鶴屋金助  
・松本屋新助・河内屋徳兵衛、大坂 海部屋九  
兵衛・播磨屋十良兵衛・河内屋嘉助  
※第3冊裏見返しに大惣の広告あり、「美艶香」。  
第6冊末に書肆広告あり。  
4—41ア62 ら八百三十巻全六冊⊖ 25銭

- エ ホンヒゴサンレイゲン キ  
30536 絵本彦山靈驗記 一〜十 半1帙10冊  
著者未詳、平賀全齋序 享和3序、文政6刊  
大坂 伊丹屋善兵衛（心齋橋通博勞町角）  
※巻頭内題「絵本彦山権現靈驗記」。巻末に書肆  
広告あり。  
4—41ア83 む六百四拾六全十冊⊖ 30銭

- チヌウゴクダワイデンツイ モ ノガタリセンチュゴクワン  
30537 中國外傳出雲物語全帙伍卷 半1帙5冊  
壹・貳・参・肆・伍  
東離亭主人補正、紀美麻呂原編、森川保之画、東離  
亭主人・紀美麻呂共序 文政13刊  
江戸 大嶋屋傳右衛門・丁字屋平兵衛、大坂  
河内屋長兵衛・河内屋茂兵衛、尾張 永楽屋東  
四郎、京 山城屋佐兵衛  
※原題「中國外傳出雲物語」。巻頭内題・柱書「出雲  
物語」。第2冊見返し『婦人文章大全針刺宝』の広告  
あり。巻末に書肆の広告あり。各冊表紙に絵と  
梗概を記した彩色脇題を貼付、ただし第5冊  
は剥落。画ははじめの部分二色刷。  
4—41ア9 ら九百三拾一全五冊 50銭

- インネンキダン  
因縁 ヤナギカミ  
30538 奇談 柳可美 上・中・下 半1帙3冊  
千世蔭山人著・自序、高さかえ画 文化4序・刊  
江戸 丹波屋甚四郎  
※原題「因縁奇談 柳可美」。上冊見返  
しに多数の印が捺してある。  
4—41タ9 ら千五拾六全三冊 30銭

- カリノフミ  
30539 可里濃婦美 壹・貳・参 半1帙3冊  
狂訓亭・柳山人合作、「さくしやより」自序  
(1824)  
文政7刊

永林堂

※巻頭内題「通客支話 仮宅文章」。若干の挿絵あり。巻  
末に書肆の広告あり。

4—41タ2 む三十式⊖ 30銭

- オサンモヘエ  
おさん ムナカタゴヨミ  
30540 茂兵衛 宗像暦 一〜四・四下・五・  
六 半1帙7冊  
ちぬ平魚著・自序、一峰齋馬円画 文化11刊  
江戸 鶴屋金助（田所町）・西宮彌兵衛（中橋  
広小路町）、大坂 和泉屋善兵衛（堺筋備後町）  
・文栄堂河内屋嘉七（心齋橋通北久宝寺町）  
※書名は見返しの内題による。原題「文化新板  
宗像暦」。柱書「胸肩暦」。見返しに「書林 文  
栄堂 栄泉堂」とある。見返しに「改、古」等  
の印がおしてある。序のあと本文の前に書林の  
広告あり。巻末にも書林の広告あり。第3冊の  
見返し・裏表紙見返しに大惣を宣伝する書込み  
あり。  
4—41ア99 ら八百三十三全七冊⊖ 50銭

- ジョウキウグンダン  
兼久 カマクラタイヘイ キ  
30541(1) 軍談 鎌倉太平記 前帙 六帖  
壹〜六 半1帙6冊  
東離亭菊人著、森川保之画、北郭散人序  
(1824) (1827)  
文政7序、同10刊  
京 吉野屋勘兵衛・吉野屋仁兵衛、江戸 大坂  
屋茂吉、大坂 秋田屋太右衛門  
※同番号に後編6冊（別帙）あり。(2)参照。巻末  
に後篇の予告・書肆の広告あり。見返しには  
「京撰津速堂合梓」とある。  
4—41サ13 ら五拾八前編六冊 (2)共30銭

- ジョウキウグンダン  
兼久 カマクラタイヘイ キ  
30541(2) 軍談 鎌倉太平記 後帙 六帖  
壹〜六 半1帙6冊  
東離亭主人著、森川保之画、左典厩大丞源正韶題言  
（真名書和歌一首）  
※墨書題「兼久軍談鎌倉太平記貳編」。見返しには「京  
撰津速堂合梓」とある。巻末に前編の紹介あり。  
4—41サ13 ら五拾八ノ二式篇六冊

- カタキウチエツダヨデン  
30542(1) 復讐越女傳 前篇 壹〜五 半1帙5冊

柳川春種著・自序

書肆不明

(1832)  
天保3序

※巻頭の内題「復仇越女傳前編」。序題は「越女傳」。表紙見返しに三色刷の叙景画あり。各巻とも表紙に、登場人物各々一人と発句を配した彩色絵入り脇題籤あり。後篇については(2)参照。

4—41ア24

ら七百四十式前編五冊㊥ (2)共40銭

エツヂョダン

30542(2) 越女傳 後編 壹〜五 半1帙5冊

柳川春種著、黙々山人序 (1832) (1833)  
天保3序、同4刊

京 本屋宗七・丸屋善兵衛・山城屋佐兵衛、尾張 松屋善兵衛、大坂 河内屋長兵衛、堺 住吉屋弥三郎、江戸 伊勢屋忠右衛門(麴町平川二丁目)・丁子屋平兵衛(小傳馬町三丁目)

※書名は見返し内題による。原題籤は「復讐越女伝後編」(「復仇——」とも)。巻頭の内題は「復仇越女伝後編」。第1冊表紙見返しは多色刷。題籤に(1)と同様の絵・発句、第4冊末には薬の広告あり。

4—41ア24 ら七百四十三

カタキウチキタン

復讐  
奇譚

アシカピサウシ

葦牙雙紙 壹〜八

30543

半1帙8冊

鉄格子大人著・自序、浅野高丸序、石田玉峯画

(1809) (1810)  
文化6序、同7刊

京 鈴屋安兵衛(寺町通御池下ル)、江戸 角丸屋甚助(麴町通平川二丁目)、大坂 河内屋吉兵衛(心斎橋通南本町)・河内屋儀助(同唐物町)

※原題籤に角書なし。大惣番号札貼替の跡あり。見返しは二色刷。第8冊裏見返しに朱印「□□賀町□□堂記」がおしてあり、その上に「松月」と書かれている。

4—41ア1 む六百四拾全八 30銭

カタキウチ

復讐

クワウセイ

奇談 一〜五

30544

半1帙5冊

振鷺亭主人著、高陽亭酒人序、月光亭墨仙画

(1818)  
文化15序・刊

京 鈴屋安兵衛、江戸 角丸屋甚助、尾張 松屋善兵衛、大坂 河内屋嘉七・秋田屋太右衛門

※原題籤「かたきうちこうせいきたん(む)」, 巻頭内題・柱書に角書なし。

4—41ア27 ら九百四拾全五冊㊥ 40銭

カマクラネンダイゾ エ

30545 鎌倉年代図会 一〜五 半1帙5冊

蘭山翁著、柳川重信画、梅園漁翁校訂・序、研高老翁序 (1843) (1844)  
天保14序、同15刊

江戸 釜屋亦兵衛(両国米沢町)・平林庄五郎(本町松坂町)

※巻頭内題「鎌倉年代圖會初集」, 柱書「年代圖會初集」。巻末に第二集の予告あり。見返しに「中金堂 平林堂 全梓」とある。第3冊裏見返しに書込みあり。

4—41サ14 ら四拾九全五 50銭

エ ホンカマクラシンワ

30546 繪本鎌倉新話 壹〜六 半1帙6冊

手猿兎月著、法橋中和画、曲亭主人序、夢中山人序 (1808) (1809)  
文化5序、同6刊

江戸 西村源六(本石町十軒店)・角丸屋甚助(麴町平川二丁目)、名古屋 菱屋久兵衛(本町九丁目)、大坂 加賀屋弥助(心斎橋順慶町)・河内屋太助(心斎橋唐物町)

※後補墨書題籤は「繪本」を角書にしている。

4—41ア14 ら式拾九全六冊㊥ 30銭

エ ホンカメヤマバナシ

30547 繪本亀山話 一〜十 半1帙10冊

速水春曉斎著・画、谷井敬英序、平賀全斎題言 (1802) (1803)  
享和2序、同3刊

大坂 津國屋清兵衛・伊勢屋喜兵衛・泉屋源七、京 吉野屋仁兵衛・八幡屋金七・大津屋源兵衛・升屋勘兵衛・本屋太助・鈴屋安兵衛

※序の題は「復讐亀山新話」。享和3の「小森氏」の署名捺印がある。

4—41ア15 む六百拾五全拾冊㊥ 30銭

カタキウチヒヨウジャウノシモ

30548 敵討氷上霜 壹〜六 半1帙6冊

箕山文亭著、蘆溪画、曳白山人序、普恵舎青子校 (1808) (1809)  
文化5序、同6刊

京 著屋儀兵衛、大坂 河内屋八兵衛・秋田屋太右衛門・富田屋清造

※柱書「報仇氷上霜」。第6冊巻末「繪本氷上霜」。

4—41ア26 ら八百式十式全六冊い印 30銭

ゲンジイットウシ  
30549 源氏一統志 首巻・壹〜九 半2帙10冊  
中村定保著, 前北齋為一老人画(「四」まで), 柳川  
重信画(「五・六」), 玉蘭齋貞秀画(「七」以下),  
烏山老人序, 董斎正祐序(「四」まで)天保10序, 弘  
(1846) (1839) (1850)  
化3刊, (「五」以下) 嘉永3刊(「四」まで)

京 河内屋藤四郎(寺町通 佛光寺角), 大坂  
河内屋茂兵衛(心齋橋筋博労町), 江戸 菊屋幸  
三郎(馬喰町貳丁目), (「五」以下) 京 菊屋  
七郎兵衛(寺町通り松原上ル), 大坂・江戸は上  
に同じ。

※第5〜9冊は表紙改裝で大惣番号不明。

4-41サ22 ら五十四番全五冊※参照 75銭

ケイセイコノイト ランテフキ  
30550 傾城 蘭蝶記 上・中・下  
半1帙3冊  
(1810)  
鼻山人著・自序, 溪斎英泉画 文政7序  
書肆不明

※人情本。

4-41タ12 む貳拾五番初篇三冊○ 30銭

ゲンビョウキエン  
30551 月氷奇縁 一〜五 半1帙5冊  
曲亭馬琴著・自序, 東秋飄跋, 文金堂森本太助跋  
(1803) (1805)  
享和3序, 文化2刊  
江戸 蔦屋重三郎(本町通油町), 名古屋 永  
楽屋東四郎(本町), 京 著屋儀兵衛(三条通御  
幸町), 大坂 播磨屋五兵衛(心齋橋北詰)・  
河内屋太助(心齋橋通唐物町)

※上記書名は見返し内題および各巻頭内題による。

原題簽には「復讐」の角書あり。目録の題は  
「復讐小説月氷奇縁」。文金堂蔵板目録あり。  
かたきうちのもののがたり

4-41ア34 ら五百貳拾貳全五冊 25銭

エ ホンカウユウダン  
30552 絵本孝勇譚 前扁巻〜五, 後扁巻〜参  
半1帙8冊  
東籬亭主人著, 法橋西村中和・森川保之画, 尚古館  
(1825)  
主人序 文政8刊

大坂 河内屋茂兵衛, 江戸 大阪屋茂吉, 名古屋  
美濃屋清七, 京 吉野屋仁兵衛・伏見屋半  
三郎・山城屋作兵衛

4-41ア16 ら七百三十貳初編五冊○  
・ら七百三十三貳編三冊 30銭

センサイキエン メイグツセイダン  
30553 仙齋 明月清譚 巻之一〜五  
半1帙5冊

(1829)  
東籬亭主人著・自序, 森川保之画 文政12刊  
江戸 大坂屋茂吉, 大坂 伏見屋嘉兵衛・河内  
屋長兵衛・河内屋茂兵衛, 京 伏見屋半三郎  
4-41ア 100 ら九百六十一 25銭

スレツ バメセイサン ウダン  
30554 濡玄鳥栖傘雨談 前集壹〜五  
・後集壹〜五 半1帙10冊  
墨川亭雪麿著, 柳川重信画, 養笠漁隱序(前・後輯)  
(1835) (1838)  
天保6前輯序, 同7後輯序・刊  
京 丸屋善兵衛・山城屋佐兵衛(前集のみ),  
江戸 平林庄五郎, 大坂 河内屋茂兵衛・河内  
屋長兵衛, 堺 住吉屋弥三郎, 江戸 丁字屋平  
兵衛

※内題, 「玄鳥」を「燕」と書く。

4-41ア79 ら三百貳初編

・ら三百貳拾七〇 ぬれつばめ後扁 60銭

ゴ ダイリキゴニチモノガタリ  
30555 五大力後日物語 一〜五 半1帙5冊  
狂蝶子文麿著, 一峰齋馬圓画, 梅の古木序  
(1814)  
文化11序・刊

大坂 和泉屋儀兵衛(南瓦屋町)・河内屋嘉七  
(心齋橋通北久宝寺町), 江戸 西宮彌兵衛(日  
本橋通廣小路)

4-41ア38 ら九百三十貳全五冊○ 25銭

エ ホンブシヤウクンコウキ  
30556 絵本武将勲功記 一〜十二  
半2帙12冊  
楳村長教著, 速水春曉齋画, 〇奎散人序  
(1801)  
享和元序・刊

京 吉野屋仁兵衛(寺町通三條下ル町)・鉛屋  
安兵衛(寺町通二條下ル町)

4-41サ7 た七百七拾巻全十二 60銭

キンリンケンシャウザクラ  
30557 金鱗化粧櫻 一〜六 半1帙6冊  
中川昌房著, 一峯齋馬圓画, 関外逸人題言  
(1812)  
文化9題言・刊

京 吉野屋仁兵衛(御幸町六角下ル), 大坂  
加賀屋(心齋橋通北久宝寺町)・平野屋  
(心齋橋通大宝寺町)・(心齋橋通博労  
町)・(谷町三丁目)

※第6冊刊記・裏表紙破損。内題には角書「筑前  
国/鐘ヶ岬」あり。

4-41ア32 ら八百貳十八全六冊い印 30銭

30558 <sup>マイゲツキワ</sup> 名月夜話 一〜六 半1帙6冊  
畠山保躬著, 柳川重信画, 雪菰道人序

(1824)  
文政7序・刊

江戸 榎本平吉(深川森下町), 大坂 河内屋茂兵衛(心斎橋博労町), 京 近江屋治助(三條通柳馬場)

※内題「繡像桂蔭談」または「桂蔭談」。

4—41イ1 ら八百五十四全六冊㊦ 25銭

30559 <sup>エホンハコネヤマレイオウダン</sup> 繪本箱根山霊應伝 壹〜六

半1帙6冊  
(1803)

速水春曉齋著・画, 田義和序 享和3序・刊

大坂 本屋佐吉・伊勢屋喜兵衛, 京 浅井庄右衛門・升屋勘兵衛・井口藤兵衛・八幡屋金七・大文字屋仁兵衛・梅村伊兵衛・著屋儀兵衛

4—41ア80 む六百四拾壹㊦ 25銭

30560 <sup>イロハザウシ</sup> 以呂波草紙 卷之第一〜第五

半1帙5冊  
(1823)

曉鐘成著・画・自序 文政6刊

京 本屋宗七(車屋町二条上ル丁), 江戸 大坂屋茂吉(日本橋砥石店), 大坂 河内屋平七(心斎橋通南久太郎町)

※上記書名は原題籤による。内題の角書「春情奇縁」。

4—41ア10 ら九百五十番式番 15銭

30561 <sup>エホンハツコウダン</sup> 繪本発功伝 卷一〜六 半1帙6冊

(1804)  
享和4序・刊

速水春曉齋画, 田之龍序

大坂 河内屋太助, 京 灰方伊兵衛・上坂与左衛門・大橋仁兵衛

4—41ア20 ら百六拾五全六冊㊦ 20銭

30562 <sup>シンバンエイリ</sup> 新板 繪入 泉親衡物語 壹〜伍

半1帙5冊

福内鬼外著・自序・自跋, 北尾紅翠齋画

(1809)  
文化6序・跋・刊

名古屋 風月孫助(本町一丁目)・永楽屋東四郎(本町七丁目)・菱屋久兵衛(本町九丁目), 大坂 海部屋勘兵衛(西口砂場前)・前川六左衛門(中橋南塗師町), 江戸 三河屋宗兵衛(三田三鈷坂)・宇多閣儀兵衛(山下御門通南鍋町一丁目)

4—41ア8 ら五百四十六 30銭

30563 <sup>フクジウ</sup> 復讐 忠孝二見浦 前篇一〜五・後篇 一〜五 半1帙10冊

南里亭其楽著・自序, 柳斎重信画, 白頭子魚柳校, 山蛙士信跋

(1830) (1831)  
文政13跋, 天保2序・刊

堺 住吉屋弥三郎, 江戸 三輪里幸藏・丁字屋平兵衛, 名古屋 永楽屋東四郎

※後篇に逸名序あり。内題「復讐二見浦」あるいは「二見浦」。

4—41ア86 ら七百四拾番㊦初篇五冊

・ら七百四拾壹番㊦式篇五冊 30銭

30564 <sup>カスミノマガキトホヤマニツキ</sup> 鷲籬遠山日記 一〜五 半1帙5冊

知山路獵雄著 文政10刊

大坂 河内屋平七, 京 伏見屋半三郎・本屋宗七, 江戸 大坂屋茂吉, 名古屋 永楽屋東四郎

※第2冊以下内題下の著者名「山路獵雄」。柱書「遠山日記」。

4—41ア23 ら九百五十六全五冊㊦ 15銭

30565 <sup>ジンゴラウグワイデン</sup> 甚五郎 外伝 佐田奇譚 一〜五

半1帙5冊

手塚兎月「遺稿」, 東籬主人序

名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目), 江戸 同出店(日本橋通本銀町二丁目)

※『国書総目録』によれば嘉永2刊, 松川半山画。

(1849)  
4—41ア43 ら九百七十九号 35銭

30566 <sup>サイギヤウホフシイチダイキ</sup> 西行法師一代記 一〜六 半1帙6冊

葛原齋主人著, 洛北梅舎主人序, 畠山保躬・著老春泉・森川保之画

(1822) (1831)  
文政5序, 天保2刊

大坂 増田源兵衛(心斎橋北久宝寺町), 京 梅村伊兵衛(三条寺町西へ入町)・菱尾徳兵衛(今出川大宮西へ入二丁目)・石田治兵衛(一条大宮西へ入町)・吉野屋仁兵衛(三条麩屋町西へ入町)

4—41ア45 む七百拾五全六冊㊦ 50銭

30567 <sup>イツキウハナシコウヘン</sup> 一休譚 後篇 画本宇寿紫 一〜六

半1帙6冊

是水叟菊亮著・自跋(文化13), 露電散人序(同12), 富士谷御杖序(同13)

(1816) (1815) (1816)  
文化13刊

大坂 河内屋喜兵衛・河内屋嘉助, 京 吉野屋



仁兵衛・菊屋長兵衛

※上記書名は原題箋によった。見返し内題は図形  
化された文字で「一休禪師澆紫」とあり、露電  
序の題は「澆紫」とする。

4—41ア12 む七百七〇一休譚後篇 30銭

30568 カシタセンテン カゴメグサ  
加之久全伝 香籠草 一〜六

半1帙6冊

梅暮里谷峨著、歌川豊国・歌川国房画、葬亭主人序、  
雲昇軒赤龍跋 (1810) (1811)  
文化7跋、同8序・刊

江戸 若林清兵衛 (馬喰町三丁目)、山崎平八  
(外神田御成道)

※上記書名は見返し内題による。原題箋に「春  
興」を冠する。

4—41ア22 ら四百□ 60銭

30569 シテンワウシヨウトウイロク  
四天王剿盗異録 前篇一〜五・

後篇一〜五

半1帙10冊

曲亭馬琴著・自序、歌川豊國画、魁蕾癡叟校・跋、  
梅柯軒序 (後篇)

文化元序 (前編) (1805) 同2序 (後編) (1806) 同3刊

江戸 傳鶴堂鶴屋喜右衛門 (通油町)

※各冊内題に「源家・勲績」と角書あり。

4—41ア50 ら式百三拾三番全五冊四番  
・□後五冊㊥ 40銭

30570 シンカサネゲダツモノガタリ  
新累解脱物語 一〜五 半1帙5冊

曲亭馬琴著、葛飾北齋画、文金堂主人序、友石主人  
序 (1806) (1807)  
文化3序、同4刊

江戸 鶴屋喜右衛門 (通油町)、京 菱屋孫兵  
衛 (御幸町姉小路下町)・鈴屋安兵衛 (寺町  
二條下町)、大坂 河内屋太助 (心斎橋筋唐  
物町)

※一名「巷談因果經」。第5冊末に、杉風・曾良  
・芭蕉・其角・嵐雪・羅文・梅柯・任口の発句  
を附す。

4—41ア58 大惣番号札剥落 (六改㊥) 30銭

30571 シュンクワンソウツ シマモノガタリ  
俊寛僧都嶋物語 壹〜八

半1帙8冊

曲亭馬琴著・自序、一柳斎豊廣画、清世閑人序 (第  
5冊) (1808)  
文化5序・刊

江戸 英平吉 (神田通鍋町)・柏屋半蔵 (同町  
東側)

※前編・後編 (下篇) 各4冊より成り、第8冊は  
附録で「一名俊寛考」とある。

4—41ア53 ら二百四拾五全部八冊 35銭

30572 フクジウ キンシヨウダン  
復讐 琴松譚 (一)〜六 半1帙6冊

柳園種春著・自序、柳斎重春画 文政12序・同13刊  
(1829) (1830)

京 吉野屋仁兵衛・伏見屋半三郎・山城屋佐兵  
衛、江戸 丁子屋平兵衛・大坂屋茂吉、名古屋  
永楽屋東四郎、佐海 住吉屋彌三郎、大坂  
河内屋長兵衛

※各冊内題は「繪本琴松譚」。

4—41ア84 ら四百三十七全六冊㊥ 25銭

30573 キタノレイゲン フタバノムメ  
北野 靈驗 二葉の梅 一〜六

半1帙6冊

栗杖亭鬼卯著・自序、一峯齋馬圓画

(1812) (1813)  
文化9序、同10刊

京 伏見屋半三郎、江戸 鶴屋金助、大坂 播  
磨屋重郎兵衛・河内屋嘉助・山田屋嘉右衛門・  
秋田屋太右衛門

4—41ア88 ら八百三十番全六冊印 25銭

30574 ハタケヤマシゲタダ ホリカハセイダン  
畠山 重忠 堀川清談 一〜五・  
二編一〜五 半2帙10冊

南仙笑楚満人著、淡齋英泉画、赤山居士序、驛亭駒  
人補訂、楚満人自序 (二編)

(1825) (1826) (1827)  
文政8序、同9刊、同10二編序

江戸 西村屋與八・越前屋長次郎・大坂屋忠兵  
衛

※正編各冊には脇題箋があり、「美佐吾洒満喜」  
と記されている。

4—41ア90 ら式百九拾前五㊥  
・ら式百九拾壹㊥ 40銭

30575 サクラダモノガタリ  
桜木物語 壹〜五 1帙5冊  
東漁著・自序、石田玉山画 (1807) (1812)  
文化4序、同9刊

江戸 西村與八、大坂 播磨屋重郎兵衛・山田  
屋嘉右衛門・秋田屋太右衛門

4—41ア46 ら九百式十六全五冊㊥ 20銭

30576 イヌエコクワイフ シツバイタラウ  
大猫 怪話 竹篋太郎 壹〜五

半1帙5冊

(ママ) 栗杖亭鬼卵著、阿州吉田鶴序 (1809) (1810) 文化6序、同7刊  
江戸 西村源六、京 伏見屋半三郎、大坂 勝  
尾屋六兵衛・山田屋嘉右衛門・富田屋清蔵・秋  
田屋太右衛門

※上記書名は内題による。第1・2冊の巻末内題  
には角書なし。第3・4・5冊の巻末内題は  
「繪本竹筧太郎」。序題は「犬猫奇談」で、第  
1冊後補墨書題籤は「犬猫奇談竹筧太郎」。

4—41ア52 ら九百五十番全五冊○ 20銭

ダイネンブツジレイホウリヤクダン レンリノカタソダ  
30577 大念佛寺 連理隻袖  
靈宝略伝 半1帙5冊  
壹〜伍

十返舎一九著・自序、狂画堂芦國画 (1811) 文化8刊  
江戸 西宮彌兵衛・平野屋宗七、大坂 秋田屋  
太右衛門・河内屋嘉七・敦賀屋久四郎

4—41イ12 ら五百五十番全五冊○ 20銭

エホンキダシ キツサモノガタリ  
30578 繪本 奇談 喫茶物語 上之巻・中之巻  
・下之巻(壹・貳・人) 半1帙3冊

鳳樹齋画、浪花のうら人序

書肆・刊年不明

※ノドに「利休」とある。

4—41ア31 ら千五十五全三冊○ 25銭

ツウソクフザンノユメ  
30579 通俗巫山夢 一〜五 半1帙5冊

十返舎一九著・自序・自跋、松高齋春亭画 (1813) (1815) 文化10序、同12刊

京 近江屋治助(三条通柳馬場西エ入)、大坂  
秋田屋太右衛門(心齋橋通安堂寺町)・播磨  
屋十郎兵衛(心齋橋通北久太郎町)・河内屋嘉  
七(心齋橋通北久宝寺町)、江戸 田邊屋太兵  
衛(上槇町)・西宮彌兵衛(中橋廣小路)

4—41ア71 む百拾七全五冊○ 25銭

ムカシガタリシヤノクラ  
30580 昔語質屋庫 初篇一〜五 半1帙5冊

曲亭馬琴著・自序、春亭勝川主人画、江湖陳人魁書  
跋 (1810) 文化7序・跋・刊

大坂 前川源七郎(心齋橋通北久寶寺町四町目  
十八番地)、江戸 西村屋與八(馬喰町二町目)、  
大坂 河内屋太助(心齋橋筋唐物町)

※上記書肆の蔵版目録あり。柱書「質屋庫」。

4—41ア96 大惣番号札剥落 40銭

カハチモメンダンシチジマ  
30581 河内毛綿団七稿 一〜五 半1帙5冊  
栗杖亭鬼卵著、一峰齋馬圓画、加藤随鷗序

(1814) 文化11刊

京 伏見屋半三郎・吉野屋仁兵衛、江戸 鶴屋  
金助、大坂 秋田屋太右衛門・河内屋嘉助

※上記書名は原題籤・内題による。見返し内題・  
柱書は「団七稿(嵐)」。

4—41ア28 ら九百三十四全五冊○ 20銭

ノトノカミノリツネグワイダン サイカイナミナノツネ  
30582 能登守 西海浪間月  
教経外伝 卷一〜卷五 半1帙5冊

森川保之「戲編并繡像」 (1835) 天保6刊

江戸 丁子屋平兵衛(小傳馬町三町目)・大嶋  
屋傳右衛門(京橋弥左衛門町)、大坂 河内屋  
茂兵衛(心齋橋筋博勞町南)・河内屋長兵衛(心  
齋橋筋博勞町北)、名古屋 大野屋嘉兵衛(本  
町通七丁目)、京 伏見屋半三郎(寺町通錦小  
路)・山城屋佐兵衛(三條通鉄屋町角)

※末尾に山城屋の蔵板小説目録、第2冊見返しに  
『大全針刺室』、第3冊見返しに『増補咒咀調  
法記大全』の広告あり。

4—41ア44 ら九百六十五 20銭

ムカシカタリマツムシツカ  
30583 昔語松虫墳 卷之一〜六 半1帙6冊

聴雨軒著・自跋、桂向山人画、御杖序 (1811) 文化8序・刊

江戸 鶴屋金助(田所町新道)、大坂 平野屋  
宗七(大宝寺町)・今津屋辰三郎(江戸堀二丁  
目)・河内屋太助(心齋橋唐物町)・河内屋儀  
助(北久太郎町)・河内屋嘉七(伝馬町)

※各冊の内題は「繪本昔語松虫墳」。

4—41ア97 ら八百式十六全六冊い印 25銭

イセヒウガ ヤドリ ギサウシ  
30584 伊勢 日向 寄生本草紙 壹〜五・  
後篇一〜五 半1帙10冊

栗杖亭鬼卵著、狂画堂芦洲画 (1815) 文化12刊

京 本屋宗七(車屋町二条上ル町)、江戸 鶴  
屋金助(田所町)、大坂 塩屋長兵衛(心齋橋  
通伝馬町)

4—41イ4 ら七百式十番全五冊

・ら七百式十巻後篇全五冊 30銭

シバエンセツ シチニンカラウ  
30585 新波 遠説 七長臣 一〜六 半1帙6冊  
梅暮里谷峨著, 歌川国貞・溪斎英泉画, 烏有山人序  
(1820)  
文政3序

大坂 河内屋太助(心斎橋筋唐物町)・河内屋  
平七(久太郎町北江入), 京 伏見屋半三郎(寺  
町錦上ル), 江戸 鶴屋金助(人形町通乗物町)  
・大坂屋茂吉(日本橋砥店)・越前屋長次郎(橋  
町二丁目)・大嶋屋伝右衛門(弥左エ門町)

4—41ア51 ら四百三拾全六冊○ 25銭

ムカシガタリイバラノツユ  
30586 昔語 茨之露 一〜六 半1帙6冊  
好花堂野亭著, 葛飾戴斗画, 南里亭其楽序  
(1819) (1820)  
文政2序, 同3刊

京 吉野屋仁兵衛(五幸町蛸薬師上ル), 江戸  
前川六右衛門(日本橋新左衛門町), 大坂 河内  
屋長兵衛(心斎橋通博労町北入)

※内題には「いはらの露」とも。墨書題籤は「昔  
語」を角書とする。

4—41ア98 ら八百五十三 30銭

チユウカウイブキモノガタリ  
30587 忠孝伊吹物語 一〜五 半1帙5冊  
曉鐘成著・画 (1829)  
文政12刊  
大坂 河内屋平七, 京 伏見屋半三郎・本屋宗  
七, 江戸 大坂屋茂吉, 名古屋 美濃屋伊六  
※文繡堂蔵板。柱書「伊吹物語」。題籤の用字「膽  
吹」とも。

4—41ア68 ら九百五十九全五冊○ 20銭

シンベンクマサカモノガタリ  
30588 新編熊阪説話 一〜五 半1帙5冊  
感和亭鬼武著・自序 (1815)  
文化12序  
書肆不明

※巻末内題「熊阪説話」。

4—41ア59 ら九百三十六全五冊○ 20銭

カタキウチ ム サシアブリ  
30589 復讐武蔵鑑 壹〜五 半1帙5冊  
石倉堂主人著・自序, 浦川一船画 (1837)  
天保8刊

大坂 河内屋重太郎(心斎橋通博労町北へ入東  
側), 京 大文字屋得五郎(三条東洞院東へ入),  
江戸 丁子屋平兵衛(小伝馬町三丁目), 名古  
屋 永楽屋東四郎(本町七丁目), 泉州 住吉  
屋彌三郎(堺山口北糸屋町), 摂州 蛤屋儀兵  
衛(兵庫三軒家)

※刊年ならびに画者は『国書総目録』による。

4—41ア25 ら九百六十八全五冊○ 20銭

ア マヲトメタマトリザウシ  
30590 蛸人少女玉取草紙 一・二之上・  
二之下・三〜六 半1帙7冊  
(1815)  
文化12刊

河東東漁著, 一峯齋馬圓画  
京 伏見屋半三郎・吉野屋仁兵衛, 江戸 前川  
六左衛門・鶴屋金助, 大坂 秋田屋太右衛門・  
河内屋嘉助

※巻末内題「玉取草紙」。

4—41ア6 ら八百三十六全七冊○ 30銭

エホンフクジウ ハウカンウモノガタリ  
30591 画本 復讐 放家僧談 一〜四  
半1帙4冊  
(1806)  
節亭主人著, 蘆溪画, 住田因幹序 文化3序・刊  
江戸 伏水屋卯兵衛(東叡山下谷廣小路)

※上記書名は見返し内題による。原題籤は「画本  
無可思譚 復讐放家僧」, 内題は「絵本復讐放  
下僧」。

4—41ア91 ら千五十式全四冊 30銭

フクジウナツメモノガタリ  
30592 復讐 棗物語 一〜六 半1帙6冊  
金太樓主人著, 一楊齋正信画, 伊藤周輔序  
(1827) (1828)  
文政10刊, 同11序

京 吉野屋仁兵衛, 尾張 美濃屋清七, 江戸  
大坂屋茂吉, 大坂 敦賀屋治郎兵衛・河内屋儀  
助

※見返しに「一名 賽鳳池」とある。第1冊に著  
者による文化8の「口裏」あり。

4—41ア85 ら八百五十六全六冊○ 40銭

アツマヲトコヨルベノイトスヂ  
30593 東男奇遇糸筋 一〜五 半1帙5冊  
感和亭鬼武著・自序, 狂画堂蘆国画, 五斗八木丸跋  
(1811)  
文化8序・刊

大坂 秋田屋太右衛門・平野屋宗七, 江戸 關  
口平右衛門・竹川藤兵衛・西宮弥兵衛

※題籤および序題には角書「綏綱五郎/髯黒兵衛」  
あり。第2・3冊末の内題「髯糸筋」。他の内題  
でも「髯(よるべ)」字を用いている。

4—41ア3 ら九百式十三全五冊○ 25銭

トコナツサウシ  
30594 常夏草紙 壹之巻〜六之巻 半1帙6冊  
(1810)  
曲亭馬琴著・自序 文化7自序

京 河内屋藤四郎(寺町通仏光寺)、江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)・山城屋佐兵衛(同二丁目)・須原屋新兵衛(同二丁目)・山城屋政吉(同四日市)・英大助(本石町十軒店)・英文蔵(下谷御成道)・丁子屋平兵衛(大伝馬町二丁目)・岡田屋嘉七(芝神明前)、大坂 河内屋藤兵衛(心齋橋筋本町角)・河内屋茂兵衛(心齋橋筋博勢町)

※旧蔵者「澤田」印あり。

4-41ア75 大惣番号札剥落 20銭

30595 <sup>エホンカタキウチアダチガハラ</sup> 絵本報仇安達原 一〜六 半1帙6冊  
文亭主人著、辭无斎叟校、石田蓼華画  
大坂 三木佐助(心齋橋筋北久宝寺町通角)  
※『国書総目録』によれば文化4刊。柱書「あだちがはら」。

4-41ア2 大惣番号札原欠か 25銭

30596 <sup>エホンカタキウチカワゾデン</sup> 繪本敵討孝女傳 一〜三・五・六 半1帙5冊  
岡田鼎著・画、法橋玉山添削 享和元刊  
大坂 鹽屋忠兵衛(心齋橋筋北久太郎町)  
※第3冊表紙に「む六百」の札あり。第4冊を欠く。柱書「画本白話」。

4-41ア42 大惣番号札原欠か 25銭

30597 <sup>チュウシンスイゴデン</sup> 忠臣水滸伝 前篇一〜五・後篇一〜五 半1帙10冊  
山東京伝著・自序、石川五老跋(前篇)  
(前)寛政10序、同11刊、(後)同12序、享和元刊  
江戸 蔦屋重三郎(通油町)・鶴屋喜右衛門(同所)

※前・後編のそれぞれの末尾に、諸氏の「題言」多数あり。

4-41ア70

ら式百拾壹・ら式百拾貳式篇五冊 50銭

30598 <sup>カゲキヨグワイデン</sup> 景清外伝 初編・後編・三編各壹〜五 半3帙15冊

絳山翁著・自序、歌川國直画  
(初・後編)文化14刊、(三編)同15刊  
江戸 角丸屋基助(麴町平川二丁目)・鶴屋金助(田所町新道)・伊勢屋忠右衛門(麴町平川二丁目)・伊勢屋忠右衛門(山王町)

※見返しの内題に「景清外伝 一名松乃操」とあ

る。「耕文堂 平川館合梓」ともある。大惣番号は、初編が「景清外傳初編五/ら式百七拾八〇」,後編「ら式百七拾九〇」,三編「景清外伝三編五/ら式百八拾番」。

4-41ア21 ※参照 50銭

30599 <sup>キダン フクジウリエン</sup> 奇談 復讐梨園 一〜五 半1帙5冊  
西郊田楽子著・自序、有秀齋蘭亭画 文政2序・刊  
京 本屋宗七、大坂 河内屋太助・塩屋長兵衛、江戸 鶴屋金助、名古屋 松屋善兵衛  
※第1冊一部焼損を筆で補っている。各巻内題には角書なし。

4-41ア87 ら九百四十六全五冊〇 30銭

30600 <sup>アラシヤマンキハナモノガタリ</sup> 嵐峽花月奇譚 壹〜五・後編壹〜五 半1帙10冊

瀬川恒成著、関亨京鶴校・序、菱川清春画  
(1834) 天保5序・刊

江戸 丁字屋平兵衛(小傳馬町三丁目)・中村屋幸蔵(南傳馬町三丁目)、尾州 玉屋新右衛門(樽屋町中下)、京 近江屋治助(三條通富小路)・伏見屋半三郎(寺町通錦小路)、大坂 秋田屋市五郎(心齋橋通南久太良町)

※書名のよみ方は内題の振仮名による。巻末の内題は後編第3冊まで「嵐峽」を省いている。

4-41イ10 花月奇談初篇五冊ら七百四十四・ら七百四十五後篇五 40銭

30601 <sup>ナナク セジヤウゴ</sup> 七くせ上戸 壹〜三 半1帙3冊  
式亭三馬著・自序・自跋、岡山鳥序、歌川国貞画  
(1809) 文化6自序、同7序

江戸 西村源六(本石町十軒店)・西宮弥兵衛(日本橋青物町)・西宮平兵衛(同處)

※内題「當世七癖上戸」。原題簽に記された「雅名」は「新水鳥記」。

4-43ア19 む百貳拾九番全三冊貳番 20銭

30602 <sup>エホン サウチユウロク</sup> 繪本 雙忠録 前篇壹〜伍・後篇一〜五 半1帙10冊

池田東籬亭著、柳川重信画、尚古館主人序  
(1822) 文政5序、同7刊

京 吉野屋仁兵衛・伏見屋半三郎・山城屋佐兵衛、江戸 大坂屋茂吉、大坂 河内屋長兵衛・

河内屋茂兵衛

※各冊の墨書題籤は「墨狐繪本双忠録」。各冊目録は色刷。

4—41ア18 ら七百貳拾八初編五冊㊟

・ら七百貳拾九後編五冊㊟ 35銭

ヤマトノクニツツキノシミヅ

30603 大和國筒井清水 卷之一〜六

半1帙6冊

濱松歌國著、浅山芦國画

文化14刊

京 吉野屋仁兵衛(御幸町蛸薬師上ル)、大坂

河内屋嘉七(心斎橋通北久宝寺町)

※第1冊表紙右肩に「㊟」と記したれあり。各冊に脇題籤あり、「□松哥國著 浅山芦國画/檀勘左衛門誠忠傳/此まきにとくは磐井射術(第2冊以下それぞれ春興音曲・老狐夜嵐・古書青樓・密書経文・良夜藤浪)」とある。

4—41イ5 ら八百四十三㊟ 20銭

ヤグチゾクワニツツシシレイ

30604 矢口統話 忠孝貞婦伝 一〜六

半1帙6冊

濱松歌國著、一峯齋馬圓画、芦の屋のあるじ序

文化10刊

京 伏見屋半三郎、江戸 西村源六、大坂 池

田屋喜助・河内屋徳兵衛・播磨屋重郎兵衛・山

田屋嘉右衛門

※柱書「貞婦伝」。

4—41ア69 ら八百貳十九全六冊㊟ 25銭

アブラウリ

30605 売油郎 一〜五 半1帙5冊

芝屋芝叟著、浅山蘆國画 文化13刊

京 近江屋治助、江戸 鶴屋金助・秋田屋太右

衛門・布屋忠三郎、大坂 河内屋徳兵衛・播磨

屋重郎兵衛

※原題籤上部には「ながばなし」と刷られている。

4—41ア4 ら九百三十九全五冊印 30銭

ケハヒミツゼングワンドヒ

30606 假粧水千貫槽笥 壹〜六 半1帙6冊

濱松歌國著・自序、浅山蘆國画 文化11序、同12刊

京 伏見屋半三郎、江戸 鶴屋金助、大坂 海

部屋九兵衛・山城屋藤吉・泉屋善兵衛・播磨屋

十郎兵衛

※各巻末内題は「千貫槽笥」。

4—41ア35 ら八百三十七全部六冊㊟ 25銭

コウボフダイシ ゴイチダイサンギ

30607 弘法大師御一代讃儀上ノ上・

上ノ下・中ノ上・中ノ下・下ノ上・下ノ下

半1帙6冊

法界寺堪空者、菱川清春画、旭泉翁序

(1833) (1834)  
天保4序、同5刊

京 菱屋孫兵衛(御幸町通御池下ル町)

※「皇都 五車樓上梓」と見返しにあり。「書林丸半」「ほん/はいせ」の印あり。

1—21コ3 よ四百五番全六冊 30銭

フリワケガミヲロチモノガタリ

30608(1) 嫩髻蛇物語 一〜五 半1帙5冊

全享正直著・自序、溪齋英泉画 天保元序、同3刊

大坂 河内屋長兵衛(心斎橋)・河内屋茂兵衛

(博労町)、江戸 前川忠右衛門(麴町平河町

二丁目)

4—41ア89 ら三百貳拾八 (2)(3)共55銭

ワンキウマツヤマリウカウワセツ

30609 碗久松山 柳巷話説 括頭巾縮緬帛衣

壹〜三

半1帙3冊

曲亭馬琴著・自序、歌川豊廣画、馬田昌調序

(1807) (1808)  
文化4序、同5刊

江戸 鶴屋喜右衛門(通油町)・住吉屋政五郎

(四谷伝馬町)

※後補墨書題籤には角書なし。見返しに「鳳來堂梓」とある。

4—41ア33 ら六百五十巻全三冊㊟ 30銭

フクジウキダン

30610 復讐 奇譚 こし路の章

(前編) 壹〜六・後編一〜六 半1帙12冊

手塚兎月(三平)著・自序、谷本月丸画、五魯齋恕一序(前編)

(前編) 文化3自序・序・刊

(1806) (1807) (1808)  
(後編) 文化4序、同5刊

(前編) 京 但馬屋太兵衛・白粉屋與兵衛・野田嘉助・伊豫屋伊右衛門・教来寺彌兵衛・伊予屋佐右衛門、伏見 亀屋伊兵衛、(後編)は、前編の書肆から伊豫屋二軒がぬけ、京 角丸屋甚助、大坂 秋田屋太右衛門、江戸 近江屋忠左衛門・近江屋専助が加わる

4—41ア40 ら七百拾老番□□㊟

・ら七百貳拾後篇六冊 30銭

ユフギリカキカヘブンシヤウ

30611 夕霧書替文章 壹〜五 半1帙5冊

栗杖亭鬼卵著、東西南北雲画、如亭山人題辞

一 絵 本・読 本 一

(1823)  
文政6刊  
大坂 河内屋長兵衛(心斎橋通博労町北へ入)  
※第5冊裏見返しに「杉岡石倉堂蔵板軍書目録」  
を付す。

4-41イ8 ら五百三十七番全五〇 20銭

エ ホンデンカウテイ  
30612 繪本沉香亭 一〜十 半1帙10冊  
三宅匡敬著, 速水春曉齋画, 氷心外史序, 通直郎源  
偃武跋 (1806) 文化3序・刊

京 西山屋吉(寺町夷川上ル西側)・野田藤  
八(二條富小路西へ入北側), 大坂 尼屋與兵衛  
(心斎橋筋塩町北へ入東側)

4-41ア17 む六百拾九全拾 30銭

エ ホンガツバウガンジ  
30613 繪本合邦辻 一〜十 半1帙10冊  
速水春曉齋著, 画, 源静序 (1805) 文化2序・刊

大坂 伊勢屋喜兵衛・嵯山清造, 京 西邸吉兵  
衛・橘屋嘉助・白粉屋與兵衛・勝田善助・美濃  
屋小兵衛・八幡屋金七・鉛屋安兵衛・著屋儀兵  
衛・浅井庄右衛門

4-41ア13 む六百拾八全拾式 30銭

ホシツキヨケンワイロク  
30614 星月夜頭晦録 初編〜四編各壹〜五・  
五編一〜三・附録四・五・残編一〜三  
半3帙28冊

高井蘭山著・自序, 蹄齋北馬画  
(初編) (1809) 文化6序・刊

江戸 角丸屋甚助(麴町平河町二丁目)・関口  
平右衛門(大門通小伝馬町三丁目)・大坂屋茂  
吉(東叡山谷中御門通三崎町)・柏屋半蔵(神  
田通鍋町)・柏屋忠七(下谷御成小路)・柏屋  
清兵衛(湯嶋切通町)

※大惣番号「ら拾三番初編五〇」

(二編) (1809) (1810) 文化6序, 同7刊

※「ら拾四番式編五冊〇」。書肆は初編に同じ。

(三編) (1820) (1821) 文政3序, 同4刊

角丸屋甚助・柏屋半蔵・柏屋忠七・大坂屋茂吉  
※「ら拾五番三編五冊」

(四編) (1810) (1821) 文化7序, 文政5刊

三編の書肆に加えて, 京 伏見屋半三郎, 大坂  
河内屋太助

※「ら拾六番四篇五冊」

(五編・附録) (1825) (1822) 文政8序, 同9刊

京 伏見屋半三郎(寺町錦上ル), 大坂 河内屋

太助(心斎橋筋), 江戸 大阪屋茂吉(日本橋  
南詰)

※「ら拾七番五篇五冊」

(残編) (1826) (1827) 文政9序, 同10刊

※「ら拾八番残編三冊」。書肆は上に同じ。内容  
は五編のつづき。五編巻四・五・六にあたる。  
見返しに「残編全四冊 全本廿九冊」とあるが,  
本書の残編は全3冊で, 全本28冊。柱書「星月  
夜五編」。

4-41サ69 ※参照 1円

トヒモノガタリ  
30615 都鄙物語 一〜五 半1帙5冊  
北溟主人兎月著, 柳斎重春画, 桜井謙山序, 文淵堂  
主人序 (1829) 文政12序・刊

江戸 鶴屋喜右衛門(通油町), 京 丸屋善兵  
衛(三条寺町西へ入), 大坂 河内屋直助(南久  
宝寺町心斎橋通)

4-41ア72 ら九百六十式全五冊〇 20銭

ホンテウ  
本 アクヨデン  
30616 朝 悪狐伝 前編壹〜五・後編壹〜五  
半1帙10冊

岳亭丘山著・自序(前編), 英斎國景画, 白頭子柳  
魚序(後篇)

(前) 文政12序・刊, (後) 同12序, 同13刊

江戸 丁子屋平兵衛(小傳馬町三丁目), 名古  
屋 永楽屋東四郎(本町六丁目), 大坂 河内屋  
長兵衛(心斎橋博労町北へ入)

※「河内屋重太郎」の葉の広告あり。柱書「悪狐  
傳」。

4-41ア92 ら三百六初編五冊〇

・ら三百七後編五冊〇 40銭

キヤウゲンキナカアツリ  
30617 狂言田舎操 上・下 半1帙2冊  
式亭三馬・門人榮亭馬笑「合作」, 三馬自序, 喜多  
川歌麿・歌川国直画 (1811) 文化8刊

江戸 鶴屋金助(田所町)

※刊年および画者は『国書総目録』によるが, 歌  
麿の画は見当たらない。三馬の序に次ぎ, 「田  
舎操芝居舞臺正面」(1丁), 「同正面より向の  
方を見る図」(1丁), 「人形全体之図」(3丁),  
證文・掟書の写(2丁半)あり。

4-43ア10 む百五十六全式 20銭

30618 フウリウニハカセン  
風流俄選 一〜五 半1帙5冊  
月亭生瀬著、浦川公左画、倉俣屋淀川序

(1848)  
弘化5序

名古屋 永楽屋東四郎(本町)、京 丸屋善兵衛(三條通寺町)、大坂 井筒屋作兵衛(道頓堀樋之上)、他大坂心斎橋通の書肆、破損のため読めず

※彩色刷の絵入り。

8—67フ1 百六十全五 30銭

30619 フウセイゲンウ  
風声 ユカリノフダナミ  
玄話 所縁の藤浪 初篇上・中・下 半1帙3冊

十返舎一九著・「口演」、溪斎英泉画 文政4刊

江戸 鶴屋金助(人形町通乗物町)・池田又治郎(神田山本町)

※人情本。画者は『国書総目録』による。上冊裏見返しに大野屋惣八の青刷の「御けせう下 御あらひこ 美艶香」の広告あり。

4—41タ10 む拾四番〇 30銭

30620 セイダントキハノイロカ  
清談常磐色香 巻〜四 半1帙4冊  
厚田笠亨「作」、柳亭種彦「閲」 文政14刊

江戸 西村与八・丁子屋平兵衛・大坂屋半蔵、名古屋 美濃屋清七、大坂 河内屋茂兵衛・河内屋長兵衛・秋田屋市五郎、京 山城屋佐兵衛

※内題「常磐色香」。「一名 本朝奈何天」という。絵入り。見返しに「大全針刺宝」の広告あり。

4—41タ4 む四十三〇 30銭

30621 ヤヘガスミハルノユフバエ  
八重霞春夕映 初篇 上・中・下 半1帙3冊

南仙笑楚満人著、溪斎英泉画・序 文政5序、同6刊

双鶴堂つるや金助・青林堂ゑちぜんや長次郎・宝文堂大こくや源蔵

※絵入り。上記書名は見返し内題・原題簃による。序題および上・中冊巻頭内題には「かしく／六三」の角書あり。

4—41タ8 む式十番初篇三冊〇 20銭

30622 ギョクセキギヤウ  
玉石奇情 上・中・下 半1帙3冊  
文亭綾継著、南仙舎楚満人関、春斎主人英笑画、梅

玉序 文政10序・刊

大坂 正本屋理助(太左衛門橋通周防町)、江戸 大坂屋茂吉(日本橋通砥石店)

※絵入り脇題簃に「ゑにしのかみの巻(なかの巻・しもの巻)」とあり、各冊内題は「玉石奇情 赤 縄」である。

4—41タ3 大惣番号札剥落 25銭

30623 フクジュキグウ  
福聚 タマテルモノガタリ  
奇遇 玉照物語 壹〜五 半1帙5冊

醒々堂烏有著、百齋墨僊画、陳津老禿序 文政2序、同3刊

江戸 鶴屋金助(人形町乗物町)・角丸屋基助(糀町平川町二丁目)

※巻頭内題に「笠寺 福聚奇遇 一名 水月玉照物語」とある。見返しに「文政四年」とみえる。挿絵に細工あり。

4—41ア66 ら九百四十八全五冊〇 30銭

30624 フウリウニハカテンダ  
風流俄天狗 二編壹〜五 半1帙5冊  
金鴈堂本虎著、一花堂序、倉俣屋淀川補・跋、浦川公左画 天保12序・刊

江戸 丁子屋平兵衛(小伝馬町三丁目)、京 丸屋善兵衛(三條寺町西へ入)、大坂 河内屋太助(心斎橋通唐物町)・河内屋直助(心斎橋通南久宝寺町)

※彩色刷絵入り。初編は天保3刊。

8—67フ2 大惣番号札原欠 15銭

## 合 巻

30625 ムメワカマルハナノヒトツヤ  
梅若丸花の一つ家 半1帙6冊を合綴1冊

東西庵南北著、柳川重信・歌川国直画

江戸 文壽堂丸屋文右衛門(神田辨慶橋通北側)

※見返しに「一名梅若ざうし」とある。『国書総目録』によれば文化11刊。

4—41カ7 の四百四拾五〇 15銭

- 30626 ホツタンハリツツウフクシユカウハヤクラダリウ  
發端ハ笠翁風 タカヲマルツルギノイナヅマ  
 趣向ハ櫻田流 高尾丸劔之稻妻  
 乾・下 半1帙6冊を合綴2冊  
 山東京山著、歌川國貞画 (1810) 文化7刊  
 江戸 蔦屋重三郎(通油町)  
 ※下冊末に文化七年新板の広告あり。乾冊の墨書  
 題簽下に「京山作」と書込みあり。  
 4—41カ27 の四百六全式う 15銭

- 30627 タマツサマキルヒシニキチノゾ  
たまづさまる カノコムスメヤホヤノフリソデ  
 ひしにきちのじ鹿子娘八百屋の振袖  
 上・下 半1帙6冊を合綴2冊  
 東西菴南北著、勝川春扇画 (1813) 文化10刊  
 江戸 和泉屋市兵衛  
 ※上冊原題簽剥落、墨書題簽に「お七鹿子娘」と  
 ある。下冊原題簽の書名は「鹿子娘八百屋の振  
 袖後編」。文化10の和泉屋の目録あり。  
 4—41カ18 の三百七拾九 15銭

- 30628 ヒゲノイキウヒゲノムキウ  
髭意久 ナヲアガマキフタリスケロク  
髭無休 名揚巻兩個助六  
 上・中・下 半1帙6冊を合綴3冊  
 式亭三馬著・自序、歌川國貞画  
 江戸 鶴屋金助(田所町) (1814)  
 ※下冊末に鶴屋の「甲戌(文化11か)新板目録」  
 及び「口上」。各冊随所に三馬店の広告。各冊  
 第1丁及び末丁(計6個所)に「石羊堂」の印。  
 『改訂日本小説書目年表』は文化7刊とする。上  
 冊第1丁に「文化八年庚午」の芝居を見て想を  
 得た旨の記述があるが、文化8は辛未であり、  
 文化7が庚午である。『歌舞伎年表』によると  
 該当する芝居(市村座「助六由縁江戸桜」)の  
 上演は文化8であり、「庚午」は「辛未」の誤  
 りか。全6冊を2冊ずつ合綴して計3冊とし、  
 その3冊を表紙ごと合綴して1冊とする。  
 4—41カ29 の百五拾三全三 20銭

- 30629 クワイダミンツダミサカヅキ  
 會談三組盃 上・下  
 半1帙6冊を合綴2冊  
 山東京傳著・自序、勝川春扇画 (1814) 文化11刊  
 江戸 和泉屋市兵衛(芝神明前)  
 ※文化10年8月成稿。原題簽角書「ろくろ娘/か  
 さね/さらやしき」。和泉屋の文化11の新版目  
 録(7書)あり。上・下2冊はこよりで1冊に

合綴されている。

4—41カ15 の四百六拾九う 20銭

- 30630 フヂヤゾメネマキノキスギス  
 藤屋染寐巻暁雲 上・下  
 半1帙6冊を合綴2冊  
 玄光亭金墨著・自序、歌川國信画 (1823) 文政6刊  
 書肆不明  
 ※上記書名は下冊原題簽によるが、上冊墨書題簽  
 は「早 苗之助藤屋染」である。  
 4—41カ37 の五百拾四全式 20銭

- 30631 カキツバタチノミゴノナモコムラサキ  
かきつばた乳のみ子 エドカタギランナデフベエ  
 の名も小紫江戸子女蝶兵衛  
 前篇・後篇 半1帙6冊を合綴2冊  
 東西菴南北著、歌川美丸画 (1813) (1814) 文化10成、同11刊  
 江戸 岩戸屋喜三郎(横山町二丁目)  
 ※原題簽は、前篇が「江戸子女蝶兵衛 前編」、  
 後編が「をんなてふへい 後編」。各冊末に岩  
 戸屋の目録あり。  
 4—41カ9 百五全式う 20銭

- 30632 ランナセイゲンフリソデニツキ  
 娘清玄振袖日記  
 半1帙6冊を合綴1冊  
 山東京伝著・自序、歌川豊国画 (1815) 文化12序・刊  
 江戸 永寿堂西村屋與八(馬喰町二丁目角)  
 ※題簽に「前後合」とある。裏見返しに「文化  
 十二乙亥年初春新出版物」の広告あり。本書が  
 「女清玄振袖日記」として出ている。  
 4—41カ45 の四百三拾五 15銭

- 30633 ムケンノカヌスメエンギ  
 無間鐘娘縁記 前編(乾)・後編  
 半1帙6冊を合綴2冊  
 山東京伝著・自序、歌川豊国画 (1813) 文化10刊  
 江戸 鶴屋金助(田所町)  
 ※後編見返しに「文化十癸酉年新版神史目録」を  
 付す。その中に見える本書の書名には角書「佐  
 夜/中山」がある。  
 4—41カ41 四拾四全二 15銭

- 30634 ホウナフガクノコサン  
 奉納額小三 上・下  
 半1帙6冊を合綴2冊  
 葛葉散人正二著・自序、輕雲亭国丸画 (1814) 文化11序



江戸 鶴屋金助 (田所町)

※鶴屋の蔵板書目あり。上記書名は原題籤による。

内題には「しまだの八さう / かなやの金五郎」  
という角書がある。

4—41カ39 の三百八拾八〇 15銭

オ ロクダシ キ ソノアダウチ

30635 於六櫛木曾仇討 上・中・下

半1帙7冊を合綴3冊

山東京傳著・自序, 歌川豊國画

(1806) (1807)  
文化3成, 同4序・刊

江戸 西村屋與八 (馬喰町二丁目)

※上・中・下3冊がこよりで合綴されている。下  
冊巻末に, 西村屋與八の文化4の新絵草紙目録  
が付されている。

4—41カ14 の百式拾六全三〇 15銭

ミニナルカネヲトコダウジャウジ

30636 已鳴鐘男道成寺

半1帙6冊を合綴1冊

曲亭馬琴著, 歌川豊國画

(1814)  
文化11刊

江戸 甘泉堂和泉屋市兵衛 (芝神明前)

※末丁及び裏見返しに馬琴の藥の広告などがある。

4—41カ40 の三百四拾九〇 15銭

ムスメクスノキ

30637 娘 楠

半1帙1冊

山東京山著, 書坊権九郎序, 春亭画

(1807)  
文化4刊

近江屋権九郎

※冒頭数丁の上部破損。絵入り題籤。内容は前・  
後編に分かれる。完本。題籤に「下のまき」と  
書かれ, 「全」と書込みがある。原体裁は6冊  
か。早大の大惣本目録には「宮城の / しのぶ」  
と角書がある。

4—41カ44 の四百三拾六〇 15銭

アキツシマオニガダケ

30638 秋津嵐

カタキウチメカリノセト

鬼ヶ嶽

復讐海布刈海門

上・下

半1帙8冊を合綴2冊

十返舎一九著・自序, 勝川春亭画

(1809)  
文化6刊

江戸 甘泉堂和泉屋市兵衛 (芝神明前)

※下冊末に大野屋の「和蘭秘方百中散」なる藥の  
広告あり。上册見返し内題下に「早軀神社靈驗  
記」「関取千両幟増補」と記されている。2冊  
をこよりで合綴。下冊裏見返しに文化6の新版  
目録を付す。原題籤は「反鎌めかりの海門」。

4—41カ17 〇〇百八拾老 20銭

ミノキチコイソ

30639 養吉 扇々 愛書初 上・下

半1帙6冊を合綴2冊

尾上三朝著, 歌川国貞画

(1814)  
文化11刊

江戸 河内屋源七 (堺町)

※原題籤の角書は「小磯 養吉」となっている。

4—41カ2 〇〇百六拾六〇 20銭

キナウゲンキギヨ

30640 狂言 古今化物評判

上冊・下冊 半1帙5冊を合綴2冊

談洲楼焉馬著・自序, 五渡亭国貞画, 狂歌堂真顔跋  
(1814)  
文化11刊

江戸 永寿堂西村屋与八 (馬喰町二丁目角)

※2冊を更に表紙のままこよりで合綴している。

上册末に書肆の蔵板目録, 下冊末に文化11春新  
板目録を付す。

4—41カ21 〇〇拾全式 20銭

ノリノハナニ ドザキシユンクワン

30641 法華再度咲俊寛 上・下

半1帙1冊を2冊に分冊

緑亭可山著, 勝川春亭画, 京山人序 (1813)  
文化10刊

江戸 文刻堂西村源六 (本石町四丁目)

※下冊裏見返しの新板目録中に同書の角書が「鶴  
飼石奇瑞 / 歌題目奇特」と付されている。墨書  
題籤は「再度咲俊寛」「にと咲俊寛」。下冊裏見  
返しに文刻堂の新板目録を付す。

4—41カ33 〇〇百式拾老〇 20銭

カタキウチテンダクトクベエ

30642 敵討天竺徳兵衛 上・下

半1帙6冊を合綴2冊

山東京伝著・自序, 歌川豊國画 (1807) (1808)  
文化4序, 同5刊

江戸 伊賀屋勘右衛門 (高砂町)

※下冊末に自著の梗概と藥の広告を付す。下冊裏  
見返しに「江戸地本問屋伊賀屋勘右衛門」の文  
化5刊「絵草紙総目録」あり。

4—41カ16 の五百三拾三〇 20銭

エネロノズボサカガハルコマ

30643 驛路鈴與作春駒 前編・後編

半1帙6冊を合綴2冊

曲亭馬琴著・自序, 歌川國貞画 (1814) (1814)  
文化11序・刊

江戸 岩戸屋喜三郎 (横山町二丁目)

※後編見返し内題「與作が春駒後編」。各冊末に  
岩戸屋の目録を載せる。

4—41カ8 の四百式全式〇 20銭

タキグチサエモンヨコブエヒメ  
滝口左衛門 横笛姫  
30644 咲替花之ニ番目  
上・(下) 半1帙6冊を合綴2冊  
(1810) (1811)  
山東京伝著・自序、歌川國貞画 文化7成、同8序  
江戸 岩戸屋喜三郎(横山町二丁目)  
※上冊の墨書題籤は「滝口横笛姫」。下冊 巻頭内  
題は「瀧口横笛」。

4—41カ25 の□□壹全式 20銭

オチヨハンベエ  
おち代 半兵衛  
30645 カウシンマチニヨボノコンダテ  
庚申待女房献立 前・後  
半1帙5冊を合綴2冊  
(1813)  
山東京山著・自序、歌川美丸画 文化10序・刊  
書肆不明  
※合本2冊を表紙のままこよりで1冊に合綴。  
4—41カ24 の□□百式拾五〇 20銭

セキトリオニワウケイセイツキヤロ  
関取鬼王 契情月小夜  
30646 ケハヒザカクワイチユウ カガミ  
化粧坂懷忠亀鑑  
上・下 半1帙8冊を合綴2冊  
(1810)  
山東京山著、鳥居清峯画 文化7刊  
江戸 西村屋与八  
※下冊の刊記破損。下冊最終丁に「京伝口授」と  
ある。

4—41カ20 の□□八全式〇 20銭

カルカヤダウシンシンドウマル  
茹菴道心 石動丸  
30647 ハナクラベケ シヤウザクラ  
花競化粧櫻  
上・下 半1帙6冊を合綴2冊  
(1815)  
山東京山著・自序、歌川国信画 文化12序・刊  
江戸 鶴屋金助(田所町)  
※2冊をこよりで表紙ごと合綴している。鶴屋金  
助の新版目録(15書)あり。

4—41カ35 の三百拾四〇 20銭

オチヨオシチ  
お千代 同八百屋娘姉妹  
30648 インケンヤ ホ ヤムスメキヤウダイ  
お七 同八百屋娘姉妹  
上・下 半1帙6冊を合綴2冊  
(1816)  
緑亭可山著、歌川美丸画 文化13刊  
江戸 鶴屋金助(田所町)  
※2冊をさらに1冊に合綴。鶴屋金助の文化13草  
双紙目録を載せる。

4—41カ3 の三百三番う〇 20銭

サルチヨモンスイゲツモノガタリ  
30649 猿猴著聞水月談 乾・(坤)  
半1帙6冊を合綴2冊  
(1815)  
山東京傳著・自序、獨醉舎國直画 文化12刊  
江戸 森屋治兵衛(馬喰町二丁目)  
(1814)  
※文化11年4月成稿。雙鶴堂鶴屋金助版文化12目  
録あり。京伝製品の広告あり。後編内題「水月  
談」。

4—41カ10 の□□百七拾三〇 20銭

アヒアヒガサ ヤアメニヌレゴト  
30650 両個傘屋雨濡記 上・下  
半1帙6冊を合綴2冊  
(1815)  
緑亭可山著・自序、歌川美丸画 文化12刊  
江戸 鶴屋金助(田所町)  
※下冊の題籤剥落。下冊末に「文化十二乙亥新稗  
史目録」。目録中の本書には「三かつ/半七」  
の角書あり。

4—41カ38 の五百五拾九〇 20銭

チユウジャウヒメハスノマンガラ  
30651 藤中將藕絲織 上・下  
半1帙6冊を合綴2冊  
(1816)  
東里山人著・自序、勝川春扇画 文化13序・刊  
江戸 和泉屋市兵衛(芝神明前三島町)  
※和泉屋市兵衛の文化13の絵草紙目録を付す。上  
冊墨書題籤「中将姫はすのまんたら」、下冊原  
題籤「はすのまんたら」。

4—41カ28 の三百拾五〇 20銭

マツワウマルメイゲツヒメ  
松王丸 明月姫  
30652 ムカシガタリヒヤウゴノフキジマ  
昔語兵庫之築島  
半1帙6冊を合綴1冊  
(1810)  
式亭三馬著・自序、北川(小川)美丸画 文化7刊  
江戸 鶴屋金助(田所町)

4—41カ43 の六百拾式〇 20銭

ニリワカモノガタリ  
百合若 物語  
30653 ニシキジマカハリツリブネ  
錦島變鉤舟 上・下  
半1帙6冊を合綴2冊  
(1818)  
歌川(一禮齋)國信著・画、山東京山序 文政元刊  
江戸 鶴屋金助(人形町通乗物町)  
※下冊巻末に鶴屋金助の蔵版目録を載せる。『国  
書総目録』は「錦島恋鉤舟」とする。

4—41カ31 の□□百式拾五〇 20銭

- 30654 <sup>コハルカミヂ</sup>小春 <sup>コハルツキ</sup>紙治 小春月 上・(下)

半1帙6冊を合綴2冊

山東京山著、歌川國丸画 文化10刊

江戸 鶴屋金助 (田所町)

※上記書名は上冊の後補墨書題籤による。下冊の題籤は「小春月祝乃餅」か。柱書は上冊第5丁までは「小春」とあり、上冊残りとは下冊とは「大福帳」とする。下冊巻末に付された鶴屋金助の文化10の「新版稗史目録」中に見える『大福帳手代鑑』と関係があるか。

4—41カ22 の百貳拾貳 20銭

- 30655 <sup>ヤヘガシカシクノアダウチ</sup>八重霞かしくの仇討 上・中・下

中1帙7冊を合綴3冊

山東京傳著、歌川豊國画 文化5刊

江戸 僊鶴堂鶴屋喜右衛門 (通油町)

※3冊を表紙ごとこよりで1冊に綴じている。第2冊表紙見返し、第3冊末に広告あり。各冊題籤に「ひらかなよみ本 かるかや山の段 さいもん入」と記されている。第2冊の本書の広告に「小曾野緑三郎」の角書あり。

4—41カ47 の六百七拾貳 30銭

- 30656 <sup>ワカシユソウケン</sup>若衆宗玄 上・中・下

半1帙6冊を合綴3冊

柳亭種彦著・自序、勝川春扇画 文化9成、同10刊

江戸 西村屋與八 (馬喰町二丁目角)

※序題は「華雪吹若衆宗玄」。上冊末に板元永寿堂の口上書あり。中冊見返しに中本小冊寺子重寶類目録あり。中冊・下冊末に永寿堂蔵板目録あり。

4—41カ36 の百三拾三 30銭

- 30657 <sup>ヌレツバメネガラノカラカサ</sup>濡燕子宿傘 上・中・下

半1帙7冊を合綴3冊

山東京傳著・自序、歌川豊國画

(1813) (1814)  
文化10成、同11序・刊

江戸 蔦屋重三郎・鶴屋金助 (田所町)

※上記書名は中・下冊原題籤による。上冊墨書題籤は「濡燕子宿の傘」。下冊末には鶴屋金助の「甲戌 (文化11か) 新版目録」があるが、そこでは「不破名古屋濡燕子宿傘」。上・下編の内題は「不破名古屋」、各冊柱書は「ぬれ燕」となっている。

随所に京伝著作及び菓の広告。上冊表紙右上に貼札剥落跡あり。

4—41カ32 の百貳拾四全三 30銭

- 30658 <sup>イハキグシクメノノアダウチ</sup>岩井櫛条野仇討 上冊・中冊・下冊

半1帙7冊を合綴3冊

山東京傳著・自序、歌川豊國画 文化4成、同5刊

江戸 西村屋與八 (馬喰丁二丁目)

※上冊裏見返しに京伝が誌した「讀則」あり。下冊裏見返しに西村屋の「文化五年辰正月新版目録」及び口上あり。各冊柱書「いわるぐし」。

4—41カ6 の百貳番 30銭

- 30659 <sup>ソメワケクツナラバナノウマイチ</sup>染分手綱尾花馬市 <sup>コガネノハナオクノホソミチ</sup>黄金花奥州細道

上・中・下 半1帙6冊を合綴3冊

山東京傳著・自序、歌川國直画 文化11刊

江戸 森屋治兵衛 (馬喰町二丁目)

※上・中冊見返し内題は「奥州細道」。森屋治兵衛の文化11の草双紙目録を載せる。

4—41カ11 の百八拾全三 30銭

- 30660 <sup>バンズイテフベエホツケテウベエ</sup>幡随蝶兵衛 <sup>ラトコノナカノラトコカガミ</sup>任俠中男鑑

上・中・下 半1帙7冊を合綴3冊

式亭三馬著・自序、歌川國貞画 文化13刊

江戸 鶴屋金助

※下冊裏見返しに鶴屋の「文化十三丙子新稗史目録」あり。

4—41カ13 の百三拾全三 30銭

- 30661 <sup>カネガフチンエン</sup>鐘淵 <sup>ソノウツシエカブキノオモカゲ</sup>因縁 其寫繪劇 俳

上・中・下 半1帙7冊を合綴3冊

式亭三馬著・自序、歌川豊國画 文化8刊

江戸 いがや勘右衛門 (小舟町二丁目)

※3冊をさらに合綴1冊。下冊末に鶯頭青藜館蔵板書目あり。柱書「法界坊」。『日本小説書目年表』によれば、「法界坊野分姫」との角書を持つという。

4—41カ26 の百四拾八全三 30銭

- 30662 <sup>コヒニョウバウアダウチスゴロク</sup>戀女房仇討雙六 上・下

半1帙6冊を合綴2冊

姥尉輔著、歌川國長画 文化9刊

江戸 伊賀屋勘右衛門 (小舟町二丁目仲ノ橋通)

り)

※下巻末に「文化九年壬申春新板目録」あり。上下2冊をこよりで表紙ごと合綴。

4—41カ23 の五百式拾八う〇 20銭

30663 モドリカゴ 辰 故郷錦繪 前編・後編  
コキヤウノニシキエ

半1帙6冊を合綴2冊

山東京山著、歌川國貞画(前編)、歌川國満画(後編), 偃鶴堂序 (1813) 文化10刊

江戸 仙鶴堂鶴屋喜右衛門(通油町)

※後編巻末に文化10春の新版裨史目録を付す。内題「浪花の二郎作辰駕故郷の錦繪」。

4—41カ46 の五百式拾四 20銭

30664 シラギゴンハチホンジヤウスケイチ 白井權八 フタリワカシユツイノムラサキ  
本上助市 二人若衆對紫色

上・下 半1帙6冊を合綴2冊 (1818) (1817)

山東京山著・自序, 勝川春亭画 文化13序, 同14刊

江戸 鶴屋金助(田所町)

※上冊裏見返しに鶴屋取次の雑貨の広告。下冊末2丁に鶴屋の「雙鶴堂蔵版書目」, 下冊裏見返しに鶴屋の「文化十四丁丑新裨史目録」。本文末に京山著の「和漢印章考」『篆刻指南』の予告あり。

4—41カ30 の三百式拾四う 20銭

30665 フクジウ カヘリバナサイドノホマレ  
復讐 帰花再度讐 上・下

半1帙5冊を合綴2冊 (1804)

十返舎一九著・自序・画 文化元刊

江戸 萬屋重三郎

※上巻の本文前に「帰花故郷錦附言」あり。

4—41カ19 の□百七拾五〇 20銭

30666 オ タケダイニチチユウカウカガミ  
於竹大日忠孝鏡 (上)・下

半1帙7冊を合綴2冊 (1810)

式亭三馬著, 勝川春亭画 文化7刊

江戸 偃鶴堂鶴屋喜右衛門

※下冊末に「文化七歳新板裨史目」を付す。下冊巻頭及び目録中の書名は「善悪お竹大日忠孝鏡」(目録の用字は「於」)とある。上・下2冊を表紙ごとこよりで合綴している。

4—41カ12 の三百六拾全式〇 20銭

ダイドウジクマタラウ ム シヤシユギヤウエイユウダン  
大童子 武者修行鋭勇傳

30667 熊太郎 乾・坤 半1帙5冊を合綴2冊

式亭三馬著・自序, 歌川國丸画, (1811) (1812)  
文化8成・序, 同9刊

江戸 文英堂大坂屋秀八(本石町十軒店)

※坤冊末尾に「文化九年壬申春新板目録」あり。

坤冊表紙原題簽右ヨコに白紙の札あり。上記書名は坤冊の見返し内題による。乾・坤冊原題簽は「武者修行鋭勇譚」。

4—41カ42 の四百五拾四〇 20銭

30668 イトゴロモチツグハイカイ  
絃天狗俳諧 上・下

半1帙6冊を合綴2冊 (1818)

中村歌右衛門著・自序, 勝川春亭画 文化13刊

江戸 山口屋藤兵衛(馬喰町二丁目)

※両冊見返しに芝翫(歌右衛門)の句がある。下冊裏見返しに文化13の新版目録があり, その中に本書の角書が「おしづ/文蔵」と付されている。

4—41カ5 の三百六全式う 20銭

30669 イマハムカシ オ ツウザフダン  
異魔昔阿露雜談 上・下

半1帙6冊を合綴2冊 (1815)

式亭三馬著・自序, 歌川國直画 文化12刊

江戸 森屋治兵衛(馬喰町二丁目)

※巻頭の内題には「日暮林清/鹽焼等太」と角書する。一名「地藏和讃のはじまり」。文化12の草双紙目録(鶴屋金助版を含む)を載せる。表紙には「□二百三十二」の番号札がある。

4—41カ4 三百六十五〇 20銭

30670 コハダコヘイシテン アサカノヌマゴニチノアダウチ  
小鯉小平次傳安積沼後日仇討

上・下 中1帙6冊を合綴2冊

山東京傳著・自序, 一柳齋豊廣画, 覧山題言 (1807) 文化4刊

江戸 仙鶴堂(通油町)

※文化4の草双紙目録を載せる。上記書名は見返し内題によるが, 原題簽には角書なく, 内題の角書は「小はだ」。

4—41カ1 の六百八拾合式〇 20銭

# 古 版 珍 書

ケウケンカウシヤク  
教訓 織唐衣 一〜六  
30671 半1帙6冊  
(1770)  
明和7刊

著者未詳

翠竹堂

※絵入り。書名の訓みは第6冊の原題簽に「をりから衣」とあるのによる。第1冊末に、「毫父重信某 六十九歳敬書」と誌した辞がある。

1—84オ1 た式百拾四番 70銭

シンパン カンニン キ  
新板 堪忍記 一〜八 大1帙8冊  
(1671)  
寛文11刊

浅井了意著・自序・自跋

江戸 鱗形屋 (大伝馬三町目)

※絵入り。第1冊表紙に「教□古事千三百十八」と記した札あり。

1—84カ5 け五百拾巻 1円

チャウメイ ネ ザメモノガタリ  
30673 長明寢覚物語 一〜五 半1帙5冊  
(1685)  
貞享2刊

著者未詳

大坂 南三郎兵衛・荻野八郎兵衛

※絵入り。上記書名は原題簽による。内題は「鴨長明寢覚物語」。仮名草子。逸名序あり。

4—40カ2 大惣番号札剥落 1円50銭

ニチヨウジンダウキ  
30674 日用人道記 上・中・下 大1帙3冊  
(1713)  
正徳3序

高根忠丈著・自序 (下), 川村正淳序

大坂 道一堂

※第1冊表紙に大惣以外の本屋による「八十一番三冊」なる札あり。各冊の原題簽には、上「五常人倫天理本然の道并に心を安んじ身を脩むる四民の業を説」などといった内容紹介が刷られている。

1—84ニ5 け五百五拾六 60銭

ゾク コセントクシツロン  
30675 續古戦得失論 一〜五 半5冊を合綴1冊

森學機著・自序 (1703)  
元禄16序

江戸 山口屋須藤権兵衛 (江戸橋中通)

※上記書名は内題による。第2冊の墨書題簽は「山崎合戦評論」, 第3・4・5冊の墨書題簽は「山崎合戦評論」。正編は32366参照。

8—28ノ1 大惣番号札剥落 50銭

コセンヒヤウバン  
30676 古戦評判 上・中・下 半3冊を合綴1冊  
(1689) (1690)  
元禄2序, 同3刊

中川正尚著, 林將親序

江戸 山口屋原権兵衛 (日本橋川瀬石町横町)

※上冊題簽に「一号古戦茗話」と書込み。図入り。脇題簽に内容を示す。上冊は剥落なれど「小豆坂合戦 戸石合戦 上田原合戦」とあったか。

中冊には「桶狭間合戦 河中島合戦」, 下冊には「三増合戦 柳瀬合戦」。

8—28コ3 大惣番号札剥落 30銭

メザマシダサ  
30677 目覚し草 大1帙1冊  
(1625) (1649)  
寛永2跋, 慶安2刊

烏丸光廣著・自跋

京 杉田勘兵衛尉 (三条東洞院諏訪町)

※表紙に、「教」(朱)・「烏丸大納言光廣 御作」(墨)の札あり。本文末にいわく「于時寛永の初弥生の下の弦徳峯老人洛陽のほとり草庵ににしてし終りぬ」。

1—84メ1 け六百式拾七 20銭

シンパンハツカウ フ ケセツヨウシフ  
30678 新板 武家節用集 上・中・下 半1帙3冊  
(1681)  
延宝9跋・刊

懷徳堂主人思齊永三著・自跋

京 林伝左衛門 (三条通菱屋町婦屋)

※絵入り。

8—21フ5 大惣番号札剥落 1円50銭

エ イリホンテウ チエカガミ  
30679 繪入本朝智恵鑑 一〜六 大1帙6冊  
(1713)  
正徳3刊

團粹和南 (北条団水) 著・自序

出雲寺和泉掾 (京 三条通, 江戸 日本橋)

※浮世草子。

4—42ホ1 大惣番号不明 50銭

フ シンガミ  
30680 不審紙 一〜五 半5冊  
(1724)  
辻本嘉茂著・自序・自跋, 源取仲序 享保9序・跋

書肆不明

※絵入り。

1—84フ1 神 よ貳百十七〇 75銭

ブ ケ チヨウホウキ

30681 武家重寶記 一〜五 半1帙5冊

艸田子著・自序

(1694)  
元禄7刊

京 書林堂吉永七良兵衛、大坂 雁金屋庄兵衛  
(真斎橋筋)

※表紙改裝。後補墨書題簽は「武家調寶記」と記す。図入り。

8—22フ4 大惣番号札剥落 50銭

ホンテウヂヨカン

30682 本朝女鑑 一〜五

大5冊

(1661)  
寛文元刊

京 吉田四郎右衛門(樺木町)

※逸名序あり。絵入り。『国書総目録』は著者「浅井了意?」とする。一賢明、二仁智、三節義・貞行、四弁通、五女式。「千三百四番」「女」の札あり。

1—85ホ1 け五百三拾九 1円

タイ マンダ ラエンギ

30683 當麻曼陀羅縁起 上・下

大他4冊と合1帙2冊

著者未詳

書肆不明

※絵入り。表紙に「□三百八十三」の札あり。下冊初丁破損。下冊末に乱丁・落丁あり。33044『當麻曼荼羅述尊記』(4冊)と共に1帙。

1—22タ1 ま百六拾六全式 50銭

クワンランギヤウ ワ ダンセウ

30684 観音経和談抄 上・中・下

大3冊を合綴1冊

著者未詳

(1683)  
天和3刊

江戸 鱗形屋(大伝馬町三丁目)

※逸名序あり。絵入り。見返しに「三番」と記す。

1—23カ3 ま八拾壹合壹冊 70銭

カツラギ

エンノギヤウジャエンギ

30685 城役行者縁起 上・中・下

大1帙3冊

浅井了意著

(1688)  
貞享5刊

京 菱屋治兵衛(寺町通松原上ル町)

※表紙に「百十貳」の札あり。『国書総目録』に「かつらぎ物語の後刷改題本」という。上冊の

後補墨書題簽は角書を「葛板」と誤記。上・中冊末に「薬師院持主」と書込みあり。

1—21エ2 ま百五拾四全三 50銭

イシヤマデライリアヒノカネ

30686 石山寺入相鐘

大1帙1冊

富尾似船著

(1676)  
延宝4成

京 武村新兵衛(二条通)

※絵入り。原体裁は上・下(あるいは観・音)2冊か。表紙に「□貳百二十一」の札あり。

1—84イ4 ま三百五十番 40銭

ウンセイダイシ カイセツモノガタリ ハウジヤウモノガタリ

30687 雲棲大師 戒殺物語 放生物語

(上・下)

大1帙2冊

雲棲寺蓮池株宏大師著

(1664)  
寛文4刊

書肆不明

※原体裁は戒殺物語一・二、放生物語三・四の計4冊らしい。現在の上册の後補墨書題簽には「雲棲大師戒殺物語上」とあり、下冊の墨書題簽には「雲棲大師放生文下」とある。上册表紙に「禅」の小札。逸名の序・跋あり。「文林堂」印あり。

1—26カ3 ま五百八拾七全式 50銭

ナンブカタキウチ

30688 南部 敵討 小栗忠孝記 一〜五

半1帙5冊

随山著・自序

(1776) (1777)  
安永5序、同6刊

京 永田調治(錦小路新町西入)・銭屋佐兵衛  
(五条高倉西入)

※柱書は「小栗忠臣記」。絵入り。

4—42オ2 大惣番号札剥落 50銭

ブダウ

30689 武 道 忠義太平記 一〜六 半1帙6冊

著者未詳

(1711)  
宝永8刊

京 菱屋治兵衛(寺町松原上ル町)

※上記書名は原題簽による。内題は「忠義武道播磨石」。

4—42チ2 た七百八十巻 3円

シンバンエイリ

30690 新板 神靈解脱物語 上・下

大1帙2冊

順誉著

(1717)  
享保2刊

小川彦九郎

※上記書名は原題簽による。内題は「十誉上人神  
靈奇特物語」。絵入り。表紙に「因」の札あり。

1—21シ23 大惣番号札剥落 50銭

30691 <sup>アシカガシツロク</sup> 足利實録 一〜五 大1帙5冊  
(1759)  
林羅山著 宝暦9刊

大坂 抱玉軒田原屋平兵衛（順慶町一丁目筋）

※絵入り。『国書総目録』によれば『將軍記』第  
4〜7冊の改題本。

5—09ア3 て四百五十七 1円

30692 <sup>ワカン</sup> 和 漢 賢女物語 一〜五 大5冊  
(1669)  
芳菊軒某母満著・自序 寛文9刊

京 出雲寺和泉掾

※絵入り。「當功」（朱）印あり。表紙に「千三百  
七十九」の札あり。

1—85ヶ1 け五百三拾六 1円

30693 <sup>キダチモノガタリ</sup> 為愚癡物語 一〜八 大8冊  
(1662)  
越後國曾我休著・自序 寛文2刊

京 吉野屋権兵衛（柳馬場二条下ル町）

※絵入り。一〜七の墨書題簽は「為愚知」。逸名  
序あり。上記書名は巻一目錄と巻頭内題によっ  
た。他に「以求智物かたり」など多彩な表記を  
とる。第1冊表紙に「千三百二十」（墨）、「教」  
（朱）の小札あり。

1—84イ1 け五百拾貳 1円

30694 <sup>タガミノウヘ</sup> 他我身のうへ 第一〜六 大1帙6冊を合綴1冊  
(1656) (1657)  
山岡元隣著・自序・自跋 明暦2成、同3刊

京 秋田屋平左衛門（寺町通円福寺前之町）

※跋文に「誰が身のうへと名づけ侍るものならか  
し」とある。仮名草子。

1—84タ1 大惣番号札原欠 50銭

30695 <sup>イサメグサ</sup> いさめ草 上一・上二・下一・下二 大4冊  
(1706)  
著者未詳 宝永3序・刊

書肆不明

※内題「諫草」。教訓書。絵入り。

1—84イ3 千式百六十八 75銭

30696 <sup>ビヤクコツウ</sup> 白狐通 中1帙1冊  
(1800)  
梅暮里谷峨著・自序・自跋、歌川國政画 寛政12序  
書肆不明  
※洒落本。

4—43カ35 わ百拾貳〇 10銭

## 珍 書 草 紙

30697 <sup>サウモクタイヘイキ</sup> 草木太平記 上・下 大1帙2冊を合綴1冊

著者未詳

古藤七郎兵衛

※上記書肆は上冊末に記している。絵入り。御伽  
草子『墨染桜』の改題本。慶長2以降の近世初  
(1597)  
期に成立。2冊を表紙ごと合綴する。

4—40ソ2 大惣番号札剥落 1円

30698 <sup>アマヤドリ</sup> あまやとり 上・中・下 大1帙3冊  
著者未詳

書肆・刊年不明

※絵入り。室町期に成立した御伽草子『しぐれ』  
の改題本である。なお御伽草子『あまやどり』  
と同趣向であるが内容は異なる。

4—40ア4 大惣番号札剥落 1円25銭

30699 <sup>ウラミノスケ</sup> うらみのすけ 上・下 大1帙2冊を合綴1冊

著者未詳

書肆不明

※絵入り、筆で丹緑を施す。仮名草子。慶長14以  
(1609)  
後元和3までの間に成立したと推定されている。  
(1617)  
表紙右上スミに「言」の小札あり。下冊、一部  
破損。館内閲覧。

4—40ウ2 大惣番号札剥落 1円50銭

30700 <sup>スミヨシモノガタリ</sup> すみよし物語 上・下 大1帙2冊  
(1682)  
著者未詳 寛永9刊

京 中野氏道也（小左衛門＝初代）

※上冊原題簽は、破損しているが、「住吉物□」

と読める。上冊表紙右上スミに「言」の小札あり。下冊原題簽は墨書で「すみよし物語／坤／上下」。平安時代の古本は『源氏物語』以前の10世紀に成立したが、現存本は鎌倉時代に擬古物語として改作されたとするのが通説。

4—30ス1 大惣番号札剥落 60銭

サイギヤウモノガタリ

30701 西行物語 上・下 大1帙2冊  
(1648) 正保3刊  
著者未詳

木村次郎兵衛

※鎌倉中期には成立していたと推定されている。

上・下2冊とも表紙に物語中の歌及び仏教的文章(漢文)を記す。上冊は上巻、下冊は中・下巻より成り、下巻は丁付けを改めている。

4—30サ1 ふ五百六拾四 75銭

ツキヒノゴホンデ

30702 月日の御本地 大1帙1冊  
著者未詳

書肆・刊年不明

※室町時代成立の御伽草子。絵入り。上記書名は内題による。墨書題簽には「ゑ入」の角書あり。表紙原題簽の右脇に「正」字が白で書かれている。表紙にやや破損あり。

4—40ツ1 大惣番号札剥落 50銭

スイテウキ

30703 水鳥記 上・下 大2帙2冊  
(1648) 慶安元成  
大塚地黄坊樽次(茨木春朔)著・自序

松會開板

※仮名草子。絵入り。目録あり。原題簽にはそれぞれ「上」「下」とあるが内容は上・中(上冊)・下(下冊)に分かれている。31386は本書改題本。

4—40ス1 大惣番号札剥落 2円

ジュンレイモノガタリ

30704 順禮物語 上・中・下 大1帙3冊  
三五庵木算著

書肆・刊年不明

※仮名草子。上冊表紙に本書の内容を説明した紙が貼られている。各冊ともに目録あり。上冊の冒頭に序の如きものがあり、木算が著した草紙52冊のうち順礼に関するものばかり3冊が写し取られて本書が成ったことがわかる。一名「名所和歌物語」。木算は三浦浄心。

5—85シ4 ふ四百拾五・全三 1円50銭

エイリ  
繪 ジ ガ バチモノガタリ

30705 入似我蜂物語 上之本・上之末・  
中之本・中之末・下之本・下之末(一〜六)

大6冊

(1702)

元禄15刊

著者未詳

京 栗山宇兵衛(堀川通)

※仮名草子。第1冊の表紙右上スミに「□千貳百九十八」の札あり。序及び上・中・下各巻初めに目録あり。初版は寛文元刊。

1—84シ10 こ百三拾貳 1円

キ ブ ネ ノ ホンデ

30706 きふねの本地 上・中・下 大1帙3冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※御伽草子。室町時代初期以前に成立か。上冊右下スミに「全部三冊」の小札あり。上冊裏表紙上部に「貴舟本地」との札が貼られている。絵入り(筆彩)。

4—40キ2 大惣番号札剥落 1円50銭

エイリ  
繪 ハ ナ ム ケグサ

30707 入はなむけ草 上・下 大1帙2冊  
(1686) 貞享3刊  
著者未詳

大坂 深江屋太郎兵衛(伏見呉服町淀屋橋筋角)

※上冊題簽のわきに「女教」(朱)の札あり。上冊の裏表紙上部に「はなむけ草」と書かれた札がはさまれている。内題に角書なし。

1—85ハ1 け五百八十巻 1円

ア ロ モ ノ ガタリ

30708 あろ物語 壹〜四 大1帙4冊  
(1649) 慶安2刊  
著者未詳

京 荒木利兵衛(寺町通松原上ル)

※御伽草子。室町時代成立。各巻毎に目録あり。巻頭の目録題は「鴉鷺合戦物語」。第1冊の見返しに「木活字版振假字付稀観書なり」との札が貼られている。

4—40ア1 大惣番号札剥落か 2円50銭

フ ジ ノ ヒト ア ナ  
繪

30709 ふしの人あな入 上・下 半1帙2冊を合綴1冊  
(1658)

著者未詳

明暦4刊

京 山田市良兵衛(寺町通二条上ル)

※御伽草子。大永7以前に成立か。上冊の原題簽



剥落。巻頭の内題は「ふじの人あなさうし」。

上冊見返しに「貳番」「明雅」と墨書。

4—40フ2 大惣番号札原欠か 1円

30710 いはやのさうし 上・下 大1帙2冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※御伽草子。室町時代成立か。絵入り。『風葉和歌集』に見える「いはや」(散佚)の改作であろうとされている。

4—40イ2 大惣番号札剥落 1円

30711 しづか御前物語 1冊

所在不明

4—40シ4 1円

30712 薄雪物語 上・下

半1帙2冊を合綴1冊

著者未詳

(1636)  
寛永13刊

書肆不明

※仮名草子。慶長末年(一1615)以前成立とされる。絵入り(一部筆彩の箇所あり)。刊記の書肆の部分が切られている。全体的に損傷がひどい。

4—40ウ1 大惣番号札剥落か 2円50銭

30713 七人ひくに 上・中・下 大1帙3冊

著者未詳

(1635)  
寛永12刊

書肆不明

※仮名草子。上冊の表紙かなり破損。上冊表紙大惣番号の右ヨコに「因」の小札が貼られている。また、上冊原題簽の書名の左脇に「一名さんげ物語」とある。絵入り。末尾に「蘭梅舎來伯」藏書だった旨の貼紙あり。

4—40シ2 ま貳百八拾壱 70銭

30714 武勇 一休法利はなし 上・下

大1帙2冊

著者未詳

(1692)  
元禄5刊

書肆不明

※書肆については、「大坂心齋橋筋書林」とのみあり、その名は明らかではない。

1—84イ2 ま六百八拾九全式 50銭

30715 一休水鏡

大1帙1冊

一休宗純著

(1682)  
天和2刊

書肆不明

※仮名法語。室町時代末成立。図入り。第1丁欠。

刊記の下に「五名春乍禅人」と刷られ、左脇に「三百之内」と墨書されている。

1—26イ6 ま六百九拾五 30銭

30716 入 譬鳥驚談 一〜五 大1帙5冊

今岡廣道著・自序

(1748)  
延享3刊

京 袋屋五兵衛(二条通富小路西江入町)

※第1冊の右下スミに「神道/全五冊」と書かれた札あり。

1—05ヒ1 大惣番号札剥落 50銭

30717 妻鏡

大1帙1冊

無住一圓著

(1648)  
慶安元刊

書肆不明

※『無住国師道跡考』(明和7刊)に正安2成立とあるが根拠は未詳。逸名跋あり。表紙右上スミに「□百九番」の小札、また大惣番号札の右に「禅」の小札が貼られている。見返しに「聖財集/雑談集/無住国師道跡考」と墨書されている。原体裁は上下2冊か。

1—26ツ1 ま六百四拾三 30銭

30718 まんぢう 大1帙1冊

著者未詳

書肆・刊年不明

※幸若舞曲。室町時代成立。絵入り(丹緑筆彩)。

柱書に「満中」とある。

貴4—40マ1 大惣番号札剥落 50銭

30719 入 集霊物語

大1帙1冊

著者未詳

(1662) (1664)  
寛文2成, 同4刊

書肆不明

※本書は『大和孝経』巻六集霊の部に相当する。

逸名序あり。表紙右上スミに「柳」「□三十五」「端」という3つの札が貼られている。

1—84シ13 や四百七拾七 30銭

ワカンエイリ  
和漢 ユライモノガタリ  
30720 繪入 由來物語 一〜五

大1帙5冊  
(1689)

小龜益英著

寛文9刊

京 小龜三左衛門益英(室町五条二町下ル堺町)  
・前川茂右衛門(四条寺町)

※仮名草子。第1冊表紙原題簽の右に「物の始りをしるす」との札、及び、右上スミに「千貳百八十」の小札が貼られている。巻頭内題は「由來明鑑集」。各冊巻頭に目録あり。

4—85ユ1 や五百三拾番 1円50銭

ウツ ボモノガタリ  
30721 うつほ物語 上・中・下 大1帙3冊  
(1680)  
著者未詳 万治3刊

京 林和泉掾(今出川通)

※絵入り(筆彩)。成立時期は天禄から長徳(970—999)ごろかと推定されている。原題簽の書名の下に「俊蔭巻」と刷られている。

4—30ウ3 ふ五百四拾壹全三 60銭

ムシヤモノガタリノキウ  
30722 武者物語抄 一〜七 大1帙7冊  
(1687) (1689)  
松田(一楽入道)秀任著 寛文7成, 同9刊

中野玄休

※本書は同著者による『武者物語』(承応3成, 明暦2刊, 仮名草子)の各項目毎に注釈・事実考証を加えたもの。内題「武者物語之抄」。第1冊右上スミに「全部七冊」の札が貼られている。各冊巻頭に目録あり。

5—63ム1 大惣番号札剥落 75銭

ホウゲンヘイヂモノガタリ  
30723 保元平治物語 一〜六 大1帙6冊  
著者未詳

書肆・刊年不明

※第1〜3冊が保元物語, 第4〜6冊が平治物語。

第6冊のみ写本。絵入り(多色筆彩)。第1冊・第2冊に保元物語巻一・巻二の目録があり, 第2冊の末尾に巻三の目録がある。第4冊から第6冊までは各巻頭に, 平治物語の巻一から巻三までの目録がある。第1冊の目録の次に「保元合戦記上」として逸名序がある。

貴5—06ホ1 大惣番号札剥落か 1円50銭

ユリワカモノガタリ  
30724 百合若物語 大1帙1冊  
写本

※本書は幸若舞曲「百合若大臣」と同じ。室町時代成立。絵入り(筆彩)。表紙やや破損。

4—40ユ1 大惣番号札原欠 30銭

シンバン  
新板 クワンバクモノガタリ  
30725 関白物語 一〜四 大1帙4冊  
著者未詳

江戸 山本九左衛門(大傳馬町三丁目北側中程)

※仮名草子。絵入り。成立は寛永2以降と推定されている。内題および第1冊の原題簽書名の右脇に「聚樂物語」とある。第4冊の裏表紙やや破損。第1冊の目録の次に「はし書」あり。

5—10シ1 大惣番号札剥落 3円50銭

バンコクツ  
萬 異国物語 上・中・下  
國 圖

30726

大1帙3冊

著者未詳

刊年不明

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町西側)

※仮名草子。逸名序あり。絵入り。巻末に「菊華堂藏板假名本抜書目録」あり。

5—88イ1 大惣番号札剥落 1円50銭

エイリ  
絵 サイギヤウシキモノガタリ  
30727 入 西行四季物語 春夏・秋冬

半1帙2冊

著者未詳

(1708)  
宝永5刊

河南四郎右衛門

※本書は「西行物語」と同内容。原形は鎌倉中期成立かとされている。第2冊末尾に「右此四巻畫図者海田采女佑源相保取筆也段々文字乃愚翁書焉 明應龍集集上陽月中院日 提下衆門在判」とある。「竹林庵藏」印あり。

4—40サ1 れ式百式十式全式 50銭

カスガノサト  
かすか イクノノサウシ  
30728 のさと いくのゝ双紙 一〜四

半1帙4冊

著者未詳

(1694)  
元禄7刊

京 永田調兵衛(錦小路通新町西入)

※第1冊表紙右上スミに「言」の札あり。浮世草子『好色伊勢物語』(貞享3刊, 京都書林西村市郎右衛門作か)の改題再版。絵入り。刷りの状態悪し。

4—43カ46 れ百九十四全四 5円

- 30729 <sup>コウブ エイコモノガタリ</sup> 公武栄枯物語 壹〜八 (合綴は一〜三  
・四〜六・七八) 半1帙8冊を合綴3冊  
(1693) (1694)  
著者未詳、飯田隠齋序 元禄6序、同7刊  
江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南一丁目)、京  
服部三大寺 (塚町通竹野町上ル橋町)  
※序に著者は不明であること、承久の逆乱の顛末  
を記した書であることなどを記す。絵入り。5  
—07コ2に同書の西莊文庫旧蔵本あり。  
5—07コ1 大惣番号札原欠か 1円50銭

- 30730 <sup>シヨコクサンダウ</sup> 諸國 <sup>スケマキリユメモノガタリヘンタフ</sup> 参宮 抜参夢物語 返答  
上・中・下 半1帙3冊  
(1771)  
大江匡弼著・自序 明和8序・刊  
京 近江屋市兵衛 (西堀川四條下ル町)  
※絵入り。内題は「抜参殘夢噺」。序題「殘夢噺」。  
32453参照。  
1—05ヌ1 大惣番号札剥落○ 50銭

## 地 誌・名 所

- 30731 <sup>ミノノメサイキ</sup> 美濃名細記 一〜十二 大2帙12冊  
(1738)  
伊東實臣著・自序 元文3序  
写本 「田中平氏信次誌」(書写者か)  
※第1冊題籤には「美濃名細記百莖根」とある。  
「百莖根」は枕詞。11巻12冊で、第2・3・4  
・8・9冊内題は「美濃百久幾根」とある。序  
の後に「右之表目百莖根之枕言葉ヲ制畧シ自是  
美濃明細記ト令改名者也 田中平氏信次誌」と  
ある。彩色絵図あり。『国書総目録』には「茂茂  
久岐禰」として載る。  
5—83ミ4 大惣番号札剥落 11円

- 30732 <sup>ニツクワウジエンバイツシ</sup> 日光巡拜圖誌 一〜四  
大1帙4冊  
(1818)  
獨笑庵立義著・自跋 文政元奥書  
写本  
※一部絵図に彩色が施されている。「巡」字を  
「順」とも表記。  
5—83ニ3 さ百五十九全四冊 7円50銭

- 30733 <sup>フドキ</sup> 風土記 上・下 大1帙2冊  
(1651)  
慶安4刊  
京 西脇七郎右衛門 (御幸町通誓願寺前下ル  
町)  
※上册表紙の右上に「千百六十九」と書かれた札  
が貼られている。『国書総目録』には「国名風  
土記」として載る。  
5—82フ1 さ四拾五全式 30銭

- 30734 <sup>エイリ</sup> 入京すゝめ 一〜七 大1帙7冊  
(1665)  
寛文5刊  
田中文内  
※各冊内題に角書なし。従来、浅井了意の作とさ  
れている。  
京キ1 さ拾五番 5円

- 30735 <sup>ヤマシロ シキモノガタリ</sup> 山城四季物語 一〜六 大1帙6冊  
坂内氏山雲子 (直頼) 著・自序、風鈴軒友松處士跋  
(1874)  
延宝2序・跋・刊  
京 本間長兵衛・大角八郎兵衛  
※跋題「四季物語」。第1冊表紙に「地」「☐」部  
六冊」の札。30759『都歳時記』は本書の改題  
本。

- 5—83ヤ2 大惣番号札剥落 5円  
30736 <sup>メイシヨエイリ</sup> 名所 <sup>ナニハカガミ</sup> 難波鑑 一〜六 (春上・春下  
・夏・秋上・秋下・冬) 大1帙6冊  
一無軒道治編・自序、南陽山人自庵斎跋  
(1680)  
延宝8序・跋  
大坂 小濱屋七郎兵衛 (本町五丁目御堂筋角)  
・近江屋次郎右衛門 (同所)  
※各冊裏見返し左下に「大勘」とあり。各冊内題  
に角書なし。  
5—83ナ5 さ式拾番 3円50銭

- 30737 <sup>エドメイシヨキ</sup> 江戸名所記 上 (巻一〜四)・  
下 (巻五〜七) 大1帙2冊  
(1662)  
寛文2刊  
京 河野道清 (五条寺町)  
※伝浅井了意著。大惣印なし。上册裏見返しの墨  
書「上野予之助」は旧蔵者か。  
5—83エ13 大惣番号札原欠か 5円

30738 <sup>エイリ</sup> 繪 入 河内鑑名所記 一〜六 大1帙6冊

三田浄久著, 北村季吟序, 岳西惟中跋<sup>(1679)</sup>  
延宝7序・跋・刊

京 章蔵堂西村七郎兵衛正光

※上記書名は原題簽による。序題「河内國名所鑑」, 各冊内題「河内名所記」。発句多数を載せる。第6冊一部分破損を墨書補修。

5-83カ4 大惣番号札原欠か 5円

30739 <sup>ヤマシロメイシヨキ</sup> 山城名所記 壹〜十二 1帙12冊  
山本泰順著・自序<sup>(1658)</sup> 万治元序, 寛文4刊<sup>(1664)</sup>

京 上村次郎右衛門

※巻頭の内題は「洛陽名所集」。序文末半丁は筆写で, 「下御靈本ニ依り寫補ス」とある。第6冊と第9冊の裏見返しに朱印が捺してある。第1冊見返しに, 京の地誌の書名が6部書かれて

いる。

5-83ヤ3 さ八番 3円50銭

30740 <sup>タンゴタナベフシ</sup> 丹後田邊府志 一〜三 大1帙6冊  
釈氏靈重(美梁重)著・自序・自跋<sup>(1709)</sup> 宝永6序・跋, 同7刊<sup>(1710)</sup>

京 御書物所出雲寺和泉掾

※上記書名は内題による。原題簽では「丹後」を小書にし, 上部の枠内に記されている。

5-83タ3 き拾四全三 3円50銭

30741 <sup>ヤマトメイシヨキ</sup> 大和名所記(一〜十五) 大2帙15冊  
林宗甫著・自序, 懶齋亀蔵跋<sup>(1681)</sup> 延宝9序・跋  
書肆不明

※第1冊は大惣本にあらず(受入番号46937)。下記大惣番号札は第2冊表紙にあるもの。全20巻。各冊内題は「和州舊跡幽考」。第15冊裏表紙には「名所ニツの内」と書かれた小札あり。

5-83ヤ4 さ六番一欠拾四冊 3円50銭

30742 <sup>ヨシノヤマヒトリアンナイ</sup> 吉野山独案内 巻(一〜三)  
・弐(四〜六) 大1帙6冊を合綴2冊<sup>(1671)</sup>  
謡春庵周可著・自跋 寛文11跋

吉野屋惣兵衛

※第1冊の扉に「全六帖合二冊/山門難定院莊蔵」とある。吉野山の名所について, 俳諧発句

を列挙する。絵入り。

5-83ヨ2 さ四拾三番 2円50銭

30743 <sup>アリマランタウキ</sup> 有馬温湯記 大1帙1冊

林道春・杏庵正意著<sup>(1621)</sup>

元和7成(道春), 寛永4成(杏庵), 寛文11刊<sup>(1671)</sup>

小川伊兵衛

※前半が(道春)「攝州有間温湯記」で柱書「有間温湯記」, 後半が(杏庵)「攝州有馬温湯記」で柱書「有馬温湯記」。朱引を書込む。刊記の上に「升清」印あり。

7-46ア1 さ五拾三番 20銭

30744 <sup>タフノサハ</sup> 塔 澤 温泉根本記 大1帙1冊  
周海著・自序, 旬徳刀有隣堂跋<sup>(1699)</sup>

元禄12序, 同13刊・跋<sup>(1700)</sup>

江戸 美濃屋又右衛門(増上寺門前)

※表紙右上に「地」の札あり。序題「相州塔澤温泉記」, 跋題「塔澤温泉記」, 柱書「温泉記」, 小口「温泉根本記」・「トウノサハヲン泉キ」。

7-46ト1 さ五拾四全 30銭

30745 <sup>エイリ</sup> 入 江戸大絵圖 絵図1枚※参照  
貞享2刊<sup>(1685)</sup>

江戸 表紙屋市郎兵衛(浅草瓦町)

※「本邦都府図(二)」函(書庫内別置)の内に入る。大きさは, 折って27.9×17.6cm, 広げると140×140cm。彩色を施す。

5-84都府14 大惣番号札剥落 1円50銭

30746 <sup>ゾウホ</sup> 増 補 江戸大絵圖 入 絵図1枚※参照  
延宝9刊<sup>(1681)</sup>

江戸 表紙屋市郎兵衛

※「本邦都府図(一)」函(書庫内別置)の内に入る。大きさは, 折って25.9×17.7cm, 広げると, 128×143cm。彩色を施す。題簽右に「延寶九辛酉六月板」と書かれた小札あり。表紙左上に「蔵」と書かれた小札あり。

5-84都府2 大惣番号札剥落 1円50銭

30747 <sup>エドゾカンカウモク</sup> 江戸圖鑑綱目 乾・坤

乾は大1冊, 坤は絵図1枚※参照

石川流宣俊之著・画・自跋<sup>(1689)</sup> 元禄2刊

江戸 相模屋太兵衛

※「本邦都府図(二)」函(書庫内別置)の内に  
入る。坤冊の大きさは、折って26.7×17.7 cm、  
拡げると134×138 cm。乾冊題籤下に「上」の  
札有り。坤冊題籤の「坤」を塗抹、その右に  
「元禄式年板」と書かれた小札あり。両冊共に  
表紙左上に「蔵」と書かれた紙あり。

5—84都府12・13 さ千五百二十七全式 2円

30748 <sup>ハウエイ</sup> 實 永 <sup>クラクサイケン</sup> 花洛細見圖 一〜十五

折本 大1帙15冊

金星平右衛門序

京 洛陽絵本所金星平右衛門(二条)

※第2・5・8・10・12・14冊題籤は「<sup>華</sup>華洛細  
見圖」と「華」字を用いる。序題・目録題「花  
洛細見圖」。

京カ2 さ五百三拾巻全部拾五冊 7円

30749 <sup>イツニツキ</sup> 伊豆日記 壹〜参 大1帙3冊

應齋著・画

書肆・刊年不明

※伊豆七島の紀行。第3冊はほとんど絵。

5—85イ2 ふ四百十六全三 1円50銭

30750 <sup>トウカイダウエキロノスズ</sup> 東海道ゑきろ之鈴(巻一)〜巻五  
半1帙5冊

大曾根佐兵衛著 宝永6刊

京 出雲寺和泉掾

※巻頭の内題「驛路之鈴」。絵入り。目次を記し  
た脇題籤を附す(第1冊は剥落)。「天保八酉九  
月求之/尾陽住人奥邑持之」(第1冊末)ほか  
書込みあり。

5—83ト1 大惣番号札剥落 50銭

30751 <sup>カマクラモノガタリ</sup> 鎌倉物語 一〜五 大1帙5冊

中川喜雲著・自序, 菱川師宣画, 田作未葉跋

(1659)  
万治2刊

京 安田十兵衛(寺町誓願寺前)

※大惣印なし。地誌。絵入り。

5—83カ10 大惣番号札原欠か 3円50銭

30752 <sup>ナガサキミヤゲ</sup> 長崎土産 乾・坤 半1帙2冊

編者未詳, 前悪性大臣嶋原金捨跋 延宝9序・跋

書肆不明

※遊女評判記。『近世文学資料類従 仮名草子 編  
36』に本書を底本とする影印がある。長崎の廓  
の総合案内書。絵入り。「元禄九年の書目に、  
京吉野屋惣兵衛板とす。」「(『浮世草子年表』)と  
いう。「長崎住」の逸名序あり。

貴3—47ナ1 つ四十六番全式冊 10円

30753 <sup>イチノタニス マメイシヨキ</sup> 一之谷須磨名所記 半1帙1冊  
(1694)  
元禄7刊

京 銭屋四郎兵衛, 江戸 銭屋五郎兵衛

※題籤剥落。表紙右上に白い小札あり。大惣印な  
し。末の扉に「小船町四郎三良」「臥龍亭圖」な  
ど書込みあり。逸名序あり。

5—83イ6 大惣番号札原欠か 30銭

30754 <sup>ボクスイウランシ</sup> 墨水遊覧誌 上・下 大1帙2冊  
花屋敷菊塙編, 岸本由豆流序, 大窪詩佛序  
(1828)  
文政11序(詩佛)

花屋鋪蔵板

※序6丁の後に31丁・32終丁の2丁が入る乱丁あ  
り。彩色刷りの絵3面あり。

5—83ホ3 さ四拾八全式 50銭

30755 <sup>セツセイ ヒヤウゴメイシヨキ</sup> 西 兵庫名所記 半1帙1冊  
植田下省子著・自跋, 舩澤醫生序 宝永7序・跋  
(1710)

摂州兵庫津 菊屋新右衛門

※目録題・巻頭内題「兵庫名所記」。表紙右上に  
「地」と書かれた小札あり。巻上・下より成る。

5—83ヒ4 つ四拾番合巻冊 25銭

30756 <sup>カヒメイシヨウシ</sup> 甲斐名勝志 一・二三・四五  
半1帙3冊を合綴1冊

萩原元克著, 源光章序, 源憲時跋  
(1782) (1783)  
天明2序, 同3刊

萩原元克蔵板(甲斐国山梨郡田中), 江戸 須  
原屋伊八(東叡山池之端仲町)

※跋題「峡中名勝志」。第1冊表紙に「地」と書  
かれた札がある。3冊を表紙ごとくよりで1冊  
に合綴。

5—83カ7 つ三十八番全三冊 40銭

30757 <sup>マツシマツシ</sup> 松島圖誌 半1帙1冊  
鼓缶子(桜田質)著, 東澤画 (1820) (1821)  
文政3奥書, 同4刊

数学書院蔵版, 京 植村藤右衛門, 江戸 須原  
茂兵衛, 大阪 浅野彌兵衛

※巻末に「鼓缶子著述書目」あり。原題籤をはさ  
み込んである。

5—83マ1 大惣番号札剥落 10銭

30758 <sup>アタミランセンゾキ</sup> 熱海温泉圖彙 半1帙1冊  
山東庵京山編・自序, 岩瀬京水・溪齋英泉・歌川國  
安画 <sup>(1830)</sup> 文政13序・奥書, <sup>(1832)</sup> 天保3刊

江戸 錦耕堂山口屋藤兵衛(馬喰町二丁目)

7—46ア3 つ七拾三番 10銭

30759 <sup>エイリ</sup> 入都歳時記 一〜五 大1帙5冊  
<sup>ミヤコサイジキ</sup> 坂内山雲子著・自序 <sup>(1674)</sup> 延宝2序  
書肆不明

※序題「都歳時記」。柱書「四季一(〜五)」。11  
月・12月の部分を欠く。大惣以外の印数種あり。  
第1冊題籤右に「故」と書かれた札あり。『山  
城四季物語』の改題本。30735参照。

京ミ2 や九百四十三全五冊 2円50銭

30760 <sup>ナニヘツサウコゾセツ</sup> 浪速上古圖説 附・浪速上古圖

大1冊および大本大の折本1冊  
<sup>(1795)</sup> <sup>(1800)</sup>

中村直躬著・武庫春海序 寛政7序, 同12刊

大坂 柏原屋清右衛門(心齋橋筋順慶町北江入)  
・同佐兵衛(同), 兵庫 本屋源兵衛(川畚町)

※「本邦都府圖(四)」函(書庫内別置)に入る。  
末尾に本書の紹介あり。2冊共「地」と朱書さ  
れた小札あり。

5—84都府47・48 さ四拾七共式冊 50銭

30761 <sup>ブンゴフドキ</sup> 豊後風土記 大他1冊と合1帙1冊  
写本

※内題「風土記 豊後國」。もう1冊の写本『豊  
後風土記』と併せ1帙。末尾に「寫本云 永仁  
<sup>(1297)</sup> 五年二月十四日書寫畢同十九日一校了 文祿四  
<sup>(1595)</sup> 乙未年臘月三日書寫校合等了」と記す。

5—83フ2 大惣番号札剥落 10銭

30762 <sup>スルガミヤゲ</sup> 駿河土産 壹〜三 半1帙3冊  
写本

※末尾内題「駿府土産」。『国書総目録』によれば

著者は大道寺重祐(友山)。

5—63ス1 百四拾式全三 30銭

30763 <sup>トウイウザツキ</sup> 東遊雜記 一〜十 半1帙10冊  
古河古松軒(古河辰)著・自序 <sup>(1789)</sup> 寛政元成  
写本

※20巻より成る。絵入り。第2・3冊の題籤は中  
にはさんである。

5—83ト5 大惣番号札剥落 1円50銭

30764(1) <sup>サイカウ</sup> 再校江戸砂子 一〜三・四上・四下・  
<sup>エドスナゴ</sup> 五上・五下・六 半1帙8冊

崔下菴沾涼著・自序・自跋, 恒足軒再校, 冬涉訂,  
丹治政逸序, 田 <sup>(1732)</sup> 跋, 壬麟齋跋 <sup>(1770)</sup> <sup>(1772)</sup>  
享保17自序・自跋, 明和7序, 同9跋(田)・刊  
藤木久市

※上記書名は原題籤による。巻頭内題「再校江戸  
砂子温故名蹟誌」, 卷一凡例題「新編江戸砂子  
温故誌」・「再校江戸砂子名跡誌」, 柱書「再校  
江戸府名跡志」。第1冊題籤剥落。第1冊見返し  
に「續江戸砂子」等, 五つの書名が書込んであ  
る。続編は(2)参照。

5—83エ8 つ式十九全八冊 (2)共80銭

30764(2) <sup>シフキ</sup> 拾遺續江戸砂子 一〜五 半1帙5冊  
<sup>ソクエドスナゴ</sup> 菊岡沾涼著・自序, 門人跋 享保19跋, 同20序・刊  
江戸 若菜屋小兵衛(日本橋通二町目)

※巻頭内題「續江戸砂子温故名蹟志」, 柱書・跋  
題「續江戸砂子」。目録を記した脇題籤を各冊  
に附す。正篇は(1)参照。

5—83エ8 つ三十番全五冊

30765(1) <sup>アリマヤマランセンコカガミ</sup> 有馬山温泉小鑑  
半1帙(2)と合綴1冊  
<sup>(1685)</sup> 貞享2刊

有馬 菊屋五郎兵衛(有馬谷之町)

※絵入り。表紙に「地」と書かれた小札あり。見  
返しに「享保三年戌十月日」という書込みあり。  
<sup>(1718)</sup>

7—46ア2 つ七拾式 (2)共20銭

30765(2) <sup>イセノクニイチシゴホリサカキペランセンライイウ</sup> 伊勢國壹志郡 榊原温泉来由  
半1帙(1)と合綴1冊

伊勢榊原湯元 山川氏蔵板

※表紙(本文と同じ料紙)に「温泉来由記」と記され、「地」と書かれた小札あり。

7—46ア 2

- 30766 <sup>サンシウメイセキシ</sup> 山州名跡志 一〜二十 半2帙20冊  
白慧著・自序, 林懋直民序, 硯星跋  
(1702) (1704) (1711) (1711)  
元禄15自序, 宝永元跋, 同8序, 正徳元刊  
京 出雲寺和泉掾・小佐治半右衛門・中村孫兵衛・杉生五郎左衛門・小山伊兵衛  
※山城国の地誌。

5—83サ 5 大惣番号札剥落 1円50銭

- 30767 <sup>カハチメイシヨフ エ</sup> 河内名所圖會 前篇上・中・下  
・後篇上・中・下 大1帙6冊  
秋里離寫著・自序, 通齋主人序, 丹羽桃溪画  
(1801)  
享和元序・刊  
京 出雲寺文治郎・小川多左衛門・殿為八, 大坂 高橋平助・榊原喜兵衛・森本太助  
※前篇上冊の表紙に「南」, 後篇上冊の表紙に「西」とある。前篇下冊・後篇下冊に著者の「著述品目」があがっている。

5—83カ 6 さ百七番全三冊・さ百七番後全三冊  
1円

- 30768 <sup>カシマメイシヨフ エ</sup> 鹿島名所図絵 鹿・島 大1帙2冊  
北條時鄰著, 成島司直序, 知非齋主人源與清序, 鹿嶋連則瓊序, 岳亭八島定岡画  
(1823) (1824)  
文政6序(司直・与清), 同7刊  
京 勝村治右衛門, 大坂 秋田屋太右衛門, 江戸 須原屋茂兵衛  
※序題・巻頭内題・柱書「鹿島(嶋)志」。

5—83カ 3 さ百三拾七全式 40銭

- 30769 <sup>サイイウザツ キ</sup> 西遊雑記 一〜七 大1帙7冊  
古松軒著・自序  
写本  
(1789)  
※序に, 寛政元の出水で水によってやぶれた本から残った所を書写したという。絵図に彩色を施す。『国書総目録』によれば, 原本は天明3成。  
(1783)  
5—83サ 2 大惣番号札剥落 1円

- 30770 <sup>イセサングメイシヨフ エ</sup> 伊勢参宮名所図会 壹〜八 大1帙8冊

蔀関月(德基)編・画, 秋里湘夕(舜福)撰, 二緑園主人(藤波季忠卿)序, なはの海驢跋

(1797)  
寛政9序・跋・刊

京 菱屋孫兵衛, 大坂 吉文字屋市左衛門・柏原屋與左衛門・柏原屋嘉兵衛・塩屋平助・勝尾屋六兵衛・塩屋忠兵衛

※第6冊までが本文で第7・8冊は附録。奥書は第6冊と第8冊の両方にある。跋(第6冊にある)の前に広告がある。跋題「伊勢名所図会」。

5—83イ 2 さ百拾番全八冊㊟ 75銭

- 30771 <sup>キイノクニメイシヨフ エ</sup> 紀伊国名所図会 ※参照

大3帙17冊

(初・二) 高市志友著, 武内華亭訂, 西村中和画,  
(初) 前権中納言持豊序, (三) 池田東隣著・蔀関牛「筆耕」, 西村中和・小野広隆・上田公長画, 菅原孫序  
(1811) (1812) (1809) (1838)  
(初) 文化6序,  
同8刊, (二) 同9刊, (三) 天保8序, 同9刊

江戸 須原屋茂兵衛・前川六左衛門(初・二)  
・角丸屋甚助(二), 名古屋 永楽屋東四郎(初・二), 京 小川多左衛門(初・二)・鉛(鉛)屋安兵衛(初・二), 和歌山 帯屋伊兵衛, 大坂 糟屋仁兵衛(初・二)・勝尾屋六兵衛(初・二)・河内屋太助・湊屋大助(二)・山田屋嘉右衛門(二)

※17冊の構成は, (初) 一上・一下・二・三上・三下・(二集) 四上・四下・五・六上・六下・(三編) 一〜三・四上・四下・五・六。三編各冊末尾に「ナコヤ分笹嘉」の印がある。初集奥書のあとに広告あり。

5—83キ 1 さ百拾六番全五冊・さ百拾七番全五冊・さ百拾八番三篇七冊 3円50銭

- 30772 <sup>シフキ</sup> 拾遺都名所図会 平安城・左青龍・左青龍・後玄武・右白虎・前朱雀 大1帙5冊秋里湘夕著・自跋, 春朝斎竹原信繁画・跋, 藤原隆建序  
(1786) (1787)  
天明6自跋, 同7序・跋・刊  
江戸 山崎金兵衛(本石町十軒店)・前川六左衛門(日本橋南三丁目), 京 吉野屋為八(寺町通五條上ル町)

※自跋・跋の題「都名所図会拾遺」。第1・2冊末の内題「補遺都名所図会」。奥書の後に「名所記惣目録」あり。「醉月堂」「文教」「櫻井氏」

など旧蔵者の印がある。4巻より成る。

京ミ10 大惣番号札原欠か 1円

セフツメシヨヅエ  
30773 攝津名所圖會 ※参照 大2帙12冊  
秋里籬著・自跋, 竹原春朝齋画, 中山愛親御序

(1794) 寛政6序(前・  
(1798) 後編とも同一), (前) 同8自跋・刊, (後) 同10刊  
(前編) 京 小川太左衛門・殿為八, 大坂 柳  
原喜兵衛・田村九兵衛, (後編) は田村がぬけ,  
大坂 松村九兵衛・森本太助が加わる

※前編は, 武庫郡/菟原郡・矢田部郡上・同下・  
有馬郡/能勢郡, 後編は, 住吉郡一・東生郡二  
・東成郡/西成郡三・大坂部四上・同下・嵐下  
郡/嵐上郡五・豊島郡/河邊郡六上・河邊郡六  
下より成る。先に刊行された四冊(前編)には  
「さ百五番後篇四冊」の大惣番号が附され, 後  
の八冊(後編)は大惣番号原欠か。

5—83セ4 ※参照 2円

サイセンクワラクメシヨウヅエ ヒガシヤマノブ  
30774 再撰華洛名勝圖會 東山之部  
一〜五 大1帙5冊

晴翁木村明啓・樞園川喜多真彦(跋も)著, 半山樂川  
安信・春翠四方在延・東居樸川重寛画, 凌陰山翁序  
(1862) (1858)  
(文久2), 蔣潭蝦侶祚序, 藤原芳樹序(安政5)  
(1859) (1862)  
安政6成・跋, 文久2刊

江戸 須原屋茂兵衛, 大阪 河内屋喜兵衛・河  
内屋太助・河内屋和助, 京 笹屋成兵衛・越後  
屋治兵衛・俵屋清兵衛

※原題簃「花洛名勝圖會東山之部」。巻頭の 内題  
「東山名勝圖會」。序題(藤原)「東山名所圖會」。  
跋の後に広告あり。

京カ5 大惣番号札原欠か 1円75銭

シナノチメイカウ  
30775 信濃地名考 上・中・下 大1帙3冊  
吉澤鶏山好謙著, 源通魏序(明和8), 安原貞平序  
(1770) (1771) (1773)  
(同7), 静舎の宇万伎序(同8) 安永2刊

信州岩村田吉澤鶏山蔵板, 江戸 須原屋市兵衛  
(室町三丁目)

※柱書「科野名與勢」。下冊末に広告あり。上冊  
表紙に「居」と書かれた小札あり。

5—83シ2 さ三拾八全三 60銭

ヲハリメシヨヅエ  
30776 尾張名所圖會 壹〜七 大1帙7冊  
岡田啓・野口道直著, 春江小田切忠近画, 深田正詔

序, 深田精一序, 上田仲敏序, 磯村千春序

(1841) (1844)  
天保12序, 同15刊

名古屋 菱屋久兵衛(本町九丁目)・菱屋久八  
郎(伝馬町五丁目), その他「発行書肆」とし  
て名古屋・京・大坂・江戸の計11軒を挙げる  
※墨書題簃には「尾張名所圖會前編」とある。「松  
月堂記」という印や「松月堂勘助」という書込  
みがある。

5—83オ3 大惣番号札剥落か 75銭

サンカイメイサンヅエ  
30777 山海名産圖會 壹〜五 大5冊

法橋関月画, 木邨孔恭序, むまかし裳都支跋  
(1798) (1799)  
寛政10序・跋, 同11刊

大坂 高木遷喬堂・鹽屋長兵衛(心齋橋筋北久  
太郎町)

※巻頭内題「日本山海名産圖會」。「室小路花榮  
藏」という書込みや印がある。

9—01サ1 さ百六拾番全五 50銭

ナリタサンケイキ  
30778 成田参詣記 一〜五 大1帙5冊

中路定俊著, 中路定得補, 法印照嶽序  
(1854) (1858)  
嘉永7序, 安政5刊

新勝精舎蔵板

※上記書名は見返し内題による。原題簃「成田名  
所圖會」。『国書総目録』は「長谷川雪堤等画」  
とする。「榊原蓬菴藏書」印あり。

5—83ナ7 さ百六拾貳番全五冊⊖ 1円25銭

シンベンカマクラシ  
30779 新編鎌倉志 壹〜九 大1帙9冊  
河井恒久著, 松村清之訂, 力石忠一補・序, 霍山野  
節序, 大明東皐心越傳序, 茨木方淑跋

(1684) (1685)  
貞享元序(力石・越傳), 同2序(野節)・跋  
洛陽書肆柳枝軒蔵板

※第4冊は, 他より縦が短く, 横が長い。第4冊  
には「江府海禪什物 慧林周光置焉」という印,  
その他には別の印がある。

5—83シ10 さ拾壹全九 2円

セイヤウザツキ  
30780 勢陽雜記 一〜六 大1帙6冊  
山中為綱著・自序 (1856) (1780)  
明暦2序・宝暦10写

写本 篠田宣淨写

※題簃・扉には各巻の郡の名が書込まれている。

5—83セ2 大惣番号札剥落 1円



30781 パンシウメイシヨジュンランツ エ 播州名所巡覧圖繪 一〜五  
大1帙5冊

村上石田著、中井寛江画、勉亭主人（富小路三位貞直卿）序、藍江中直跋 享和3序・跋、文化元刊  
大坂 柏原屋清右衛門・柏原屋与左衛門・勝尾屋六兵衛・塩屋忠兵衛  
5—83ハ1 さ百拾四全五冊 50銭

30782 アツミメイシヨツ エ 近江名所圖會 一〜四 大1帙4冊  
秦石田・秋里籬島著、部關月・西村中和画、龍公美題言 文化11刊  
大坂 塩屋忠兵衛・河内屋喜兵衛・河内屋太助  
※扉の題「琵琶湖勝概全覽圖會」。一「江南之部」、二・三「西江之部」、四「江東之部」。卷末に河内屋太助の「名所記総目録」あり。  
5—83ア5 さ百拾毫全部四冊㊦ 75銭

30783 スミヨシメイシヨツ エ 住吉名勝圖會 卷一〜五  
大1帙5冊を合綴1冊  
秋里籬島著、花洲主人（藤波三位寛忠卿）序 寛政6刊、同7序  
大坂 大西甚七（高麗橋上人町）、京 藤井孫兵衛（御幸町御池下ル）、江戸 西村源六（通本町三町目）・雁金屋治右衛門（同）  
※原題箒は破れかかっているが「攝津國／□一宮」という角書がある。  
5—83ス1 □六□三㊦ 50銭

30784 ヤマトメイシヨツ エ 大和名所圖會 一〜七 大1帙7冊  
秋里籬島著・自跋、春朝齋竹原信繁画、清原宣浄（佩菊主人）序 寛政3序・跋・刊  
京 小川多左衛門・殿為八、大坂 柳原喜兵衛・高橋平助  
※第1冊表紙に「拾番」の小札あり。  
5—83ヤ5 さ百六番全部七冊 80銭

30785 チクゼン ナ ヨセ 筑前名寄 乾・坤（上・下）  
半1帙2冊  
貝原篤信編輯・跋 元禄4跋、同6刊  
京 柳枝軒茨城方道  
※乾冊に御笠郡・那珂郡・糟屋郡、坤冊に宗像郡・遠賀郡・夜須郡・上座郡・早良郡・怡土郡・志摩郡を収める。乾冊表紙に「地」の札あり。見返しに「上下／全山門／難陀院莊嚴藏」とあり。

る。名所歌集。

5—83チ2 つ四十式番全二冊 30銭

30786 サカヒカガミ 堺鑑 上・中・下 半1帙3冊  
衣笠氏一閑宗葛著・自序 天和3序、貞享元刊  
京 文台屋治郎兵衛  
※上册表紙に「地」「全三冊」の札あり。  
5—83サ3 つ三十七番 50銭

30787 アタゴミヤガ 愛宕宮笥 中1冊  
著者未詳 元禄12刊  
京 大和屋猪兵衛（あたらし町下山崎町）  
※上・中・下巻より成る。原体裁3冊を合綴。自序あり。愛宕山の由来と防火法・消火法を記す書。  
9—69ア1 大惣番号札刺落 50銭

30788 ニジフシハイジュンバイツ エ 二十四輩順拜圖會 一〜五・  
後編一〜五 大2帙10冊  
僧了貞著・自序、玉泉洞水題言（前）、實明題言（後） 享和3刊  
京 菱屋孫兵衛、江戸 松本平助、大坂 小刀屋六兵衛・海部屋勘兵衛・勝尾屋六兵衛・河内屋太助  
※真宗の高祖・聖人の旧蹟を記す。後編は前編と同じ刊記だが、題言が文化6。  
5—83ニ4 さ百五拾六番前編五冊㊦  
・さ百五拾七番後編五冊㊦ 2円25銭

30789 カマクラシヤク 鎌倉志略 半1帙1冊  
写本  
※鎌倉地誌。  
5—83カ9 ゆ九百八拾四全 1円

## 日記・紀行

30790 スミミグサ 涼み草 乾・坤 半1帙2冊  
建部綾足著  
写本  
※『国書総目録』によれば、伴蒿蹊編。版本は寛政6刊。題箒に「綾足紀行」と書込みあり。別

名「綾足道之記」。

5—85ス4 ゆ九百六拾八全貳〇 50銭

30791 手ことの花 大1帙1冊

僧月坡著

書肆・刊年不明

※原題籤中に「道之記」と墨書、表紙に「紀」の  
小札あり。『国書総目録』によれば、元禄2〜  
(1693) 6成立。絵入り。

5—85タ1 ふ四百五拾毫 20銭

30792 相馬日記 一〜四 大1帙4冊

高田與清著、北條時鄰注・序、大寂庵立綱序、源知  
賢序、藤原常彦跋、喜多村節信跋、大石千弘跋  
(1818) 文政元序・跋・刊

江戸 角丸屋甚助(桃町平河町二丁目)・伊勢  
屋忠右衛門(京橋銀座二丁目)

※伊勢屋を売弘所とする菓の広告あり。

5—85ノ3 ふ四百拾毫全四 40銭

30793 杉田日記 半1帙1冊

清水演臣著、小川勇魚序、藤原因之跋  
(1809) (1810)  
文化6刊、同7跋

江戸 萬笈堂英遵英平吉(神田鍋町)

※表紙に「居」の小札あり。

5—85ス2 れ二百四十八 10銭

30794 庚子道の記 大1帙1冊

武女著、清水演臣標註・跋、村田春海・橘千蔭序  
(1720) (1809)  
享保5成、文化6刊

江戸 英平吉(神田鍋町)・小林新兵衛(日本  
橋通二丁目)

※表紙に「紀」の小札あり。

5—85カ7 ふ四百六拾六 15銭

30795 長崎紀行 大1帙1冊

常州水戸長玄珠著、奥田元継序  
(1767) (1805)  
明和4成、文化2序・刊

江戸 小倉仁兵衛(本石町四丁目)、京 林伊  
兵衛(二条富小路)・藤井孫兵衛(御幸町御池)、  
大坂 森本太助(心斎橋唐物町)・田邑九兵衛  
(同安堂寺町)・浅野弥兵衛(高麗橋一丁目)

※原題籤に「水戸赤水先生記」と記されている。

5—85ナ1 ふ四百七十毫 30銭

30796 帰家日記 上・中・下 半1帙3冊  
(1700) (1718)  
井上通女著、跡部良顕跋 元禄13跋、正徳6刊

京 柳枝軒茨城信清(六角通御幸町西街)

※讃州丸亀の著者の、「あづまより帰郷の道之記」。

5—85キ10 れ貳百拾毫全三冊 50銭

30797 菅家須磨御記 大1帙1冊  
(1809) (1810)  
成田梅甫書 文化6奥書、同7刊

春日樓藏板、江戸 須原屋茂兵衛、大坂 河内  
屋喜兵衛・秋田屋太右衛門、名古屋 永楽屋東  
四郎、金沢 松浦善兵衛、富山 紅屋伝兵衛、  
松坂 藪屋勘兵衛、山田 文墓屋庄左衛門、京  
林伊兵衛・天王寺屋市郎兵衛・河南四郎兵衛  
・河南儀兵衛

※題籤右横に「筆道」と記した小札あり。「勢州  
四日市伊達氏家蔵」朱印あり。

8—43カ11 や四百七十六 20銭

30798 鴨長明方丈記

著者未詳 大1帙1冊  
(1658) 明暦4刊

京 長谷川市良兵衛  
(1657)

※巻頭に明暦3の無名の解題あり。絵入り。

4—30ホ2 ふ五百六拾九 50銭

30799 鴨長明 方丈記流水抄 巻上・下  
大1帙2冊を合綴1冊  
(1706) (1719)

榎島昭武著・自序 宝永3成、享保4刊

京 長谷川市郎兵衛(二条通清明町)、江戸  
同正右衛門(東叡山池之端)

4—30ホ3 ふ五百七拾毫番 50銭

30800 菅笠日記 上・下 大1帙2冊  
(1772) (1795)  
本居宣長著 明和9成、寛政7刊

伊勢 柏屋兵助(松坂日野町)、京 銭屋利兵  
衛(寺町通四条上ル町)

※下冊原題籤および各冊内題は上記の通りだが、  
上冊原題籤は「須我笠の日記」。柱書「すがゝ  
さ日記」。初瀬・吉野・飛鳥の紀行。

5—85ス3 ふ四拾毫全貳冊 30銭

30801 盛の花の日記 大1帙1冊  
(1801) 享和元刊  
竹村尚規著

書肆不明

※著者・刊年は『国書総目録』による。大和・山城の紀行。文中に「時は享和のはしめの年の…」という。

5—85サ2 ふ四百六拾番 20銭

30802 スズノヤ ウシ ミヤコニツ キ  
鈴屋大人都日記 上・下 大1帙2冊

本居宣長著, 石塚龍麿編, 安田廣治序, 夏目蓼麻呂跋 (1819) 文政2跋

書肆不明 下冊末に「萩園蔵板」の印あり

※上册表紙右上スミに「居」の札が貼られている。内題「都日記」。

5—85ミ2 ふ四百貳拾五全式 35銭

30803(1) イウサイミチノキ  
幽斎道之記 大1帙(2)と合綴1冊 (1669)  
細川幽斎著 寛文9刊

京 吉田四郎右衛門

※『丙辰紀行』の原表紙を用いて(2)と合綴。上記書名は内題による。墨書題籤は「細川幽斎道之記」。表紙に「紀」「千四十六」などの札あり。

5—85へ1 ふ四百七十三 (2)共50銭

30803(2) ヘイシンキカウ  
丙辰紀行 大1帙(1)と合綴1冊 (1616) (1638)  
林道春著 元和2成, 寛永15刊

京 風月宗智 (二条通観音町)

※『幽斎道之記』と合綴。原題籤をとどめる。

5—85へ1

30804 トウハンニツキ  
東藩日記 大1帙1冊 (1806) (1815)  
茅原元常著, 権大納言愛親序 文化3序, 同12刊

江戸 須原屋伊八, 大坂 藤原弥兵衛, 京 菱屋孫兵衛・石田次兵衛・野田藤八・石田吉兵衛・林伊兵衛

※表紙に「三十四丁目ニ富士山臨観圖」と記した小札あり。

5—85ト8 ふ四百七拾番 30銭

30805 サイイウキカウ  
西遊紀行 上中・下

大他4冊と合1帙2冊

熊坂台州著, 熊耳餘承裕序, 龜山松崎惟時序 (明和6) (1769) (1762) (1771) 明和8刊

江戸 藻雅堂舟木嘉助蔵版 (日本橋平松町)・須原屋市兵衛・同嘉助

※同帙に収める『別録』一〜四の4冊は大惣本にあらず。藻雅堂蔵板目録を付す。

5—85セ1 大惣番号札剥落 50銭

30806 セイヤウウキ  
勢陽游記 大1帙1冊 (1878)  
熊谷立閑著・自序 延宝6刊

京 中村孫兵衛 (高辻通雁金町)

※表紙右上スミに「紀」の小札あり。

5—85セ8 ふ四百五拾六 20銭

30807 タミノノニツキ  
田簀の日記 大1帙1冊 (1821) (1822)  
衣川長秋著, 紀道男序 文政4序, 同5刊

衣川蔵板, 大坂 穂田屋太右衛門 (心斎橋安堂寺町南入), 京 河南儀兵衛 (三条通寺町西入町)

※出雲紀行。末尾に本居大平の和歌2首あり。

5—85タ2 ふ四百六十五 20銭

30808 サウロセンセイヤマトミチノキ  
草廬先生大和道之記

草廬先生河内道之記 大1帙2冊 (1782)  
(大和道之記) 龍草廬著, 谷川延容序 天明2序  
書肆不明

※表紙に大惣番号札と「紀」と記した札をはり, 原題籤に「上」と書込み。末尾の内題「大和路記」。表紙・題籤の体裁より, 書肆は「河内道之記」と同一と思われる。

(河内道之記) 龍草廬著, 紀舟筱跋 天明3跋・刊 江戸 澤田吉左衛門

※原題籤に「下」と書込み。末尾の内題「河内の記」。

5—85ソ4 ふ四百貳十貳合式 50銭

30809 イセダノシルベ  
伊勢路のしるべ 半1帙1冊 (1750)  
寛延3序

書肆不明

※『国書総目録』によれば, 石崎文雅著, 宝暦元刊 (1751)

5—85イ1 そ千六拾九全 15銭

30810 ヲヅミノスサビ  
小嶋のすさび 半1帙1冊 (1694)  
二条良基著 元禄7刊

京 銭屋四郎兵衛 (河原町), 江戸 銭屋五郎兵衛 (芝)

※原体裁は上・下2冊か。30962参照。上記書名は序題によるが本文内題は「小嶋のすさみ」。

「紀／ 良基公／道之記」の小札あり。

5—85オ1 れ式百式十六合〇 15銭

30811 <sup>サゴロモノキ</sup> さころもの記 大1帙1冊  
写本

※御伽草子。表紙に「言」と記された小札あり。

4—40サ2 大惣番号札剥落 15銭

30812 <sup>サラシナノニツキ</sup> 更科日記 上・下 大1帙2冊  
菅原孝標女著、西門蘭溪校・凡例 (1834) (1838)  
天保5凡例、同9刊

江戸 岡田屋嘉七(芝神明前)・西宮彌兵衛(中橋広小路町)・小林新兵衛(日本橋通二丁目)・山城屋佐兵衛(同所)・英大助(本石町十軒店)・須原屋茂兵衛(日本橋通一丁目)・須原屋佐助(同通四丁目)・須原屋伊八(浅草茅町二丁目)

※凡例いわく「此書元録十七年板ノ半帙本ヲ正本ニシテ塙本古写本ニテ校合セシ也」。大尾の内題「さらしなの日記」。

4—30サ2 ふ四百三十巻全式 40銭

30813 <sup>イザヨヒノニツキ</sup> いさよひの日記 半1帙1冊  
阿仏尼著 (1659) 万治2刊

京 林和泉(今出川)

※絵入り。見返しに「一番」と墨書。

5—85イ3 れ式百四十三 15銭

30814 <sup>ムラサキシキブニツキバウチユウ</sup> 紫式部日記傍註 上・下 大1帙2冊  
紫式部著、藤原隆美序、壺井安鶴翁注・自跋、谷村光義後補 (1729) 享保14序・跋

錢屋儀兵衛

4—30ム3 ふ五百六拾八全式冊 30銭

30815 <sup>ヤヲカノニツキ</sup> やをかの日記 大1帙1冊  
岩雲花香著・自序、片野善長跋 (1831) 天保2序  
書肆不明

※内題・柱書「八日記」。富士山紀行。岩雲大人の著述書目を附す。絵入り。

5—85ヤ1 ふ四百六拾式 10銭

30816 <sup>マツシマニアソブキ</sup> 遊松島記 大1帙1冊  
紀徳民(平洲先生)著 (1784) 天明4刊

江戸 須原屋嘉助

※原題簽「松島紀行平洲先生全」。題簽右上に「紀」の小札あり。

5—85マ1 ふ四百六拾八 15銭

30817 <sup>カシマニツキ</sup> 鹿島日記 上・下 大1帙2冊  
高田與清著、長谷川宣昭序、澤近嶺跋、春斎英笑面 (1822) 文政5序・跋

書肆不明

5—85カ3 ふ四百式拾六合式 40銭

30818 <sup>サンダウカウキ</sup> 山道行紀 大1帙1冊  
松井河樂著、松木孟賢序 (1706) 宝永3序・刊

岡山 中野孫左衛門(西中島町)

※漢詩集。東山道經由江戸から岡山までの紀行。

5—85サ3 ふ四百六十巻 10銭

30819(1) <sup>トラウウキカウ</sup> 東奥紀行 大1帙(2)と合綴1冊  
長久保赤水著、長中行「訂正標註」、東讃柴邦彦序、南汀鞠方序 (1791) (1792) 寛政3序(柴)、同4刊

水戸長久保氏藏版、江戸 北沢伊八(東叡山池之端)、京 小川太左衛門(誓願寺通御幸町西入)、大坂 浅野弥兵衛(高麗橋一丁目)

※(2)参照。紀行自体は宝暦10のこと。題簽は「<sup>標註</sup>東奥紀行<sup>附北越七奇</sup>水戸赤水先生」、巻頭内題は「赤水先生東奥紀行」とある。

5—85ト4 ふ四百五拾七 (2)共30銭

30819(2) <sup>シカイキカウ</sup> 紫海紀行 大1帙(1)と合綴1冊  
松延年子長著、金峰宮田明序、紀南西況序 (1776) (1777) 安永5序(西)、同6序(宮田)、同7刊

江戸 嵩山房小林新兵衛

※(1)(2)は『東奥紀行』の原裝表紙を用いて合綴。紀行自体は明和9のこと。

5—85ト4

30820 <sup>カシラガキ</sup> <sup>ミノブカウキ</sup> 首身延行記 上・中・下 大1帙3冊

元政著、横一東子昭武序

(1659) (1698) (1704)  
万治2成、元禄11序、同17刊

京 村上平楽寺(銅駝坊)

— 日記・紀行、道中記 —

※上冊後補墨書題簽は「身延行記」，中・下冊原  
題簽は「<sup>首</sup>身延行記」，巻頭内題は「身延道之  
記」。

5—85ミ1 ふ四百拾三全三 60銭

カモノチャウメイアツマミチノキ  
30821(1) 鴨長明東路之記

大1帙(2)と合綴1冊

鴨長明著

書肆・刊年不明

5—85ア1 ふ四百五拾四 (2)共30銭

ユザハキカウ  
30821(2) 湯沢紀行

大1帙(1)と合綴1冊

南詢病居士著・自跋

(1700)  
元禄13刊

江戸 舛屋(日本橋南一丁目)，京 川端五郎  
右衛門(五条橋通扇や町)

5—85ア1

アリマニツキ  
30822 有馬日記

大1帙1冊

本居大平著

(1782)  
天明2成

写本

※奥書に「右大平翁有馬日記辰四月筆取五月下旬  
寫訖，筆者伊唯」とある。表紙に題名を打ちつ  
け書し，「大平翁」と小さく記す。

5—85ア3 ふ四百九拾弍 1円

ナンイウキカウ  
30823 南遊紀行

大1帙1冊

克庵居士著・自序，日齊散人序，弘庵居士大雅序，  
枕山大沼序，湖山樓主人序，萬松外史驚津序，静軒  
居士跋 (1853)

嘉永6序(いずれも)・刊

日新書屋

※原題簽には「一名四州行」と小さく記す。絵入  
り。漢文。南関東の紀行。

5—85ナ3 ふ四百七拾五全壹冊 20銭

サイイウキカウ  
30824 再遊紀行

大1帙1冊

山崎闇斎(嘉)著

(1859)  
万治2成

京 武村市兵衛(二条通松屋町)

※表紙に「紀」「千五十七」の小札あり。東海道  
紀行。

5—85サ8 ふ四百六拾九 15銭

カゲロフノニツキカイクワン  
30825 かけろふの日記解環

一〜十八

大1帙18冊

坂徴仲文甫著・自序，今城世網跋

(1782) (1783)  
天明2序・同3跋

書肆不明

※第1冊表紙に「十八冊 言部」の小札あり。

4—30カ1 ふ四百〇三番 3円

道 中 記

キヤウヘブタヘ (1885)  
30826 京羽二重 貞享二年版

6冊

廃棄

30銭

フジノユメ  
30827 富士のゆめ

横(14.0×19.8cm) 1帙1冊

堅木著，露竹序，蘭左跋

(1720)  
享保5成

写本

※秋葉山參詣の道中の句文をおさめる。

4—24フ3 大惣番号札剥落 3銭

ヤマトメグリノキ  
30828 和州巡覽記

中1帙1冊

貝原篤信著

(1698) (1721)  
元禄9成，享保6刊

京 柳枝軒茨城方英

※見返し内題の右に「和州ニ遊布者，此書ヲ持ス  
ルトキハ則チ靈地遺跡行程里數，郷導ヲ假ズシ  
テ足レリ」(原漢文)と記す。

5—83ヤ7 ち千七百八拾弍 10銭

ケイジャウシヨウラン  
30829 京城勝覧 上・坤

中1帙2冊

貝原益軒著・自序，下河辺拾水画

(1706) (1784)  
宝永3序，天明4刊

京 柳枝軒小川多左衛門(六角通御幸町西へ入  
町)

※題名は見返し内題による。第1・2冊ともに，  
表紙の中央上部に「京城勝覧」と打ちつけ書さ  
れている。第1冊題簽は剥落，その跡に「京都  
めぐり上」と墨書する。第2冊は「京都めぐり  
坤」の後補墨書題簽を貼付。奥付によれば「享  
保三年元板」。

京キ15 大惣番号札剥落 15銭

30830 ニツクワウサンメイセキシ 日光山名跡誌 中1帙1冊  
(1728)  
鷹橋義武著、菊岡沾原画 享保13刊  
鷹橋治郎左衛門(日光山御幸町)  
※著者及び画者は『国書総目録』による。「大惣」と刷り込んだ墨書後補題簽を使用。  
5—83ニ2 ち千七百六拾式 8銭

30831 ミノ 美濃しゅんれい手引 ジュンレイテビキ  
横(14.0×21.0cm)1帙1冊  
恵應・山本哥仲・神谷長治著、黄梅院主(恵應か)  
(1727)  
自序 享保12成・序  
写本  
※書名は題簽による。序題「美濃國三拾三所順禮記」。巻頭に「美濃國三拾三所観音順禮道之記」と記されている。奥書に朱で「宝暦六年丙子五月下流写之/宰主 福尾半兵衛/筆主 同文八」とある。  
5—83ミ3 大惣番号札剥落 5銭

30832 アツマノミチノキ 吾孀路記 中1帙1冊  
(1721)  
貝原益軒・谷重遠著、柳枝軒編・序 享保6序・刊  
京 柳枝軒  
※貝原益軒「吾妻日記」・谷重遠「東遊草」両書を「潤色合巻」した旨を示す享保6の書林序がある。扉に「文化十年」と書込みあり。虫損。  
5—83ア3 ち千七百五拾八 5銭

30833 キソダジエンランキ 木曾路巡覧記  
横(11.1×16.3cm)1帙1冊  
(1755) (1769)  
盧橋堂適志著・自序 宝暦5序・初刊、明和6刊  
大坂 河内屋茂八(心斎橋筋)・柏原屋清右衛門(同所)、京 小川多左衛門(六角通御幸町)、江戸 西村源六(通本町三丁目)・山崎金兵衛(十軒店)  
※巻末に「金鯨南上七軒/鷹羽庵/室小路花榮」と書込みあり。脇題簽剥落跡あり。  
5—83小別 □百六十三 5銭

30834 ナニハスズメ 難波雀 横(8.4×19.2cm)1冊  
(1679)  
水雲子著・自序 延宝7序  
書肆不明  
※墨書題簽に「延宝七年刊/難波雀 全」とある。  
巻末に落丁あり。  
5—83小別 ち千五百三拾五 10銭

30835 カイシヤウゾウホ 改正 ナニハマルカウモク 難波丸綱目 上之一・  
増補  
上之二・下之一・下之二・名所上・名所下  
・和泉□(一〜七)  
横(11.1×16.2cm)1帙7冊  
(1747) (1748)  
志田垣與助著・画 延享4凡例、同5刊  
大坂 田原平兵衛(順慶町一丁目)・石原茂兵衛(同五丁目)・人見理兵衛(南久宝寺町五丁目)・村田平七(心斎橋筋)・中村庄兵衛(綿袋町)・渋川與市(順慶町五丁目)  
※第1冊の第3丁表に「大日本米囊袋/五畿内五ヶ國之内/摂津難波丸上巻」,第5冊巻頭に「日本國花分明集巻第七下上/五畿内五箇國之内/攝州難波丸目録下」,第7冊巻頭に「日本國花分明集巻第五」とある。柱書は第1・2冊「摂州難波丸上」,第3・4冊「摂州難波丸下」,第5冊「摂州名所目録」・「摂津名所」,第6冊「摂津名所」・「摂州難波丸」,第7冊「和泉城下」・「和泉名所」。「改正」を「カイシヤウ」と読むのは、凡例中の振仮名による。表紙に「地」の小札あり。  
5—83ナ6 へ百拾五番 45銭

30836 エドソウガノコ 江戸惣鹿の子 一〜七  
横(11.5×16.6cm)1帙7冊  
松月堂不角著・自序  
書肆不明  
※第1冊表紙に「地」・「全部七冊」の2枚の小札あり。  
5—83エ9 へ百拾四番 1円30銭

30837 シコクヘン ロテカガミ 四國遍礼手鑑 小1帙1冊  
真念原著、曳尾子改訂・自序、雲石堂寂本跋  
(1697)  
元禄10序  
大坂 岡田三郎右衛門(呉服町)  
※序部分の柱書「四國手鑑」。  
5—83シ1 ほ八百五十五 10銭

30838 ニツクワウサンミチシルベ 日光山道しるべ  
横(10.6×16.3cm)1帙1冊  
著者未詳  
書肆・刊年不明  
※図入り。  
5—83ニ5 ほ八百七拾 5銭

- 30839 <sup>オリドメ</sup> 織とめ 一〜六  
横 (10.4×16.3 cm) 1 帙 6 冊  
(1689)  
孤松子著・自序 元禄2序・刊  
京 小嶋弥三右衛門 (二条高倉東へ入町)・小  
嶋徳右衛門 (新町通六角町)  
※原題簽には第1冊「織とめ」, 第2・4・6冊  
「おりとめ」, 第3冊「をりとめ」, 第5冊「お  
り留」とある。序題及び各冊目録題には「京羽  
二重織留」とある。  
京キ21 へ百十八番全六 45銭

- 30840 <sup>タンシウユシマダウチウヒトリアンナイ</sup> 但州湯嶋道中獨案内  
横 (7.2×16.2 cm) 1 冊  
(1763)  
著者未詳 宝暦13刊  
但馬 山崎屋勘十郎 (湯嶋中之町), 大坂 藤  
屋弥兵衛 (高らいばし一丁目)  
※絵入り。表紙に「地」の札あり。  
7—46タ小別 大惣番号札剥落 2銭

- 30841 <sup>シヨシウジユンランキ</sup> 諸州巡覽記 (一・二)・三・四・五  
中1帙5冊  
(1689) (1713)  
貝原益軒著 元禄2成, 正徳3刊  
京 柳枝軒茨木多左衛門 (六角通御幸町西入  
町)  
※上記書名は見返し内題による。原題簽には「諸  
州めぐり」とある。但し, その角書の部分は,  
第1・2冊では破損, 第3〜5冊には「南遊  
紀行」とある。各冊題簽に国名を記す。内容は, 第1  
・2冊が「西北紀行」上・下, 第3〜5冊が  
「南遊紀行」上・中・下である。  
5—83シ6 ち千七百六拾全五 45銭

- 30842 <sup>キソダノキ</sup> 岐蘓路記 中1帙1冊  
貝原益軒著・自序・自跋  
(1709) (1721)  
宝永6序・跋, 享保6刊  
京 柳枝軒茨木多左衛門 (六角通御幸町西へ入  
町)  
※上記書名は見返し内題による。第1〜6丁まで  
「岐蘓路名勝圖」あり。序題「東山道西帰之  
記」。内題「木曾路 (之) 記」。本文最終丁裏に  
(1713)  
「正徳三年孟春新版」とあり, 初版刊年と思わ  
れる。  
5—83キ2 大惣番号札剥落 7銭

- 30843 <sup>カイセイサイコクジュンレイダウチユウキ</sup> 改正西國順礼道中記 (上)・下  
横 (15.0×21.0 cm) 1 帙 2 冊  
(1738)  
福尾半十郎定裕著, 執古堂野夫跋 元文3成・跋  
写本  
※上記書名は巻頭の内題による。第1冊は題簽剥  
落, 第2冊は「西國順禮道中記下」と墨書題簽  
が貼られている。第1冊の表紙から巻頭部分に  
かけて虫損が著しい。  
5—83サ1 大惣番号札剥落 15銭

- 30844 <sup>イセサンダウリタイセウ</sup> 伊勢参道里程抄  
横 (13.7×20.0 cm) 1 帙 1 冊  
(1698) (1742)  
藤原信景著 元禄11成, 寛保2奥書  
写本  
※最終丁表に「山内小兵衛□□ (写之カ)」とあり,  
上から塗抹。題簽は剥落し, 表紙中央に「伊勢  
参道里程抄 全」と打ちつけ書きされている。  
5—83イ4 大惣番号札剥落 3銭

## 香・茶・生花

- 30845 <sup>ジツシユカウクラフヤマ</sup> 十種香暗部山 ※参照 大1帙2冊  
惠南著, 東麗叙雪百拙山人序, 龍作菅黄門公序  
(1725) (1729)  
享保10序 (百拙山人), 同14刊  
半華室蔵版  
※第2冊は「香筵玩具」(内題) の「附圖」(題簽)。  
8—63シ2 大惣番号札剥落 50銭

- 30846 <sup>ベンギョクシフ</sup> 辨玉集 畫工印・茶器 (乾・坤)  
大1帙2冊  
(1672)  
寛文12刊  
京 上村次郎右衛門 (二条通玉屋町)  
※画入り。上記書名は原題簽による。「乾 (坤)」  
は墨書。乾冊内題「畫工印章辨玉集」, 柱書「印  
章辨玉集」。坤冊は内題・柱書ともに「茶器辨  
玉集」。  
8—49へ1 ち五百二拾六式 1円50銭

- 30847 <sup>チャダウソウシヨ</sup> 茶道叢書 1冊  
廃棄 (早大大惣目録には「茶人系伝全集」として載

る。)

8—63チ16 30銭

- 30848 ハウチャセウシヨ 烹茶樵書 中1帙1冊  
曾永年著・自跋, 平寿海序 (1803) 享和3跋

曾占春蔵版, 江戸 前川弥兵衛

※画入り。題籤に「附 茶寮圖贊 (サレウツサン)」とある。著者は一名「詩佛居士大窪竹」。

8—63ホ1 ち七百四十二 10銭

- 30849 チャノ ユジツトクデン 茶の湯十徳伝 知・仁・勇 (一〜三)  
(上・中・下) 大3冊

写本

※奥書に云く、「右之書古從宗旦先生杉木普斎 不殘奥儀秘傳之書留なり 普斎以自筆書写之早」。

8—63チ17 こ五百五拾五全三 50銭

- 30850 ユキマダサチヤダウワクゲ 雪間草茶道感解 半1帙1冊

写本

※見返しに「茶人茶器之傳記也」と書込み。

8—63ユ1 そ六十番全巻冊 10銭

- 30851 ジベンチャリヤク 白辨茶略 半1帙1冊  
嵐翠子著, 瓦礫舎主人序 (1803) 享和3刊

張海 瓦礫舎蔵梓, 製本書肆 片埜東四郎

※表紙に「煎茶早指南」という小札あり。

8—63シ1 そ三十七番全巻冊 15銭

- 30852 センチャシヨウシフ 煎茶仕用集 上・下 半1帙2冊  
大枝流芳著 (1802) 享和2刊

大坂 柏原屋清右衛門 (心齋橋順慶町)・塩屋忠兵衛 (心齋橋北久太郎町), 江戸 西村宗七

※図入り。塩屋の蔵板目録あり。

8—63セ1 そ式十八番全式冊⊖ 20銭

- 30853 チャダウシヤウデンシフ 茶道正傳集 一〜四  
特大 (27.5×20.0 cm) 4冊 (1694) 元禄7奥書

写本

※奥書にいわく「右茶道傳法真之墓子者織田有樂公利休直傳無疑玄旦傳之書巻トス。玄旦弟子乘原ト云者, 改テ書之納織田貞置老予則不殘審 (ミセケチ懇) 望之上書写所如件」。

8—63チ12 こ五百五拾四全四 1円

- 30854 セキザンサイチャグヅフ・チクデンサウハウチャケツ 石山齋茶具圖譜・竹田莊泡茶訣

・チクデンサウチャセツ・セイワンチャワ・バイチャ  
・竹田莊茶説・青灣茶話・賣茶

ヲウデン・ケンカダウシヨザウバイチャヲウチャグヅ  
翁伝・兼葭堂所蔵賣茶翁茶具圖

半1帙1冊

写本

※「竹田莊茶説」までは大惣の半紙に筆写。のこりは文化15, 芸暉堂蔵として「渡邊某持本ヲ以テ寫之」という。図入り。また第2丁に「文政己丑」(12年=1829)と見える。

8—63チ1 そ六拾九番 20銭

- 30855 モンジャクシヨ 門尺書 天・地・人 (一・二・三)  
半3冊

写本

※図入り。表紙に「名物集」と小札あり。

8—49モ1 そ五拾式番全三冊 2円

- 30856 チャダウノシヨ 茶道之書 大1帙1冊  
写本

※図入り。

8—63チ14 こ五百七拾番 50銭

- 30857 チャシキツリヤク 茶式圖略  
特大 (28.9×20.4 cm) 1帙1冊

写本

※図入り。朱で註入り。

8—63チ7 こ五百七拾壹 30銭

- 30858 チャツボノヅ テンモクチャワンデン 茶壺之圖并天目茶碗傳  
特大 (27.4×20.0 cm) 1帙1冊 (1784) 天明4写

写本

※図入り。

8—63チ10 こ五百六拾五 50銭

- 30859 チャダウシヨシンシフ 茶道初心集 大1帙1冊  
古田織部著・奥書

写本

※利休相伝のよし奥書にあり。題籤に「古田織部」の名を書き添えている。



8—63チ13 そ六拾貳全 10銭

30860 <sup>チャダウシヲリ</sup> 茶道枝折 半1帙1冊

心空庵著・自序、青霄菴序

写本

※「星涯□」印あり。

8—63チ11 大惣番号札原欠か 10銭

30861 <sup>センチャリヤクセン</sup> 煎茶畧説 半1冊

澤田実成（楽水居主人）著・自跋、北邨春豊跋、池  
五山序 <sup>(1798)</sup> 寛政10跋

大坂 楽水居蔵版

8—63セ2 そ三十六番全巻○ 10銭

30862 <sup>コチュウロダン チャノユマチガヒバナシ</sup> 壺中炉談并茶湯間違漸

半1帙1冊

写本

※「壺中炉談」は実山（立花五郎左衛門）写を転  
写か。拓本のような刷り物を表紙に用い、□  
五十七の小札あり。「茶湯間違漸」には逸名  
序あり、奥書に天明5写、著者は織田秋水かと  
いう。大惣の半紙を使用。

8—63コ1 そ六十四番全巻冊 20銭

30863 <sup>ナンバウキツキヨゾクロク</sup> 南方喫去續録 半1冊

立花宗有実山著

写本 而生実山写

※「元禄十五年壬午夏 而生実山記之」と記す。  
あるいは更に転写したものか。30862『壺中炉  
談』の続篇で、表紙が同じ体裁。上記著者は  
『国書総目録』の「南方喫茶続録」の項による。

8—63ナ1 そ六十三全巻 20銭

30864 <sup>チャグオキアハセノヅ</sup> 茶具置合之圖 半1帙1冊

写本

※図入り。朱で注入。扉に「千家十一番道具置  
合圖 全」と記す。

8—63チ3 大惣番号札剥落 15銭

30865 <sup>チャダウハヤガテン</sup> 茶道早合点 2冊

庵棄（珊阿撰、明和8刊）

8—63チ15 20銭

30866 <sup>クンダイクワン サウ チャウキ</sup> 君臺觀左右帳記

特大 (30.0×21.3 cm) 1帙1冊

真相著

<sup>(1523)</sup> 大永3成

写本

※「大永三年十二月元日松雪齋鑑岳 真相在判  
右山口豆州公家藏酉閏九月写之」の記載あり。  
諸道具の記録。図入り。

8—63ク1 大惣番号札原欠か 30銭

30867 <sup>シヨクワシヤウカンロク</sup> 諸貨賞鑑録 上・下 半1帙2冊

写本

※表紙に「和漢之茶入類并和漢之織物切類之事を  
委敷書し本也」と記した札および「□百三十  
四」の小札あり。

8—52シ1 そ五十六全貳冊 50銭

30868 <sup>ラクヤキヒナウ</sup> 樂焼秘囊 上・下 半2冊

中田潜龍子著、東々主人序 享保18序、元文元刊

大坂 河内屋喜兵衛

※旧蔵者「蘭亭」ほかの蔵書印あり。

8—48ラ1 そ四拾五番全二冊茶 25銭

30869 <sup>インシヨクノブ</sup> <sup>飲食</sup> 之部 喫茶養生記 大1帙1冊

榮西著、塙保己一編

※内容は群書類従卷三百六十五、飲食之部中。表  
紙に「三百六十五」と書込みあり。「喫茶往来」  
（玄恵法印著）・「酒茶論」（蘭叔著）・「亭子院  
賜酒記」（中納言長谷雄卿）・「酒食論」・「北野  
大茶湯之記」と併せ収録。

8—63キ1 大惣番号札原欠か 15銭

30870 <sup>ココン</sup> <sup>古</sup> <sup>ソウホリツクワタイゼン</sup> 増補立花大全 半1冊

京 菊屋七郎兵衛（寺町通松原上ル町西側）

※原題簽に「圖入」とあり。

8—63リ2 そ百〇貳番全巻番 25銭

30871 <sup>イケバナサンジツバイノヅ</sup> <sup>ヒヤツバイノヅ</sup> 生花三十瓶之圖并百瓶之圖

特大 (28.3×20.2 cm) 1帙1冊

橘湖齋白龍翁撰・画、久埜藤原憲跋 <sup>(1795)</sup> 寛政7跋

写本

8—63イ1 □六百五拾三 30銭

30872 ショウゲツダウ コ リウブンタイクゼツ  
 栞月堂古流分體口説  
 特大 (27.3×20.3 cm) 1 帙 1 冊

是心軒一露著か  
 写本

※上記書名は、表紙への打ちつけ書。内題は「分  
 體口説」。立花の解説書。図入り。奥に「鶴鳴  
 舎九阜」署名と朱印あり。

8—63フ1 大惣番号札原欠か 15銭

30873 ショウゲツダウ コ リウイケバナシユツセイダン  
 松月堂古流生花出生傳  
 特大 (27.9×19.9 cm) 1 帙 1 冊

向陽軒加律著・自序 (1790) 寛政2写  
 写本

※画入り、朱入り。

8—63シ3 大惣番号札原欠か 10銭

30874 リツクワ ヒ ダンセウ  
 立花秘傳抄 卷之一〜六  
 特大 (28.0×20.5 cm) 1 帙 6 冊

富春軒仙溪著 (1688) (1829) 貞享5成、文政12写  
 写本

※図入り。各冊の内容は、一「常磐木之部」、二  
 「木通用花之部」、三「草之部」、四「七ツ枝ケ  
 條之事」、五「九品之花形立様之事」、六「立花  
 十九箇條秘傳抄」。

8—63リ3 二百六十三拾巻共六 1円

30875 サツクワゴク ヒ デン  
 挿花極秘傳 半1帙1冊

写本

※挿し花の図が殆どで、跋を添える。朱入り。あ  
 るいは「イケバナ——」とよむか。

8—63ソ1 そ百六拾四 10銭

30876 チ カ ラ ダサ  
 ちから草 半1帙1冊

白龍著・自序 (後篇)、雲水軒跋 (前篇) (1783) (1785) 天明3跋、同5序

写本

※絵入り。上記書名は墨書題簽による。扉と、中  
 程とに「ちから草生花前篇 (後篇)」と記す。

早大の大惣本目録では「ちから草」。また、  
 「抛入花聞傳不易」を附す。

8—63チ2 そ百六十式全巻 10銭

30877 ショリウヒダン  
 諸流秘傳 イケバナハヤ シ ナン  
 挿花早指南 前・後篇 中2冊

奏壽齋著、南無窓序 (前)、豊雪序 (後) (1798) (1801)  
 (前) 寛政11刊、(後) 享和元刊

江戸 大和田安兵衛 (大傳馬町二丁目須原屋)

※図入り。各冊原題簽は「挿花」を「生花」とす  
 る。

8—63イ2 ち七百四十五・ち七百四十六 30銭

30878 シヤウフウエンシウリウイケバナヒトリケイコ  
 正風遠州流挿花獨稽古 小1帙1冊

貞松齋米一馬著・自序、酔花山人跋 (1806)  
 文化3序・跋・刊

江戸 西村源六 (本石町二丁目)・小林新兵衛  
 (日本橋南二丁目)・野田七兵衛 (同町)

※画入り。上記書名は内題による。墨書題簽は  
 「生花ひとりけいこ」。表紙に「花」の小札あり。

8—63ソ2 ほ九百四十八 10銭

## 相 撲

30879 ショコクシンセン  
 諸國新撰 ココンスマフダイゼン  
 古今相撲大全 上・中本・  
 中末・下本・下末 (壹〜五) 中5冊

木村政勝著・自序、太平逸民序、蓮花亭主人跋 (1763)  
 宝暦13序・跋・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛 (大伝馬町三丁目)、大坂  
 吉文字屋市兵衛 (心齋橋南江四丁目)、京 大  
 和屋善七 (四条通油小路西江入町)・長濱屋九  
 郎右衛門 (三条通小橋西江入町)・八文字屋八  
 左衛門 (駄屋町通誓願寺下ル町)

※内題に角書なし。第4冊に大惣の薬広告の刷物  
 あり。

8—76コ1 大惣番号札剥落 1円25銭

## 諸 礼・書 翰

30880 ショレイシフ  
 諸礼集 壹〜七 大7冊

小笠原大膳大夫長時・同右近大夫貞慶著 (1669) 寛文9刊

一 諸礼・書翰，古銭書 一

京 野田弥兵衛

1—86シ5 こ九百〇七全七冊 50銭

ヲガサハラシツツケカタ

30881 小笠原 諸礼秘傳集 半1冊  
(1743) 寛保3写

写本

※表紙に「南升七礼全」「☐八十式」の小札あり。  
巻末に「右此一巻吉良流秘書他見仕間敷者也 于時寛保三亥九月 大森氏」とある。

1—86オ2 そ式百五十五 30銭

シヨレイシフ

30882 諸禮集 半1冊

写本

※表紙に「南升七礼」「中七十八」の小札あり。

1—86シ6 そ式百五十六 15銭

ヒヤクサンジツカデフ

30883 百卅 箇條 小笠原流 騷方書

半1冊

刊年不明

圓文院蔵書

※表紙に「三百五十五〇」「☐七礼」の札あり。

1—86オ1 そ式百式十七全 30銭

シヨレイシフ

30884 諸礼集 一—十六 大16冊

小笠原大膳大夫長時・同右近大夫貞慶ら著

写本

※早大の大惣本目録には22冊とあり，6冊失われたか。各冊の題簽に内容を記している。秘事を伝える側の人物として上原八左衛門定宣・水島ト也之成・山本樹山成富・五十嵐勝右衛門らの名を記す。伝えられたのは川合茂十郎・川合善八郎。第7・8冊は図。

1—86シ7 大惣番号札剥落 2円

シヨレイタイエウ

30885 書礼大要 大1冊

写本

※内題は「書礼法式」。末尾に「寛文六丙午歳」とあるのは書写年か。

1—86シ8 こ九百八拾三全 20銭

ニレイドウラン

30886 二禮童覧 上・下（喪礼・祭礼）

半2冊

藤井懶斎著・自序

(1660) 万治3序，元禄元刊 (1688)

京 中川茂兵衛（姉小路堀河東江入町）

1—86ニ1 そ式百拾五全式 15銭

シツケカタク デンキキガキ

30887 騷方口傳聞書 上・下

横 (14.0×21.0 cm) 2冊

写本

※内容は太刀折紙之次第・人相禮之次第など。

1—86シ9 そ式百五拾四全二 10銭

レイガクワジツカナメクサ

30888 禮學華實要種 一—三 半3冊

大館氏晴天涯著・自序

(1822) 文政5序・成

写本

※上記書名は内題による。墨書題簽は「禮學要種」。

1—86レ1 ゆ九百五拾巻全三 50銭

## 古 銭 書

ゾウ ホ カイセイコウハウヅ カン

30889 増補改正孔方圖鑑 半1帙1冊

福知山小澤辰元東市著・自序 天明4序，寛政2刊 (1784) (1790)

大坂 柏原屋清右衛門（心斎橋筋順慶町），江戸 西村源六（本町三丁目）・松本善兵衛（日本橋南二丁目）

※30890参照。

8—51コ3 そ四百十式全巻 15銭

ゾウ ホ カイセイテウワウコウハウヅ カン

30890 増補改正珍貨孔方圖鑑

半1帙1冊

福知山小澤辰元東市著 天明5成，寛政2刊 (1785) (1790)

大坂 柏原屋清右衛門（心斎橋筋順慶町），江戸 西村源六（本町三丁目）・松本善兵衛（日本橋南二丁目）

※古銭の図と「改正珍貨孔方圖鑑序説」から成る書。30889参照。

8—51チ1 そ四百拾三全巻 15銭

ワ カンコウハウヅ エ

30891 和漢孔方圖會

半1帙1冊

中谷顧山著・自跋，前川修来跋 (1728)

大坂 柏原屋清右衛門（心斎橋筋順慶町）・富士

— 古銭書、随筆写本 —

屋長兵衛（高麗橋壹丁目）

※上記書名は見返し内題による。原題簽は「孔方圖鑑」。

8—51コ2 そ四百拾壹全 15銭

30892 ホンテウホウクワツウヨウジリヤク・  
本朝寶貨通用事畧・  
コツ カ キンギンセン プ  
國家金銀錢譜

大1帙1冊

（本朝——）新井君美著

成立年不明

（國家——）青木敦書著・自序，盤溪源義亮良明補  
(1746) (1758)  
延享3序，宝暦8序（続集）

写本

※「國家——」は文政～天保～安政にかけて記事が追補されている。巻末に名古屋の「配符」貼付。

8—51ホ1 こ八百六拾六 30銭

## 随 筆 写 本

30893 キ ゲン キ カウ キ  
貴言為孝記 上・中・下 大1帙3冊  
松永道斎述  
写本

5—63キ1 大惣番号札剥落 30銭

30894 ハクセキシンシヨ  
白石紳書 一～十 半1帙10冊  
新井白石書  
写本

※朱の書込みで「丙申春有故。此本訂正焉。尤大宗者无頼之詞。」と断って校訂する。大惣の半紙を使用。各巻頭内題は「白石先生紳書」。

10—05ハ2 大惣番号札原欠 1円20銭

30895 タビノトモ  
旅の友 半1冊  
見能菴著  
写本  
※大惣の半紙を使用。

3—47タ8 め四百七拾壹全 20銭

30896 ネンザンウチギキ  
年山打聞 上・下 大1帙2冊  
(1690)  
元禄3写

写本 安藤為明写

4—69ネ2 こ三百七拾四全貳冊 60銭

30897 ム メイオボエガキ  
無名覺書 壹～五 大1帙5冊  
写本

※草稿本か。一項目ごとに「於和留」が記されている。文化文政頃の記事を載せる。

8—21ム3 こ三百五拾七共五冊 50銭

30898 ミヤガハニツ キ  
宮川日記 乾・坤・附録 大1帙3冊  
多田義俊（左衛門源満恭）著 (1746)  
延享3成  
写本

※見返しに書写者の注意書あり。朱筆の訂正書込みあり。書写年は「延享甲寅」とあるがそのような年はない。延享は元年が甲子，3年が丙寅。表紙題簽のわきに「伊勢両宮の故実を記す」，中央上に「紀」，右はし上に「貳百六十四」と記した札あり。

1—04ミ2 ふ四百九拾四全三 40銭

30899 ザフサン キ  
雑纂記 天・地・人 大1帙3冊  
著者未詳 (1704)  
宝永元写  
写本

※巻頭の内題は「近代雑纂記」。

5—11キ4 き百三拾九全三 60銭

30900 サウ ロ ザフダン  
草廬雜談 智・仁・勇（上・下・続編全） 大3冊  
青木敦書昆陽著・自序（正統共）  
(1738) (1739)  
元文3序（正），同4序（続）

写本

※続編の題簽は「續艸廬雜譚全」。

10—05ソ3 こ三百六拾壹全三 75銭

30901 アラヒカハノ キ  
洗革之記 上・下 大1帙2冊  
伊勢貞丈著  
写本

※上冊表紙に「有職」（朱）札あり。

5—17ア2 や千五十四全二 50銭

30902 クマザハイウクワイジツロク  
熊澤遊會實録 一～五 大5冊  
熊澤了介（蕃山）著・自序  
写本

※巻頭内題は「熊澤先生遊會實録」。表紙右上「〇百三十四」の小札あり。

1—81ユ1 や三百五拾毫 20銭

30903 熊本俚談 乾・坤 大1帙2冊

亀井道斎著・自序、東籬山人序、藁偶子跋 (1806) 文化3写

写本

5—15ク3 や千五拾式全式 30銭

30904 アンサイゾイヒツ 安斎隨筆 (初編) 一〜十・弍編一〜十  
・三編一〜十 大3帙30冊

伊勢貞丈著

写本

※初編は大惣番号札剥落。

5—18ア1 め弍拾六後編拾冊

・め弍拾七三編十冊 9円25銭

30905 バイシヨマンビツ 梅處漫筆 壹〜五 半5冊

写本

※内容は、(壹) 詠歌一駄・教訓十五箇條・倭歌言葉秘伝問答・歌袋・手簡於葉大概抄・同口伝・日野前中納言資枝へ御伝授 二条流和歌懷紙書法、(弍) 諸国年中行事大全抄・都花月名所抄・山城名所記・和泉名所図絵抄・播州巡覧図絵抄・河内名所図絵抄・歴代備考・本朝年代紀抄、(三) ふみほうく・鳥羽玉の記・もつとものさうし・都の手ふり、(四) 冷泉為村脚口授(義正聞書)、(五) 大嘗会小録(朱書の補あり)。

10—03ハ1 大惣番号札剥落 1円30銭

30906 ラウダンイチゴンキ 老談一言記 一〜六 半1帙6冊

新井白石話説、朝倉日下部景衡聞集

写本

※第1冊の題簽に「白石先生著〇」とある。大惣の半紙を使用。

5—63ロ1 大惣番号札原欠 50銭

30907 チリツカセウ 塵塚抄 壹〜五 半5冊

知足道人序 (1818) 文政元序

写本

※大惣の半紙を使用。書名のよみは「デンチャウセウ」ともいう。

10—05チ1 め八拾八番全五冊 75銭

30908 ソクシダン 俗耳談 壹〜七 半7冊

寛斎述

写本

※内容は4編に分かれる。筆記は門人 加藤元敏・早川敬明・柳川通故・柴田成美・矢嶋恭度・杉山元亮・井田賛昌・山田正脩。但しこの大惣本の筆写は一人の筆になる。

10—05ソ2 大惣番号札剥落 40銭

30909 シンセンサンエンモノガタリ 新撰三猿物語 前篇一〜五・

後篇一〜四・五上・五下 半1帙11冊

写本

※下の大惣番号は後篇第1冊のもので、前篇の大惣番号札は剥落。虫損甚しい。内容は雑史。早大の大惣本目録には「本願寺騒動」と附記する。

1—22サ2 ゆ六百弍拾三全六 50銭

30910 シンアンシユカン 新安手簡 壹〜陸 半1帙6冊

新井白石・安積寛著

写本

※大惣の半紙を使用。上・中・下巻と附録より成る。

5—18シ2 大惣番号札剥落 40銭

30911 ランチマンロク 温知漫録 半1帙1冊

写本

※内容は、御当家太閤和談之記(内題下に「風柳」の朱印)・渡辺半蔵武辺之記・豊後守秀清武功之記・遠州横須賀城之記より成る。見返し及び「御當家太閤——」の第三章最終丁に川柳の書込みあり。

5—11オ3 〇八拾毫全 10銭

30912 タウセイヤダンギ 當世夜談議 前編壹〜三・後編壹〜三

半1帙6冊を2冊に合綴

写本

※滑稽本。第1冊表紙に「楠正成大石良雄兩人をそしる書なり〇」の札あり。また各冊表紙に「〇百八十九番」・「三百九十番」の番号が書込まれ、大惣以前の本屋印が塗抹されている。

5—61ト2 め五百拾九前三

・め五百弍拾後三 20銭

30913 ヨウケンヘンネンロク 容軒編年録 一〜八 半1帙8冊  
山田(正修)忠治著・自序 明和3序

写本

※享保17〜安永8の記事。尾張に住む山田氏の「予朝夕記月間行事之書也」(自序)。

5—62ヨ1 □十七 1円

30914 ダンカイ 談海 一〜廿七 大2帙27冊

写本

※雑史。慶長10〜寛文13の記事。

5—11タ1 大惣番号札剥落 1円50銭

30915 シフイウシフ 拾秀集 半1帙1冊  
享和3写

写本 南華房書写

※内容は「世談馬中富 弘 返答」(振孔齊序=天明元)、「無夜食談」(子細坊二蝶序=明和2)、「春合附覧うその皮袋」(也有子述、凌陰亭和夕写=明和4)より成る。上記書名は本冊の背と墨書題籤による。更に新しく題籤が施され「中富弘問答附 武野燭談、虚誕皮袋」とある。

4—25ナ2 め五百八□ 20銭

30916 クワウモンハクセキモンダフ・ココンジセイカウ 黄門白石問答・古今時勢考 半2冊を合綴1冊

新井白石問、野宮定基答 安永2写(古今時勢考)

写本

※題籤は「黄門白石問答古今時勢考 正邪探元」。朱で「叢」墨で「□五十六」と記された札あり。「古今時勢考(正邪探元・化法分辨・古書分辨)」がひとまとまりの書で、その冒頭に「式百六十三」の小札がある。

2—03ヨ11 大惣番号札剥落か 15銭

30917 ゲウソウヘン 翹楚篇 乾・坤 半1帙2冊

致仕臣大華源鵬著・自序、神保簡序、細井徳民序 寛政元自序、文政4写

写本

※大惣の半紙を使用。乾冊の題籤には「上杉家翹楚篇」とあり、その右に「上杉治憲 羽 羽 米 澤 孝行徳行之書」「啓徳篇末巻ト大同小異」なる札がある。内容は上杉治憲の事蹟。

5—62キ2 ユ八百五拾番全式 10銭

30918 マイキンイツバンセウ 明訓一斑抄 乾・坤 半2冊  
徳川齋昭著・自序、松園陳入序 嘉永元序

写本

※内題では「班」字を用いている。内容は、仁心を本とすべき事・奢侈を禁すべき事・諫言を用ふべき事・刑は刑なきに期すべき事(以上乾)、治に乱を忘るべからざる事・佛法を信ずべからざる事・夷狄を近付べからざる事(以上坤)。

1—84マ3 ユ八百四拾五全式 15銭

30919 シエウロク 志要録 半1冊

写本

※大惣の半紙を使用。内容は大別して「異病の沙汰」「元禄年中の事」等の元禄を中心とした江戸全般の記事、および「黄石公傳良長 一卷」(享保ごろの内容を有する)より成る。

10—05シ2 め式百四番全 15銭

30920 クワンサイキブン 環齋紀聞 乾・坤 半1帙2冊  
鎌田環齋著

写本

※大惣の半紙を使用。内題は「環齋記聞」。内容は雑史で「町人脇差を帯する訳の事」など。

10—05カ13 め百五拾壹全式 20銭

30921 マツヤマヲウヒツキ 松山翁筆記 壹〜三 半1帙3冊  
七哥松山麿入道著 明治2成

写本

※各冊題籤は、第1冊が「木之葉衣/春夏秋冬部」、第2冊が「木之葉衣/冬土用之部」、第3冊が「昔男見勢物語/三省漸」。第1冊見返しには「むかし男見勢物語之内/仙術木之葉衣/春夏秋冬部/三組合巻上/金言集」(以上小札)、「春夏秋冬部/三組合巻、冬部土用巻下篇ニ有、外ニ拾遺三冊雪月花部」(以上打ちつけ書)とある。また第3冊は見返しに「むかし男見勢物語/養生知足三省漸/上下全」と記した小札があり、内題は「養生知足三省漸」。

7—09マ1 大惣番号札原欠か 25銭

30922 トウゼンヨウワ 燈前餘話 ※参照 半2冊  
山本格安著

— 随 筆 写 本 —

写本

※第1冊を欠く。第2冊巻ノ四〜巻ノ六、第3冊巻ノ七〜巻ノ十。ともに題簽剥落。

10-05ト12 大惣番号札原欠 15銭

30923 サンセンイワロ 山川友露 壹〜三 半3冊

写本

※随筆。大惣の半紙を使用。

10-05ヤ1 め百三拾六全三 30銭

30924 クワンエンキダン 寛延奇談 乾・坤 半1帙2冊

著者未詳

写本

※原題簽剥落の上に大惣の題簽を貼る。巻ノ一〜巻ノ五より成り、寛保3〜延享4<sup>(1743)</sup><sup>(1747)</sup>の事件等をあつめている。

10-05カ12 め百四拾貳全式 20銭

30925 ガクシヤヒツドク 学者必読 妙々奇談 半1帙1冊

メウメウキダン  
スコツハイ 周滑平著、ゴランノトヲ 門人五寛通・クモラスカガミ 曇无鏡編、富臺紀杉序<sup>(1825)</sup>  
文政8写

写本

※上記書名は巻頭の内題による。序題と題簽「妙々奇談」。内容は、第一回良雄説鵬斎から第七回蛆蠅作歌詩まで。大惣の半紙を使用。

4-20ミ1 め五百七拾貳全 10銭

30926 ワンコヤワダサ 温故夜話草 乾・坤 半1帙2冊

写本

※大惣の半紙を使用。乾冊は「信州杉の坊之説」以下3話、坤冊は「猫人を害するの説并猫人蝮蛇を討し説」より成る。

4-47オ6 め百六拾四番全式 20銭

30927 フウセツココンダン 風説古今談 一〜三 半1帙3冊

写本

※大惣の半紙を使用。享保〜宝暦の事柄を中心とした随筆。

10-05フ2 め百三拾三全三 30銭

30928 カコクシフ 下谷集 一〜三 半1帙3冊

写本

※内容は儒学的立場に基づいた治政論・教訓等を

成瀬氏・平井氏・園内氏等の問答体で記述。

『国書総目録』によれば、佐善雪溪著、堀直詮<sup>(1747)</sup>編、延享4序。

10-05カ1 め百三拾貳全三 40銭

30929 ケフガフザツキ 交合雑記 巻〜二十七・二十九〜四十 半8帙39冊

写本

※第11冊の表紙に「 亥第貳番式編拾冊」の札、第21冊の表紙に「め式拾三三編拾冊」の札、また第31冊の表紙に「め式拾四四編拾冊」の札あり。第28冊を欠く。歴史雑記。『国書総目録』によれば、小花和源五右衛門編。

5-63キ5 ゆ七百全拾※参照 1円20銭

30930 シフセンキ・ウメガエモノガタリ 拾扇記・梅かえ物語 半1帙2冊を合綴1冊

写本

(拾扇記) 横井也有著

※俳文集。『鶉衣』からの抄出本。上記書名は題簽による。

(梅かえ物語) 宿屋飯盛著

※「こかわくさ」を附す。『梅かえ物語』には文<sup>(1810)</sup>化7の版本がある。大惣の半紙を使用。

4-24ハ48 れ四百九十五 10銭

30931 ヘウジュンセイダクタイヘイロン 標準清濁太平論 一〜四 半1帙4冊

写本

※徳川家の歴史。大惣の半紙を使用。享和を下限としている。

5-11ヒ1 ゆ四百貳拾式 35銭

30932 アキノヨズイヒツ 秋夜随筆 半1帙1冊  
(1734)  
柳瀬方塾著・自序 享保19序

写本

※表紙に「歌書」と記した小札あり。

4-22シ3 れ百廿六 20銭

30933 サンボクシヤウ 三木章 一〜十 大1帙10冊

著者未詳

写本

※一〜十巻、題簽の書名の用字が1冊ずつ異なるが、上記の書名は第1冊題簽による。浜田啓介

『三木章』とは何か』(『論集日本文学・日本語』4)参照。内容は「小説」。

4—41ア49 め五百三番全拾 75銭

30934 シェンソウラウゴ 春湊浪語 壹〜三 半1帙3冊  
備前国土肥経平著、宇治江の散人跋 安永4跋  
写本

※国史・文事に関する雑録。書名、正しくは「春湊浪話」か。

5—19シ1 め百三拾四番 40銭

30935 ブヤシヨクダシ 武野燭談 一〜五 半1帙5冊  
(1740) (1867)  
元文5写、慶応3写

写本

※逸名序あり。序の末尾に「本藤」・「高求古堂記」の印がある。上記書名は第2〜5冊の題簽及び内題による。序題及び第1冊題簽では「改正武野談」で、第2〜5冊の題簽も「改正武野談」の上から「武野燭談」と貼付。第5冊末丁に書写者の奥書があるが、書写者名(「久米」某か)を塗抹。

5—11フ4 大惣番号札剥落 50銭

30936 ココンイヌチヨモンジフ 古今犬著聞集 一〜十式 半2帙12冊  
椋梨一雪著・自序 (1884)  
天和4序  
写本

※各冊巻頭に目録あり。

4—47コ2 大惣番号札剥落 75銭

30937 ラウジンザツワ 老人雑話 上・下(坤) 半1帙2冊  
江村専斎述、伊藤宗恕記、滄洲・鎗例序 (1713)  
正徳3序・成

写本

※上記書名は題簽などによる。序題・上冊内題は「専斎雑話」。大惣の半紙を使用。戦国期の記録。序に「老人の孫婿坂口玄益是を繕写す」とある。

5—10ロ2 め百五拾五番全式 15銭

30938 ブンセウキガキ 文照聞書 一・二 半1帙2冊  
(1782)  
天明2写

写本

※俳諧などに関する聞書。67条。末尾に「筆者久昭」とあるのは書写者か。

4—22フ2 め百七拾七全式 20銭

30939 アンクワシカウ 安窩思考 前編上・下・後編上・下  
半1帙4冊

小野姓尾見正数著・自跋、玉尔軒三近序、柳巷雪湧序  
(1719) (1720) (1823)  
享保4序(三近)・跋、同5序(雪湧)、文政6写  
写本

※大惣の半紙を使用。序に曰く、「からのやまとの君子名将或は名臣或は俊奸不肖の人の言と行ひとを集めしるされ侍る」。

10—05ア1 め百拾壹番前編式冊

・め百拾貳番後編式冊 35銭

30940 ヤマムロニツキ 山室日記 半1帙1冊  
松蔭大人(植松有信)著 (1801)  
享和元成  
写本

※見返しの墨書記事によれば、本居宣長葬送の様子を七日間こもって記したものである。長歌短哥として追悼歌を含む。大惣の半紙を使用。

4—20ヤ1 め三百六拾九全 5銭

30941 タカスクルワ 高須 入水騒動記・甲州騒動記  
曲輪 ニフスイサウドウキ・カフシウサウドウキ  
著者未詳 (1835) (1836)  
天保6成(入水)、同7成(甲州)  
写本

※木曾・長良・揖斐川の輪中の出水騒動の記録(入水——)と小田村武七ら数万人による打ちこわしの記録(甲州——)。

5—19ニ2 め四百七拾八全 5銭

30942 テンメイシチヒツジ 天明 ウエザキ ク ハチラウシヨジャウ  
七末 植崎九八郎書上  
植崎九八郎著 (1787)  
天明7成  
写本

※著者は奥書によれば「小普請組永井監物支配」。白川侯にあてた上申書。大惣の半紙を使用。

2—42ウ2 め三百六拾四全 5銭

30943 ムロナホキヨテイジャウシヨ・ブモンヤマトダイショウ  
室直清呈上書・武門大和乗  
半1冊  
(室——)室新助(鳩巢)著、(武門——)山下廣



一 随 筆 写 本 一

内長亮著 <sup>(1721)</sup> 享保6奥書  
写本  
※政治書。

2—42ム1 め三百六拾三全 10銭

30944 <sup>オホボシズイヒツ</sup> 大星隨筆 半1帙1冊  
著者未詳 <sup>(1820)</sup> 文政3写

写本 加藤肅敬子写

※前半余白部に著しい書込みがある。

10—05オ6 め式百貳拾壹 15銭

30945 <sup>オカシモノガタリ</sup> おかし物語 半1帙1冊  
飛笑子著 <sup>(1702)</sup> 元禄15奥書

写本

※大惣の半紙を使用。内容は「珍説耳ぜせり」  
「竿川俳諧物語」(露山軒稻舟著)より成り、  
いずれも滑稽本。上記奥書は「竿川——」のもの。  
30950参照。

4—47オ1 め三百五拾五完 10銭

30946 <sup>ジキンクワウキ</sup> 寺院廣記 乾・坤 半1帙2冊を合綴1冊  
白笑述・自序、花秦具庵序 <sup>(1779)</sup> 安永8自序

写本

※戯作。絵入り。2冊を表紙ごと合綴している。

4—25シ1 め五百三拾八全式㊦ 10銭

30947 <sup>テウモンダウシヤウクギ・クワンシヨシヤウ・</sup> ①朝聞道章口義・②關睭章・  
<sup>ケイサイセンセイキゼンシヤウヒツキ・ガクジ</sup> ③綱齋先生喟然章筆記・④学而  
<sup>ヘンレイワシヤウヒツキ・キヤウタウヘンリフブチユウ</sup> 篇禮和章筆記・⑤郷黨篇立不中  
<sup>モンセツ・ダウミヤクツセツ</sup> 門説・⑥道脈圖説

半1冊

①尚斎著、享保6奥書 ②著者未詳 ③元禄16奥書 <sup>(1703)</sup>  
④三宅重固記、享保17奥書 ⑤尚斎著、元文3奥書 <sup>(1738)</sup>  
⑥布施礎重次跋、享保6跋 <sup>(1721)</sup>

いずれも写本

1—69チ6 め三百六拾六番 10銭

30948 <sup>イウケンセウロク</sup> 輶軒小録 半1帙1冊  
伊藤長胤著・自序、平安平敬道校・跋 <sup>(1754)</sup> 宝暦4跋

写本

※序に曰く「予幼ニ而先子ニ侍り四方ノ士ノ来リ

集ルニ其国々ノ山林丘陵草木鳥獸ノ奇異珍怪成  
ヲ物語スルヲ聞覽書記シ」。

5—18ユ1 大惣番号札剥落 10銭

30949 <sup>ヘイケカンモンロク・タウダウエウセウ</sup> 平家勘文録・當道要抄 半1帙1冊

著者未詳

写本

※前者は別題「平家相伝三大綱」。

8—60ヘ1 め四百六拾壹全 10銭

30950 <sup>チンセツミミゼセリ・キクヅ</sup> 珍説耳ぜせり・木屑 半1冊  
(珍説)著者未詳

写本

※表紙右上スミに「ス」の札が貼られている。珍  
話6種をおさめる。30945参照。

(木屑)小出孝承著・自序、富田惟式跋

<sup>(1759)</sup> 宝暦9序・跋

写本

※儒者の随筆。

10—05チ2 め式百三拾四番全 10銭

30951 <sup>スイゲツエンズイヒツ</sup> 酔月園隨筆 半1帙1冊  
森嘉基著

写本

※歌学。大惣の半紙を使用。

4—22ス1 め式百八番全 15銭

30952 <sup>セイザンキジ</sup> 西山遺事 壹～参 半1帙3冊  
三木之幹・宮田清貞・牧野和高編、大神重遠跋  
<sup>(1701)</sup> 元禄14成、<sup>(1710)</sup> 宝永7跋

写本

※西山公水戸光圀の事蹟を記す。

5—62セ2 ユ八百三拾六 15銭

30953 <sup>オキナダサ</sup> 翁草 壹～五 半1帙5冊  
神沢貞幹著 <sup>(1784)</sup> 天明4写

写本

※『国書総目録』に安永5序とある。目録題は  
「其甥翁草」。30117参照。

10—05オ2 め百貳拾四全五 15銭

30954 <sup>ワガミノウヘ</sup> 我身の上 上・下 半2冊  
楚江散人著 <sup>(1751)</sup> 寛延4成

写本

— 随 筆 写 本 —

※「本の巻」「末の巻」より成る。上冊表紙に「教」(朱)と書かれた小札。本文に頭注を施している。教訓的随筆。

10-05ワ1 □□拾六全式○ 15銭

30955 <sup>タマクシゲ</sup> 玉くしけ 乾・坤 半2冊  
本居宣長著 (1787) 天明7成  
写本

※大惣の半紙を使用。題簽には角書に「秘本」,  
題名下に「本居著」と書込まれている。

2-42タ4 ゆ八百五拾四全式○ 10銭

30956 <sup>タイヘイサク</sup> 太平策 半1帙1冊  
但徠先生著  
写本  
※政治。

2-42タ2 ゆ八百八拾番全 5銭

30957 <sup>テンソウ</sup> 傳 園大納言殿日記 半1帙1冊  
園基香著 (1728) 享保13成  
写本

※表紙を補強。『国書総目録』には「園大納言藤  
基香卿記」の書名で載り、更に異なる書名の異  
本も存する。

5-04ソ1 ゆ九百七拾八番 15銭

30958 <sup>サト ミブゲンチャウ・シフキウザツロク・</sup>  
里見分限帳・拾旧雑録・  
<sup>ケイコウ ブゲンチャウ</sup>  
敬公分限帳 半1帙1冊  
(1731) 享保16写

写本

※「拾旧雑録」は雞助堂書。歴史雑録、旧蔵者の  
印あり。原体裁3冊を合綴か。

5-65サ1 ゆ九百九拾貳番 30銭

30959 <sup>サンゴクツウラン</sup> 三國通覧 半1帙1冊  
林子平著・「題初」(天明5) (1785) 桂川甫周國瑞序 (同6), (1786)  
須原屋市兵衛跋 (同6)

写本

※巻頭内題は「三國通覧図説」。朱筆による訂正  
あり。図入り。跋者須原屋は「東都書林(室町  
三丁目)」。版本からの写本か。

5-81サ2 め九百六番全 10銭

30960 <sup>ドクザケンキ</sup> 獨坐謹記 半1帙1冊  
無名氏(朝比奈如有子)著・自序 (1807) 文化4序  
写本

※海防。表紙に「漂」と記した札あり。

5-88ト1 め九百貳拾七全 15銭

30961 <sup>シンシヤウキ</sup> 神昌記 半1帙1冊  
橘亭序  
写本

※漂流記(ロシアの風俗などを記す)。「松平和泉  
守様」差出候處御付札、「漂民御覧之記」(寛  
政5, 考案などを付す)から成る。見返しに  
「神昌丸夷国聞噂書」と書込み。

5-89シ2 め九百三拾三番全 15銭

30962 <sup>ヲジマノスサビ・トウゴクデンミチノキ</sup> ①をしまのすさび・②東國陣道記  
<sup>ミヤコノツト・トウクワンキ・イヘシ</sup>  
・③都の土産・④東関記・⑤石清  
<sup>ミヅシヤヒヤクシユツギウタ・スバタモノキ</sup>  
水社百首続歌・⑥ぬば玉の記  
半1帙1冊

写本

※題簽には①⑤⑥の書名のみ記す。

①二条摂政良基著 (1470) 文明2成

※30810「小島のすさび」(版本)参照。

②細川玄旨法印(幽斎)著

※歌をまじえての紀行文。

③筑紫宗久著

※内題下に「拔書」と記す。2丁のみ。

④澤庵和尚書

⑤永享10年8月15日成 (1438)

⑥無腸(上田秋成)著・自序 (1779) 安永8序

※物語論

5-85オ2 ゆ九百九拾七全 10銭

30963 <sup>ゴミツノラキン</sup> 後水 尾院 当時年中行事 上・下  
近衛基瀬奥書 (1681) 天和元奥書

写本

※大惣半紙を使用。上冊に書込みあり。下冊末に  
「禁裏御殿簿」を付す。

5-17ト4 め四百四拾三全式 30銭

30964 <sup>フキアゲヒ ショ・トウハウチン フ</sup> 吹上秘書・東方珍話 半1帙1冊  
桂川甫周國著 <sup>(1793)</sup> ともに寛政5成  
写本

※「吹上秘書」は、内題「漂民御覧之記」。「東方  
珍話」は「吹上秘書付録」で享和2書写、さら  
<sup>(1815)</sup>  
に文化12「恒久」書写。

5—89フ1 め九百四拾番全 10銭

30965 <sup>セイジツチヨクゲン キ</sup> 正實直言記 上・下 半1帙2冊  
松本鹿々編輯  
写本

※仏教を非難した書。

1—20セ2 め四百四拾四番全式 15銭

30966 <sup>ゴジリヤク</sup> 五事畧 上・下 大1帙2冊  
荒井源君美（白石）著  
写本

※本朝宝貨通用事略・琉球国事略・外国通信事略  
・高野山事略・殊號事略（上・下）より成る。

5—19コ1 こ三百七拾三全式 25銭

30967 <sup>コラウヤ フ</sup> 古老夜話 壹～六 半1帙6冊  
著者未詳  
写本

※第3冊までが上之一～上之三，第4冊以下が下  
之一～下之三。武家の逸話集。

5—63コ3 め七拾四番全六 40銭

30968 <sup>ハクセキセンセイ</sup> 白石 <sup>コ シ ツウ</sup> 先生 古史通 壹～参 半1帙3冊  
<sup>(1716)</sup> 正徳6凡例  
源君美著  
写本

※史論。上記書名は各冊題簽による。内題には角  
書がない。

5—05コ9 □拾九全三 50銭

30969 <sup>フクシママサノリカチユウチギヤウツケ・</sup> 福島正則家中知行附・  
<sup>ミナモトノヨリトモ フ</sup> 源頼朝分限帳 半1帙1冊  
写本

※表紙に「御當代諸家分限帳」と記された小札あ  
り。第1丁裏に朱筆で、福島正則，忠勝の生涯  
の略記あり。見返しに「外ニ諸家之分限帳九冊

物有」，題簽左の余白に「関東御領国并諸家分  
限帳」との書入れあり。上記二書名は墨書題簽  
に記されているが，他家の分限帳多数をおさめ  
ており，それらを指している。

5—65フ5 ゆ九百九拾壹全 20銭

30970 <sup>ウ サ モンダフ</sup> 宇佐問答 上・下 半2冊  
写本

※見返しに大惣の題簽用紙が貼られ，「宇佐八幡  
宮神託に模して政事議論せし書なり」と墨書し  
てある。

1—81ウ1 ゆ八百五拾貳全式 10銭

30971 <sup>シラカハヤ フ・シラカハコウ オ ココロエガキ・</sup> 白河夜話・白川侯御心得書・  
<sup>ア フ ム ノ コ ト ノ ハ</sup> あふむのことの葉 半3冊を合綴1冊

松平定信著

写本

※3冊別々に写されて合綴された本。題簽「白河  
夜話 <sup>井御心得書</sup> あふむのことの葉」。「白河夜話」は別名「雨  
窓閑話」。白川侯御心得書の末尾に「寛政四年  
子の冬書写之」とある。  
<sup>(1792)</sup>

1—84シ6 □九拾貳全 10銭

30972 <sup>ケダモノギリジツ キ</sup> 獣狩実記 上・下 半1帙2冊  
著者未詳

写本

※内題は「東国獣狩実記」とある。書写年は本文  
の内容から宝暦6以後と推定される。朱線の有  
野半紙を用いる。奥州岩峯山の怪獣譚。逸名序  
あり。  
<sup>(1756)</sup>

8—71シ2 □五拾二 20銭

30973 <sup>シンジュブツケ ツ ネ ノ アナ・ガ フ ザツロク・</sup> 神儒佛けつねの穴・楽府雑録・  
<sup>ハイイウカウ</sup> 俳優考 半1冊

（神儒——）欽亭程好著・自序（楽府——）唐段  
安節著，山田正修忠治写（宝暦11）  
<sup>(1761)</sup>（俳優——）  
新井君美（白石）著

写本

1—84シ9 め貳百三拾五番 25銭

30974 <sup>セキジャウチユウ ギロク</sup> 赤城忠義録 大1帙1冊

写本

※赤穂浪士の敵討の記録。上記書名は題籤による  
内題は「忠義録」。

5—61セ4 大惣番号札剥落 15銭

30975 <sup>アベノナカマロニフタウキ</sup> 阿部仲麿入唐記 上・下 半1帙2冊

誓著、道阿序

写本

(1757) (1760)  
※宝暦7成・同10刊の版本(4巻4冊)からの写しと思われる。内題では「阿部」を「安部野」又は「安部」と表記している。

4—41サ1 め四百四拾七全式 15銭

30976 <sup>チュウゴクシヤチノウロコ</sup> 中国魚虎鱗 大1帙1冊  
釈阿法上人・南花坊ほか著、滅僧斎序(安永7),  
南花坊序(明和6), 卷二以下の序は※参照  
(1778) 安永6成

写本

※巻一に「南花坊撰」と記す。卷二に滅田弥太良の序が、第三に寄多都呂作の序(明和9)が、卷四には「單貴軒葉鍾甫書于七編舎下」と記した序(安永5)が、それぞれある。卷五末に安永6の「作者釋阿法上人」の記事がある。「竺魯偏」ほか7話を輯めた本。大惣の用紙を使用。

4—25チ3 め五百八拾五番全 15銭

30977 <sup>ザツワムギワラビエ</sup> 雑話麦藁笛 一〜三 半1帙3冊  
浪華書林松翠軒是楽著・自序

写本

※大惣の半紙を使用。序に「世上に所謂珍事を書集めて」という。

4—47サ2 め五百貳拾四全三 20銭

30978 <sup>ミツギモノガタリ・カナフサウドウノフウブン</sup> 貢物かたり・加納騒動之風聞 半1帙2冊を合綴1冊  
(1830) 文政13写

写本 ともに大惣の半紙を使用

(1757)  
※(貢一)馬場文耕著・自序(宝暦7), 佐々木喜右衛門写(宝暦13)。別名「森岡貢物語」。  
(1763)  
(加納一)翠濤舎写(宝暦6)。加納安藤対馬守の家中騒動記。  
(1756)

4—41シ23 め四百八拾壹 10銭

30979 <sup>クワイダンジツロク</sup> 怪談実録 大1帙1冊

著者未詳

写本

※大惣の用紙を使用。「遠山七左衛門 江嶋参詣 奇怪之支」ほか10話より成る。

4—47カ7 □拾九全 10銭

30980 <sup>オカゲマキリナニハバナシ</sup> <sup>御影参</sup> <sup>難波話</sup> <sup>シンバウキタン</sup> 辛卯奇譚 上・下 半1帙2冊  
(1771) 明和8成

写本

(1830)  
※文政13以降写。大惣の半紙を使用。「文政十三 庚寅歳。眞香これを写す。」以下3丁分の奥書あり。

1—04シ6 大惣番号札剥落 15銭

30981 <sup>キリシタンシユウモンキ</sup> 切支丹宗門記 壹〜三 半1帙3冊

写本

※表紙右上に「□八十五」の貼札。上記書名は各冊題籤による。内題は第1冊が「耶蘇宗門来朝根元由緒」, 第2・3冊が「耶蘇宗門来朝根元記」。

1—07キ1 大惣番号札剥落 15銭

30982 <sup>カツゴラウサイセイキ</sup> 勝五良再生記 半1帙1冊  
(1823) (1842)  
平田篤胤著 文政6奥書, 天保13写

写本

(1842)  
※奥書に, 天保13, 富樫倭にこれを借り得て写す由しるす。最終丁ウラに「秋田御家御儒者平田篤胤, 平田大学殿」ほか2名の名前を記す。大惣の半紙を使用。

8—86カ2 め四百六拾三番 10銭

30983 <sup>コシユシヤウサンロク</sup> 古主稱讃録 半1冊  
(1774) 松田信正著, 松浦昌清序 安永3序・成

写本

※巻末の「林書 尾州名古屋本町三丁目 伊勢屋 忠兵衛」の印を墨で塗抹。

10—05コ3 め四百五拾番 10銭

30984 <sup>カナ</sup> 假<sup>ソク</sup>扶桑隱逸伝 上・中・下 半1帙3冊  
 名續扶桑隱逸伝 上・中・下 (1853) 嘉永6序  
 釈義堂著、要齋訳、玉晁画  
 写本  
 ※大惣の半紙を使用。見返し内題には「胡月堂蔵本」と記す。書き下し文。絵入り。逸名序あり。  
 5—61ソ1 め四百三拾巻全三 20銭

30985 <sup>キウサウセウセツ</sup> 鳩巢小説 一〜五 半1帙5冊  
 室鳩巢著  
 写本  
 ※大惣の半紙を使用。第4冊末に和歌一首を附す。  
 記事内容は寛文〜正徳の随筆。  
 5—63キ2 め八拾四番全五〇 30銭

30986 <sup>フデノマル</sup> 藤の丸 松乾・松坤 半1帙2冊  
 写本  
 ※江戸の事件記録。  
 4—41シ20 め五百四拾全式 15銭

30987 <sup>ヨコレンボマツバガミ</sup> 横恋慕松葉紙 乾・坤 半12帙冊  
 写本  
 ※表紙に「全式冊」と記した札あり。実録。  
 4—41シ24 め□百四拾三全式 20銭

30988 <sup>マツカゲノニツキ</sup> 松影の日記 壹〜八 半1帙8冊  
 正親町町子(柳沢吉保側室)著  
 写本  
 ※元禄3から宝永6の記事を付す。上記書名は題  
 簽によるが、春夏秋冬各部の内題には角書「四  
 季種」あり。  
 5—62マ1 大惣番号札剥落 45銭

30989 <sup>シンブケンカウロク</sup> 神武権衡録 一〜四 半1帙4冊  
 松下郡高著  
 写本  
 ※『国書総目録』によれば、成立は享和元。神道  
 書。  
 1—03シ31 め四百式拾三番全四冊〇 20銭

30990 <sup>デグチ</sup> 地口<sup>イロノフキヨセ</sup> 以口の吹寄 半1帙1冊  
 写本

※上記書名は題簽による。内題は「侶口乱題」。  
 地口の書寄せ。点印が施され、また解説を朱記。  
 4—25シ2 め五百九拾番 10銭

30991 <sup>ソロモノボリブネ</sup> そろま登り船 半1帙1冊  
 写本  
 ※内容、「登り舟」に続き、「曾呂真声色風呂」  
 (安永3, 右楽), 「東都両国八景」(天明元,  
 笑楽斎), 「じごくめぐり」, 「増補地こくめぐり」  
 (笑楽斎), 「川ゆさん」(寛政4, 笑楽斎)を  
 附す。  
 4—25ソ3 め五百九拾四全 15銭

30992 <sup>コジキデン</sup> 乞児奇傳 半1帙1冊  
 西国順禮(亀壽)著・自序、檀那山人画・序、断峯  
 山人序、八坊主・八盡・駄々良大八・八九舛・八々  
 八郎・はちぼうす跋  
 天保3序(西國), 同4序(断峯), 同5序(檀那)  
 写本  
 ※阿蕭以下8人の乞食の伝。画入り。「水野正信  
 圖書之記」印あり。  
 4—25コ4 め五百四拾九全 10銭

30993 <sup>ワウギザツロク</sup> 黄耆雑録 半1帙1冊  
 堀貞高・貞儀著  
 写本  
 ※雑事件書留。よみ方は、小口に「ヲウキ雑録」  
 とあり、『国書総目録』には「こうぎざつろく」  
 として出る。また題簽わきに「黄昏雑録(ヒノ  
 クレザウロク)ナルベシ」と記した札あり。  
 4—47コ14 め式百拾三全 20銭

30994 <sup>トウサイズイヒツ・ケンモンヒロク</sup> 東齊隨筆・見聞秘録  
 半2冊を合綴1冊  
 一条兼良著(東齊隨筆) (1718) 享保3写  
 写本  
 ※説話を含む講義ノート。  
 10—05ト11 め式百三拾式番 15銭

30995 <sup>ネザメノスサビ</sup> ねさめのすさび 巻上・下(乾・坤) 半1帙2冊

石川雅望著  
 写本  
 ※大惣の半紙を使用。

4—69ネ1 め百六拾六全式 50銭

30996 阿刈葭 半1帙1冊

上田秋成・本居宣長著

写本

※題簽は墨書で「阿刈葭<sup>上田秋成</sup>全」。「上田秋成論  
難同辨」と「鉗狂人上田秋成評同辨」から成る。  
前者は16条から成り、最後の条には「天明七年  
正月宣長」とある。

4—63カ1 め式百式拾式 25銭

30997 璃寛 芝翫 首引岡芝噺・

ムカシシンパン  
むかし ナノノオホホセ  
しんばん 謎大集

半他4冊と合1帙2冊を合綴1冊  
(岡芝噺) 大坂 玉置清七(心齋橋塩町角)

※20丁。1丁目内題左に「ぢやんぷりこの段・鳥  
毛事 豊竹鳥羽太夫」、右に「勝声並・断五行  
・双床本」。

(謎大集) 写本

※見返し下に大惣印。15丁は謎, 2丁は謎咄。

4—28マ29 め五百八拾壹全 10銭

30998 宮驛珎話 上・中・下

半1帙3冊を合綴1冊

熱田遊客庵里山人著・自序, 金群散人跋 (1777)  
安永6序・跋

写本

※序文に云「時ハ安永丁酉夏四月張海の浪に浮名  
を流せし宗兵衛尾上が事実を記して」。各冊表  
表紙のみを綴じ込んでいる。表紙に「〇百九十  
貳」「全三」の札あり。

4—25キ1 め五百式拾九 20銭

30999 按古於當世 一〜三・四五

半1帙4冊

南華房著・自序

(1807)  
文化4序

写本

※卷一「理屈篇」, 卷二「頓作篇」, 卷三「間連  
篇」, 卷四「鹿相篇」, 卷五「行過篇」と題簽に  
書込まれている。目録によれば巻六「下掛篇」  
があったはずだが欠。

8—67ア1 大惣番号札剥落 35銭

31000 獨語 半1冊  
(1753)  
大宰彌右衛門著・自序 宝暦3写

写本

※本文末に「此書ハ(中略)大宰彌右衛門号春菴書  
置シ書ニシテ春菴没後ニ至テ門人はヲ看ト云  
云」とある。表紙右上に「 四番」の小札あ  
り。見返しに「荅番」と記されている。

10—05ト6 め式百九番全 10銭

31001 袖の雪 半1帙1冊  
(1715)  
天野信景著 正徳5成

写本

※題簽「袖の雪」に「東国紀行」と書込みあり。  
詩歌をまじえた紀行文。「内宮圖定例」「青龍山  
瑞泉禪寺記」「東山院御即位日記之内拔書」な  
どを含む。

5—85ソ2 ゆ九百八拾三番 15銭

31002 米麦表裏記 半1帙1冊  
(1782)  
天明2写

写本

※間違天神記(大井菩薩出生の事)・妖怪評判記  
・當世俚物五十物語・源問雪答記より成る。

4—25ヘ1 め五百六拾三 20銭

31003 やく者附 半1帙1冊

写本

※明和から安永の役者評判記。内題「張府永楽記」。

8—66ヤ1

表紙改装により大惣番号不明 15銭

31004 おとし 珍作あふむ石 乾・坤

半1帙2冊

知足一筆集梅鶯著・自序

(1769)  
明和6序

写本

※上記書名は題簽による。内題「珍作鸚鵡石」。  
大惣の半紙を使用。

8—67チ1 め五百四拾四全式 15銭

31005 閑窓白語 半1帙1冊  
(1793) (1797)  
正二位藤原朝臣(柳原)紀光著 寛政5〜同9成

写本

一 随 筆 写 本 一

※公卿・禁中の故事を中心とした随筆。

5—63カ1 め式百式拾四 20銭

ズイヒツマギキグサ

31006 随筆雛草 半1帙1冊

写本

※大惣の半紙を使用。朱で訂正が施されている。

内容は長嘯の歌・文など。

10—05マ1 め式百三拾七全〇 20銭

フクスケユメモノガタリ・ナゴヤグサ・

31007 福助夢物語・名古屋艸・

たびの夢

半1帙1冊

南華坊著

写本

※(福助夢物語)文化2自序。絵入り。(名古屋艸)寛政8自序。(たびの夢)内題は「御影詣客夢」と表記。明和8抜田土佐序, 同年奥書。

4—25フ6 め五百七拾壹全 20銭

コクホンロン

31008 國本論 (本編) 全・附録卷之一〜三

大1帙4冊

白川世子源定信著・自序

天明元序

写本

※政治。

2—42コ3 や三百五拾四ノ四 20銭

キヤウカヒガメキキ

31009 狂歌僻目利 半1帙1冊

写本

※上記書名は題簽による。第1丁に「私撰僻目利時代混雜」とあり, また目録題は「時代混雜」。狂歌の抄録書。

4—25キ10 大惣番号札剥落 15銭

チヤウジユヤウジヤウロン

31010 長寿養生論 上・下 半1帙2冊

松本鹿々(多田宣綿)著・自跋,

寛政7跋

写本

1—20チ1 大惣番号札剥落〇 15銭

シヨクハウガイキ

31011 職方外記 上・下 半1帙2冊

艾儒略「増譯」・自序, 進賢熊士跋, 葉向高序, 李之藻序, 楊廷筠「彙記」・序

写本

※大惣の半紙を使用。序の後に「職方外紀小言」

(瞿式穀・許晉臣識)あり。題簽に「五大洲之書」という書込みあり。内容は世界地誌。

5—80シ1 め八百七拾六全二 15銭

コクテウキウシヤウロク

31012 國朝舊章録 一〜五 半5冊

写本

※室鳩巢・太宰純・新井白石らの言説を集めた本。

2—03コ5 ゆ八百式拾五全五 25銭

ナガサキザツワ

31013 長崎雑話 半1帙1冊

写本

※長崎地誌。

5—83ナ1 大惣番号札剥落 20銭

ビヤウマチタツネキ

31014 尾陽町尋記 上・下 半1帙2冊

写本

※下冊見返しに「源戴公様御代寛延三庚午年名古屋中町人由緒御尋ニ付町中書上之写」の札あり。下冊裏見返しに「若此本何方に参り候共早速御戻し可有之候以上/天明二年寅正月吉辰求之福井町住人」とある。

5—65ヒ2 ゆ六百五拾六全式 35銭

イネミダサ

31015 いねみ草 半1帙1冊

尾張源常榮著

写本

※大惣印の他に「書林 伊勢屋忠兵衛」の印がある。題簽に「はいか問答」と刷られている。

4—24イ3 式百八十二 10銭

テイヂヤウザツキ

31016 貞丈雑記 第一〜第十六 大2帙16冊

伊勢平蔵貞丈著

写本

※朱の書込みあり。著者名第1冊その他数冊では「貞文」に誤っている。『国書総目録』によると成立は, 宝暦13以後で, 天保15版その他の版本が存する。絵入り。

5—17テ1 大惣番号札剥落 2円50銭

ズイヒツ

31017 筆手箱底 上・下 大2冊

写本

※神祇に関する記事が中心。

10—05テ3 こ三百六拾三全三 25銭

31018 <sup>ホシニツキ</sup> 星日記 一〜七 半1帙7冊  
写本

※歴史・地理に関する雑然とした書きとめ。末尾  
(1725)  
の記事は享保10。

10—05ホ2 大惣番号札剥落 2円50銭

31019 <sup>ケンエンダンヨ</sup> 護園談餘 壹〜参 大3冊  
(1756)  
但徠物茂卿著 宝暦6写

写本

※本文上部に書込みあり。第3冊末に書写の年時  
を記す。儒学。但徠に偽託された書か。

1—69ケ9 乙三百六拾貳全三 50銭

31020 <sup>ソクシンヒツキ</sup> 息心筆記 一〜五 半5冊  
写本

※第1冊表紙に「貳百五」と札あり。『国書総目  
録』によれば趙養著。

1—84ソ2 大惣番号札剥落 1円

31021 <sup>キヤウアンキカウ</sup> 杏菴紀行 上・下 半1帙2冊  
(1834)  
杏菴正意著 天保5写

写本 一柳菴随鷗写

※大惣の半紙を使用。上冊に「東行日録」(寛永  
(1630)  
7), 下冊に「帰尾紀行」(寛永12)・「中山日  
(1636)  
録」(寛永13)を収録。

5—85キ5 ゆ九百六拾七全二 40銭

31022 <sup>トウカイセイヒツ</sup> 東海随筆 壹〜参 半3冊  
著者未詳

写本

※儒学に関する記事多し。第1冊表紙に「 百  
十九」の札あり。

1—69ト3 め百貳拾七全三 30銭

31023 <sup>ウンシイセキカウ・モツリタイワ・</sup> 雲史伊勢紀行・本居對話・  
<sup>アヅマノカンシヨ・ウチダノハマノキ</sup>  
吾妻の閑書・打出の濱の記  
半1帙4冊を合綴1冊

写本

※背に「紀行集」とある。「雲史伊勢紀行」は天  
(1738)  
明8序。「打出の濱の記」は烏丸光栄著、延享  
(1746)  
3成。

5—85キ2 ゆ九百九拾五番 30銭

31024 <sup>ホウレキザツロク</sup> 寶暦雜録 半1帙1冊  
萬榮居士著・自序

写本

※巻頭の「惣目録」に拠れば初篇は卷第二十五ま  
であるが、本書は卷之第五までを収める。「惣  
目録」末尾に大坂の書肆松翠軒是楽の名を記す。

4—41シ22 め貳百貳拾三全 30銭

31025 <sup>ホウサニツキ</sup> 蓬左日記 乾・坤 半1帙2冊  
写本

※名古屋の歴史・地誌。坤冊見返しに「延享元年  
(1744)  
(1855)  
の比之事たる書より見へ候、安政二年卯年迄百  
十二年ニ成」と書かれた札あり。

5—83ホ4 ゆ六百五拾壹 50銭

31026 <sup>モミキニツキ</sup> 枳井日記 一〜十 大1帙10冊  
伊丹政信等著

写本

※雑史。内題「枳井家日記」。著者は『国書総目  
録』による。

5—10モ1 大惣番号札剥落 2円

31027 <sup>カセイダン</sup> 可成談 仁・義・礼・智・信 半1帙5冊  
荻生徠徠著、平維章校

写本

※随筆。見返しに「此写本は板行本に外に維章の  
考按を書加へ増補せし本也」と記されている。  
別名「南留別志」。30041・30069参照。

10—05カ5 め九拾番 50銭

31028 <sup>コウエウシフ</sup> 古往要集 一〜三 大1帙3冊  
写本

※伝記小話を集成したもの。上記書名は題籤によ  
る。巻一目録題は「故往要集」、第一巻頭及び  
巻二・巻三の目録・巻頭内題は「故往集」。第  
1冊の表紙題籤横に「古」と墨書した小札が貼  
られている。

5—63コ2 乙三百五拾三全拾冊当時三冊 50銭

31029 <sup>ハニツゲンカウロク</sup> 土津言行録 大1帙1冊  
(1681~1684)  
横田俊益著・自跋 天和年間跋

写本

※上下二巻より成る。各巻頭内題は「土津霊神言



行録」。

5—63ハ2 き百六拾三全巻 15銭

31030 リウエイ フヂヨデン  
柳宮婦女傳 巻〜六 半1帙6冊  
写本

※上記書名は各冊題簽による。各冊内題は「柳宮  
婦女傳系」。『国書総目録』によれば、著者は菊  
池弥門。

5—61リ1 ゆ四百七番全六 50銭

31031 サクボクヒツキ  
昨木筆記 半1帙1冊  
阮(源)正視著・自序 寛政12序・奥書、享和元写  
写本

※故事・文芸に関する随筆。

5—18サ2 め式百式拾番 15銭

## 蝦夷漂流記

31032 エゾニツシ  
蝦夷日誌 ※参照 大1帙13冊  
松浦竹四郎著

多氣志樓蔵板

※内容は「東蝦夷日誌初編」(文久3凡例、龍之  
一熙跋)、「東蝦夷日誌貳編」(文久3凡例、蕁  
正跋)、「西蝦夷日誌貳編」(文久3凡例)、「西  
蝦夷日誌三編」(自跋、文久4凡例)、「北蝦夷  
餘誌」(万延元自跋、安政7凡例)、「天鹽日誌」  
(万延2凡例、文久2謙議跋)、「久摺日誌」  
(文久元穂積重胤跋、万延元凡例)、「夕張日誌」  
(黒河春村跋、万延元凡例)、「後方羊蹄日誌」  
(安政6凡例、大沼枕山跋)、「納紗布日誌」  
(万延元凡例、正志安跋)、「十勝日誌」(文久  
元蔭澤蝦侶跋、万延元凡例)、「石狩日誌」(万延  
元北総鷺湖木雄跋、同年凡例)、「知床日誌」  
(文久3松岡豊田亮跋、万延元凡例)。帙およ  
び西蝦夷日誌二編の跋文などには書名「蝦夷日  
誌」とする。見返しに「東西蝦夷山川／地理取  
調紀行」とある。絵入り、一部多色刷。

5—85エ2 大惣番号不明 1円20銭

31033 カラフトニツキ  
唐太日記 上・下 半1帙2冊  
鈴木重尚著・自序、松浦竹四郎注・図・序、橋本玉

蘭翁画

(1860)  
安政7刊

江戸 播磨屋勝五郎(日本橋通北十軒店)・文  
苑閣蔵板

※下巻巻末に「四書略解」の広告あり。絵入り。

「水野正信函書之記」印あり。内題「<sup>(1784)</sup>唐太日  
記」とも。

5—85カ6 大惣番号札原欠か 25銭

31034 エゾサウシ  
蝦蟇草紙 上・下 半1帙2冊  
最上徳内常矩著

写本

※上冊巻頭に凡例及び上・下巻の目次があり、そ  
の末に「何某誌」とある。下冊末尾に「寛政十  
一年己未蝦蟇開闢被 仰付候御書附の写」を付  
す。文中朱字で訂正あり。上冊右上スミに「<sup>(1790)</sup>漂」  
の札。『国書総目録』によれば寛政2刊。

5—83エ5 め八百七拾四全式 30銭

31035 エゾシ・シユガウジリヤク  
蝦夷志・殊号事略 半1帙1冊  
新井白石著・自序 享保5序

写本

※「蝦夷志」末尾に「東游雜記」2丁、「殊号事  
略」の末尾に「足利家遺蕃国印文」をそれぞれ  
付す。「東游雜記」は抄録と思われる。「殊号事  
略」末尾に「正徳六年四月白石翁ノ筆記也」と  
ある。なお『国書総目録』は本書の成立年を正  
徳5とする。奥書に延享元、文政2の記事。

5—83エ3 め九百拾貳番 10銭

31036 エゾシフキ  
蝦夷拾遺 半1帙1冊  
本多利明著、佐藤玄六郎行信序(天明6)、藤致明

「附言」(同年、朱)、青政教「附言」(同8)、水野  
正信「私附言」(安政3、見返しに朱で)

写本

※絵入り。大惣の半紙を使用。

5—83エ4 め九百拾三全 30銭

31037 ロシアコクイッケン・ロシアコクエゲ  
魯西亜國一見・魯西亜國会解 半2帙2冊

著者未詳 「一見」<sup>(1794)</sup>寛政6写、「会解」<sup>(1795)</sup>同7序  
写本

※「一見」の内容は「魯西亜國一見」「漂民御覽  
の記」「魯西亜ヨリ日本江交易ノ願云々」。「会  
解」の表紙の打ちつけ書の題名の下に「下」と

記されている。

5—89口1 (A・B)

表紙改装により大惣番号不明 15銭

## 故 事

- 31038 <sup>ロシアシ</sup> 魯西亞志 半1帙1冊  
(1793)  
桂川國瑞(甫周) 撰 寛政5成  
写本

※大野屋惣八のあらい粉とかみそめ油の整版による広告あり。表紙に「漂」の札。寛政辛丑と記されているが、癸丑(寛政5)を誤ったか。内題に「ヲロシアシ」と振仮名があるが、後人の書込みか。

5—88口2 め九百七番 15銭

- 31039 <sup>クリシタンライテウキ</sup> 切支丹来朝記 半1帙1冊  
(1761)  
著者未詳 宝暦11写  
写本

※本文は上・下2部に分かれ、更に「切死丹来朝記追加」あり。下巻末の内題は「切死丹記」。

表紙に「口十貳」の札あり。

1—07キ2 め四百三拾四全 5銭

- 31040 <sup>クワンカイイブンリヤク</sup> 環海異聞畧 半1帙1冊  
写本

※大惣の半紙を使用。30326『環海異聞』参照。

5—89カ4 め九百九番全 15銭

- 31041 <sup>フナラサニツキ</sup> 船長日記 一〜三 半1帙3冊  
(1822)  
池田寛親著、本居大平写・序 文政5端書  
写本

※本書は重吉の口述を著者が筆記したもの。巻末に天保10と(1839)同11に記した追加文あり。

5—89セ4 め八百六拾貳全三 30銭

- 31042 <sup>インドアシ</sup> 印度亜志 上・下 半1帙1冊  
(1807)  
山村昌永著 文化4成  
写本

※著者・成立年は『国書総目録』により補う。末尾内題は「印度志」とする。

5—88イ4 表紙改装のため大惣番号不明 15銭

- 31043 <sup>ゴエン</sup> 語園 上・下  
特大(28.0×17.0cm)1帙2冊を合綴1冊  
(1627)  
一条兼良(桃華老人) 選 寛永4刊  
書肆不明

※表紙題簽よこに「雑(朱)」と記した小札あり。

4—85コ15 や五百七十六 20銭

- 31044 <sup>ハクランコゲン</sup> 博覧古言 大5冊  
(1785)  
菅原道真編か、青黎閣主人題言 天明5刊

江戸 須原屋伊八(下谷池之端仲町)

※教育書。須原屋の蔵板目録を附す。題言に「是書原名管蠡鈔ナリ」とある。

10—03ハ2 や貳百三十八 45銭

- 31045 <sup>ホンテウゴエン</sup> 本朝語園 一〜十 大1帙10冊  
(1706)  
孤山居士著・自序 宝永3序・刊  
京 出雲寺和泉掾(三條通竹屋町)、江戸 同  
店(日本橋南一町目)

※表紙右上スミに「口三百七十三」の小札あり。

5—63ホ1 や五百八番 1円

- 31046 <sup>シンゴエン</sup> 新語園 一〜十 大1帙10冊  
了意著・自序、村田通信序、三宅帯刀序

京 梶川常政・小佐治宗貞・小佐治忠治

(1881) 延宝9序(自序・村田)、天和2刊

※第1冊のみ原題簽で、他は墨書題簽。第10冊題簽を欠く。第1冊、表紙右上に「千三百七十二」、右下に「全部十冊<sup>㊦</sup>」の小札があり、題簽冊番号はもと「四」を墨書で「一」、第2冊番号ももと「三」を「二」に訂す。

4—85シ12 や五百九番 75銭

- 31047 <sup>ホンテウゴ ジインエンシフ</sup> 本朝故事因縁集 一〜五 大1帙5冊  
(1689)  
著者未詳 元禄2刊

江戸 万屋清兵衛(青物町)、大坂 鴈金屋庄兵衛(高麗橋心齋橋筋南入町)

※各冊巻頭に目録あり。第1・2冊書込み甚し。

第2冊の題簽の一部焼損。

4—85ホ3 や五百三十七㊦ 35銭

31048 <sup>ネンサイシフダ</sup>年齊拾唾 大1帙1冊  
恵空著 (1663)  
寛文3成

書肆・刊年不明

※表紙題簽右上部に「故」と誌した札、表紙右上  
スミに「千式十九」と誌した札が貼られている。  
成立年は奥書による。

5—17ネ1 や千八番 20銭

31049 <sup>レンジフリヤウザイ</sup>連集良材 大1帙1冊  
著者未詳 (1631)  
寛永8刊

書肆不明

※連歌書。

4—24レ2 大惣番号札剥落 20銭

31050 <sup>アイナウセウ</sup>鑑囊鈔 一〜十五 大1帙15冊  
行譽著・自跋、納釋常昭跋 (1446) (1478) (1646)  
文安3成・自跋、文明10版、正保3刊

京 林甚右衛門 (三條通菱屋町ふ屋)

※第1冊、第7冊末に文安2「書之畢」等とある。

4—85ア1 六百〇九番全部拾五冊 1円

31051 <sup>シヨゲンコ ジタイゼン</sup>書言故事大全 一〜六 大1帙6冊  
胡繼宗集、吳懷保序、陳玩直解・序、李廷機校、巨  
源父序、鄭世豪梓 (1644)  
正保元刊

書肆不明

※内題「京本音釋註解書言故事大全」。表紙に  
「故」(朱)の小札あり。

4—85シ8 や五百式十七 75銭

31052 <sup>ゾウキダワンタイクワウルイシフ</sup>増補願體廣類集 前集卷一〜卷七  
大7冊

平山史典摺臣氏編輯、陽羨蔣伍子登氏増纂、毛利貞  
齋和解、西山汪瑞齡後編ノ序 (1725)  
享保10刊

京 岡本半七 (五条橋通東洞院東江入町)、江  
戸 小川彦九郎 (日本橋南二丁目)

※上記書名は見返し内題による。原題簽「<sup>増補</sup>願體  
願體俚諺鈔」。柱書「願體集和解」。康熙丁巳の  
金鑲の原序あり。題簽には全冊に「前集」とあ  
る。内容は第5〜7冊が後編になっている。

1—84コ6 や式百七全七 40銭

## 書 法

31053 <sup>シヒジヤウ</sup>紫薇字樣 乾・坤 大1帙2冊

細井広沢 (知慎) 著・自序、荻生徂徠序

(1714) (1716) (1719) (1724)  
正徳4自序、享保元凡例、同4序、同9刊

江戸 小川彦九郎 (日本橋二丁目)、京 茨城  
多左衛門 (六角通御幸町西入町)

※書道。柳枝軒目錄を附す。

8—43シ1 や四百四十式 50銭

31054 <sup>ベイカシヨケツ</sup>米家書訣 半1帙1冊

市河三亥 (米庵) 編、栗山柴邦序、世寧跋

(1801)  
享和元刊

京 菱屋孫兵衛 (御幸町御池下ル)、大坂 柏  
原屋与左衛門 (順慶町五丁目)、江戸 須原屋  
伊八 (浅草茅町二丁目)

※書道。

8—43へ1 よ百五拾七番全 15銭

31055 <sup>シンダウキハン</sup>心畫軌範 大1帙1冊

貝原篤信編

(1712)  
正徳2刊

京 永田調兵衛

※原題簽に墨書で「貝原篤信」と書込みあり。

8—43シ10 や四百六十九 15銭

31056 <sup>ガクシヨチキエウ</sup>學書摘要 大1帙1冊

佐野東州著・自序

(1792)  
寛政4序

書肆不明

※著者の蔵板か。題簽に「筆道」と書込みあり。

8—43カ2 や四百六十七 10銭

31057(1) <sup>イジヤウマンサウ</sup>圯上漫草 大1帙(2)と合綴1冊

鳥石先生著、亀谷平震序

(1758)  
宝暦8序

京 唐本屋吉左衛門 (堀川通仏光寺下ル町)

※(2)「書学大概」と合綴されている。

8—43イ1 や四百七十四 (2)共10銭

31057(2) <sup>シヨガクタイガイ</sup>書學大概 大1帙(1)と合綴1冊

鳥石先生著、叢桂先生校

(1758)  
宝暦8刊

大坂 柏原屋佐兵衛 丹波屋半兵衛

※奥書の年がかすれによって判読不能。(1)と合綴  
されている。墨書題簽は「圯上漫草 西菴 / 書  
学大概 烏石 / 合完」。

8—43イ 1

31058 <sup>リヤクカヘフ</sup> 畧可法 下巻 大1帙1冊  
河三亥「手輯」, 男三千「縮臨」, 大楯芸閣跋, 琴江  
跋, 周安泉跋, 陸谷眞跋 (1827) 文政10跋 (陸)

※下巻のみの端本。巻末に江戸須原屋伊八の「米  
菴先生書青藜閣発行目録」を附す。

8—43リ 1 大惣番号札剥落か 30銭

31059 <sup>タイホンセイゾクシヨフ</sup> 定本正續書譜 大1帙1冊  
烏石葛辰序, 源師道跋, (正) 孫虔禮過庭著, (続)  
姜夔堯章著, 謝朓伯元若序 (1208) (1766) (1768)  
嘉定元統序, 明和3総序, 同5総跋  
書肆不明

※「書譜」10丁と「續書譜」13丁を併せる。

8—43シ 13 や四百七十巻 10銭

## 字 書

31060 <sup>ワカンオンシヤクシヨゲン ジ カウガフルイダイセツヨウシフ</sup> 和漢音釋書言字考合類大節用集

一〜五・六上・六下・七・八上・八下・  
九上・九下・十 半2帙13冊

駒谷散人横郁編 (1717) 享保2刊  
村上平楽寺蔵版, 京 村上勘兵衛, 江戸 村上  
又三郎

※原題簽は「<sup>増補</sup>合類大節用集」。

4—85コ 2 よ四番 40銭

31061 <sup>シヨゲンゾクカイ</sup> 書言俗解 卷一〜六 半1帙6冊  
(1685) 貞享2刊

江戸 中林又兵衛 (室町三丁目), 京 田中庄  
兵衛

※『国書総目録』によれば, 著者は榊原玄輔 (簗  
洲)。

4—85シ 9 よ三拾三全六 30銭

31062 <sup>セイゾク ジ ベン サウジノベン</sup> 正俗字辨并相似辨 大1帙1冊  
東山一心院響誉上人述, 弟子記, 芥煥序, 恬養序  
(1746) (1748) (1748)  
延享3序 (恬養), 同5序 (芥煥), 寛延元刊  
秋水軒版 京 万屋作右衛門 (衣棚通 御池下  
町)

※表紙に「柳」(墨), 「字」(朱) の小札あり。巻  
頭内題は「刊繆正俗字辨」。脇題簽に目録あり。

4—87セ 1 や四百五十七 15銭

31063 <sup>ジ ゲンベンモウセウ</sup> 邇言便蒙抄 上之本・上之末・中之本  
・中之末・下 (朱一〜五) 大1帙5冊  
(1681) (1682)  
永井如瓶子輯・序 天和元序, 同2刊  
京 武田治右衛門

※内題下に「門人富山白玉子書」。第1冊裏見返  
しに槩山独吼道人の書込みあり。

4—85シ 2 や四百貳拾番 40銭

31064 <sup>キンブコテンキセン</sup> 韻府古篆彙選 上平・下平・上声  
・去声・入声 大1帙5冊  
西陵陳策嘉謀父編, 顧嗣昌振公・瀧子鑑・濤額瀾校,  
(1713)  
序は※参照 正徳3刊  
京 多左衛門 (六角通御幸通西入)「柳枝軒方  
道蔵板」

※巻末に彰考館訂本刊行目録。天徳呉雲法曇の元  
禄10序, 回浦項継甲木公父の康熙壬子序, 会稽  
(1697) (1672)  
宗弟晋太士の康熙壬子序あり。

4—87イ 13 や四百貳拾口 75銭

31065 <sup>イツタウバンシヤウ</sup> 一刀萬象 序跋・上・中・下 大1帙4冊  
一峯池永栄春道雲篆刻・自序, 李磻重時序, 葵山玉  
宝序, 董晴宜日序, 東陽今井昌序, 物茂卿跋  
(1709) (1711)  
宝永6自序, 正徳元跋

写本

※篆刻図彙。

8—45イ 2 や四百貳拾五全四 1円50銭

## 音 韻

31066 <sup>オンキンケイモウ</sup> 音韻啓蒙 大1帙1冊  
松亭鳥海恭仲黙甫著, 小泉雄周碩甫校, 東都鵬齋老

— 音韻, 人物志万宝器物 —

人興序 (1815) 文化12刊, 同14序 (1817)

名護屋 永楽屋東四郎 (本町七丁目), 松坂  
柏屋兵助, 阿濃津 山形屋傳右衛門, 江戸 山  
田佐助 (両国吉川町)・大坂屋茂吉 (日本橋通  
一丁目)

※表紙左上に「韻学」と朱書した札あり。巻末に  
「松亭先生著述嗣出目録」がついている。表紙  
見返しに文化十三年彫刻と記されている。巻末  
の「松亭先生著述嗣出目録」によれば, この書  
名は「いんいんけいもう」と読むらしい。

4—64オ 1 や四百五十九 10銭

31067 九弄辯 大他1冊と合1帙1冊  
無相文雄著 (1750) 寛延3刊

京 金屋三郎兵衛 (二条通寺町西エ入町), 大  
坂 丹波屋理兵衛 (心斎橋筋久宝寺町)

※表紙左上に「韻学」と朱書した札あり。同帙に  
同版の本あり。題簽下部に「音韻」とあり。

4—64キ 1 や四百五十八 10銭

31068 韻鏡字彙 大1帙1冊  
書肆・刊年不明

※『国書総目録』によれば, 著者は太田子規。

4—64イ 2 や四百六十壹 5銭

31069 日本密要 以呂波音訓傳 一〜五  
ニホンミツエウ イ ロ ハ オンクンデン  
大1帙5冊  
(1772)

釋慧眼著, 源廣洩序 明和9序・刊

大坂 柏原屋清右衛門 (心斎橋筋順慶町), 京  
出雲寺文次郎 (三条通高倉東エ入町)・田中屋  
半兵衛 (寺町通三条下ル町)

※第1冊見返しに「伊呂波釈文」の書込みあり。

4—63イ 1 や四百拾四 60銭

31070 和漢字名録 元・亨・利・貞  
ワカンジメイロク  
大1帙4冊

藤井常枝著, 伏水龍公美序 (1775) 安永4凡例, 天明6序・刊 (1786)

江戸 須原茂兵衛, 大坂 大野木市兵衛・出雲  
寺文治郎・林権兵衛, 京 勝村治右衛門・同善  
兵衛・山本平左衛門

※表紙見返しに, 京師書屋 景雲堂により本書の  
紹介が記されている。第1冊題簽脇に「かなつ  
かひ」と書かれた札あり。4冊各々の名称は巻

末の記述によれば巻之上の天と地, 巻之下の乾  
と坤である。

4—64ワ 1 ふ三百式十式全四 40銭

31071 韻鏡諸鈔大成 一本・一末・二本文・  
三本・三末・四〜七 大1帙9冊  
キンキヤウシヨセウタイセイ

馬場信武著・自序 (1765) 宝永2序・刊

京 漕淵権兵衛・山岡勘右衛門・小倉八郎兵衛  
※第1冊表紙右下に「全部九冊」の札, 左上に白  
紙の札あり。各冊題簽下部に「一」〜「九」ま  
で通し番号を朱書。第1冊小口に書名「韻鏡諸  
鈔大成九」の紙片あり。

4—64イ 4 や四百〇六 40銭

## 人物志万宝器物

31072 古今人物志 小1帙1冊  
コ コンジンブツ シ  
(1769) 明和6序・刊

奥村意語著・自序, 中有成補

江戸 前川六左衛門 (日本橋通三町目東側)

※上記書名は巻頭内題による。本文内題と目録題  
「諸家人物志」, 凡例の題が「古今諸家人物志」。  
巻末に奥村喜兵衛 (江戸芝神明前) の蔵板目録  
あり。全三編の初編のみ。二編と三編は近日出  
来と裏見返しにある。書込み甚し。

5—65コ 1 大惣番号札剥落 15銭

31073 日本諸家人物誌 上・中・下  
ニホンゾク ショカジンブツ シ  
大1帙3冊

青柳文蔵茂明著, 琴墓山樵序 (1829) 文政12序・例言, 天保3刊 (1832)

江戸 須原屋茂兵衛, 大坂 秋田屋太右衛門・  
柏原屋與左衛門

※上記書名は上冊見返しによる。各冊題簽は「続  
諸家人物誌新刻」, 上冊内題は「續諸家人物志」。

5—65ソ 1 ほ八百七十九全三 15銭

31074 改刻 平安人物志 小他4冊と合1帙1冊  
カイコク ヘイアンジンブツ シ  
(1775) 安永4刊

弄翰子編

京 林伊兵衛（二條通東洞院東へ入町）・西村  
市良右衛門（堀川通鮎葉師下ル町）・石田善藏  
（下立売大宮東エ入町）・銭屋七郎兵衛（堀川  
通佛光寺通下ル町）

京へ1 ほ八百八拾老 5 銭

31075 ブンセイサイハン 文政再版 ヘイアンジンブツシ 平安人物志

小他 4 冊と合 1 帙 1 冊

弄翰子編、東山の隠士某跋 (1822) 文政 5 跋・刊

京 堺屋仁兵衛（三条通柳馬場東入ル）

※凡例に「弄幹子記 文政大歳壬午」とある。巻  
末に尚書堂（堺屋仁兵衛）の蔵版目録あり。

京へ1 ほ八百七十八 5 銭

31076 ブンクワサイハン 文化再版 ヘイアンジンブツシ 平安人物志

小他 4 冊と合 1 帙 1 冊

弄翰子編 (1813) 文化 10 刊

京 林伊兵衛（二條通柳馬場東江入）

京へ1 大惣番号札剥落 5 銭

31077 ショカジンブツシ 諸家人物誌 小 1 帙 1 冊

池永約著・自序、葛城輝教例言

(1789) 明和 6 刊〔新刻〕、寛政 4 自序・例言・刊〔改刻〕

江戸 西村源六、大坂 梶原喜兵衛・葛城長兵  
衛

※表紙の表面がはがれ落ちていて、題簽なし。

5—65シ1 大惣番号不明 5 銭

31078 エドタウジ 江戸 ショカジンメイロク 諸家人名録 中 1 帙 1 冊

星池道人編・自序 (1814) 文化 11 序、同 12 刊 (1815)

江戸 扇屋伝四郎（横山町肴店）・西村 宗七  
（本石町十軒店）

※裏表紙見返しに本書の第二編（「扇面亭編」と  
ある）の刊行予告がある。表紙（題簽の右横）  
に「文化十二年」と墨で書かれている。

5—83エ11 ち九百三十四 5 銭

31079 ヘイアンジンブツシ 平安人物志 小 1 帙 1 冊

弄翰子編 (1768) 明和 5 刊

京 百足屋治郎兵衛（三條通御幸町西江入町）

・銭屋七郎兵衛（堀川通佛光寺下ル町）

京へ1 ち九百六拾九全 5 銭

31080 ニホンコクシセキカウ 日本國事跡考 小 1 冊

(1643) (林) 春斎・考槃著 (1667) 寛永 20 奥書、寛文 7 刊か

荒川宗長

※巻末内題および柱書「事跡考」。書込み多し。

表紙改装。刊記「丁未正月吉日 / 荒川宗長」。

5—03ニ7 ほ八百四十五 10 銭

31081 キテウ 熙 ジュリンセイメイロク 朝 儒林姓名録 小 1 冊

永忠原俊平著、北海江邸序、服蘇門跋・校  
(1767) (明和 4 序、同 6 跋・刊 (1769))

京 西村市郎右衛門（堀川通錦小路上ル町）・

林伊兵衛（二條通東洞院東エ入町）

※題簽剥落。表紙に書名を墨書している。巻末に  
「董帷録、時賢氏名録、嗣出」とある。

1—69シ25 大惣番号札剥落 5 銭

31082 チャセキボクホウソダンカウ 茶席墨寶祖傳考 小 1 帙 1 冊

燈外著、藤井以正重編、清隱齋常通序、藤玄芝跋  
(1752) 宝暦 2 跋・刊

江戸 西村源六（通本町三丁目）、大坂 渋川

清右衛門（心斎橋順慶町）、京 田原重兵衛（二  
条堺町西江入町）・岡権兵衛（六角通鉄屋町西  
江入町）

※目録題は「祖傳考」。

8—43ソ1 へ四拾一番 5 銭

31083 ココンワカン 古今 マンボウゼンショ 和漢 万寶全書 一〜十三

横 (11.0×16.3 cm) 13 冊

(1894) 元禄 7 成、明和 7 刊 (1770)

京 菊屋七郎兵衛（寺町通松原上ル丁）、江戸  
須原屋茂兵衛（日本橋南一丁目）・西村源六  
（通本町三丁目）、大坂 柏原屋清右衛門（心  
斎橋筋順慶町）

※奥書には「原版 / 享保三戊戌歳六月吉日 / 實 曆  
(1755) 五乙亥 歳三月改正 / 明和七庚寅歳正月再版」とあ  
る。柏原屋の蔵板目録を附す。脇題簽に各冊の  
内容を記している。一〜三「本朝画印傳 上・  
中・下」、四「唐絵傳印」、五「和漢墨蹟印文」  
ほか、六・七「和漢茶入上・下」、八「和漢諸道  
具」、九「和漢古今寶錢之圖文」、十〜十二「合  
類銘鑑上・中・下」、十三「後藤彫物」。見返し

内題にもこれら内容を記す。

8—49マ1 へ百三拾巻全拾参 1円

31084 萬實ひじ記 壹～五

横 (10.5×16.0 cm) 1 帙5冊

貝原益軒著

(1705)  
宝永2刊

京 茨城多左衛門 (六角通)

※配架番号のため、大惣番号の上の部分を読めない。第1冊・第2冊が第1巻・第2巻に相当し、第3・4・5冊には第3と4巻・第5と6巻・第7と8巻を所収。各巻巻頭に目録あり。各冊表紙中央にその冊全体の目録を書いた脇題簽を附す。

8—85マ1 □□拾三全五冊 20銭

31085 五山堂詩話 一～六・七八・九・十

・補遺

中1帙10冊

菊池五山著、葛休文序 (1807) 文化4序、同年～文政元刊

大坂 泉本八兵衛、江戸 西村源六・鶴屋金助・山城屋佐兵衛、京 植村藤右衛門、大坂 塩屋長兵衛

※書肆・刊年は各々の冊に異同がある。「五山堂詩話補遺」は『国書総目録』に5巻とあるが、本書は巻二以下を欠く。「補遺」の冊に貼付された大惣番号は「ち九百八番全<sup>金部</sup>共拾冊」とある。第2・3・9冊の表紙見返しに書込みがある。

4—06コ15 ち九百八番 35銭

31086 寢覚の記・

所々名所古跡由来縁起

中1帙1冊

嘯山著、融望奥書 (写か)

(1768)  
明和5成

写本

※播但地方の紀行文。末尾に「銀三拾匁 午齋分見料」とある。

5—85ネ1 大惣番号札剥落 10銭

31087 看命一掌金和解

横 (13.2×19.0 cm) 1 帙1冊

唐 釈氏一行著、明 胡氏文會堂校、倭 馬場氏信武和解 (1787) 天明7刊

大坂 柏原屋清右衛門 (順慶町五丁目)・吉文字屋市兵衛 (心斎橋南へ四丁目)。内題は「新刻看命一掌金和解」、柱書は「一掌金和解」。初

(1705)  
版は宝永2。手相の本。

8—84カ3 ち八拾九番 10銭

31088 そろま北野八景・そろまぢごく

めぐり・そろま登りふね

横 (13.3×19.4 cm) 1 帙3冊を合綴1冊

(1756)  
宝暦6刊

京 美濃屋平兵衛 (寺町通四條上ル町)

※「そろま」狂言3冊を合綴。「大津屋豊七直傳」という。

4—25ソ4 大惣番号札剥落 10銭

31089 大極日用集

横 (13.9×20.7 cm) 1 帙1冊

カマダ加助著

写本

※武士の心得を集めた本。年代不明。

8—21タ1 ち千七百四拾巻 5銭

31090 金龍山 正観世音御縁記

浅草寺

中1冊

中村定保編

(1847)  
弘化4刊

江戸 文溪堂

※表紙見返しに「三社大権現御由来 巻<sup>入</sup>」と記す。内題および巻末に「江戸<sup>浅草</sup>観世音略記」とある。巻末に葉の広告を附す。

1—22キ2 ち八拾式 5銭

31091 體畫引千字文 上

横 (12.7×18.3 cm) 1 帙1冊

岡西惟中 (一時軒) 序

書肆・刊年不明

※下巻を欠く。

8—43カ3 大惣番号札剥落 5銭

31092 朝鮮年代記 首・上・下 中1帙3冊

曾貞幹 (君山) 輯述、膝英勝 (桃林) 補・跋、芝園主人序 (1763) 宝暦13序・刊

江戸 鱗形屋孫兵衛 (大傳馬町三丁目)、大坂 柏原屋清右衛門 (順慶町心斎橋筋)、京 大和屋善七 (四條通油小路西江入町)・菊屋七郎兵

衛 (寺町通松原上ル町)・八文字屋 八 左衛門  
(鉄屋町誓願寺下ル町)

※大惣番号は「上」の表紙に貼られている。首巻  
歴代史略には朝鮮金思恭輯録となっている。寛  
(1748)  
延元年までの記事をおさめる。

5—46チ3 ち九百四十四 10銭

ハクインゼンジ カ ナムダラ  
31093 白隠 假名律 乾・坤 中2冊  
白隠和尚述, 清水珊瑚居士編・序, 東嶺序, 修道  
(1770) (1884)  
「小伝」著 明和7序(東嶺), 明治17刊  
名古屋 清水三五居士(編輯)・三浦兼助(出  
版)

※仮名法語集。32955参照。

1—25カ5 大惣番号札原欠 10銭

ニフシヨクキ  
31094 入蜀記 紀・行 中他4冊と合1帙2冊  
陸放翁著, 柴邦彦序, 山田汝猷跋  
(1777) (1783)  
乾隆42原刊, 天明3序・跋・刊  
京 北村莊助・北村四郎兵衛

※原刊年は紀冊見返しに「乾隆丙辰年」, 行冊刊  
記に「乾隆四十二年丙辰」とあるが, 乾隆42年  
は丁酉, 乾隆年間では元年と61年が丙辰。

5—87ニ2 ち九百七十巻 20銭

テンレイ  
31095 點例 上・下 小1帙2冊  
(1703)  
貝原篤信著・自序 元禄16序・刊  
京 柳枝軒茨城方道

※序題は「訓點新例」。上冊題籤・大惣番号札と  
も剥落。下冊題籤は墨書。下冊末に書肆による  
跋文あり。『国書総目録』によると元禄16・正  
(1716) (1720) (1815) (1858)  
徳6・享保5・文化12・安政5各刊の版がある。

4—64テ1 大惣番号札剥落 10銭

ダンタウ シェン  
31096 談唐詩選 中1帙1冊  
(1819)  
寛齋(市河世寧)著, 五山池桐孫序 文政2刊  
江湖詩社蔵板, 江戸 山城屋佐兵衛(日本橋通  
二丁目)

4—06タ5 ち九百拾壹 5銭

イウソクセウセン  
31097 有識小説 小1帙1冊  
(1698)  
駒谷散人郁著 元禄11刊

江戸 千鐘堂 須原茂兵衛蔵板

※有職故実。内容は上・中・下巻より成る。原体  
裁は3冊ないし6冊か。

5—17ユ3 ち九百拾五 5銭

ミ マ ネ グサ  
31098 見眞似草 中1帙1冊  
西川可長著・筆

写本

※目録あり。表紙右上スミに番号札剥落の跡あり。  
裏表紙に「天明五歳」, 「□明八春議」, 「吉松所  
(1785)  
□」との文字がみえる。狂言。見返しに「覚  
——此本何方へ参り候とも」以下, 加藤勝七郎  
の書込みあり。表紙には二巻とあるが, 1冊。

4—27ミ1 大惣番号札剥落 5銭

クマノノゴホンダ  
31099 熊野御本地 中1帙1冊  
写本

(1777)  
※安永6の奥書あり。浄瑠璃。

4—28ク1 ふ六百八拾八全 10銭

コウアンレイイセン  
31100 弘安禮節 中1帙1冊  
刊年不明

京 佐々木惣四郎(寺町通姉小路北)

※内容は有職故実。「百官略」と「書札禮事」は  
弘安8年の成立。「院中禮節」, 「路頭禮事」な  
(1285)  
どは慶長年間に刊行された本を再刊したものと  
思われる。後附に僧官についての記事あり。

2—03コ6 ち九百六拾六 5銭

ミンカニチヨウ ケウケンシユハウキタ  
31101 民家 日用 教訓衆方規矩 上・中・下  
横(13.8×19.1cm) 3冊  
宣揚堂主人著, 無名氏序, 藪の内竹斎跋  
(1762)  
宝暦12序・跋

江戸 竹川藤兵衛・大坂屋平三郎

※医書の体裁を借りた教訓書。

7—09キ1 ち千三百式拾式 30銭

イダウニチヨウカウモク  
31102 医道日用綱目 1冊  
所在不明

7—02イ42 10銭

サンレイクケツ  
31103 三禮口訣 横(10.6×16.1cm) 2冊  
貝原篤信著・食礼自序・茶礼自序, 柳枝軒茨城方道  
(1699)  
跋 元禄12茶礼序・書礼序・跋・刊

京 柳枝軒茨城方道



※「食禮口訣」と「茶禮口訣」で1冊,「書禮口訣」で1冊の2分冊。2冊とも題簽剥落。食礼序は「元禄丁卯」とあるが,該当年なく「己卯」の誤りか。「己卯」ならば元禄12で他序等と同年。書礼序は無署名。

1—86サ1 へ百五拾九 10銭

31104 <sup>ロウクワシフ</sup> 弄花集 小1帙1冊  
(1765) 明和2写

写本 釈稀旭書写

※仏教書。朱による補筆あり。

1—26ロ2 大惣番号札剥落 5銭

31105 <sup>テクダツメモノ</sup> 遍物 <sup>シヤウギキヌブルヒ</sup> 娼妓絹籠 中1帙1冊  
山東京伝著・自序,曼鬼武・煙花浪子後叙  
(1791) 寛政3自序

写本

※巻頭に柳浪館主人の題言「西江月」を附す。寛政3の刊本が京大他にある(『国書総目録』)。

4—43カ19 大惣番号札剥落 5銭

31106 <sup>サウシヨイチギヤウクセン</sup> 草書一行句選 小1冊  
(1756) 宝暦6跋  
澤井居敬編・自序,阪本定良跋  
書肆不明

※「門家蔵」と記されている。表紙改装。内部の虫損甚し。

8—43ソ3 ほ八百拾貳番 10銭

31107 <sup>ジャウドシンシユウオフミ</sup> 浄土真宗御文 中1冊  
(1761) 宝暦11写  
蓮如著

写本

※抄録。大惣の題簽用紙を使用。末尾には「窠蓮社住嶽融堅」が宝暦6に写した旨を記すが,本文始めに「窠蓮社」と記して宝暦11に写した旨の文(朱筆)あり。題簽に「五帖全」とある。

1—26シ40 大惣番号札剥落 10銭

31108 <sup>シンシユウヒガシハ</sup> 真宗 <sup>ダイケ</sup> 在家勤行年中行事 中1冊  
(1829) 文政12跋  
東派

横(11.9×16.9cm) 1冊

釈朋公著・自序・自跋 (1829) 文政12跋

書朋不明

※附録あり。

1—26サ8 ち八拾五 5銭

31109 <sup>アサジノミヤゲ</sup> あさじのみやげ 特小(13.0×9.6cm) 1冊  
辨才和尚著,白木序,辨輪跋,辨昭跋  
(1816) 文化13序・跋(辨昭)

書肆不明

※絵入り。法語集。上・中・下および「法然上人御法語」より成る。内題「晨参の土産」。

1—26小別 へ拾三番 10銭

31110 <sup>シンセンシヤウジロク</sup> 新撰姓氏録 小1帙1冊  
萬多親王・藤原園犬・藤原諸嗣・阿部真勝・三原弟平・上毛野頼以編,西峯散人序  
(1669) 寛文9序・刊  
京 林和泉掾(小川)

※冒頭に,弘仁6の編者らによる「上新撰姓氏録表」および逸名序あり。内題は「新撰姓氏録抄」。第1丁に「中正」の印あり。見返しに小札貼付。

5—64シ7 大惣番号札剥落 10銭

31111 <sup>シウチンクワンカウ</sup> 袖珍勸考 小1冊  
(1772) 明和9序・刊  
栗津釈義圭著・自序  
京 北村四郎兵衛(五条高倉東へ入町)・菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町)・菊屋喜兵衛(同)・池田屋七兵衛(珠数屋町東洞院西エ入町)

1—26シ39 大惣番号札剥落 5銭

31112 <sup>クワンロク</sup> 勸録 小1冊  
(1775) 安永4序・刊  
栗津義圭著・自序  
京 北村四郎兵衛・池田屋七兵衛・菊屋七郎兵衛・菊屋喜兵衛

1—26カ10 大惣番号不明 5銭

31113 <sup>ワカンシンセン カガクシフ</sup> 和漢新撰下學集 小1帙1冊  
(1714) 正徳4序・刊  
伊藤宜謙著・自序  
京 川勝七郎兵衛

※題簽剥落。

4—85シ14 ほ八百〇九番 5銭

31114 <sup>ゴカイセイブクキリヤウ・シヨシヤツウヨウジン</sup> 御改正服忌令・諸社通用神祇服 <sup>ギブク</sup> 紀令大成 小1帙1冊  
(1693) 元禄6成  
(御改正——) 著者未詳

京 梅村弥右衛門  
(諸社——) 著者未詳 (1681) 天和元成

京 梅邨彌白 (1695)  
※2書を併せて元禄8に刊行したもの。  
2—03フ7 大惣番号札剥落 5銭

シ セイダウヒヤクゼン  
31115 詩聖堂百絶 中1帙1冊  
大窪行(詩佛)著, 奥田在邦・下村定方編, 奥田在邦跋 (1800) (1807) 寛政12跋, 文化4刊

大坂 泉本八兵衛, 江戸 西村源六・鶴屋金助  
※刊記に「奥田季清造」と書込まれている。  
4—07シ7 大惣番号札原欠か 5銭

シヨクゲンセウシリウタイゼン  
31116 職原抄支流大全 ※参照  
小1帙2冊を合綴1冊 (1683) 天和3刊  
著者未詳

江戸 藤本兵左衛門(日本橋青物町)・田中理兵衛(同所)  
※目録と巻一〜三で1冊, 巻四と五で1冊だった  
が合綴されている。巻四・五の内題は「職原抄  
支流」。『国書総目録』によると, 本書は『職原  
抄支流』の改題本。  
2—03シ6 大惣番号札剥落 5銭

コジャウシフ  
31117 古状集 横(13.7×19.9cm) 1帙1冊  
写本

※室町時代末の武家の文書。早大の大惣目録に,  
「大名ノ古き手紙等也」とある。  
5—10コ1 ち千七百三十巻 5銭

シンブツレイケンキ ツ エ  
31118 神佛靈驗記圖會 中1帙1冊  
濱松歌國編, 曉鐘成序 (1824) 文政7序・刊

京 山城屋左兵衛(蛸薬師通高倉西入), 大阪  
玉屋市兵衛(呉服町御霊筋角)  
※見返し内題に「一名ぐわんかけ手引」とある。  
目録あり。近日刊行予定の二篇の目録を載せる。  
末尾に二篇の出版予告あり。絵入り。題簽と見  
返しと挿絵2丁分が色刷り。「早序」「賃済」の  
朱印あり。

5—83シ9 ち八拾六 5銭

ダンパフキ  
31119 軍法記 横(14.9×21.5cm) 1帙1冊  
著者未詳  
写本

※末丁その他に「代々以口傳継来所」として, 太  
田持資・宇佐美祐保・上杉元隆・上田重末・村  
上清信・山田廣吉・関孝和の名を挙げる。  
8—21ク3 大惣番号札剥落 5銭

ブツビンシキメイ  
31120 物品識名 乾・坤 中2冊  
尾張水谷豊文編 (1809) 文化6刊  
永楽堂

※本草。イロハ順に物品の名を配列。坤冊裏見返  
しに「尾張 東壁堂主人」の「蘭葉鏡原」の広  
告あり。凡例の中に「吾友岡林清達素ヨリ本草  
ノ学ヲ嗜ム此編ハ清達カ草創スル所ナリ」と言  
う。

国史あ3—25 ち式百九全式 15銭

コククワバンボウ ニホンキヨカヒヨウ  
31121 国花 日本居家秘用 一〜六  
横(11.0×15.8cm) 6冊

三宅建治著, 上流可親軒主人序 (1731) (1737) 享保16序, 元文2刊

大坂 渋川与左衛門(心斎橋筋順慶町)  
※各冊巻頭に2巻ごとの目録あり(全12巻)。第  
1冊表紙右上スミに正方形の札が貼られている。  
序の題には「居家秘用」とある。

9—69ニ1 へ百三十式全六 20銭

ニホン  
31122 日本 国花萬葉記 一〜六  
横(11.2×16.0cm) 2帙6冊 (1697)  
菊本賀保著・自跋, 英菴序 元禄10序・刊

大坂 油屋與兵衛(高麗橋西)・藤屋弥兵衛(高  
麗橋一丁目)・八尾甚左衛門(堺筋備後丁)・  
村上加兵衛(心斎橋淡路丁)・中村新蔵(同道  
修丁)・雁金屋庄兵衛(上人町)  
※原体裁21冊を, 6冊に合綴している。6冊それ  
ぞれのはじめに原題簽(目録入り)をあつめて  
いるが, 剥落したものもある。内題には「國花  
萬葉志」, 「國花萬葉種」ともある。

5—82コ1 百拾壹番 1円30銭

ニホンメイカシセン  
31123 日本名家詩選 上・中・下  
小1帙3冊

藤元昶文二編, 遊花叟序, 内藤政陽序, 南宮岳序, (1771) (1788) 太宝井孝徳跋 明和8序(宮岳), 寛政10刊

江戸 小林新兵衛（日本橋南二丁目角）

※中・下冊は原題籤剥落，新たに誤って中冊に「下」，下冊に「中」と書かれた題籤が貼られている。

4—02ニ5 大惣番号札剥落 10銭

31124 <sup>タリキアンジン</sup> 他力 <sup>ノリノイズエ</sup> 安心 法の礎 上・下 中2冊

僧明譽序，青藜館主人（今津屋辰三郎）跋  
(1831) (1841)  
天保2序，同12跋・刊  
大阪 河内屋太助（心斎橋通唐物町）・河内屋  
記一兵衛（同通南本町）・河内屋儀助（同通安  
土町）・今津屋辰三郎（江戸堀北一丁目），京  
吉野屋仁兵衛（三条御幸町）・前川市兵衛（寺  
町通五条上ル）

1—26ノ2 ち八拾三 5銭

31125 <sup>マトナシ・ケニノロミ・</sup> 的なし・けにのろみ・  
<sup>リヤウジヤウノタンシ</sup> 梁上君子 中1帙1冊

写本 俳論・俳文集

※「的なし」は「柳水庵主人從長子」の「宝暦  
(1762)十二年午五月上旬」の奥書があり，さらに「此  
的なし一帖時節庵八亀子より幸借宝暦十三年未  
(1763)神無月晦日写之 昼月亭」とある。也有著。

※「けにのろみ」の書名は合冊の題籤による。奥  
書に「右一帖半掃庵也有子作之外へ出すまじき  
よしにて□□半掃庵より送り見せられしゆへう  
(1765)つし留る 明和貳年酉きさらき中旬也 昼月  
亭」とある。

※「梁上君子」は松露庵鳥明著で，天年序・引田  
班雀序（いずれも天明2）がある。板本からの  
(1782)写本と考えられる。「伊勢屋忠兵衛」印あり。

4—24マ1 ち九百七拾三 5銭

31126 <sup>クワキフヨウイ</sup> 火急用意 中1冊  
(1807) 文化4刊

江戸 蟠龍律寺

※巻頭の内題に「火急用意和譚」とある。内容は  
前・後篇と附録に分かれる。『国書総目録』に  
よれば杜多了諦著。巻末に「東都下目黒 蟠龍  
律寺再板」とあり，初版にあらず。『国書総目  
(1799)録』によれば寛政11版がある。

1—26カ1 大惣番号札剥落 2銭

31127(1) <sup>シヨメイカヒキフダヨセ</sup> 諸名家 <sup>クワバウキ</sup> 報條寄 久和箒

半1帙(2)と合綴1冊

満寿著・自序

写本

※「永代蔵」と合綴。(2)を参照。自序は「寅春」  
のもの。

4—43ア11 大惣番号札剥落 (2)共5銭

31127(2) <sup>エイタイダラ</sup> 永代蔵 半1帙(1)と合綴1冊  
(1767) 之宣著・自跋 明和4自跋

写本

※「<sup>諸名家</sup>久和箒」と合綴。(1)を参照。

4—43ア11

31128 <sup>コンサイニツセウ</sup> 坤齋日抄 上巻・中巻・下巻 中1帙3冊

西島蘭溪（長孫元齡）著，林軌序，安積良齋叙  
(1828) 文政11叙

江戸 萬笈堂

4—05コ23 ち九百七番 30銭

31129 <sup>カウヤダイシゴエイカシフ</sup> 高野大師御詠歌集 中1冊

安田蛙文撰・序，高野山大楽院靈信叙，密場散人跋  
(1759) 宝暦9序・跋・刊

大坂 浪花屋忠五郎（島之内南塗師屋町）

※原題籤に角書があるが，破損のため判読不能。

「繪入□□」。巻頭には「弘法大師御詠歌集」

とある。絵入り。柱書「大師詠歌集」。

1—26コ5 ち六十三番 5銭

31130 <sup>オニアザミ</sup> 鬼薊 中1冊  
(1792) 白隠和尚（慧鶴）著 寛政4刊

「取次所 甲州河内領成嶋邑 出店 駿府呉服  
町一丁目 甲斐根屋六八タ」

※原題籤上に「大惣」と刷った題籤を貼付。表紙  
には「白隠和尚 作」と記した紙を貼付。裏表  
紙見返しに大野屋惣八を取次所とする化粧品  
(あらいて，かみぞめ油)の宣伝の紙を貼付。  
題籤には「全」と書き込まれているが，柱書は  
おわりまで「巻ノ上」になっている。仏教書。

1—25オ1 ち六拾貳番 15銭

31131 ロクコンシヤウジヤウオハラヒシヨウフウセウ  
六根清淨太板松風抄 中1帙1冊

藤原永弘著

書肆・刊年不明

※神道書。

1—05ロ2 ち五十二全巻 5銭

31132 ナカトミノハラヘシヨウフウセウ  
中臣板松風抄 中1帙1冊  
藤原永弘著 (1720) 享保5刊

肥前 石本縫殿(長崎)

※神道書。

1—05ナ13 ち五拾壹番 5銭

31133 シヨシユウテラカガミ  
諸宗寺鑑 上・下 小2冊  
梅園處士編・例言 (1838) 天保9例言・刊

衆福館

※原題箋には「日本諸宗寺鑑」とある。各冊巻頭に御朱印附  
目録あり。

1—22テ1 ほ貳百拾八全式 20銭

31134 カ ジ ユウカイ  
歌辭要解 上・下 中1帙2冊  
直樹伴資規刪補・自序 (1806) 文化3序・刊

京 風月庄左衛門・天王宇屋市郎兵衛・須原屋  
平左衛門・菱屋治兵衛, 江戸 須原屋平助

※上冊の題箋剥落。巻末の「閑田大人著述書目」  
には「大人閑/嗣直樹主著」とあり。

4—22カ2 ち四百〇四 20銭

31135 ナホビノミタマ  
直毘靈 中1帙1冊  
本居宣長著 (1771) 明和8成

名古屋 永楽屋東四郎(本町通七丁目), 江戸  
同出店(日本橋白銀丁二丁目)

※巻末の「東壁堂版略目録」中に, 本書は益多い  
書故, 『古事記傳』の首巻ながら, 一巻として  
独立発行の旨記す。

1—05ナ2 ち五拾三全 5銭

31136 ワクンブ ルイセウ  
和訓部類抄 上・中・下 小1帙3冊  
著者未詳, 源近留序 (1682) 天和2原刻, 寛政10刊

大坂 葛城宣英堂奈良屋長兵衛

※漢字熟語に和訓を示した辞書。柱書「和語」。

4—85ワ3 ほ三百拾式 20銭

31137 ゲンゴテイ  
源語梯 上・中・下 小1帙3冊  
五井純禎著, 中務序, 漢華黄備園主人附言

(1784) 天明4刊

京 出雲寺文次郎・吉田四郎右衛門・風月庄左  
衛門・斎藤庄兵衛, 江戸 須原茂兵衛, 大阪  
大野木市兵衛・渋川清右衛門・高橋平助

※源氏物語の辞書体注釈書(いろは順)。大惣番  
号札の上から題箋が貼られている。

4—30ケ1 大惣番号不明 25銭

31138 シンパン カナモジツカヒ  
新板 假名文字遣

横(14.7×19.4cm) 1帙1冊

行阿著・自序

京 菊屋七郎兵衛(寺町通松原上ル町)

※刊年不明。末丁に「三條西殿前右大臣公條御奥書」  
の記入がある。上記書名は題箋による。内題等  
は角書を欠く。『国語学研究事典』に以下の旨の  
記述がある。即ち, 成立は未詳だが貞治2以後,  
写本・版本とも多数あり。著者は序に源親行が  
藤原定家の依頼で仮名遣を整理し, 同意を得た  
ものを行阿が増補したとあるが, 実際には定家  
の『下官集』の仮名遣を行阿が受け継ぎ, 増補  
したと解すべきである云々。

4—63カ6 大惣番号札剥落 5銭

31139 マンエフ カ ナツカヒ  
萬葉假名遣 小1帙1冊  
驚水著・自序・自跋, 助叟跋

大坂 山本九右衛門(高麗橋二町目)  
(1698)

※刊年記さず。『国書総目録』に元禄11刊とある。

題箋(墨書き)は「万葉假名遣」, 第「又百四十  
六」丁から第百六十六丁までは「追加」。

4—63マ1 ほ三百〇九番 10銭

31140 スノツツミ  
布鼓 一〜五 中5冊  
著者未詳・自序あり (1747) 延享4序, 宝暦3刊

京 吉田屋三郎兵衛

※第1冊に「不孝ノ子ニ贈リシ書」(正徳元)を  
のせ, 次に「再觀布鼓」として本文をのせる。  
孝行を勧める説話集。第1冊見返しに「白隠和  
尚作」と墨書。

1—25マ1 ち六拾壹番 15銭

31141 ソンゴチキゴ 孫呉摘語

横 (14.0×19.9 cm) 1 帙 1 冊  
(1620)  
元和 6 刊

林道春著

書肆不明

※兵書。

8—21ノ2 ち千七百〇六 5 銭

## 農 書

31142 ホウカロク 豊稼録

1 冊

所在不明

※カード目録によれば、「大蔵永常著、文化七年  
(1810)  
著・刊、並、絵入、驅蝗及 稻掛干ヲ論ズ」。

9—24ホ2 10 銭

31143 ノウカココロエダサ 農家心得草

半 1 冊

大蔵永常著・自跋、虚舟道人正徳序 (1834)  
天保 5 刊

晞幹堂蔵板、江戸 衆星閣・萬笈堂

※絵入り。

9—24ノ1 そ千拾八全巻 10 銭

31144 デュウコク ノウユ 重 刻 農諭

半 1 冊

下野國那須郡黒羽家士 為蝶軒 鈴木武助正長著、  
(1811) (1825)  
鈴木之徳澤民序 文化 8 序、文政 8 刊

江戸 大坂屋秀八(横山町二丁目)・茗荷屋彌兵衛、水戸 製本所 舩屋治三郎(上町鉄炮町)

※序題「諭農」、目録題「用心農諭」。河野天端氏  
寄贈本(9—21ノ2)は大本1冊、巻末に水戸  
秋山盛恭の識語あり、文政8刊、江戸 靄屋  
喜衛門(通油町北側)、水戸 舩屋治三郎。

9—21ノ3 そ千拾九全巻 5 銭

31145 メンボエウム 綿甫要務 上・下(乾・坤) 半 2 冊

大蔵永常著、齋藤石田篤序、長谷川雪提画

(1833)  
天保 4 序

大坂 河内屋長兵衛(心斎橋博芳町)、江戸  
須原屋茂兵衛(日本橋通壹町目)・小林新兵衛  
(同式町目)・丁子屋平兵衛(小伝馬町三丁目)

※序題・内題・尾題には「綿圃要務」。絵入り。

下巻16丁ウラから17丁オモテにかけての挿絵に  
長谷川雪提の署名と印あり。

9—24メ1 そ九百六拾貳全式 20 銭

31146 サイフ 菜譜 上・中・下 半 3 冊

筑州益軒貝原篤信著・自序 (1704) 宝永元序、正徳 4 刊 (1714)

毛利田莊太郎・小河多佐衛門「連刻」

※上冊見返しに「㊦」とあり。

9—24サ2 そ九百拾四全三冊 30 銭

31147(i) シンコク ノウカテウホウキ 新 刻 農家調寶記 半 1 冊

東武 高井伴寛明(蘭山)著・自序 (1809) 文化 6 序

江戸 星運堂 花屋久次郎(下谷竹町)

※表紙見返しに「農家調寶記嗣編 / 農業全書 / 同  
時之榮 / 勸農固本録 / 農家益 / 農術鑑正記 / 穂  
に穂 / 豊稼録」と書込みあり。巻末広告「高井  
蘭山先生著書」中に「農家調寶記前編一冊後編近  
刻」と見える。嗣編・二編・三編については(2)  
～(4)参照。

9—20ノ1 そ千拾壹番 (2)～(4)共 20 銭

31147(2) ブンクワテイチュシンコク 文化 丁丑 新刻 ノウカテウホウキ シヘン 農家調寶記嗣編

半 1 冊

東武 高井伴寛翁(蘭山)著・自序

(1816) (1817)  
文化13序、同14刊

江戸 星運堂 花屋久次郎(東叡山下両社天神  
門前)

※書肆住所は巻末広告によると「江戸下谷竹町」。  
表紙に「此書は農業の事ニ而はなく諸平人の心  
得ニ成へき古実を書たる本也」の貼紙あり。巻  
末広告には「農家調寶記前編一冊・後編近刻」と  
ある。(3)と同版。

9—20ノ1 そ千拾貳後巻

31147 (3) ブンクワテイチュシンコク 文化 丁丑 新刻 ノウカテウホウキ ニヘン 農家調寶記二編

半 1 冊

東武 高井伴寛翁(蘭山)著・自序

(1816) (1817)  
文化13序、同14刊か

江戸 和泉屋金右衛門(両国横山町三丁目)

※(2)と同版。目録題・本文冒頭及び末尾には「農

家調寶記嗣編」とある。卷末広告に「農家調寶記全三冊・同附録一名除蝗録全一冊・同續録一名豊稼録全一冊」とある。刊記の書肆部分のみ改刻されており、本書は(2)の再版と思われる。

9-20/1 そ千拾貳番後編全

31147(4) ブンセイジンゴシンコク 文政 壬午 新刻 ノウカテウホウキサンベン 農家調寶記三編

東武 高井伴寛翁(蘭山)著・自序 文政5序・刊  
江戸 和泉屋金右衛門(横山町三丁目)

※目録初, 本文冒頭・末尾に「農家調寶記續編」とある。序に「去年農家調寶記後編を刊行す。初篇に等しく弘く海内に行ること書林星連堂の大幸なり。因て今一篇後に續んことを需。猶も農家有益の品々考て綴綴續編と云」とある。見返しに「増補秘傳重寶記」の広告。

9-20/1 そ千拾三番三篇全巻

31148(1) ノウカテウホウキソクログ 農家調寶記續録 一名豊稼録 ホウカソク

大蔵永常著, 山崎美成序 江戸 和泉屋金右衛門(両国横山町二丁目)

※書名は表紙見返しによる。原題簽には「一名豊稼録云農家調寶記續録」, 序の題・本文冒頭・末尾には「豊稼録」とある。本書は序1丁, 本文13丁, 附録13丁である。文化7刊の「豊稼録」を補訂したもの。(京大農学部農経図書室 ⑤5065「豊稼録」《文化7刊》参照)。本書の序に「大蔵龜翁嘗著農書數部頃除蝗録成亦復副刻此書」とある。「除蝗録」刊行にあわせて, 旧著を改訂したものである。(2)参照。

9-20/2 そ千拾四番全 (2)とあわせて10銭

31148(2) デョクワウロク 除蝗録 大蔵永常著, 江都一齋老人佐藤坦序 黄葉園蔵版, 江戸 和泉屋金右衛門(両国横山町三丁目)

※上記書名は見返し内題および序題・本文内題・柱書による。原題簽は「一名除蝗録云農家調寶記附録」。刊記に「文政九<sup>丙戌</sup>歲如月黄葉園蔵」とあるが, これをそのまま刊記とするには疑問あり。

31157『除蝗録』参照。

9-20/2 そ千拾五附録全

31149 ノウジュツカンセイキ 農術鑑正記 天・地 半2冊

阿州之郷土 砂川野水著・自序, 無盡堂跋 享保8序・跋, 同9刊

京 山本平左衛門(寺町通錦小路上ル町)・小河多左衛門(六角通御幸町西入町)

※内題・尾題・版心では「上・下」と表記。絵入り。地冊卷末に「此式巻は田園菓穀の可否を考へ, 彼歳時記農業全書に漏たるを補ひ集し書也」との貼札あり。日本農業全書所収本に存する無盡堂序を欠く。天冊表紙右スミに小札剥落跡あり。

9-24/2 そ九百五拾六全式 20銭

31150 セイカツロク 製葛録 半1冊

大蔵永常著, 簡堂羽倉天則序, 踏齋有坂北馬画 文政11序, 同13刊

黄葉園蔵版, 京 吉野屋仁兵衛(三條通 駄屋町)・山城屋佐兵衛(同所), 江戸 丁子屋平兵衛(小伝馬町三丁目)・岡村庄助(下谷池ノ端仲町), 名古屋 永楽屋東四郎, 大阪 河内屋長兵衛(心齋橋博労町)

※序は島田榮瑞書。序題は「葛録」とある。巻末に葉の広告を付す。

9-24セ1 そ千貳拾五全巻 15銭

31151 クラフ 花譜 上・中・下 半3冊を合綴1冊

貝原損軒(益軒篤信)著・自序・自跋 元禄7序, 同11刊

京 林九兵衛(東洞院通夷川上ル町)・永原屋孫兵衛(高辻通雁金屋町)

※本書は上・中・下3巻3冊を1冊に合綴したものであると思われる。丁附は, 序1丁・目録6丁・巻上24丁・巻中58丁・巻下47丁・跋1丁である。現在の題簽には「花譜 中」とあり, 中巻の表紙をそのまま使って合綴したものと思われる。裏表紙見返しに「<sup>名</sup>蔵旭豊講」と書込みあり。

9-25カ5 そ九百貳拾合巻 35銭

31152 ラウノウサワ 老農茶話 半1冊

大蔵永常(受和園主人)著, 源但季跋, 法橋岡田玉山画 文化元跋

※画家名は20丁ウラに「法橋玉山」の署名があることによる。

9-24ロ1 そ千式拾全壺 10銭

31153 <sup>シヤベンヨロク</sup> 格鞭余録 半1帙1冊

豊田養慶編・自序, 阿州屈玄珪序, 堀貞明元岡跋,  
甲賀敬元「鑒定」<sup>(1761)</sup> 宝暦11自序・序・跋・刊  
京 文昌堂 永田調兵衛(錦小路新町西江入町)

※博物誌。挿絵あり。薬学部へ移管する前の配架番号は「6-21シ9 (41と書込みあり)」。

薬S 46 大惣番号札剥落 25銭

31154 <sup>キウクワウジギ</sup> 救荒事宜 半1冊

齋藤拙堂(正謙)著・自序・自跋, 小原寛序, 野郎  
煥跋<sup>(1831)</sup> 天保2自序, 文久元序・自跋・跋, 慶応2刊  
大垣 敬教堂蔵版, 平流軒利兵衛<sup>(1866)</sup>

9-21キ1 大惣番号札剥落 15銭

31155 <sup>ノウゲフゼンシヨ</sup> 農業全書 11冊

廃棄(昭32, 1, 7)

60銭

31156 <sup>イウサイロク</sup> 油菜録 半1冊

大藏永常著・自跋, 蘭堂羽倉天則序, 蹄齋有坂北馬  
画<sup>(1829)</sup> 文政12序・跋  
黄葉園蔵版, 江戸 仙鶴堂鶴屋喜右衛門(通油町)

※画家名は30丁~31丁の挿絵に「蹄齋圖画」とあることによる。6丁ウラの図には「鐘成写」とある。序は西駿莢堂桑瑞書。

9-24ユ1 そ千式拾六全壺 15銭

31157 <sup>デヨクワウロク</sup> 除蝗録 半1冊

大藏永常著, 江都一齋老人佐藤坦(佐藤一斎)序,  
秋田奥山誓序<sup>(1826)</sup> 文政9序・刊  
黄葉園蔵版, 江戸 仙鶴堂鶴屋喜右衛門(通油町)

※奥山誓序題は「農書十三種序」。31148(2)『除蝗録』参照。

9-24シ5 そ千拾六全壺 10銭

31158(1) <sup>サウモクソダテグサ</sup> 草木育種 上・下 大2冊

東都 灌園岩崎常正著・画・自序, みなもの弘賢<sup>(1817)</sup>  
(屋代弘賢)序<sup>(1818)</sup> 文化14序, 同15刊

「江戸書肆 千鍾房(須原屋茂兵衛)/玉山堂(山城屋佐兵衛)合刻」, 京 植村藤右衛門(堀川通佛光寺下), 大坂 泉本八兵衛(心斎橋南久宝寺町), 江戸 須原屋茂兵衛(日本橋通壹町目)・山城屋佐兵衛(日本橋通貳町目)

※灌園の序は漢南関克明の書。下冊見返しに「桃洞遺筆三冊/草木育種後編式冊」と墨書。本書の後編に灌園門人の阿部樸齋著『草木育種後編』がある。(2)を参照。

9-24ソ1 こ九百拾三初式 (2)共70銭

31158(2) <sup>サウモクソダテグサヨウヘン</sup> 草木育種後編 上・下 大2冊

江戸 樸齋阿部喜任(巴菰園主人)著・自序, 花木  
錦蔭主人如村序<sup>(1837)</sup> 天保8序・刊

「江戸書肆 千鍾房(須原屋茂兵衛)/玉山堂(山城屋佐兵衛)/萬笈堂(英大助)發閱」, 江戸 岡田屋嘉七(芝神明前)・西宮彌兵衛(中橋広小路)・小林新兵衛(日本橋通式丁目)・山城屋佐兵衛(同)・須原屋茂兵衛(日本橋通壹丁目)・同佐助(同四丁目)・同伊八(浅草茅町式丁目)・英大助(本石町十軒店)

※如村の序は半仙究の書。絵入り(灌園嫡源信正・楓溪・喜任・立兆・梅天・信尹画)。本書は岩崎灌園の『草木育種』の後編である。樸齋は灌園の門人。下冊見返しに「桃洞遺筆三冊」と墨書されている。(1)を参照。

9-24ソ1 こ九百拾四後式編

31159 <sup>ミンサンヒクワウロク</sup> 民間備荒録(乾)・坤 大2冊

奥州一關侍醫清庵建部由正元策著・自序, 北尾重政画, 建部清庵男建部由巳三省・建部由水亮策校, 豊州佐伯侍醫伊藤維則松臺校梓・跋, 奥州一關醫官(江戸官醫渡邊蕃主法眼門人)衣關敬貫甫軒校梓・序, 同藩門人曾根希方意三・大槻茂蕃玄梁・結城得英升育・高橋雲臺時義校・前典藥頭延壽院道三橘壽國序, 常州小田侯孫誠菴源成朝序, 志茂逸羣玄壽序,  
土州井戸玄鑿跋, 曾根希方意三跋<sup>(1771)</sup> 明和8刊

江戸 申椒堂須原屋兵衛

※各冊内題においては巻之上・下とする。下冊見返しに「五穀無盡蔵/豊年米の思/庖厨本草/農業全書」と墨書されている。表紙に「○千百三」の札あり。多数の序があるが, 宝暦5~10に書かれている。

9—21ミ1 大惣番号札剥落 15銭

フサウノクニダイイチサン

扶桑國  
第一産

ヤウサン ヒ ロク  
養蠶秘録

上・中・下  
大3冊

但馬國養父郡蔵垣村上垣伊兵衛守國著、法橋西村中和・速水春曉齋画、櫻井篤忠序、加藤爲貞跋、關口源謙跋

(1802) 享和2序・跋・凡例、同3刊

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋通壹町目）・須原屋平助（同三町目）、大坂 柏原屋清右衛門（心齋橋筋順慶町）、京 菊屋七郎兵衛（寺町通松原上ル町）・須原屋平左衛門（富小路通三条下ル町）

※上記書名は原題籤による。序題に角書なし。

9—28ヨ3 大惣番号札剥落 30銭

クワウエキ ヒ ジ タイゼン

31161 広益秘事大全

5冊

廃棄（昭32）

8—85コ2 35銭

ヤウサンゼンシヨ

31162 養蚕全書

半1冊

信州上田小縣郡上塩尻村塚田與右衛門著・自跋、塚原氏・遠藤氏序、一色信榮画 (1757) 宝暦7刊

江戸 須原屋平左衛門（日本橋通三町目）

※目錄題「新撰養蠶秘書目錄」。題籤に「壹」と書込まれているが、本書は全1冊。

9—28ヨ2 そ千式拾八全 15銭

アキ ノ ナナクサカウ

31163 秋野七草考

大1冊

葛飾 梅隠北野秋芳菊塲（鞠塲）著、江戸 櫻下中村曉河・筍齋關馬校合、龜田鵬齋・手野常山序由都留跋、平務廉跋、 (1812) 文化9序・跋・刊

京 植村藤右衛門（堀川通仏光寺寺町下ル町）、大坂 秋田屋太右衛門（心齋橋安堂寺町）、江戸 和泉屋庄次郎（浅草新寺町）・須原屋善五郎（今川橋）

※挿絵半丁あり。

9—25ア1 ふ五拾三 12銭5厘

ハル ノ ナナクサカウ

31164 春野七草考

大1冊

武蔵角田川梅隠北野秋芳菊塲著、佛塲居士石井（俊助）序 (1813) (1814) 文化10序、同11刊

江戸 愛智屋善兵衛（本所緑町）・小川與右衛

門（同）・天満屋喜兵衛（神田和泉橋通）・丹後屋伊兵衛（神田新橋通富松町）・山城屋佐兵衛（日本橋通二丁目）

※絵入り。序題「群芳曆序」、内題・尾題「春野七種考」、版心「群芳曆正月七日部」とあり。卷末に「羣芳曆 金十二冊 近日出来 此書は古事記萬葉集及詩經本艸綱目其外諸書に載たる所の草木漢名和名或は世俗に唱誤るをたゝし春秋三百六十日に分つゆえに名付て羣芳曆と云」との広告あり。表紙題籤右横に「和学」と朱書した貼札あり。同じ本の京大附属図書館蔵書（9—25ハ5、半紙本1冊）には、自序、亀田鵬齋序、松亭主人鳥海序、加賀木田元貞才佐父による新梅莊記、群芳曆梅部、卜隣跋あり。

9—25ハ3 ふ五拾式秋七草とも式 12銭5厘

バイヒン

31165 梅品

2冊

所在不明

※カード目錄によれば「松岡成章（怡顔齋玄達）著、宝暦10刊、小、絵入、上篇白色梅；下篇紅梅」

9—25ハ1 20銭

アウヒン

31166 櫻品

小1冊

怡顔齋松岡玄達著・自序、自然齋鈍全序、思誠齋序、日恕庵松玄達成章序、奈波道圓序、男松典跋 (1716) (1757) (1758)

享保元自序、宝暦7跋、同8刊

京 中西卯兵衛（建仁寺町通四條下ル二丁目）

・安藤八左衛門（駄屋町通誓願寺下ル町）

※「浅井龍草堂藏版書目」を附す。表紙に「いがんさい」と記された札あり。

9—25オ3 ほ九百四十三 20銭

ソウホ デ キンセウ

31167(1) 増補地錦抄 一〜八 小1帙8冊

東武江北染井 伊兵衛著、三角軒花隣序 (1710)

宝永7序・刊

江戸 須原屋茂兵衛（日本橋南一丁目）

※脇題籤に内容を記している。各冊表紙に(一)〜九の小札有。(一は剥落) (1)〜(3)3帙20冊。30417を参照。

9—25チ1 ほ九百四十巻共二十冊

(2)(3)共1円30銭

クワウエキ デ キンセウ

31167(2) 廣益地錦抄 一〜八 小1帙8冊

東武江北染井 伊兵衛著・画・自序 享保4序・刊 (1719)



江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南一丁目)

※(1)の続きとして各冊表紙に九〜十五の小札または「拾六」の書込みがある。

9—25チ 1

31167(3) 地錦抄附録 一〜四 小1帙4冊  
東武江 北染井 伊藤伊兵衛著・画 享保18刊

江戸 須原屋茂兵衛 (日本橋南一丁目)

※(1)(2)の続きとして各冊表紙に十七〜廿止の小札あり。

9—25チ 1

31168 蠶飼絹篩大成 乾・坤 大2冊  
成田重兵衛著, 増田春耕序, 小山寛嶺画  
文化10成・凡例, 同11序

写本

※絵入り。彩色されている。

9—28サ 2 大惣番号札剥落 75銭

31169 砂糖製作記 大1帙1冊  
東都 木村又助喜之著・自序, 松本保固跋  
寛政9序・跋

江戸 出雲寺和泉掾蔵版 (通本町二丁目)

※絵入り。題簽改装。

8—06サ 1 大惣番号札剥落 30銭

## 囲碁・将棋

31170 奕圖 第一冊〜第四冊 大1帙4冊  
服部立徹著, 西島蘭溪序 文政2序, 同5刊

京 植村藤右衛門 (佛光寺下町), 大坂 柏原屋清右衛門 (心齋橋順慶町), 江戸 須原屋伊八 (下谷池之端仲町)

※「菱喜」の蔵書印あり。

8—64エ 1 こ七百貳拾八全四冊 30銭

31171 棋醇 乾・坤 大2冊  
本因坊秀和著, 加藤隆和校訂, 阿部伯孝序  
嘉永7序・刊

心静堂蔵版

8—64キ 1 こ七百四拾八全貳冊 20銭

31172 増補 碁立指南大成 前集一〜六  
ソウホシカク ゴダチシナンタイセイ

三徳著

大坂 野村長兵衛 (高麗橋西エ壺丁目)

※一〜四が定石, 五・六が作物。

8—64コ 2 こ七百拾三全六 30銭

31173 烏鷺争集 上・下 大1帙2冊  
居寅忠風夜著・自序 享和2序, 同3刊

名古屋 菱屋久兵衛 (本町九丁目)

※『国書総目録』には本因坊烈元 (安井仙角) 著とある。奥書に「碁立手引草」の近刻予告あり。柱書「新撰百番碁立」。

8—64ウ 1 こ七百四拾四全貳 20銭

31174 石立 國技觀光 卷一〜四  
セキリツチキゴ コクギクワンクワウ

本因坊丈和著, 平岩節齋序 文政8序・同9刊

京 勝村次右衛門 (寺町通松原下ル), 大坂 秋田屋太右衛門 (心齋橋筋安堂寺町), 江戸 須原屋伊三郎 (浅草茅町二丁目)

※上記書名は原題簽による。内題角書は「石立 / 擲碁 / 合刻」。

8—64コ 3 こ七百貳拾五全四〇 35銭

31175 繹 貴 弈範 乾・坤  
エキキ エキハン

特大 (29.4×20.5 cm) 2冊

泰鼎序

文化6序・刊

玄対堂蔵版

※著者は序によれば服氏, 『国書総目録』によれば服部因淑。

8—64エ 2 大惣番号札剥落 20銭

31176 碁経衆妙 一〜四 大4冊  
爛柯堂船橋元美著・自序 文化8序, 同9刊

京 勝村治右衛門 (寺町通松原下ル), 大坂 河内屋喜兵衛 (心齋橋北久太郎町), 江戸 須原屋伊八 (浅草茅町二丁目)

※題簽に各冊の内容を記している。一「生之部・死之部・點之部」, 二「却之部・攻之部」, 三「盤之部」など6種, 四「附録擲方」。

8—64コ 1 大惣番号札剥落 30銭

- 31177 <sup>ドウサク</sup> 道 <sup>ホンインバウヒヤクバンゴダテ</sup> 本因坊百番碁立 下  
大1帙1冊  
(1723)  
享保8刊  
本因坊道策著

江戸 若菜屋小兵衛

※上冊を欠く。「春秋堂蔵版書目」あり。その書  
目中には「百番碁立」として見える。「菱喜」  
印あり。

8—64ホ3 大惣番号不明 15銭

- 31178 <sup>ハウエンキハン</sup> 方圓軌範 乾・坤 大2冊  
(1811)  
文化8序・刊  
山本考祥元吉著，筑水久保愛序  
爛柯堂蔵板

※各冊第1丁に「菱喜」の印がある。

8—64ホ2 こ七百四拾五全式㊦ 15銭

- 31179 <sup>ソウカンシニシロ</sup> 宗看 <sup>シヤウギサクモツ</sup> 象戯作物 上・下  
首書  
大1帙2冊

宗看著

書肆不明

※刊記なし。上冊表紙中央上に「<sup>象戯作物式冊</sup>百五番」と  
の札が貼られている。原題箋の右下スミに「一  
百箇」とある。

8—64シ4 こ七百六拾三全式 25銭

- 31180 <sup>サイカウ</sup> 再 <sup>シヤウギキヌブルヒ</sup> 校 將碁絹節 初編 乾・坤

小1帙2冊  
(1804)  
文化元序・刊  
福島順茶著，北山山本信有序

江戸 西宮彌兵衛（江戸橋四日市）・宇多儀兵  
衛（新橋南鍋町一丁目）

※「北林堂蔵版目録」（西宮）あり。坤の巻末に  
「自三編至五編嗣出 増田氏蔵版」との嗣出の  
宣伝が付されている。31181参照。

8—64シ1 ほ千三拾四前式 10銭

- 31181 <sup>シヤウギヒトリゲイコ</sup> 將碁獨稽古 上・下 小2冊  
(1833)  
天保4序・刊  
福島順茶著，北林堂主人序

江戸 西宮弥兵衛（中橋広小路町）

※表紙見返し並びに題簽中に一名を「絹節二編」  
と記している。31180参照。下巻巻末に北林堂  
蔵版書目を付す。

8—64シ5 ほ千三拾五後編式冊 10銭

## 随筆写本追加

- 31182 <sup>ビヤウシクンキ</sup> 尾陽始君記 半1帙1冊

著者未詳

写本

※上記書名は巻頭内題による。巻末内題，題簽お  
よび帙には「尾陽始君智（知）」とする。徳川  
義直の伝記。

5—62ヒ2 ゆ六百六拾式 15銭

- 71183 <sup>ソウシシヨクジンメイキ</sup> 総師職人名記 半1帙1冊  
(1776)  
安永5成

写本

※扉に「安永五<sup>丙</sup>年五月改」とある。名古屋の町  
ごとに「師職年寄」，「平師職」を記した名鑑。

5—65ソ2 め四百七拾式番 10銭

- 31184 <sup>ズイケンキ</sup> 隨見記 上・下 半1帙2冊

著者未詳

写本

※上冊表紙に「和漢奇事」の札あり。

5—63ス3 大惣番号札原欠か 10銭

- 31185 <sup>シホジリルイシロ</sup> 塩尻類書 半1冊

写本

(1738)  
※「元文三年己午（実際には戊午）丸山氏ヨリ備  
用寫之于時房種貳拾有八歳」とある。『塩尻』  
の抜書きか。

10—05シ10 め式百拾六全 30銭

- 31186 <sup>サンキ</sup> 筭記 上・下 半1帙2冊

写本

※武家文書の書留め。

5—63サ1 □七拾六全式 20銭

- 31187 <sup>ゴソウダイノキ・タイフノベン</sup> 御奏内記・大夫辨 半1帙1冊

著者未詳

写本

※内題の下に「御上洛之叟」としるす。大惣の半紙を使用。題簽および小口には「御参内記」とある。内容は寛文<sup>(1671)</sup>11年のこと。後半は「明和<sup>(1770)</sup>七庚寅季秋／東武賤士枳庵書」と奥書のある「大夫辨」。

5—17コ9 ゆ四百七拾六全 5銭

31188 シラカハジンセイロク 白川仁政録 半1帙1冊  
写本

※松平定信の政策の記録。大惣の半紙に記され、見返しに定信歌2首、最終丁ウラに「此一巻常水君條合記と大同小異也。(中略) 丁未十月忠陳書」(朱)と記された紙片が貼られている。丁未は弘化<sup>(1847)</sup>4年か。

5—62シ1 ゆ八百六拾八全 10銭

31189 サイランイゲン 采覧異言 半1帙1冊  
新井白石著・自序・自跋 正徳3序・跋  
写本

※題簽および序題下に「白石先生」と書込まれている。表紙に「漂」と書かれた札あり。

5—88サ1 め九百拾番全 10銭

31190 シヤウジキ 正事記 上・中・下 半1帙3冊  
津田藤兵衛編・自序 寛文5成  
写本

※随筆。寛永<sup>(1637)</sup>14～寛文<sup>(1681)</sup>元年の記録。名古屋叢書23に翻刻あり。

5—11セ1 め□拾七全三 50銭

31191 カウヒヨウロン・キヤウセイロン 江水論・匡正論 半1冊  
写本

※「江水論」は「尾府城南隠士却髻窩主叟對」と名を記す。書名の由来は「衣笠内府公」の詠「おもひとくふかきえに社知れけれ水の外なる氷なしとは」による。「匡正論」は「涇渭論」ともいう。末尾に「此書令参政本多弾正大弼忠籌君所著云」とある。

1—69コ12 ゆ八百九拾三番 15銭

31192 イウヒロク 有斐録 一～四 半1帙4冊  
三村永忠著  
写本

※大惣の半紙を使用。第1冊表紙に題簽用紙を用

いて「一名列公遺叟／備前池田家御仁徳ノ記也」と書かれた札あり。『国書総目録』には「寛延<sup>(1749)</sup>二序」とあるが、本書は序文を欠く。

5—62ユ2 ゆ八百三拾叁番 30銭

31193 ジュセイザツキ 儒生雜記 半1冊  
兵氏無射序 (1689) (1710)  
元禄2序、宝永7写  
写本

※題簽剝落。序の中に「近世ノ名儒熊中二氏之常談」とある。版本は元禄2年刊。版本からの写本。

1—69シ23 大惣番号札剝落 10銭

31194 ココンツツリ 古今綴 一～十 半1帙10冊  
写本

※諸事書留。和歌・連歌・俳諧の記事も見える。「雑説之部」などと、題簽に内容を略記している。

10—05コ2 め五十五全十 1円

31195 ザツワヒツキ 雑話筆記 壹～五 半5冊  
写本

※大惣の半紙を使用。随筆。

10—05サ2 め八拾五全五冊 50銭

31196 インキズイヒツ 隠几隨筆 乾・坤 半2冊  
尾張山本格安著・自序・続編自序 (1746) (1750)  
延享3序、寛延3続篇序

写本

※随筆。

1—69イ8 め□拾四全式 40銭

31197 ナナシグサ 名無草 一～六 半1帙6冊  
写本

※第1・4・5・6冊、大惣の半紙を使用。雑録。寛政ごろの成立か。

10—05ナ1 め七拾式全六冊㊦ 60銭

31198 バイツンサイヒツ 梅村載筆 上・下 半1帙2冊  
写本 (1818)  
文政元写

※奥書「享保廿一年仲春初九鳥遂写功／伊勢貞方／文政改元仲夏再寫」とある。大惣の半紙を使用。随筆。「林道春筆記」と朱の書込みあり。ただし、末尾に「信用しかたき事在之」とこと

わっている。

10-05ハ1 め百七拾番全式 25銭

31199 アサノシジフクロシロン 浅野四十六士論 (乾)・坤

半1帙2冊  
(1765)  
明和2序・跋

欽斎編・自序

写本

※坤冊内題「四十六士論 下」。佐藤直方・浅見綱斎・三宅尚斎・天木時中・安福氏・宇井氏・横井也有等の説を収める。

5-61ア3 大惣番号札剥落 20銭

31200 キョクシヤウズイヒツ 旭梁随筆 乾・坤

半2冊  
(1833)  
天保4序

旭梁散人著・自序

写本

※大惣の半紙を使用。内題「随筆抄」。末尾の記事は天保五年四月廿五日。

10-05キ5 め百六拾式全式 35銭

31201 カイガウ・クワンケン・ユフケムリ 戒傲・勸謙・夕烟

半1冊  
(1784)  
天明4成  
(1806)  
文化3写

(戒傲・勸謙) 人見葵著

(夕烟) 著者未詳

写本

※墨書題簽は「戒かう/夕けむり/全」。戒傲・勸謙は大惣の半紙を使用。表紙に「教」(朱)の小札。

1-84カ8 た六百九十番 15銭

31202 ハイゲンサイヒツキ 珮弦齋筆記 一〜四

半1帙4冊  
(1844)  
天保15序

藤田彪(東湖)著・自序

写本

※32152「常陸帯」参照。上記書名は墨書題簽によるが、序題は「常陸帯」。

5-62ヒ4 ゆ八百三拾三全四 20銭

31203 レキネンセウシ 歴年小史 上・下

半1帙2冊

写本

※下冊末に「右ハ甲午ノ冬正事記ヲ借テ拔萃ス正事記ハ津田藤兵衛ノ日記也。四十巻バカリ有ト云々、今存スル纔ニ三巻アリ」とある。題簽には「正事記、過半有」と書込みあり。

5-11レ1 拾七全式 30銭

31204 キセツクチダチキアツメ 奇説口々聞集 巻〜六 半1帙6冊

写本

※各巻内題「口々聞集」。大惣の半紙を使用。

4-47キ3 め七拾番全六冊 60銭

31205 ノゼリ・ハナキノハナ・ウヘスギケシヨカチユウカク 野芹・華木花・上杉家諸家中格

シキタイリヤク・マツリゴトノダイタイ 式大略・政の大體 半1帙1冊

写本

※題簽は「上杉家御仁政 野芹 并華木花 内 儉約教訓 上杉家中格式」。容は上記四書の合綴。「叢」(朱)の小札あり。「上杉…」には安永9の識語あり。「政の大體」には安永9年人見添の識語あり。

2-42ノ1 ゆ八百九拾四全 30銭

31206 ギコウズイヒツ 義公随筆

半1冊

徳川光圀著

写本

※神祇・釋氏・山川地理・士などの題ごとに文をあつめた随筆。一名「西山公随筆」。大惣の半紙を使用。

1-84キ1 ゆ八百六拾六全 10銭

31207 シチャウシユウキ 視聴聚記 上・中・下

半3冊

写本

※大惣の半紙を使用。

10-05シ1 め百三拾八全三 30銭

31208 キョカダイジキ 居家大事記

半1冊

吉静菴(東溟先生)著・自序 元文5序、天明2写

写本

※「寛保元年改定(墨)/延享二年再改(青)」と扉に記す。「朱書皆蕃政所記/青書亦然」として朱・青書込み多し。見返しには「清茂」なる人による札あり。末丁、「門人蕃政(青)の識語のあとに「天明二年春三月羽鳥三左衛門清茂写之」と朱で記されている。内容は三巻に分かれており、上巻「喪祭大指」、中巻「祭祀儀節」、下巻「喪葬儀節」。

1-86キ2 よ百八十八〇 20銭

31209 セジケンモンロクシヨヘン 世事見聞録初編 上・中・下

大1帙3冊

武陽隠士某著・自序

写本

(1816)  
文化13序

※大惣の用箋を使用。題簽に「平假名附」と書込みあり。

1—84セ1 こ三百六拾全三〇 25銭

31210 尾陽舊話 一〜七 半1帙7冊

下條行信著・自序

写本

※五・六・七冊は「附録」。序に曰く「此書は尾府の古事を相記し以て家の秘事とす」。

5—15ヒ2 ゆ六百拾四全七 1円

31211 兼山浄音記 半1帙1冊

憲譽上人「口説」、弟子憲溟干手院正随「筆受」、海潮沙門鎮叟湛神跋 享保20跋

※「濃州可見郡、兼山、海潮山不断光院浄音寺」に関する故事来歴を記す。

1—22ケ1 よ八百六十五 20銭

31212 草法龜鏡 半1冊

写本

※表紙改裝。書道。朱入り。

8—43ソ7 大惣番号札原欠か 20銭

31213 鳩の草くき 巻〜五 半5冊

西村輝咲著・自序 天明7序

写本

※俳諧など文事中心の随筆。

10—05モ1 め八拾三全五 50銭

31214 武業雑話 (一)・二〜六 半1帙6冊

尾陽結城之末藤原(上田)英益著

写本

※内題には「初編」と角書あり。大惣の半紙を使用。

5—63フ2 め七拾五番全六 50銭

31215 近世江都著聞集 壹〜四 半1帙4冊  
(1772)  
明和9写か

写本

※『図書総目録』によれば、馬場文耕著・宝曆7序というが、本書に序はない。

4—47キ6 み七拾七全四冊 20銭

31216 婦実久留満 上・下 半1帙2冊

写本

※内題「世俗婦実久留満」。女性の逸話を集めた書。表紙「全式」の小札あり。

4—47フ2 み□□拾壹全式冊 20銭

31217 薄覚聞事集 一〜五 半1帙5冊

僚舍著・自序、卧熊序 寛政6自序、同7序

写本

※大惣の半紙を使用。俳諧・武家関係の随筆。連句を含む。

4—41シ2 み六拾九全五冊 40銭

31218 麦秋妖狐往来記 半1冊

魔老毛著・自序

(1870)  
明治3成

写本

※内題「麦秋妖狐今勢記」(正篇)、「麦秋妖狐の世之中酒色戒之記」(後篇)。正・後篇合綴、表紙改裝。正篇題簽に「日記之内午之皐月」と書込みあり。本文と同筆で「大野屋蔵書」とある。

1—84ハ2 大惣番号札原欠 5銭

31219 北海異談 一〜四 半1帙4冊

写本

※海外事情。

5—13ホ1

大惣番号札剥落(題簽に「○」とある) 25銭

30608(2) 蛇物語後編 一〜五 半1帙5冊

松亭金水著、静齋英一画、静軒居士序

(1839) (1840)  
天保10序、同11刊

名古屋玉野屋新右衛門(巾下樽屋町)、京河内屋藤四郎(寺町仏光寺角)、大坂河内屋茂兵衛(心斎橋博労町角)、江戸菊屋幸三郎(馬喰町四丁目)

※内題「嫩髻蛇物語第二輯」。

4—41ア89 ら三百貳拾九〇

30608(3) 嫩髻蛇物語 第參編一〜五

半1帙5冊

松亭金水著、玉蘭齋貞水画、積翠道人序

(1857) (1880)  
安政4序、同7刊

群玉堂蔵梓

※河内屋茂兵衛ほか三都の書肆多数の名が記されているが、省略。内題「嫩髻蛇物語第三輯」。

4—41ア89 ら三百三拾三編五冊〇

京 都 大 学 蔵

大 惣 本 目 録

(第 一 分 冊)

---

1988年 2 月 25 日 印 刷

1988年 2 月 29 日 発 行

編 集・発 行

京 都 大 学 附 属 図 書 館

京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町

---

印刷：明文舎印刷商事株式会社

